025.8
G18k
00282377

025.8 G 18k

法律資料

昭和三年九月　新刊

古書籍在庫目錄

日本志篇

東京　巖松堂書店　古典部

昭和三年九月　新刊

古書籍在庫目錄

日本志篇

東京　巖松堂書店　古典部

国立国会図書館蔵書

卷頭言

坪谷善四郎

近頃洪水の如き圓本の出板は、全國に亘つて日々の新聞廣告欄を賑はし、隨つて其れに依れば驚くべき低價にて讀書し得る樣になりしと正反對に、古書籍の市價は底止する所無く暴騰して、藏書成金を續々輩出することは甚はだ不可思議なる現象の樣である。然とも熟つら考ふれば、彼の圓本は、大抵は前に一たび出板せられたる古書の翻刻にして、謂はゞ色揚げ物、染め返し物である故、其れが多く出板せらるゝほど其の原板物を得んとする欲望を刺激することも多く、延て一冊の古板本に數千金をも投ずる者あるのは

国立国会図書館 27.11.25
282377

當然である。

巖松堂書店は從來新刊書と古板本とを取扱ふ兩刀使ひにして其の店の古典部には、和漢洋の古典籍を集めて同業者間に覇權を爭はんとしつゝあるが、今回其の古典部に藏する目錄を編纂して頒布することゝし、示されたる校正刷を見るに、所藏書の種類は古今東西に亘り、森羅萬象を網羅して隨分多くの數に上るは勿論だが、特に其の目錄の分類排列に新機軸を出し、選擇者をして昆山の片玉も滄海の遺珠も、探るに最も容易ならしめ、爲に世の愛書家の受くる利便は至大である。中にも余等の如く斷へず總ての圖書集收に苦心しつゝある者には、最も重寶である。

本來賣り物には出來るだけ花を飾り、內容實質及び其の價格を正直誠實に表示して宣傳することは何れの商賣にも必要ながら、殊に古書籍の如く、名目だけを聞て先づ欲望を刺激せらるゝ商品には、供給者にも需要者にも最も必要の方法である。去れば巖松堂の此の目錄は最も余等の意を得たるものなる故、請はるゝ儘に其の旨を卷首に記す。

昭和三年六月十五日創立二十七周年記念日の大橋圖書館に於て

日本のやうに文献の中央統一が、完全に行はれて居る國もちよつと類が無い。それが今日の從順なる購讀者と都人の講說なら何でも受入れようといふ氣風の根源であると迄は斷言し難いか知らぬが、少なくとも地方の著述、それを張合ひにして活動すべかりし地方の學問が、御蔭で埋沒したことだけは確かである。私はそれが不平であつて、しかも匡救の手段を知らぬ故にたゞ默つて不平であつた。どうかして此本に似たやうな目錄を作つて見ようとして、失敗したことも何度かあつた。實際また私ほど、地方の刊行物を利用して多くの恩惠を受けた者も尠ないのであつた。ところが巖松堂の主人はいつの間にかこの實情を知つて居る。さうして組版の元刷を見せて序文を書けといふ。その位慧眼ならば此本の刊行も必ず時を得て居ると思ふ。

以前私は何度と無く、本道樂が古本屋を開業するのと、本屋が本道樂

になるのと、何れがより多く世の中の爲になるだらうかを考へて見たことがある。どちらも大したことは無いと言ひ切る人はあるまいが一方は觀潮樓偶記にある巴里の學士院門前のアシエンドル先生の如く、追々貧乏して小さくなつて行くことは略疑ひが無い。之に比べると嚴松堂主人なる者の、近年の進況はどうであるか。彼はつい此間まで、法律經濟界の都人の著の、ハシリにばかり目を耀かして居る出版家であつた。それが系統を立てゝ微細無力なる地方の古本を分類した迄は商賣柄だとしても、其の未だ老いざる精力を蒐集に傾注して、忽ち此様な所藏目錄を、世に誇り示すだけの腕になつたのである。若し國内の古本業者がみんな波多野君たるを得るものとしたならば、以前の私の比較研究などは、甚だ目先の見えぬ話であつたといふべきだ。が負惜みをいふならば此人には、やはり獨特の技能と餘分の親切とがあるからであらう。

其上に彼は又地の利を得て居る。既に一廉の新刊書肆として門戸を張つて居ることも、其一つであれば、何時賣れるといふ當ても無い雑書どもを、近い鄕里の土藏に運んでしまつて置けるといふ事も一得であつた。斯ういふ大掛りを以てすれば、勿論國中の本好き等を煙に巻き、行く〳〵成るべくは此店へ來て買ひ、來て賣るといふ人を引付けることも出來るわけで、それが又我々素人目錄家どもの、匙を投げなければならぬ長處であると思ふ。私は前年或大文庫を整理する際に、大體此書目と同じやうな順序で、地誌其他の地方刊行物の分類をして見たことがある。古い頃だから數量も遙かに是より少なく、第一つまらないと思つたのは、斯うして置いても自分以外に、誰がいつ取出して見てくれようかといふことであつた。自分しか利用せぬとすればもう早

揭載したくも無いものが色々と現れて來る。つまりは溜り水だからすぐに停滯を感ずるのである。之に反して本屋の目錄はさら〳〵と流れる川である。從つて古臭いものにも新らしい光を與へることが出來る。さうして假に今買ふことが出來ぬとしても、讀者は斯ういふ書物が手の屆く所に在るといふ心安さを以て、始終其紹介者に對する親しみを持つのである。勿論其中には本道樂の本性から、實は永く置きたいものも若干はあらうが、どうか折角見付けたものだからといふ愛惜の餘りに、あまりに高い賣價を付けて、事實上の親引きをしないやうにして貰いたい。御客も嬉しがるのみならず、それが結局は又店繁昌の基であらうから。

柳田國男誌

温古而知新、可以爲師矣と孔子の言を繰返すわけではないが、此を逆に考へて「新しきは古きにあり」而して「新しきを知らんと欲すれば古きを温ねよ」と格言めいて言つて見るも面白い。新しいものへと追つてゐた若者が追ひ疲れて一息休んだときに、古きを温ねて見たくなるのと同じで、數へ切れぬ程分派されて行く現代の學問を追ふが如くに學んで行くにも、何か既往にさかのぼり得る典據が見度てならぬやうになる。必ずしも古きを温ねよと考へられた譯ではないが、追つかけて進めば進むほど尚古きものが戀しくなつて來る。そして見度い古書を血眼になつて探しまわるのである。

この「新しきを知らんと欲すれば古きを温ねよ」といふことは、一面「學說を樹立した者は必ず樹立し得た何等かの根據は素よりあるべき筈であると共に何等かの研究資料に親しんだ、筈である」といふことから

云ひ得ることと思ふ。それ故今出來上つた新學說を知らうとするならばその學說を組織した經路なり資料なりを檢分して見ねば本當に分る筈もなく所謂「新しい」ものを知つたとも云へないであらう。

突込めるだけ突込んで發表されたと稱される研究物も、研究に用ひられた典據・資料等の種があがると案外價値のないものがないとも限らぬ。例へば茲に某氏が特殊研究の結果を堂々と發表したとする。その時發表された研究物を手にして、某氏は如何なるものを研究資料として取扱ひ、而して如何に此等を一體系に收め組織をつけたかを詳細に調べて見ると、時には某氏に告げれば赤面するに違ひないと思はれる程その根柢の薄弱なのがある。「新しきを知らんと欲して古きを溫ねる」ことは決して等閑には出來ない。

波多野氏が編纂した藏書目錄の校正刷を見るに、日本に關した研究資料が澤山集つてゐるのに興味を感じ之を坐右にして平素の研究伴侶とすれば裨益を受くるであらうと思ひ、右の目錄中から主要なるものに付き左に索引めいたものを作つて見た。素より完全なるものでないことは言ふまでもないが、之を利用して如上の趣旨に幾分なりとも接近し得たならば讀書子は不尠至便を受けるであらうし、所謂「溫古知新」が孔子の寢言だと云つて忽諸に出來るものでないことが分ると思ふ。

昭和三年六月十七日

森本謙藏

本書主要項目索引

各地方の文獻は含まず
數字は日本志篇の頁數

皇室

天皇……三　皇后……三　皇儲……三
攝政……三　親王……三　皇室御系圖……三

太上天皇、皇太后…三　皇室……三

雲上明鑑……二二〇
女　官……二二四
御即位……二二六
行　啓……二二八
御大葬……二二七

宗教

宗教史……二二六
西教史……一二七

教育

日本教育史……二〇四
中學校志……二〇五
社會教育……二一三

文藝

文學史……一四九
方　言……二一〇
出版及印刷志……一三三
宮　廷……二一一
宮中儀式制度……二二五
大　禮……二二六
勅　使……二二八
御　陵……二二五

宗教

日本神祇史……一四二
神佛參拜記……二四〇

教育

學制志……二〇四
小學校志……二〇五
體育史……二〇五

藝

文藝史……一四九
文獻志……二一
新聞史……一三一

宮　城……二二四
神　器……二二六
大嘗祭……二二七
詔　勅……二二八
皇陵參拜……二二五
內裏御繪圖……二二五
御賢所……二二六
行　幸……二二七
獻上及天覽……二二四
帝　都……二二四

宗教

社寺志……二二七
順禮案內記……二四〇

教育

地方教育志……二〇四
商業教育史……二〇〇
藩學志……二〇五

藝

小說史……一五〇
圖書館目錄……二一
新聞社志……二〇一

宗教

神社志……二三九

教育

女子教育志……二〇四
國史の教育教授法…一〇
教育統計……二〇四

藝

戲曲史……一五一
筆禍史……一三一
演說史……一三二
明治文化書誌……一二六
工藝美術史……一五八
歌謠史……一五四
演劇史……一五三

地理

地理辭典……二三五
自然地理……二三〇
受驗用日本地理…二三八
日本の地質……二三四
政治地理……二三四
日本地圖(無年號)二三〇
水路志……二四二
山水美……二三二
名勝地理……二三五
日本見物……二三六
道中記及地圖(明治以後)二三八
冒險旅行……二四二
漫遊案內……二三七
美術史……一五五
刀　劍……一九二
地方歌謠……一五四
民衆娛樂……一五三

地理

日本地理叢書……二三六
人文地理學……二三五
風土記……二三六
土性と土壤……二三四
產業地理……二四三
國郡全國……二三九
湖　沼……二三三
山　嶽……二三三
名勝寫眞帳……二三六
遊覽記事……二三七
關所及手形……二三八
漂流記……二三四
旅行案內……二四一

地學

日本地理通誌……二三七
日本國盡……二三八
日本の氣候……二三五
日本地圖(德川時代)二三九
海及海濱……二三四
溪　谷……二三三
日本アルプス……二三三
鑛泉誌……二三一
道中記(德川時代)二三七
旅……二四〇
幸太夫漂流記……二三五
鐵道線路案內……二四一
繪畫史……一五六
古刀新刀……一九二
流行歌……一五五
各地の踊り……一五四
音樂史……一五四
淨瑠璃史……一五五
角力志……一五五

地理學

日本地理講義……二三八
往來(地理)教科書二三八
植民地通誌……二三八
同上(明治以後)……二三〇
港　灣……二四一
河　川……二三三
天然紀念物……二三三
英和對譯名勝記…二三六
道中細見記……二三八
やどや……二四一
萬次郎漂流記……二三五
溫泉案內……二三三

Japan……二三六

歷史

〔概論〕史學……四
史論史說……一〇
史學往來……六六
〔年表〕和漢洋年契二九
〔叢書、辭書〕國史叢書四一
國史辭典……九
〔系圖、讀史圖〕系圖八八
〔史料〕元號……二八
日本考古學……一九
墳墓……二〇
聞書……一六
故實……一五一
〔通史〕日本歷史…六四
神皇正統記……七三
日本民族史……一七
日本俗史……六六
府縣國誌……六七
鄉土志……六八
國史研究……九
史談及逸話……一一
國書刊行會……四七
史籍類輯……一三
日本志參考圖……一七
曆……二〇
城……二〇
記錄……一六
國寶……一六
起原史……一三
日本歷史教科書…六六
日本政記……七四
奴隸志……一八
物產志……二四二
國史の教育教授法…一〇
讀史錄……一七
日本讀史參考地圖…一七
姓名考……一九
古墳……二〇
日記……一六
隨筆……一三
受驗用日本史……六六
日本外史……七四
兒童日本史……六六
史學研究法……九
歷史地理……三
本朝年代記……二九
國史大系……四七
德川家譜及廟墓…八八
國號考……六七
古蹟及史蹟……二〇
古文書……一三
傳說……一六
紋章……一五三
日本歷史講義……六五
國史略……七四
穢多賤民誌……一八

〔上古史〕日本開闢史七五
古事記……七六
〔中古史〕奈良朝史七七
〔近古史〕義經記…七八
南北朝……八〇
戰國時代史……八〇
〔近世史〕近世史…八二
德川俗史……八三
元和——貞享……三一
寬政享和……三三
櫻田事件……三四
幕府衰亡史論……八四
〔近代史〕維新史…八六
明治元年—十年 三六—三九
〔日本國體〕國體史…一三
武士道……一四四
孝貞美談……一一三
日本の現在及未來 三
神代記……七五
平安朝史……七七
鎌倉時代記……七七
元寇の役……七九
豐太閤時代記……八一
德川通史……八二
藩史……八三
元祿……三二
文化文政……三三
萬延文久……三五
幕末史……八四
王政復古……八六
西南役……三九
國族志……一三
勤王史實……九三
勤倹奬勵志……二〇四
日本人……三
太古史……七五
本朝六國史……七六
室町時代史……七九
楠公史實……八〇
德川三百年史……九一
最近世史……八四
享保——寶曆……三一
天保弘化……三三
元治……三五
御家騷動……二七
明治史……八六
十一年後の新聞雜誌三九
日本思想史……一三
勤王志……一一三
外人の日本志研究…一
古代史……七六
源平盛衰記……七八
太平記……七九
安土桃山史……八一
德川史實……八三
慶長時代……三一
明和——天明……三三
嘉永安政……三四
慶應……三六
明治政史……八七
國民性……一三
仇討……一一三
邦人の日本觀……二

〔思想史外〕日本思想史 一三　儒學史 一五
〔世相史〕日本世相史 一三四　日本文明 一三四
外人の日本志研究 一　穢多賤民誌 一八
〔異變史〕日本災害史 一二八　震火災史 一二八
噴火史 一三〇　海嘯史 一三一
震災と其結果—產業—生命保險 一三〇

傳記

雲上明鑑 二〇　華族 八九
日蓮上人 一〇三　教育家傳 一〇三
畫傳及肖像 一一三　先哲傳 一〇七
賴山陽 一〇三　文學者 一〇九
官員錄 三〇　職員錄 三〇
勤王志 九三　政黨員 一〇一
代議士列傳 一〇一　外交家 一〇一
維新志士列傳 九九　對外先覺者 一〇二
西鄉隆盛 九六　勝海舟 一〇一
伊藤博文 九八　英雄豪傑論 九四
武鑑 三一　士族 八九
公卿 八九　宗教家 一〇三
新聞記者 一一三　美術家 一一一
新井白石 一〇八　熊澤蕃山 一〇九
歌人 一一〇　俳優傳 一一三
官史 一〇六　政治家 九六
元勳 九六　國務大臣列傳 一〇一
法曹 一〇四　志士名士 九八
吉田松陰 一〇〇　平野國臣 一〇〇
大隈重信 九八　明治志士列傳 一〇〇
武將傳 九四　將軍 九四
旗本 九五　諸侯 九五

風俗

蘭學志 一三四　日本文化 一三五
日本の開化 一三五　火災志 一三〇
奴隸志 一八　暴動及一揆 一一七
囚荒史 一一九
風水害史 一三一

軍人傳 一〇五　乃木希典 一〇五
浪人 九〇　俠客傳 一一三
地方名望家 一〇六　經濟學者 一〇四
商人 一〇七　社會思想家 一〇六
農業家 一〇六　工業家 一〇六
畸人傳 一一三　自叙傳 九三
人物評傳 九二　人物史傳 九〇
赤穗義士傳 一一四　忠臣藏 一一六
刺客及暗殺 九六　義民傳 一一七
實業家 一〇七　銀行家 一〇七
醫人傳 一一〇　科學者 一一〇
產業家 一〇六　婦人傳 一一三
偉人傳 九三　言行錄 九三
紳士錄 九〇　人名辭典 九〇

法律

日本法制史 一三三　法律發達史 一三四
慣習 一三七　立法志 一三五
田制 一三五　帝國憲法史 一三五
手續法史 一三八　刑法史 一三八
監獄志 一四三　商法志 一三九
陪審制度 一四一　辯護士會志 一四三
朝鮮法制史 一四〇　臺灣制度史 一四〇
刺客及暗殺 九六　囚人記錄 一四四
古代法典 一三四　令 一三四
式目 一三五　御定書 一三五
日本民法史 一三七　入會權史 一四一
警察志 一四二　犯罪志 一四三
社倉志 一三九　海法史 一四〇
日本國際法史 一三九　支那母體日本法制史 一四一
法律統計 一三八　監獄統計 一四四

政治（附殖民）

日本政治史……六八
政黨史……七〇
建白志……一三三
封建制度……一四五
知行及領土……一四六
名主庄屋及村落……一四七
府縣郡町村是……一三三
臺灣制度史……一四〇
消防志……二〇八
耕地整理志……二〇五

外交

外交史……一三七
外國の影響誌……一三八
日米關係……一三〇
日蘭關係……一三九

財政

日本財政史……一六一

議會史……七〇
日本法制史……一三三
政治思想史……一三三
武家制度……一四五
參勤交代制……一四六
地方自治制度……一四七
家族制度……一四八
政治地理……一三四
植民志……一六四
開墾史……二〇五

外交

外交思想史……一三七
對外思想史……一三八
日獨關係……一三一
日本と南洋……一三一

政事

豫算史……一六〇

衆議院……七〇
國勢調査志……一六〇
德川制度史……一三六
守護職……一四五
勤方日記……一四七
氏族制度……一四八
支那母體日本法制史一四一
印刷局……二一〇
移民志……一六五
政談……一一七

貴族院……七〇
民權史……一三三
明治制度史……一三七
莊園……一四六
五人組制度……一四七
模範町村……一三三
朝鮮法制史……一四〇
警視廳……二一〇
海外の日本人……一六五

外交

對外日本史……六八
國際聯盟……一三八
日露關係……一三九
日露交通志……一七三

異船渡來記……一三七
日英關係……一三一
日支關係……一三八
通商條約志……二〇三

財政

租稅史……一六一

關稅志……二〇三

公債……一六三
國勢調査志……一六〇

兵事

國防史……七一
軍記戰記……七三

經濟

日本經濟史……一五六
各藩の土地制度……一六三
貨幣史……一六五
金札及紙幣志……一六六
造幣史……一六六
質屋志……一六七
物價指數……一六九
酒造と米價……一七〇
米價調節……一七一
產業組合志……一九七
助鄕……一七四

大藏省……二一一
富豪史……一六三

事

海防史……七三
元寇役……七九

濟

經濟學史……一五七
割地制度……一六四
貨幣制度志……一六五
錢貨志……一六六
各時代の改鑄……一六七
富籤と採票……一六八
道中小使……一六九
取引所と米價……一七一
消費組合志……二一四
同業組合記錄……二〇一
賃銀志……一七四

地方財政志……一六三
度量衡史……一六七

陸海軍史……七三
西南役……三九

植民地財政志……一六二
印刷局……二一〇

日本古戰史……七三

土地制度及政策……一六三
經濟問題……一五八
在外正貨志……一六六
貨幣學說史……一六六
金利志……一六七
物價史……一六九
米價と常平倉……一七〇
外米と米價……一七一
勞働組合……二一六
米券倉庫志……一八〇

商業

商業史……一九八
商品志……一九九
廣告志……二〇〇
簡易保險志……一六九
日本銀行……一六八
米穀取引所志……一七八
魚市場志……一七九
商業教育史……二〇〇
賣買志……二〇一
貿易志……一六九
商工志……一九八
信託業志……一六八
綿花糸布取引所志……一七九
座考……二〇〇
對外商業史……一九九
問屋志……二〇〇
爲替……一六九
會社志……一九八
取引所志……一七八
砂糖取引市場志……一七九
商業會議所志……二〇〇
商業道德史……一九九
簿記志……二〇〇
保險志……一六九
銀行史……一六八
株式取引所志……一七八
市場志……一七九

交通

交通史……一七二
飛脚志……一七二
日露交通志……一七三
燈臺志……二〇二
鐵道建設志……二〇六
通信史……一七二
道路志……一七二
海運志……二〇一
倭寇志……二〇三
運輸史……一七三
電話志……一七三
船舶志……二〇二
海賊志……二〇四
驛遞志……一七三
航空史……一七四
商船志……二〇〇
鐵道志……二〇四

社會

社會史……二一一
社會政策(史論)……二一三
社會教育……二一三
社會事業……二一三

慈善事業……二一五
市營事業……二一五
免囚保護……二一五
婚姻志……一四八
生活史……一五三
服飾史……一五三
藝妓……二一三
戶口……二一八
貧民問題……二一三
勞働爭議……二一六
失業問題……二一七
副業志……一九八
農村問題……一七七
救濟事業志……二一四
消費組合志……二一四
產業組合志……一九七
離婚志……一四九
葬祭志……一五三
女性史……二一八
娼妓……二一三
住宅問題……二一八
日本社會主義志……二一三
勞働事情……二一六
小作爭議……二一七
鑛毒志……一九四
農村救濟志……一七五
感化院……二一四
共濟組合……二一五
人口問題……二一〇
死亡……二一一
風俗史……一五一
賤業婦人……二一三
不良少年志……二一八
自殺史……二一一
勞働問題……二一五
同盟罷工……二一六
失業統計……二一七
公園……二一一
救貧志……二一四
共濟制度……二一四
人口……二一九
出生……二一〇
人別志……二一九
婦人問題……二一八
花柳志……一五五
食糧問題……二一三
社會問題……二一三
勞働組合……二一六
高松問題……二一七
都市と村落……二一一
農村社會史……一七五
監獄統計……一四四
法律統計……一三八
失業統計……二一七

統計

日本統計志……一五八
產業統計志……一九八
教育統計……二〇四
農事統計……一七四

醫學、藥學

醫　史……二〇九　衞生史……二〇九
盲啞及不具者志…二一〇　藥　志……二一〇

理學、博物

數學史……二〇五　日本植物誌……二三〇

農業、園藝

日本農志……一七四　農民史……一七五
農民社會史……一七五　農家行事……一七五
常平倉志……一七六　水利志……一七六
農村問題……一七七　農村救濟志……一七七
米券倉庫志……一八〇　麥　志……一八〇
甘藷志……一八二　護謨志……一八二
茶業志……一八三　煙草志……一八三
薄荷志……一八三　畜產志……一八三
牛　志……一八四　園藝志……一八一
農事統計……一七四

工業及諸產業

土木志……二〇七　建築志……二〇八
工業志……一八六　工場志……一八七
纖維工業……一八八　綿紡績工業志……一八八
本邦紡績の對支關係一八九　染織志……一八九
燐寸志……一八八　硝子志……一八七
眞田志……一八八　酒　志……一八〇
陶　志……一九一　產業志……一九一
電業志……一九六　電氣化學工業志…一九七
鑛物志……一九三　鑛毒志……一九四
金鑛志……一九五　鐵　志……一九五
金石史……一九六　水產志……一八四
鹽　志……一八六　產業組合志……一九七
產業地理……二四二　物產志……二四二
築港志……二〇八
機械工業……一八七
綿織物志……一八九
紙　志……一八九
麻　志……一九〇
醬油志……一九〇
林業志……一九六
電鐵志……一九七
石油志……一九四
銅　志……一九五
漁業志……一八五
產業統計志……一九八

疾病史……二一〇　精神病志……二一〇
日本動物誌……二三一　日本昆蟲類誌……二三一
農政志……一七五　農民生活志……一七五
農業經濟志……一七五　農民離村志……一七六
小作志……一七六　永小作志……一七七
稻作志……一七六　米　志……一七九
小麥志……一八一　大豆志……一八一
糖業志……一八二　綿　志……一八三
漆　志……一八一　藍　志……一八一
家禽志……一八四　馬　志……一八四
柑橘志……一八一　梨　志……一八一
治水志……二〇七
上下水道志……二〇八
化學工業……一八七
毛織物志……一八九
革　志……一八八
粉　志……一九〇
窯業史……一九一
副業志……一九八
鑛　志……一九三
石炭志……一九四
銀鑛志……一九五
鯨　志……一八五
發明志……一八八

本書編纂の方針

一　本篇は弊店古典部の古書籍在庫目錄編纂の繼續事業として弊店在庫の圖書雜誌類の中に就き、日本の歷史地理關係圖書のみを撰り出して、古典部員一同が書集めたものに過ぎません。また此目錄原稿〆切後入庫したものが相當澤山あります。再版の機會には澤山差加へ度いと思つて居ります。

一　本目錄に收錄した範圍は、和漢洋刊行圖書文獻、寫本類よりパンフレット、報告書、統計書並に重要雜誌新聞に揭載せられた論文及資料にして、目錄原稿〆切當時の在庫品に限られて居りますが歷史・地理・經濟・商業・社會・法政・文藝等廣く網羅して可及的微細な部類にまでも及びました。

一　分類は必ずしも學問的の標準には據つてをりません　目錄使用者の便利、資料の多寡等に依りました。例へば同一の項目に入るべきものに就ても資料が相當の分量に上つた場合には之を分離獨立せしめたるが如き、又普遍的內容を持つものは之を總體的な部類に編入せしめたるが如きこれであります。

一　項目は比較的細密なる件名によることにし、配列の順序は原則として一般より特殊へと分類する方法に據りました。

目錄の見方

一　書名の上に附けました符號は左の如く其の圖書の大きさを表はしたものであります。

◎菊倍判（官報大）又は美濃判以上の大形　▲菊半截判

○四六倍判（實業之日本大）又は美濃判　■袖珍小形本

△菊判（キング大）又は半紙判　⊠三五判

□四六判又は美濃半截　×一枚刷

一　賣價の上に在る算用數字は發行年次を、發行年號の上のゴヂック體數字は冊數を示したものであります。

一　採錄せる雜誌名、竝に本書に使用せる書名略語は左の如くであります（アイウエオ順）

亞經	東亞經濟研究	學士	東京學士會員雜誌
インベ	インベストメント	學志	學藝志林
一橋	一橋	學論	帝國學士院第一部文集
一雜	一橋會雜誌	企社	企業と社會
江戸	江戸會誌	京法	京都法學會雜誌
大阪	大大阪	金融	金融研究
化工	化學工藝	銀研	銀行研究
外時	外交時報	銀通	銀行通信錄
改造	改造	銀叢	銀行論叢
我觀	我觀	舊幕	舊幕府
海公	海國公論	刑評	刑事法評林
海法	海法會誌	計理	計理學研究
海界	海之世界	經究	經濟研究（法政大學）
海研	海事研究	經研	經濟研究（岩波書店及日本書院）
海報	海事新報	經商	經濟及商業
海運	海陸運	經評	經濟評論
解放	解放	經論	經濟學論集
會計	會計	經學	經濟學研究
經叢	經濟論叢	國聯	國際聯盟
慶學	慶應義塾學報	三評	三田評論
藝文	藝文	三學	三田學會雜誌
警協	警察協會雜誌	山林	山林
工大	工業の大日本	財界	財界
工論	工業論	財務	財務
公民	公民講座	財經	財政經濟時報
考古	考古學	産業	産業組合
考雜	考古學雜誌	人文	人文地理
皇典	皇典講究所講演	史地	歷史と地理
國民	國民雜誌	史林	史林
國本	國本	史協	史學協會雜誌
國知	國際知識	史界	史學界
國院	國學院雜誌	史海	史海
國家	國家學會雜誌	史教	歷史教育
國國	國家及國家學	史談	史談
國經	國民經濟雜誌	史學	史學
國際	國際法律誌 國際法外交雜誌	志林	法學志林

社科	社會科學	水産	水産界
社政	社會政策時報	生協	生命保險協會會報
社研	社會學研究	石時	石油時報
社問	社會問題研究	正義	正義
社雜	社會學雜誌	成功	成功
思想	思想	政治	政治學經濟學論集
時經	時事經濟問題	政經	政經論叢
商工	商工時報	税	税
商事	商事研究	鮮滿	朝鮮及滿洲
商海	商海	早法	早稻田法學
商研	商學研究	早政	早稻田政治經濟雜誌
商經	商業及經濟研究	早商	早稻田商學
商資	商業資料	早講	早稻田講演集
商論	商學論叢	ダイ	ダイヤモンド
商濟	商業と經濟	大林	大日本山林會報
商叢	商業經濟論叢	大紡	大日本紡績聯合會月報
資料	經濟資料	大銀	大阪銀行通信錄
實日	實業の日本	大觀	大觀
太陽	太陽	同論	同志社論叢
臺法	臺法月報	東公	東方公論
臺計	臺灣統計協會雜誌	東西	東西
臺時	臺灣時報	東洋	東洋
中公	中央公論	東亞	東亞の光
中史	中央史壇	東時	東方時論
中銀	中央銀行通信錄	東經	東京經濟雜誌
地方	地方	東銀	東京銀行通信錄
地球	地球	東醫	東洋學藝雜誌
地雜	地學雜誌	取引	取引所研究
筑紫	筑紫史壇	都問	都市問題
朝司	朝鮮司法協會雜誌	統時	統計時報
朝鮮	朝鮮	統集	統計集誌
通商	通商彙報	統雜	統計學雜誌
帝農	帝國農會報	糖世	糖業世界
鐵信	遞信協會雜誌	内外	内外論叢
鐵協	帝國鐵道協會會報	内商	内外商工時報
土史	土地史談	内論	内外時論

長集	長崎高商研究館叢報	原雜	大原社會問題研究所雜誌
日人	日本及日本人	濱商	樹徳商業會議所月報 濱根高商商業及經濟研究會パンフレット
日社	日本社會學院年報	臺パ	
日農	日本農業雜誌	飛史	飛驒史壇
日經	日本經濟新誌	評論	法律評論
農世	農業世界	佛史	佛教史學
農研	農政研究	風俗	風俗研究
農經	農業經濟研究	辯協	日本辯護士協會錄事
八洲	大八洲學會雜誌	法公	法曹公論
反響	反響	法治	法律及政治
原ア	大原社會問題研究所アルヒーフ	法協	法學協會雜誌
原パ	大原社會問題研究所パンフレット	法政	法政新誌 日本法制新誌
法記	法曹記事	明治	明治法學
法研	法學研究	明學	明治學報
法曹	法曹會雜誌	雄辯	雄辯
法集	法政大學論集	洋社	洋々社談
法新	法律新報	洋經	東洋經濟新報
法論	法政論叢	養院	養育院月報
法叢	法學論叢	林報	山林彙報
保銀	保險銀行時報	龍門	龍門雜誌
貿通	貿易通報	歷地	歷史地理
マル	マルクス主義	勞科	勞働科學研究
民歷	民族と歷史	和パ	和歌山高 パンフレット
民衆	民衆の法律	我等	我等

註文の仕方

一　御註文の圖書は「何頁掲載何某著何々」と明瞭に御指示を願ひます。

賣價は中値段を付けてありますので同じ本でも中値より高價なものも廉價のものもありますから御急ぎでなければ一應御照會を願ひます。

一　代金は可成前金で御拂込を願ひます。

御急ぎの場合は代金引換便で御送付致しますから左様御指定を願ひます

一　本目錄は在庫品の一部を掲げたに過ぎませぬ尚多數珍本奇籍の持合があるのみならず斷えず其の蒐集補充に力を注いで居りますから御序の節御立寄を願ひます。

又御研究範圍を御示し下されば折返し在庫品書名價額等御回報申上ます

一　本目錄掲載の圖書は同業者と雖も一切割引いたしません。

地方へ送本の分は別に送料實費をいただきます。

一　雜誌類は初號より澤山取揃へ一冊宛にても分賣致しますから所要號數御照會下さい。

一　御註文の圖書品切の時は類書の目錄を御送り致しますから御指圖御願ひ致します。外の書籍で御意に召しませぬならば暫く御待ち下されば他を探して見附かり次第御送附申上ます。其旨御申越お希上げます。

一　弊店の宛名は東京市神田區中猿樂町二番地巖松堂書店古典部、振替は東京三八八九番、電話は九段(33)二二六一番でございます。又御來店には神保町市電停留所の直ぐ前です。

古本の御處分に就て

古本の賣拂には是非とも弊店古典部を御利用下さい。

宛名は東京神田中猿樂町二番地巖松堂書店古典部電話は

九段(33)二二六一番です。

市内及東京近郊は電話又はハガキにて參上の時日を御

知らせ下さい。御來店被下ならば市電は神保町下車で直

ぐその傍です。

地方の方は書物を運送店に托して御送り下さるのが結

構と存じます。然し澤山で御座いますなら、御賣拂になる

書物の目錄(概略)を添へて御申込下さい。丁寧に御返事致

しますし又どんな遠方へも出張も致します。

何れに致しましても現品を拜見致しませんと代價の確

定は出來兼ねますが概略の値段は申上げる事が出來ます。

本の種類は目錄で大凡御解りでせうが錦繪でも法帖、

古寫本、古新聞又は古教科書類でも一切買受けます。而し

て古書籍在庫目錄を大きく致し度いと存じます。

日本志篇目次大綱

第一頁より五六〇頁までは昭和二年刊の古書籍在庫目錄（特價金六拾錢）に收めてありますから此處に再出致しません

日本志總說　五六一
皇室編年史　五八一
日本通史　六〇一
時代史　六三五
傳記　六四八
日本志各說　六七八
變災志　六七八
國體志　六八一
文明志　六八四
宗教志　六八六
外交志　六八七
法制志　六九二
制度志　七〇五
文藝志　七〇九
風俗志　七一一
經濟志　七一六
事業志　七三二
農業志　七三四
物品志　七三七
畜產志　七四三
漁業志　七四五
工業志　七四六
鑛物志　七五三
商業志　七五八
民業志　七六一

官業志　七六四
公共事業志　七八五
社會志　七九一
日本地理總說　八〇三
地方鄉土誌　八〇二
樺太　八〇二
北海道　八〇四
奥羽　八一三
關東　八二五
中部　八七一
近畿　九〇〇
北陸道　八九七
中國　九二七
南海道　九三四
九州　九四一
琉球　九六〇
臺灣　九六一
朝鮮　九七三
新聞雜誌目錄　九九五
時事文獻　九九八
地理歷史　一〇〇八
哲學教育　一〇一一
政治法律　一〇三一
經濟商業　一〇四二
商品　一〇四五
工業工藝　一〇五三
產業農業　一〇六三
學藝醫藥　一〇七一
文學小說　一〇八二
家庭婦人　一〇八六
學生少年　一〇九〇
趣味遊戲

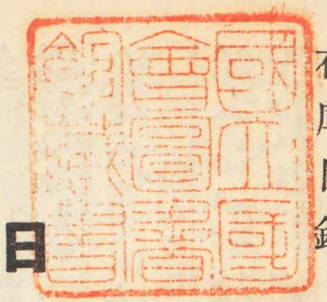
芳名カード

新たに芳名カードを整理致し古書籍在庫目錄速報篇を時々送呈いたし且つ名簿の中に永く記入させて戴き度く存じますので洵に御手數恐入りますが御住所・御姓名・御趣味・御職業又は專攻科目等を御通知下されば幸甚に存じます。尙ほ引續き御入用の方は送料として金五拾錢御送附下されば一ケ年分送呈致します。

御住所	御姓名	御職業又は專攻科目	御趣味

古書籍在庫目錄

日本志篇



日本志

巖松堂書店古典部 編纂

外人の日本志研究

△日本印象記 ドウヒイン著 佛文 七圓
Du pin—Le japon moeurs

□日本人 ダルマス著 佛文 參圓
R. De Dalmas—Les japonais, 1885.

⊠近代の日本 フレースネ著 佛文 七圓
E. Fraissinet—Le japon contemporain, 1857.

△近代の日本 マゴバーン著 英文 布五圓
W. Magovern—Modern japan, 1920.

△日本進化論 米ゼンダー著 二明12和四圓
小松原英太郎譯

□昔時の日本 ウオルターデニング著英文明21壹圓
□古代日本 アッペール著 佛文 布壹圓五拾錢
G. Appert—Ancien japon, 1888.

△歐米人の日本觀 大日本文明協會編 揃三明42布四圓

外人の日本志研究

△日本約志 委烏士天著 方穗正短譯 文久1寫七圓
一八五六年荷蘭人委烏士天著す所の地理志より特に日本志を抄譯したるものなり

□長崎より江戸まで 蘭ケムフエル著 衛藤利夫譯 大7布參圓五〇錢

△ペルリ提督日本遠征記 鈴木周作譯 明45布貳圓五〇錢

○厄人謬誤ノ起原其他 維新頃飜譯寫本 壹圓三五錢
△歐人の日本研究 西田直二郎 史地 三大9・10 貳圓

△プレストン氏の日本觀 金谷政雄 東經 明41 六拾錢
△ハナマ教授の日本西哥比較論 小泉信三 三學 明43 九拾錢

□お札博士の見た東海道　スター著　石井眞峯譯　大5　壹圓　五拾錢
△ルーズヴエルト氏の日本觀　澁澤榮一編和英對照大9　壹圓　五拾錢
□世界大たらんとする日米　佛ジエオン著思潮會譯　大11四　拾錢
△最終日本紀行　シーボルト著　獨文　參圓五拾錢
Ph. Fr. Siebold.—Letzte reise nach japan 1859—1862,1903.
△日本及支那印象記　オリバント著　和蘭語　革五　圓
Laurence Oliphant—Reis door China en japan, tweede deel.1895
○日本及支那紀行　メルテツプ著　窪落丁獨文布貳圓五〇錢
Hesse Wartegg—China und japan, 1897.
□日本の娘及婦人　マーコン著　英文　布參　圓
Alice mabel Bacon—japanese Girls & Women, 1902.
□日本の風習及行政研究　ノーマン著　英文　布貳圓七〇錢
Henery Norman—The Real japan
△日本及極東　エドモンベルナール版佛文大13五　拾錢
△日露戰爭に對する印度人の觀感　松宮常一郎外時明37　壹圓貳拾錢
△日本の恩人ウエストレーク博士の日本に關する最後の言　高橋作衛　國際大2　七拾五錢
△告日本國　ポールリシヤール著和英對照大7　布壹圓　貳拾錢
□サキストンの日本記　セルデン著　英文　布壹圓　八拾錢
D. A. Selden—Joe Saxton in Japan, 1897.
△歐米人の書ける日本史の栞　牧健二　大10ノ12　貳拾四圓
史林

邦人の日本觀

△田舍の日本　木下義道著　明41　壹圓
△夏の夢日本の面影　末松謙澄著　明44　布壹圓　五拾錢
□祖國を顧みて　河上肇著　大5　布壹圓　貳拾錢
□大戰後の世界と日本　德富蘇峰著　大9　壹圓　五拾錢
□日本を見る　木村莊八著　大10　壹圓　五拾錢
△小日本歟大日本歟　鈴木天眼著　明30　壹圓　五拾錢
○現代の日本　日蘭協會編　英文　大3　布五　圓
Japan—Netherlands Society—Japan of to-day, 1914.

日本の現在及未來

△二十世紀初期の日本　農商務省編英文　明36　布貳圓　五拾錢　明37
Japan in the beginning of the 20th Century.
□二十三年未來記　末廣重恭著　明19　壹圓
□將來之日本　德富猪一郎著　明20　壹圓　五拾錢
△世界に於ける日本之將來　矢野龍溪著　明38　八拾錢
△日本の將來　ランゲロア　日經　明43　五拾　四錢
□日本の現在及將來　田尻稻次郎著(財政的觀察)　明43　布七　拾錢
□歐洲戰後の財界と日本之將來　田尻稻次郎著大4　布八　拾錢
▲日本膨脹論　後藤新平著　通俗大學文庫　大5　七　拾錢
△日本改造の意義及其綱領　鈴木梅四郎著　大8　布壹　圓
△日本の現狀研究　宮下編(諸名士論策)　大12　五　拾錢
□日本民族の將來　田中寬一著　新大15　布貳圓　參拾錢
□大正の青年と帝國の前途　德富蘇峰著　大5　八　拾錢
△歐洲大戰と日本の將來　山口圭藏著　大6　壹圓　八拾錢
□世界の大勢と日本の現狀　尾崎行雄著　大8　貳　拾錢
□白禍と日本の將來　日高瓊々彥著　大10　壹圓　五拾錢
△日本はどうなる？　谷本富著　大12　貳　圓
○帝國の將來　原敬　貿易　大7　五　拾　錢
□日本及東洋の將來　野澤源之亟編世界思潮研究會　大10　四　拾錢
△日本今後の地位　小林丑三郎　東經　六大8　壹圓　八拾錢

日本人

△日本人　政教社　明21　創刊明23　廢　散賣貳　拾　五錢
一號ヲ三年間揃　〇〇〇〇
○日本及日本人　政教社　明24　創刊・月二　散賣貳　拾　錢
最近二十年間揃　〇〇〇〇
△世界ニ於ケル日本人　渡邊修二郎著　明23　布七圓五〇錢
日本と歐米との交涉・日本と西南洋諸國との交涉・日本と亞細亞大陸東部との交涉に大別し內外形勢通覽表を以てす

日本人

△日本人長所短所論　佐藤正著　大2　布參　圓
□日本及日本人の道　大川周明著　新大15　布壹　圓
△上代日本人より現代日本人へ　佐野學述　大13　參拾　錢

歷史地理

△日本歷史地理之研究　吉田東伍著　大13　革五圓五〇錢
瀨戶內海燧史論　江戶の歷史地理　江戶古代地理　元弘帝隱岐島の行在　伯岐國の發見　入間郡誌序　下關二千年史の序引　江戶治水と洪水　大宰府の建置　利根の變遷と修治　古代の鄉と戶と家に就いて　伊奈忠次　古の鄉の五十戶といふこと　渡良瀨川の變遷　鄉戶房戶竝政戶といふこと　新田郡の治水墾田　キとシロ、シキの異同辯　新田義貞旗揚の地理に就て　我國都會成立の大要、特に町の由來　歷史上より比較したる房總半島の地方　管公左遷新論　見の月影　北朝が正統の所在　奈良平安朝時代の武藏相模　皇位繼承の問題　後北條氏の知行制度　幕末の政變と井伊大老　奈良平安朝時代の尾張國　應長征韓役の捕虜の俘中聞見錄　美濃尾張平野の地變につきて　島津家往年の內訌と西鄉南洲　尾州の產業發達　慶喜公大政返上の大精神　安宅の關の地變　鎌倉時代の莊園制度に就て　越後の國土と彌彥神社　古今地主の位置と權利の變化　北蒲原古代地理　我國貨幣の變遷　溝口家の治水墾田事業　江戶時代の鑛山業に就いて　安達太郎吾妻次郎　古代の船舶の種類及其發達　貞觀十一年陸奧府城の震動洪溢　外に插圖十三　出羽國府遷廢考　戰國以後江戶時代の奧州

△歷史及地理講義　地理歷史學會　大6　布參　圓
自第一卷一號至三號合本　明33ノ34　四圓五〇錢
△歷史的日本地理　矢津昌永　橫井春野　壹圓　八拾錢
△歷史地理學　坪井九馬三述　早大　大13　五　拾　錢
△明治初年に於ける國史地理の諸問題　藤井述史地

△歷史地理 歷史地理學會 自一卷至四卷 合本四七布貳百五〇圓

△歷史地理 同學會 明11創刊・月一散賣 參拾錢 最近二十年間揃二四〇九拾六圓

△歷史と地理 歷地同攻會 明41創刊・月一散賣 參拾錢 最近三年間揃二四〇九拾六圓

△地理と歷史 同學會 明33創刊明34廢 散賣參拾錢 一號ゟ二年間揃 美本大6 革六〇〇〇〇圓

△內田銀藏講論集 內田銀藏著

大學制度改正と獨創的研究奬勵千光國師記念號發行のことを聞きて

大學制度改正と獨創的研究奬勵を論じて學問の獨立に及ぶ

大學教育所感

大學教育の改善に就きて

巴里の高等師範學校に就きて

學問と教育

學問の獨立

智訓の統一

吉田神道に就きて

禪宗の傳來

惠比壽大黑

瀨戸內海見聞雜錄

近畿旅行

神戸の今昔

伊豆初島旅行談

奧羽及北海道

臺灣旅行談

歐所見

オックスフォルドの瞥見

中古記に見えた熊野參詣の記事

鈴屋大人略傳

松陰先生の教訓

松陰先生新年論

吉田神道に就きて

禪宗の傳來

惠比壽大黑

瀨戸內海見聞雜錄

近畿旅行

神戸の今昔

伊豆初島旅行談

奧羽及北海道

臺灣旅行談

歐所見

オックスフォルドの瞥見

中古記に見えた熊野參詣の記事

鈴屋大人略傳

松陰先生の教訓

松陰先生新年論

二宮尊德先生の人格と思想

二宮尊德先生の天道及人道論

角藏了以

隱元禪師

テンプル

富岡謙藏君の學問及性行

藤田明君を悼む

鼎軒先生を憶ふ

井上博士「日本古學派の哲學」評

城郭之研究

九桂草堂隨筆を讀む

伊達氏の塵芥集

シヂック傳を讀む

オルシイ氏のカヴール傳を讀む

讀餘錄

古本目錄に就きて

靜修書目答問

國庫奬勵に就きて

國力の發展

新年

古今の比較

十年前

紀元節講話大意

端艇の語の考證

開國と云ふ語に關する知見補遺

日本金融史論序

德川初期の海外貿易家序

小原鐵心傳序

日本農政史序

東海雜談

支那古代の姓氏に關する研究

シラの島及ゴーレスに就て

△史料通信叢誌(雜錄) 近藤瓶城編 明30 貳圓

支那は和義其國を保ち戰伐其國を亡す

天祖都城辨

伊能忠敬の測量術

奉天盛京城の慣例あり

臺灣總督鄭功傳碑

永久三年具注曆弓軍器考記證

國章

文永弘安蒙古二役の外國歷史

日本語と朝鮮語の類似比較の圖

遣唐遣新羅使の二印

水城防戰の古圖

鎌倉比の炭薪糖の價

後三年繪卷中色紙形

德川氏朝鮮通交諸國御料所被仰渡書

阿蘭陀國の通商

國都沿革考

繰論

異國人歌舞の扁額

諸國飲水の重量

征朝起原

遼東の旅程

影流の劍術

總揆略譜

揆系圖並式

山海關

明季交際

德川氏朝鮮使節饗應

世界奇異不思議之書

諸國御料所被仰渡書

人の行業

田制沿革

中古新羅高麗の交際

刀伊賊入寇

正史に載せざる異聞

鼈來の諸說

頭巾と考並圖

屠兒考

比以奈遊考

史學

○史學通論 古事類苑文學部假綴六冊 明31 壹圓

△史學通論 浮田和民述 壹圓五拾錢

△史學 參圓

△歷史哲學 坪內雄藏著

△過去の歷史 下山寬一郎述 參圓

△史學概說 下山寬一郎著 經商 大14 五拾錢

△歷史と歷史學 後藤寅之助述 瀧本誠一三學 大10 五拾錢

△我が歷史觀 早大 平泉澄著 新大15 布參圓四〇錢

△歷史に現はれたる統合の力 大類伸述 假綴一六頁 五拾錢

□史學原理 下山寬一郎著 明23 八拾錢

△史學 學理論 內田銀藏著 經叢 三 大10 革四 壹圓五拾錢

△歷史と社會學との關係 財部靜治

△史學雜誌 史學會 自一卷至三卷三號 三冊 明22ゟ44 壹百圓

本誌は「世界ニ於ケル日本人」著者渡邊修二郎氏の藏書にして總量四貫五百匁、初號ゟ二二卷揃の內、雜報及雜錄中外交事件以外の記事を控除す

△史學雜誌 史學會 明25創刊・月一 散賣參拾錢 最近二十年間揃二四〇九拾六圓

△史學協會雜誌 同會 明16創刊明18廢 散賣壹〇〇〇〇圓 一號ゟ三年間揃

△史論 史學書院 明25創刊明26廢 散賣壹〇〇〇〇圓 一號ゟ二年間揃

△史學界 史學會 明32創刊明38廢 散賣五拾〇〇〇〇錢 一號ゟ七年間揃

△歷史と趣味 國民文化研究會 大13創刊・月一 散賣拾〇〇〇〇錢 一號ゟ四年間揃

△史林 史學研究會 大5創刊・年四 散賣六拾〇〇〇〇錢 一號ゟ三年間揃

△國史界 同社 大6創刊大7廢 散賣拾五錢〇〇〇〇〇 一號ゟ二年間揃

△史海 東京經濟雜誌社 明24創刊明29廢 散賣四拾五拾錢 一號ゟ六年間揃 三八圓

武內宿禰 談武峰5
アントニー1 滋賀都跡5
ソクラテス1 アルシバイアデス5
ヴォルテール1 李斯6
日露交通事略1 アレキサンドル6
藤原鎌足2 麻理亞哲列沙歟6
蘇國王メリー2 僧玄昉6
歐洲教育小史2 光明皇后7
壬申の亂3 普王ウキリアム第一世7
歐學沿革3 徐世資皇后7
雅各一世3 詠史歌四首7
シエムスクツク3 蘇王瑪理歌7
不比等及び三千代4 玄昉7
漢學沿革4 埃國女皇テレサ4
考謙天皇5 聖武天皇8 9
君讓斯哥克歟5 藏何8
阿部仲麿8

史學

△史學雜誌 史學會 明25創刊・月一 散賣參拾錢 最近二十年間揃二四〇九拾六圓

△史學協會雜誌 同會 明16創刊明18廢 散賣壹〇〇〇〇圓 一號ゟ三年間揃

△史論 史學書院 明25創刊明26廢 散賣壹〇〇〇〇圓 一號ゟ二年間揃

△史學界 史學會 明32創刊明38廢 散賣五拾〇〇〇〇錢 一號ゟ七年間揃

△歷史と趣味 國民文化研究會 大13創刊・月一 散賣拾〇〇〇〇錢 一號ゟ四年間揃

△史林 史學研究會 大5創刊・年四 散賣六拾〇〇〇〇錢 一號ゟ三年間揃

△國史界 同社 大6創刊大7廢 散賣拾五錢〇〇〇〇〇 一號ゟ二年間揃

△史海 東京經濟雜誌社 明24創刊明29廢 散賣四拾五拾錢 一號ゟ六年間揃 三八圓

徐世資歌8
滋賀都跡5
アルシバイアデス5
李斯6
アレキサンドル6
麻理亞哲列沙歟6
僧玄昉6
光明皇后7
普王ウキリアム第一世7
徐世資皇后7
詠史歌四首7
蘇王瑪理歌7
玄昉7
埃國女皇テレサ4
考謙天皇5 聖武天皇8 9
君讓斯哥克歟5
藏何8
阿部仲麿8

談武峰5
アントニー1
ソクラテス1
ヴォルテール1
日露交通事略1
藤原鎌足2
蘇國王メリー2
歐洲教育小史2
壬申の亂3
歐學沿革3
雅各一世3
シエムスクツク3
不比等及び三千代4
漢學沿革4
埃國女皇テレサ4
考謙天皇5
聖武天皇6
君讓斯哥克歟5

△史學雜誌 史學會 明25創刊・月一 散賣參拾錢 最近二十年間揃二四〇九拾六圓

△史學協會雜誌 同會 明16創刊明18廢 散賣壹〇〇〇〇圓 一號ゟ三年間揃

△史論 史學書院 明25創刊明26廢 散賣壹〇〇〇〇圓 一號ゟ二年間揃

△史學界 史學會 明32創刊明38廢 散賣五拾〇〇〇〇錢 一號ゟ七年間揃

△歷史と趣味 國民文化研究會 大13創刊・月一 散賣拾〇〇〇〇錢 一號ゟ四年間揃

△史林 史學研究會 大5創刊・年四 散賣六拾〇〇〇〇錢 一號ゟ三年間揃

△國史界 同社 大6創刊大7廢 散賣拾五錢〇〇〇〇〇 一號ゟ二年間揃

△史海 東京經濟雜誌社 明24創刊明29廢 散賣四拾五拾錢 一號ゟ六年間揃 三八圓

徐世資歌8
滋賀都跡5
アルシバイアデス5
李斯6
アレキサンドル6
麻理亞哲列沙歟6
僧玄昉6
光明皇后7
普王ウキリアム第一世7
徐世資皇后7
詠史歌四首7
蘇王瑪理歌7
玄昉7
埃國女皇テレサ4
考謙天皇5 聖武天皇8 9
君讓斯哥克歟5
藏何8
阿部仲麿8

系統に關する風俗3　本居豐穎
實物取調に就きて所見を述ぶ4　川田剛
言語の成立14
文字の起源23
衣服の變遷42
日本人の種族45
松岡明義
織田完之
落合直澄
小宮山綏介
阪正臣
小宮山綏介
木村正辭
萩野由之
君仁36
民忠37
官制38
國史の編纂前途の標準13　14
日本古文章學職官12　13
日本古文章論長子襲封11　12
日本史誤謬時代分割論10　11
詞認因革略8　9
明治古今制度沿革略6　10
日本建國の初の說因襲の古代道德の變遷10
江戶時代の學問の變遷50
憲法故事寺社の由來を述て其沿革を論ず9
憲法律令商會所略說9
東大法學部教授正直澄賴定矩31
警察官吏の職務及び權限30
歌謠論7
近世文學者に望む50
朝度量衡說49
讀史餘論53
讀書通語に就きて4
江戶米商の沿革4
故森文部大臣の教育
美術と歷史との關係5
9058　9160　9663
日本文學史緒論5
憲法史論6
御即位の大禮6
古語學の系統6
古職官7
人名の種別7
德川氏の政治一班48
萩野由之
內藤耻叟
三上參次
小杉榲邨
小中村清矩
佐藤誠實
丸山作樂
木村正辭
三上參次
高津鍊三郎
高見寬
內藤耻叟

東照公の雄才大略96　内藤耻叟
元服考9　松本愛重由之
明朝請援始末9　萩野由之
風俗歌話10　佐藤寛
古以來世職世業11　小中村清矩
由之
角倉與一定方案の出で來百11　萩野由之
祥瑞考證百12　飯田武郷
義士切腹の事百12　内藤耻叟
佐渡國地名考百12　内藤耻叟
漢風の神祭百12　松本愛重
中山大納言正親町百12　萩野由之
攝津國郡鄕考百13　内藤耻叟
武術の源流百13　内藤耻叟
山陵修復の嚆矢百13　萩野由之
大阪の商業百13　横井時冬
大能山百ヶ條は僞書なること14　内藤耻叟
久米舞の說百9　内藤耻叟
二大方案99　佐藤寛
百1　小中村清矩
國語一定の　丸山正彦
江戸幕府時代支那貿易に供せし水產物90　横井時冬
兵學史一班99　栗田寬
勅語の義勇奉公99　萩野由之
異稱日本傳考98　川田剛
讀史略說98　小中村義象
湊川楠公碑の話98　小宮山綏介
富嶽の沿革97　小中村清矩
志摩國舊地考97　小中村義象
雄略天皇紀を讀む97　黑川眞頼
本朝孝子傳略96　内藤耻叟

朝綱の張弛百2　本居豐穎
本邦俳優の說百2　黑川眞頼
煙草雜錄百2　目黑三郎
3　小宮山綏介
4　内藤耻叟
殉死の事百3　横井時冬
國史は大一統を致すの必要あり百3　内藤耻叟
下總國郡鄕考百4　内藤耻叟
島津氏と琉球との關係百4　内藤耻叟
8　内藤耻叟
10　内藤耻叟
岡良弼
朝賀圖說百18　栗田寬
光格天皇御諡號に就きて百17　小中村清矩
松本愛重
黑川眞頼
八武家の兵制百16　丸山正彦
矢部駿河守遺事百16　内藤耻叟
裏服百15　内藤耻叟
軍事教育に就て百14　丸山正彦
女子用文論百14　内藤耻叟
16　小宮山綏介
31　佐藤寛
32　内藤耻叟
1719　栗田寬
20　小中村清矩
21　栗田寬
1516　小宮山綏介
59　横井時冬
60　萩野由之
1314　横井時冬
1213　飯田武郷
1112　内藤耻叟
1011　佐藤寛
9　萩野由之
10　佐藤寛
11　小中村清矩
由之
12　萩野由之
13　小宮山綏介
14　横井時冬
15　萩野由之
16　内藤耻叟
17　飯田武郷
18　内藤耻叟
19　小宮山綏介
20　内藤耻叟
21　小宮山綏介
22　内藤耻叟
23　小宮山綏介
24　内藤耻叟
25　小宮山綏介
26　内藤耻叟
27　小宮山綏介
28　内藤耻叟
29　小宮山綏介
30　内藤耻叟
31　小宮山綏介
32　内藤耻叟
33　小宮山綏介
34　内藤耻叟
35　小宮山綏介
36　内藤耻叟
37　小宮山綏介
38　内藤耻叟
39　小宮山綏介
40　内藤耻叟
41　小宮山綏介
42　内藤耻叟
43　小宮山綏介
44　内藤耻叟
45　小宮山綏介
46　内藤耻叟
47　小宮山綏介
48　内藤耻叟
49　小宮山綏介
50　内藤耻叟
51　小宮山綏介
52　内藤耻叟
53　小宮山綏介
54　内藤耻叟
55　小宮山綏介
56　内藤耻叟
57　小宮山綏介
58　内藤耻叟
59　小宮山綏介
60　内藤耻叟
61　小宮山綏介
62　内藤耻叟
63　小宮山綏介
64　内藤耻叟
65　小宮山綏介
66　内藤耻叟
67　小宮山綏介
68　内藤耻叟
69　小宮山綏介
70　内藤耻叟
71　小宮山綏介
72　内藤耻叟
73　小宮山綏介
74　内藤耻叟
75　小宮山綏介
76　内藤耻叟
77　小宮山綏介
78　内藤耻叟

家紋集說百47　小宮山綏介
支言考百48　高世時冬
商業の株式百48　横井時冬
安德天皇御陵補遺考百48　高山昇
威震の機に乘じて大道を擴張すべし百49　内藤耻叟
我國の辭書百49　小中村清矩
古今制考百50　小宮山綏介
印幡沼經始考百50　織田完之
業は博大を要し敎は純一を欲す　内藤耻叟
古利法一班百51　内藤耻叟
百51　黑川眞頼
64　横井時冬
67　小宮山綏介
71　内藤耻叟
敬神は强兵の本百52　内藤耻叟
孝德天皇紀通釋百52　内藤耻叟
65　飯田武郷
67　内藤耻叟
68　内藤耻叟
69　内藤耻叟
71　内藤耻叟
73－78　内藤耻叟
大道を世界に宣布する方針百53　内藤耻叟
貴任者は學者に就て百53　内藤耻叟
我神祇は萬國の神と異なり百54　内藤耻叟
倘武の風は武の說百54　内藤耻叟
忌服の說百54　目黑三郎
後光明天皇崩御の事に就て百54　内藤耻叟
僕寇の始末百54　内藤耻叟
祭政惟一百55　内藤耻叟
德川氏政治大綱百56　内藤耻叟
國體私考百56　内藤耻叟
諡書勅書の區別百57　栗田寬
中山信名傳百57　内藤耻叟
敬神十義解百57　内藤耻叟
光仁紀童謠辨百58　内藤耻叟
一節百58　内藤耻叟
臨時勅祭例百59　内藤耻叟
59　小宮山綏介
60　内藤耻叟
62　内藤耻叟
65　木村春太郎

武士の用意百63　小宮山綏介
則百64　栗田寬
答問五百64　内藤耻叟
葬禮概略百65　小宮山綏介
德川將軍　内藤耻叟
白石著書百65　内藤耻叟
新年の賀詞百66　内藤耻叟
舍の圖を觀て所感を述ぶ　横井時冬
祇園精百66　栗田寬
幕府老中招請百66　小宮山綏介
年始祝事考百66　木村春太郎
神國の尊嚴はもと我所屬なり百67　内藤耻叟
老中若年寄逢對百68　小宮山綏介
要外國人雜居の日最も氏子帳の必要を感ず百69　内藤耻叟
忠義公事蹟百69　内藤耻叟
水戶部類考百69　内藤耻叟
狩獵逸事百69　内藤耻叟
幕府の時行路病者72　木村春太郎
舊行路病者72　木村春太郎
捨兒等の取扱百69　小宮山綏介
日本史論贊を刪ること百72　内藤耻叟
古書の文字を妄に改むまじき事百46　内藤耻叟
德川時代皇家皇室に對する議論百72　内藤耻叟
令樣歌の沿革百18　内藤耻叟
大化保忠の說百18　内藤耻叟
三上山の說百18　内藤耻叟
橫井小太郎　内藤耻叟
松本愛重
黑川眞頼
歸化民族の末路百19　内藤耻叟
小中村清矩

日本は神國なり百20　丸山正彦
建國の聖詔百21　小中村清矩
將軍御內書百21　小宮山綏介
鬼の話百22　小中村義象
秀賴の薩摩落百22　丸山正彦
近世の道路法百23　萩野由之
かたり言の說百23　松本愛重
五十音考百25　丸山正彦
歌謠一代百25　佐藤寛
一度奉幣の社考百24　栗田寬
國語國文の盛衰を論じて現今の狀に及ぶ百24　小中村義象
江戶幕府時代の海運百24　横井時冬
文庫考百25　萩野由之
豐家忠臣一人百25　丸山正彦
春日御社祭文につきての管見百26　栗田寬
臣民明黨の禍當に皇室に及ぶ百26　内藤耻叟
群飮の制百26　萩野由之
後宮三話條略考百26　内藤耻叟
名同唱考百27　小中村義象
武家時代文學狀況百27　栗田寬
鄕43　木村春太郎
德川宗統六絕百28　小中村義象
被幡脫幅說百29　内藤耻叟
北海道開拓起源百29　内藤耻叟
齋宮制度沿革百30　内藤耻叟
平安宮學に就て百30　内藤耻叟
法制筆百31　小中村清矩
足利學校古書百32　内藤耻叟
關原役前後の疑百32　目黑三郎
南詠歌雜敎授法百33　内藤耻叟
假面山影刻概說百33　目黑三郎
3336　横井時冬

僞書なること百14　内藤耻叟
久能山百ヶ條は僞書なること　内藤耻叟
大阪の商業百13　横井時冬
14　横井時冬
忠孝の使者と强盛は風は强盛本原百39　飯島誠圀
神の使者と忠孝の風は强盛本原百39　飯島誠圀
石井小太郎　内藤耻叟
上參次郎　内藤耻叟
古語拾遺百40　内藤耻叟
古俗所稱導號百38　内藤耻叟
法曹至要鈔作者百38　内藤耻叟
古曹至要鈔作者百38　内藤耻叟
言語雜考百37　内藤耻叟
父音母韻論百37　内藤耻叟
我日本天皇東洋の主權者たるべき事百38　内藤耻叟
41　内藤耻叟
落合直文　内藤耻叟
居百37　内藤耻叟
豐百37　内藤耻叟
日に就きて百37　内藤耻叟
德川氏の祖先三河に入るの年月說百37　内藤耻叟
穴居說百37　内藤耻叟
黑川眞頼
38　横井時冬
橫井小太郎　内藤耻叟
松本愛重
黑川眞頼
本阿彌光悅百41　横井時冬
出雲神社の事に就て　横井時冬
丹波一宮百24　小宮山綏介
間宮百24　小宮山綏介
明末の義士援を本朝に乞ふ事百42　内藤耻叟
贈太政大臣鎌足公多武峯墓事百43　内藤耻叟
德川氏官制通考百43　萩野由之
大寶典發布及修正百43　萩野由之
44　内藤耻叟
45　内藤耻叟
49　内藤耻叟
古謠集百46　栗田寬
47－51　栗田寬
72－74　栗田寬
77－80　栗田寬
58－60　栗田寬
增田于信
68－70　栗田寬

神道は宗敎に非る事百77　内藤耻叟
元始抄百77　季茲
劉氏の歸化に就て百78　内藤耻叟
78　久保

史學研究法

紅葉の光百79　内藤耻叟
曆書の沿革百79　小宮山綏介
皇族相門の盛衰百80　内藤耻叟
80
89

△史學研究法　坪井九馬三著　明36　革貳　圓
增訂版新大15　布四圓　五拾錢

△歷史の精神的解釋　大日本文明協會編大8　壹圓五〇錢

△ランゾロア及セニヨーボ氏歷史研究法綱要　村川堅固　石澤發身解說　壹圓五〇錢

■歷史攻究法
△舊藩の歷史の研究の必用　赤堀又次郎　歷地大4　五拾錢

國史辭典

△日本歷史辭典　歷史地理講習會　明35　參　圓
▲新撰歷史辭典　太田才次郎著　明27　和壹　圓

○國史大辭典　八代國治　早川純三郎　井野邊茂雄編　箱入　揃二　明14　革拾四　圓
無箱　總拾六　圓

○增訂國史大辭典　吉川弘文館版　縮刷　揃二　洋裝九　圓

△大增補國史大辭典　八代早川井野邊編新揃八大15　革貳拾五圓

□簡明日本歷史辭典　堀田璋左右著　大6　布貳圓　貳拾錢
▲學生參考日本歷史辭典　普通敎育會編　明35　布五　拾　錢

國史研究

○國史論　平井寬敬誌　寫本　文政12　壹圓五〇錢

△日本略記　國書刊行會假綴四頁　元文五年原著五　拾　錢
□國史臆說　東崇一著　二　明14　和壹　圓

△國史の研究　黒板勝美著　　揃二大10布貳拾四圓

△日本史の研究　三浦周行著　　大11革拾　圓

△近世の日本　内田銀藏著　　大8布參　圓

江戸開府　松平定信
幕府權力の確立　天保の改革
鎖國　開國
文教の興隆　幕府の滅亡
新井白石　江戸時代の經濟狀態
德川吉宗　本居宣長
新氣運の勃興

△國史研究　瓜生寅著　　明10壹圓五拾錢

△國定歷史讀本の解說　依田豐法政　　揃四大12貳圓

本多利明　吉田松陰
コロニーの譯語としての開國　島津齊彬公の西洋文明採取

△明治時代修史事業　藤井甚太郎　歷地　大10四拾五錢

△明治修史始末資料　歷地　大10四拾五錢

△國史總論及日本近世史　内田銀藏著　大10革五圓二〇錢

△中朝事實　山鹿素行著　　大6布貳　圓

△史學講演集　史學研究會著　自一册至四册揃四明41ゟ45　散賣貳圓

研究會　富山房版

第一册

平等院の裝飾模樣に就て42　武田
德川時代の大阪市制百4　幸田成友

第二册

宋學傳來の淵源51　西村時彦
長白山附近の地勢及び松花江水源附完顏城址考73　小川琢治
東洋史の研究に就きて2414　大谷
碧山日錄の著者に就て　上村
京都地方7　伊東
益軒の書翰3　幸田成友

第三册

歷史哲學の問題52　桑木嚴翼
國語史上の一疑問74　新村出

古義里城出土龜骨說明1821　富岡
我國に傳はれる波斯文馬坳正通の生涯及其著書28　羽田
京都沿革に就ていふ話5　内田銀藏　田中

第四册

伊曾保物語考92　上田敏
印度史研究資料に就て3661　松本
元祿時代の京都小說家　藤井
儒佛道三教葛藤史研究資料38　高瀨武次郎

鎌倉時代の布敎と交通48　原
西魏の四面像に就いて22　濱田
因幡國網代の正平古鐘5　湯本

國史の教育教授法

△國史の教育　喜田貞吉著　　洋裝壹圓五〇錢

△國史教育の根本問題　上里朝秀著　洋裝壹圓五拾錢

△國史教育の實際　中野八十八著　尋五前篇　大11布七　拾錢

△歷史及歷史教育　中村久四郎著　　新大15布壹圓八〇錢

新奇と過去の歷史　人の古さ
現在理解には過去の理解を要す　孔子と老子
新らしい來國の理解にも過去遠方の歷史的說明を要す　人類發展進歩の二大方面
我國敬神崇祖の美風と歷史人の人たる所は過去の歷史經驗を忘れざるにあり　歷史學の研究と歷史觀念及び史籍體裁の變遷
人壽の完全な解答　歷史學の研究と歷史學の學問的性質の研究
人類と個人　「史上の花に淵落なし」との唐詩
歷史なき合衆國　歷史の史的解釋
過去現在未來の三世と歷史　歷史の普遍性と特殊性
現在文明は過去祖先の遺産なり　歷史學者と歷史
温故知新及古代西洋三大歷史家　地質學者及び動物學者と歷史
御製御歌と歷史　歷史敎育の效用及び目的
明治神宮寶物殿拜觀謹錄　外國歷史敎育の意義
明治大帝の歷史御修養　歷史科と修身科並に現代普通敎育の歷史敎授
現在と過去の歷史　研究と應用との注意
西洋史學史一斑
歷史別論
バーンス氏史論

史論史說

□濬泊史論　安積覺(濬泊)著揃三弘化3和壹圓五〇錢

△國史叢說　八代國治著　　新大14布五　圓

誤られた淳和院　蒙古襲來に就ての研究
鎌倉幕府高麗征伐の再擧に就て
筥崎宮の敵國降伏の宸翰に就て
弘安の御祈願に就て
北條時頼の廻國說を論ず
正平七年の男山八幡戰爭

楠木正儀　天皇と神社の祭神に就て
兒島高德　天皇と神社の祭神
諏訪神宮の研究　勤王志士と神祇思想　明36布拾　貳圓

△國史論纂　國學院編

國史の精神　關根
建國の聖詔　小中村
日本歷史時代分割論　有賀
歷史紀年法　三上
日本上世の政體、日本の土地及人民に對する帝權沿革　兵史一班
武烈天皇御紀を讀む　武士道
皇族相門の盛衰を圖る　近世武家の儀從
三將軍皇室の再興を圖る　小宮山
古來政府考　有賀
政治沿革、阿衡如末　落合
門閥政治　内藤
后宮表　萩野
詔書勅書の區別　佐藤
答門五則　内藤
山陵修復の嚆矢　萩野
異稱日本考　内藤
源平藤橘　内藤
鎌倉史談　有賀
南山雜考　井上
豐德川講和始末、渉人集　大阪

大佛の鐘銘　丸山
關原役前後の五疑、豐臣興廢、德川時代武家皇室に對する戰論、德川時代の大綱　内藤
德川氏政治の大略　内藤
東照宮の雄才大畧、德川氏の宗統六紹　内藤
將軍御内書　小宮山
寬永三度上洛、德川氏貨幣の變遷　内藤

幕府老中の招請、近代の紙幣、稱正及九六錢の事、儀冠の始末　小宮山
來聘朝鮮通聘始末、明朝請援始末　關根
刀狩の事　小宮山
近代朝鮮通聘始末、明朝請援始末　關根

易に供せし水產物、江戸幕府時代の海運　横井　栗田

△史說話　重田定一著　　大5布四圓五〇錢

穗赤義士と淺野阿部二侯　祇園會の山鉾
帝陵私記　春海の書翰
鳥羽の齋瓶　柴秘村の書狀
國栖の古風　茅野三絕
國分寺の廢址　河野鐵兒
正倉院の檳榔毛車の檳榔　松陰の遺墨
備後國大田庄平泉　明治の新政
鐵祭　新聞の切拔
嘉祺の古文書　藤公餘影を讀む
高麗の舊都の緣切寺　特別觀艦式とサラトガ
鎌倉の源氏と村正の刀　虎をとこ
德川家と村正の刀　修正歷史敎科書に就て
史神として水戸義公　廣島藩の社倉法
義公の西山莊　頼杏坪の家度婦人
廣島の新開地　木村謙
甘藷を食べる人々に　農人形
社倉法に就て　京都の宮闕
岡田寒泉　東京の名園
士佐の五臺山　マゼリエール著　佛文裏表紙欠貳　圓

□日本史論　Mazelière—Essai ur L'histoiredu Japon, 1899.

△史話と文話　萩野由之著　　大7布貳圓五〇錢

史談及逸話

△史談會遠記錄　史談會　明29年創刊一輯より三〇輯揃　散賣參拾錢　〇〇〇〇

△古今史譚　小倉秀貫著　池田晃淵著　明29布參　圓

△古今名譽實錄　春陽堂刊　自一至四卷　明26散賣八　拾錢

第一卷

大川友右衛門　法華文助
前田清繼　岡野十兵衛
奥平源八　高田屋嘉兵衛
根岸鎭衛　大石眞虎
後藤又兵衛　翌翌御前
上總市兵衛
天野定謙　杉田壹岐

第二卷

山田長政　中山愛親
松木莊左衛門　佐々木累
神谷轉　荒木又右衛門
渡邊數馬　近江虎徹
松前五郎兵衛　三宅康盛
石河政方　太田千江
澁田彌兵衛　蘆田勘助

第三卷

小野川喜三郎　源慶正常

鳩坂七兵衛　左甚五郎　宮本武藏　金忠輔
定西法師　松田お察　誠阿法師　新永新次郎
北條泰時　幡隨院長兵衛　深井志道軒
曲垣盛澄　山城屋和助　伊勢屋お芳
戶谷新右衛門　荻田主馬　德川吉宗　本間孫四郎
支倉常長　馬場三郎兵衛　文珠九助　高橋作左衛門
山中鹿之助　堀川美代
伊達宗重

□日本名家史論抄　清田嘿編　明135　六拾錢
□史論及史傳　高山樗牛著　樗牛全集　三明1011和壹圓五拾錢　大壹圓七拾錢

△辨海　妄評　史論　重野安繹外著　明21貳　拾錢
△談海　東京日々新聞附錄　壹圓

○老談一言記　慶長十年より天明二年に亘る幕府治世間の公私逸事の史記　朝倉景衡聞集　寫本　八圓

織田信長の爪をとりて森蘭丸に拾はしめたる話をはじめ、元祿前後までの將士雜話を簡單に聞書したるものなり

△講史資料古老遺筆　明29　貳圓五拾錢
○雨夜燈　湯淺元祉著　寫本　八拾錢

古名士の逸話等を蒐め殊勝なる事實を述べ或は之を品評す

□興國史談　內田鑑三著　明42　壹圓五拾錢
□建國史　新戶渡稻造著　大7　布壹圓五拾錢

□實々事譚　松村巽著　合本二明16　壹圓八拾錢
□茶話讀賣新聞社編　大7　七拾錢

隨筆（歷史）

○時文摘紕　村田春海著　文政8寫五　圓

時文の誤謬・稱呼の濫觴を指摘したるものなり

○雨窓閑話　河田廉浦撰　三嘉永4和四圓五〇錢

古今の雜話を集めたる隨筆にして信長吝嗇之事秀吉奧方の素性本多風髭一里塚始等千餘條あり每條の終には勸戒の言を附記す

○窓のすさみ　佐美享保九年寫本　貳圓五〇錢

思ひ觸るる所凡て古今の史談・世事奇聞・異國風話・明君武將談其他何事に論なく書き留めたるもの

○世事百談　山崎美成著　揃四天保14和七　圓

卷頭に「過ぎし頃徒然の寸さみに筆に任せて記したることぐさのつもりたるを……」云々と自記し凡て百三十餘條を說く

○老のくりこと　成島邦之烝寫　天保12　壹圓
△隨聞集　中島庄三郎寫　嘉永2　壹圓貳拾錢

△史談　寫本　明24頃　六圓

重野博士の史談　石崎謙
大野辨吉の事蹟　八咫烏說
小町考　後圓融院の御事
遊女の話　曇氣樓主人　荻野由之
日本歷史時代分劃論　黑川眞頼　龜山節宇
有賀長雄　精神なき考證は無益也
其他多くの史論隨筆を輯錄す

□瀨田問答　太田蜀山編（蜀山問瀨田貞雄答）假綴四頁　明41　壹圓五拾錢
△百家論集　歷史地理特輯

△書庫日涉　野々村戒三逃早大四二〇頁　貳圓八〇錢

△夏山雜談　秋山色樹（小野高尙）著　寫本　參　圓

著者の雜談を後世備忘の爲めにとて或人の輯錄したるもの

○古今雜談集　尾蕃渭通著　揃二文政13和參圓五〇錢

觀露齋識

怨讐之事　一向宗之事
與力增上緣之事　天平之帝大佛建立神慮等之事附
怨念之事　神佛靈驗之事
古今是非相違之事附武王紂王を誅するの辨　明惠上人あるべきやうはの七文字之事附神佛心信之事
因果歷然之事

△古老雜話　神原家藏印　寫本三　五圓

上總助廣忠源家へ關する事より浮田秀家の娘狐付の事に至る凡て二百二十七項、諸家の逸話諸將の武邊噺將軍の治績言行等を揭げたるものなり

△珍書隨筆　未開年代の傳說、內外の奇事異聞を廣く輯錄せるもの　寫本四　圓

史籍類輯

△史籍雜纂　國書刊行會　散賣貳圓五拾錢

第一卷　五明45布拾　貳圓

關東往還記（弘長）竹むきが記（貞和）
宗法問答（慶長）貞安問答（慶長）
品川問答記（寬永）冷泉族譜（延寶）

大村記（文治）　大村家秘錄　散賣　壹圓五拾錢
應仁私記　加越闘爭記　六拾
房總里見誌　日向記（永錄）　貳圓

第二卷　駿府記（慶元）　松のさかへ　寫本　八圓

當代記（天慶）　駿府記（慶元）
有斐錄（寬延）　松のさかへ

第三卷　大系圖評判遮中抄　永春部　重本　五圓
諸由緒　家傳史料　近藤守重　壹圓
地頭名義考　於多滿幾（弘化）　近藤守重　壹圓
關城書考（文政）

○史料大觀　高頭忠造編　哲學書院版　散賣四圓五拾錢

第四卷　紹述編年（文慶）世子奉勅東下記　四明31ゟ33拾八圓
丁卯日記（慶應）戊申日記（慶應）　記錄部合記抄
水戶藩黨爭始末

第五卷　靜寬院宮日誌　嵯峨寶愛手記
籬の波（天保）　不慍錄（天保）
會津藩女書　有村家文書
隱山春秋（文久）歸南日記（文久）
海西雜記（慶應）行行筆記（慶應）
指華入京日載（慶應）

第四卷　記錄部合記別記　第三冊
記錄部字槻記抄　第四冊

記錄部合記別記　扶桑名畫傳
第二冊

記錄部槻記

△史料通覽　笹川種郎編　日本史籍保存會版　一八大4ゟ7　四拾圓

小右記1 2　水左記111　勘仲記15　散賣貳
左經記3　帥記1111　兵範記1715
中右記4—10　山槻記121—14　1816

△我自刊我書　甫喜山景雄編　二二〇明13ゟ17和〇〇〇〇　圓

正續三王外記　天野信景
鹽尻　色音論（東めぐり）
江戶名園記　吉野眞保
嘉永明治年間錄　諸國盆踊唱歌
川角太閤記　史料目錄
鎌倉大草紙脫漏足利持氏滅亡記　續日本史
嬉遊笑覽　喜多村信節　德川氏御實記附錄
昨日今日能物語　二老略傳
清正朝鮮記　皇都午睡　西澤李叟
慶長年中卜齋記　板坂卜齋　信長公記
雞林拾葉　羽倉考
兼好法師物見車　武江年表　松隱の日記52
古今要覽稿　文恭公實錄　醒醒所遺筆53
碁盤太平記　近松門左衛門　道の幸54
近松門左衛門　屠龍工隨筆55
屋代弘賢　小栗百萬

△雜史集　續國民文庫　大1　貳圓

聚樂物語　塵塚物語　在採叢書總目1—6
大阪物語　老人雜話　續東大寺正倉院文書7
三河物語　慶長見聞集　新抄格勅符抄8　散賣五
逸傳六種9—1811　圓
曾我物語12—1819

○近世史料編纂綱例　大久保忠敎　史談會自天保三年至明治四年　二明37　拾圓

編史材料收集の便に供せん爲史料の沿革情況を精研査覈して機密の文書を包羅採錄し事實を詳悉明確ならしめたるもの

帝王編年記20—2625　江村專齋
戴恩記　本紀考24—30　三浦淨心
皇居年表31—262
國造
和名抄諸國部郷考43
附注45
46
44
御本日記附錄47
御寫本諸家附慶長勅版考48—51
松永貞德
栗田寬

古文書

△大日本古文書　東京帝大編　揃七四　明37ゟ大15　布參百五拾圓

編年文書之部　第1—15冊　散賣五　圓

第一—六冊　第七—一五冊

編年文書　自大寶二至寶龜一一　編年文書追加　自和銅二至天平寶字六
家わけ文書之部　第1—37冊　伊達家文書10—19
高野山文書1—8　毛利家文書20—231
淺野家文書9

小早川家文書24
東寺文書25
石清水文書226－31
相良家文書3226－33
幕末外國關係文書之部
第一－一八冊
幕末外國關係文書（自嘉永六、六至安政四、一二）
第一九冊
幕末外國關係文書附錄
露西亞應接掛古賀謹一郎增西使日記二百21
露西亞應接掛川路左衞門尉聖謨日記百95
露西亞應接掛附津山藩士箕作阮甫度縞西征記行百15

○史徵墨寶　內閣史料編纂掛　大形美本　考證共揃七和四拾圓

○史徵墨寶考證　內閣修史局藏版美本揃四明30和參圓

△徵古文書　星野恒著　揃二洋裝參拾圓

△古文書類纂　星野恒著　洋裝拾圓

△古文書學講義　久米邦武著　早大講義　洋裝拾參圓

△列聖全集　列聖全集編纂會編　揃二五大4ノ6　散賣貳圓五拾錢　六拾圓

觀心寺文書34
金剛寺文書35－37
吉川家文書
幕末外國關係文書之部
第1－22冊
亞米利加應接掛林大學頭等墨夷應接錄68
亞米利加應接掛町奉行支配組與力浦賀御用日記39
米國使節隨行清國人羅森日本日記16
第二〇－二二冊
村垣淡路守公務日記九百78
嘉永安政文書拔萃百15
水野忠德雜錄26

御製詩集
御撰文集
御連歌合集
後土御門天皇十二字鎭
後水尾天皇源氏卷次第文字鎭

聖武天皇御製
皇后安宿媛御歌
考謙天皇御製
淳仁天皇御製
恒武天皇御製
平城天皇御製
皇嵯峨天皇御製
皇后橘嘉智子御歌
仁明天皇御製
陽成天皇御製
光孝天皇御製
宇多天皇御製
中宮溫子御歌
醍醐天皇御製
朱雀天皇御製
村上天皇御製
中宮安子御製
冷泉天皇御製
皇后昌子內親王御製
圓融天皇御製
皇后遵子御製
中宮媓子御製
皇后定子御製
中宮彰子御製
三條天皇御製
中宮妍子御製
皇后娍子御製
後一條天皇御製
花山天皇御製
中宮嫄子御製
後朱雀天皇御製
後冷泉天皇御製
後三條天皇御製
中宮寬子御歌
中宮章子內親王御歌
後白河天皇御製
堀河天皇御製
鳥羽天皇御製

御製集第二卷
崇德天皇御製
久安御百首
中宮聖子御歌
近衛天皇御製
皇后呈子御歌
皇后多子御歌
後白河天皇御製
二條天皇御製
高倉天皇御製
中宮德子御歌
後鳥羽院御集拾遺
後鳥羽天皇御製
遠島御百首
正治御百首
建保御百首
土御門院御集
土御門院御百首
土御門院御集拾遺

御製集第三卷
伏見院御集
伏見院御百首
伏見院御集拾遺
伏見院御集
伏見院御百首
伏見院御詠草
伏見院御集拾遺
後伏見院御製集
後伏見院御詠草百首
後伏見院御集拾遺
後二條院御集愚藻
後二條院御百首
後二條院御集拾遺
花園院御集
花園院御集拾遺
花園院御製詩集
花園院御詠百首（永享御百首）
花園院御詠五十首和歌
花園天皇御集拾遺

御製集第四卷
後醍醐天皇御製
後醍醐天皇御製拾遺
後醍醐天皇御詠
後醍醐天皇御集
後醍醐天皇御百首
後醍醐天皇御百首和歌
後醍醐天皇御百首和歌集（上中下）
後醍醐天皇御百首和歌
後醍醐天皇御集拾遺
後醍醐天皇御製
後村上天皇御製

御製集第五卷
後土御門院御製紅塵灰集
後土御門院御百首（內侍所御法樂）
後土御門院五十首和歌（明應八年）
後土御門院御集拾遺
後柏原天皇柏玉和歌集（第一－八卷）

御製集第六卷
後柏原院御百首部類
後柏原院御詠百首和歌
後柏原院御集拾遺
後奈良院御製集

後奈良院御百首
後奈良院御製集拾遺
正親町天皇御製
正親町院御百首

御製集第七卷
後陽成院御製詠五十首
後陽成院一夜百首
後陽成院五日百首
後陽成院御著到百首
後陽成院御集拾遺
後水尾院御百首（正月）
後水尾院御著到百首
後水尾院御集（上下）
後水尾院五十首和歌（延寶五年）

御製集第八卷
後水尾院御集拾遺
後光明天皇御製
後西院天皇水日集

御製集第九卷
靈元院御集（卷一－卷四）

御製集第一〇卷
靈元院御集（卷五－卷七）
靈元天皇御幼時御製

御製集第一一卷
仙洞御百首（中院通茂公點）
靈元天皇名所百首（享保十七年）
靈元天皇法華經二十八品和歌
靈元院御集拾遺
東山天皇御製
中御門天皇御製
櫻町院御集
櫻町天皇坊中御會和歌（享保十四－同二十年）
櫻町天皇御百首和歌
櫻町天皇御著到百首（寬保三年）
櫻町院御集拾遺
桃園天皇御製（寬延元年－寶曆十二年）

後鳥羽天皇遠島御抄
後陽成天皇百人一首抄
伊勢物語愚案抄　乾坤
附伊勢物語系圖
後水尾天皇伏屋塵
古歌御註

御撰集第四卷
後陽成天皇詠歌之大概後注
後水尾天皇伊勢物語御抄
後陽成天皇方輿勝覽集
追加
後水尾院御撰千首和歌

御撰集第五卷
後水尾天皇未來記雨中吟御抄
後水尾天皇詠歌大概御抄　上卷
靈元天皇作例初學考　下卷
靈元天皇作例初學考
仙洞御添削百首
仙洞御添削聞書

御撰集第六卷
宸翰集
寬平御遺誡
花園院御製法華品釋
世俗淺深祕抄　上卷
世俗淺深祕抄　下卷
禁祕御抄
建武年中行事（上中下）
當時年中行事（上下）
後陽成院御うぶや以下の次第
後陽成院女御の位次の事
後水尾院和歌作法
後水尾院玉露叢
後水尾院三十六首花歌仙
後水尾院西勅撰集
後水尾院勅撰外歌仙
後水尾院勅撰廿一代集勅撰の略

後奈良院御製集
後奈良院御詠何曾

御製集第一卷
神詠御集
須佐之男命御詠
大國主神御詠
沼河日賣命御詠
大國主神御詠
下照姬命御詠
須勢理毘賣命御詠
天津彥火瓊瓊杵尊御詠
天津彥火出見尊御詠
豐玉姬命御詠
皇御製
神武天皇御製
崇神天皇御製
景行天皇御製
神功皇后御製
應神天皇御製
仁德天皇御製
履仲天皇御製
允恭天皇御製
安康天皇御製
雄略天皇御製
顯宗天皇御製
武烈天皇御製
繼體天皇御製
安閑天皇御製
宣化天皇御製
欽明天皇御製
敏達天皇御製
用明天皇御製
崇峻天皇御製
推古天皇御製
舒明天皇御製
孝德天皇御製
齊明天皇御製
天智天皇御製
天武天皇御製
持統天皇御製
文武天皇御製
元明天皇御製
元正天皇御製
聖武天皇御製
后安宿媛御歌
中宮聖武天皇御製
近衛天皇御製
皇后呈子御製
皇后多子御歌
後白河天皇御製
二條天皇御製
高倉天皇御製
中宮德子御歌
後鳥羽院御集拾遺
後鳥羽天皇御製
遠島御百首
正治御百首
建保御百首
土御門院御集
土御門院御百首
土御門院御集拾遺

御製集第二卷
順德院御集
順德院御百首
順德院御集拾遺
後堀河天皇御製
後嵯峨天皇御製
後嵯峨天皇寶治御百首
後深草天皇御製
龜山天皇嘉元仙洞御百首
龜山院御集
龜山院御集拾遺
後宇多天皇御製
後宇多天皇嘉元仙洞御百首
皇后鈴子內親王御歌

御製集第三卷
伏見院御集
伏見院御百首
伏見院御詠草
伏見院御集
伏見院御集拾遺
中宮鏱子御歌

桃園天皇御著到百首（寶曆十一年三月—同六月）
御製集第一一卷
後櫻町天皇御製
後桃園天皇御製
光格天皇御製集
光格天皇御集拾遺
光格天皇中宮欣子內親王御歌
御製集第一二卷
仁孝天皇御製
孝明天皇御製
明治天皇御製
昭憲皇太后御歌
宸記集上卷
御記鈔
宇多天皇御記
醍醐天皇御記
村上天皇御記
一條天皇御記
後朱雀天皇御記
後三條天皇御記
後鳥羽院宸記
順德院御記
後深草天皇御記
後宇多院御記
後伏見院御記
後小松院宸記
宸記集下卷
花園天皇宸記
詔勅集上卷
天照大御神
神武天皇—淳和天皇
詔勅集中卷
仁明天皇—後嵯峨天皇
詔勅集下卷
龜山天皇—明治天皇

△古典保存會複製書 同會 一〇大12・6・14 拾八圓 和田英松

皇室御撰謄題
日本國見在書目錄
將門記（國寶）
法曹類林零卷
大鏡零本
方丈記
水言鈔零本

△續々群書類從記錄部 國書刊行會卷五 明44 布壹圓五〇錢
三代御記
貞信公記
九曆
平記
吉田爲經卿記
後稻荷院關白
冬平公記
屋遠記
字治關白高野山御參詣記
北面假名記
齊藤基恒日記
法花堂要錄
繼芥記
東大寺繪所日記
惟房公記
天正日記
親綱卿記
九州下向記

日記

○日記繰出地 文政13・6・文久3 寫本五 圓
文政庚寅より文久癸亥に亘る諸川災害・道路破壞修繕人夫・風害大火事件繰出其他諸願等の明細日記
△親元日記 文化大學史誌叢書 揃七 和裝八 圓
△親俊日記 文化大學史誌叢書 揃三 和裝四 圓
△晴豐記 文化大學史誌叢書 揃三 和裝四 圓
△勤王事跡都日記 有馬新七著（幕末自己經歷記）明36 壹圓五拾錢
△晴右記 文化大學史誌叢書 和裝壹圓五拾錢
△大館常興日記 文化大學史誌叢書 揃六 和裝七 圓
△相馬日記 高田與清著 揃四 和裝參圓五〇錢
△鹿島日記 高田與清著 和裝參圓八〇錢
△觀修寺經理日記 日本史籍協會 洋裝參 圓

聞書

△聞書 寫本 貳圓五〇錢
與市壇浦扇的騎射之事・德川中葉前に於ける弓馬故實戰爭武略政治等に關する雜事・南部藩謀叛・上杉家道樣式等の留書

傳說

□日本傳說叢書 藤澤衛彥著 揃一三 大6・8 貳拾五 圓
北武藏の卷 大6
上總の卷 大6
信濃の卷 大6
和泉の卷 大6
佐渡の卷 大7
伊豆の卷 大7
明石の卷 大7
播磨の卷 大7
安房の卷 大8
下總の卷 大8
讃岐の卷 大8
伊賀の卷 大8

□日本傳說研究 藤澤衛彥著 卷一・二 二大14 布四 圓

○日本歷史參考圖 安西鼎編 明25 和七 圓
肖像類・風俗圖類・宮室圖類・調度圖類に大別す
◎珍奇集 平野恒太郎著 橫二大10 布拾 圓
我邦古來傳來の珍奇な趣味ある物の蒐集にして人情風俗に關係あるもの舊時代の社會制度を形容以て顯はし居るもの偉人志士の言行遺墨等百般に亘りて蒐集せるものなり
△增訂日本歷史參照圖表 磯田和田 中澤編 明44 壹 圓

日本讀史參考地圖

○本朝沿革圖說 寢寫彩色 九寸・七尺八 折本 貳 圓
○本朝徵古沿革圖說 檜山義愼編 折本揃二 文政10 和六 圓
□日本中古武家沿革圖考 玉香堂著 折本 和壹圓五拾錢
△日本國史地圖 原秀四郎著 明38 布壹圓七拾錢
×訂正本邦歷史一覽圖 三屋大五郎編 明25 壹 圓
△日本歷史地圖 藤田明著 中學初級用 大3 四拾 錢

讀史錄

○讀史雜詠 青山季卿著 二慶應1 和五 圓
國寶 日本志參考地圖 日本讀史參考地圖 讀史錄

□神秘の山高野之傳說 水原堯榮著 大15 布壹圓 貳拾錢
△土のいろ（遠州土俗傳說） 飯尾哲齋編 鐵版雜誌四 大15 貳 圓
□我が鄉土の史蹟と傳說 澁谷吾往齋編 二大15 布參圓八〇錢

國寶

□特建國寶目錄 黑板勝美編 新昭2 布參圓五〇錢
▲日本國寶巡禮 木村小舟著 大11 布參 圓

日本志參考圖

○日本歷史參考圖 安西鼎編 明25 和七 圓
肖像類・風俗圖類・宮室圖類・調度圖類に大別す
◎珍奇集 平野恒太郎著 橫二大10 布拾 圓
我邦古來傳來の珍奇な趣味ある物の蒐集にして人情風俗に關係あるもの舊時代の社會制度を形容以て顯はし居るもの偉人志士の言行遺墨等百般に亘りて蒐集せるものなり
△增訂日本歷史參照圖表 磯田和田 中澤編 明44 壹 圓

日本讀史參考地圖

○本朝沿革圖說 寢寫彩色 九寸・七尺八 折本 貳 圓
○本朝徵古沿革圖說 檜山義愼編 折本揃二 文政10 和六 圓
□日本中古武家沿革圖考 玉香堂著 折本 和壹圓五拾錢
△日本國史地圖 原秀四郎著 明38 布壹圓七拾錢
×訂正本邦歷史一覽圖 三屋大五郎編 明25 壹 圓
△日本歷史地圖 藤田明著 中學初級用 大3 四拾 錢

讀史錄

○讀史雜詠 青山季卿著 二慶應1 和五 圓
國寶 日本志參考地圖 日本讀史參考地圖 讀史錄

○飜刻讀史餘論 唐桂巖枝註 文政8 和壹 圓
△讀史餘論 新井君美著 六明26 和壹圓五拾錢

△讀史餘論 自石著今泉定介校 二嘉永6 明36 布壹圓 貳拾錢
○讀史餘議 齋藤竹堂著 和壹圓 參拾錢

△日本讀史論集 矢野滄浪著 大5 八拾 錢
□讀史論集 山路愛山著 明34 壹 圓

日本民族史

□大和民族考 福井永賴著 明43 壹 圓
△日本古代民族制度 太田亮著 大6 五圓五拾錢
△大日本民族史 伊藤銀月著 大2 布參 圓

○日本民族史 ヴリンクリー著 英文 革拾壹 圓
F. Brinkley—A History of the Japanese people (Historian's History of the World)

□日本民族志 中山太郎著 大10 壹圓 五拾錢
新大15 10 布貳圓 參拾錢

△日本先住民族史 藤原相之助編 大5 布六圓五〇錢
先住民族とは何ぞ3 平泉の夷族藤原氏百 日本人に關する一說7
日本の異人種65 異人種28 異種族の言語19
異人種の征服二百32 異人種の同化 日夷同語の實例41
衣河の夷族阿部氏と奥羽の植民史1830 日夷語と日本の地名
出羽の狹族清原氏70 異人種同化經過46 蝦夷語と日本の地名 百46
△日本民族史の研究 津田敬武著 大11 布參圓二〇錢

△日本民族の將來 田中寬一著 新大15 布貳圓 參拾錢
△日鮮滿民族史 民族と歷史特輯 大10 壹圓 貳拾錢

△日本民族性概論 佐藤正著 大10 布參 圓

□大和民族の使命 衣斐釰吉編 大7 壹 圓
△日本民族之信念 箕克彥述 大5 貳 圓

△人口及人種　喜田貞吉　歴地　明12　貳圓貳拾錢
△明治時代と日本版圖内の人種　坪井九馬三　地球大9　五拾錢
△古代に於ける武士名稱と共民族的研究　喜多史林　大6　壹圓拾錢
△歴史上より見たる上代日本海沿岸の人民移住　内田銀藏　歴地　明18　壹圓九拾錢
△考古學上より見たる九州の古代民族　濱田耕作　史雜大10　五拾錢
□遺跡遺物より親たる日本先住民の研究　大野雲外（延太郎）著　新大15　布壹圓五拾錢
◎法律上に於ける日本人種　澤田俊三　新聞三明40　六拾錢
△國柄の名義　喜田貞吉　史林　大8　壹圓
△隼人志　齋藤美澄　學志　明17　壹圓七六錢
△日本四大民族占據地の沿革　久米邦武　歴地　明27　壹圓七六錢
△日本人種論並民賤の別　横山由清　學志　明5　貳圓貳四錢
△南洋と日本民族　鶴見祐輔　織協　大5　七拾貳錢
△日本民族の將來　井上哲次郎　雄辯　大6　八拾八錢
○日本民族の將來　瀧川龜太郎　日人　大12　參拾錢
△古代に於ける日本民族　大野雲外　歴地　大9　五拾錢
△脅威されつゝある日本民族　下村宏　外時　大10　五拾錢
△人類學上より見た日本人の民族性の一つ　鳥居解放　大10　參拾錢
○日本民族の現實問題　阪東鋼本　日人　大12　參拾錢
△祖先民族の來住　佳田正一　海研　大14　五拾錢
△一支那人の觀たる日本民族の特性　黒田義信　東洋大14　五拾錢

穢多賤民誌

△穢多彈左工門由緒芝居由緒　横川主人寫　安政3　六圓

□特殊部落史　高橋貞樹著　大13　壹圓五拾錢
△特殊部落研究號　民族と歴史增刊　大8　貳圓
△古代賤民考　三浦周行　史雜　明31　壹圓五拾錢
△賤民考　小中村義象　史雜　明25　壹圓六貳錢
△つるそめ（犬神人）考　喜田貞吉　社史　大12　壹圓八拾錢
△餘戸考（穢多の起源）　小林庄次郎　歴地　三大12　壹圓九拾錢

奴隷志

△日本奴隷史　阿部弘藏著　大15　布壹圓七錢

△本邦古代の奴隷に就て　瀧川政次郎　我等　大11　五拾錢
△官戸奴婢の待遇　瀧川政次郎　我等　大11　五拾錢
△古邦古代に於ける奴隷虐待の風習及法規　瀧川我等　大11　五拾錢
△本邦古代奴隷解放に就て　瀧川政次郎我等二大12　壹圓
△本邦古代奴隷の人口と其分布　瀧川政次郎我等　大12　五拾錢
△本邦古代奴隷の用途に就て　瀧川政次郎我等　大13　五拾錢

△歴史上の所謂部落民　喜田貞吉　解放　大11　參拾錢
△穢多非人の由來　久米邦武　史雜　明23　壹圓九拾錢
△穢多非人の數　瀧川政次郎　史雜二大13　壹圓
△穢多非人の由來　中村不能齋　學志　明18　壹圓七貳錢
△特種民構成の三大要素　喜田貞吉　民歴　大6　七拾貳錢
△中古賤民の等級に就て　瀧川政次郎　史雜二大13　壹圓
△穢多非人の數　江戸　明23　參圓八拾錢
△大宅可是麿の賃賤に就て　武田祐吉　國院大12　五拾錢
△穢多頭彈左衛門の生計　幸田成友　中史　大5　六拾錢
△特種部落民の階級　高田十郎　民歴　大4　七拾八錢
△穢多非人の稱號廢止に就て　尾佐竹猛　新舊三　大14　壹圓五拾錢
△牛捨場馬捨場　喜田貞吉　歴地　明5　貳圓貳四錢
△特殊部落改善問題　喜田貞吉　財經　大9　四拾五錢
△奈良縣下に於ける特殊部落民の改善の方針　小原國家　明43　九拾錢
△特殊部落發生史　芳賀榮造　社政　大10　六拾錢

△特殊部落に就て　畑道雄　日社　揃二大10　四圓

△所謂特殊部落の種類　柳田國男　國家大2　七拾五錢
△賤民名稱考　新村出　經叢　大6　五拾五錢
△一特殊部落の社會相　淺野研眞　法政　大10　五拾錢
△特殊部落問題　神戸正雄　時經　大12　貳拾五錢

△品部雜考　川上多助　民歴　大5　七拾貳錢
△驅使部と土使部　喜田貞吉　民歴　大4　七拾八錢
△土師氏と土師部人考　喜田貞吉　民歴　三大9　壹圓八拾錢
△間人考　喜田貞吉　歴地　三大10　壹圓參五錢

日本考古學

△考古界　考古學會明36創刊・月一　散賣五拾錢　一號ヶ八年間揃　〇〇〇〇〇
△考古精説　八木奘三郎著　洋裝　五圓
△考古學研究法　八木奘三郎著　洋裝　六圓
△考古便覽　八木奘三郎著　洋裝　七圓
△考古學雜誌　考古學會明43創刊・月一　散賣五拾錢　一號ヶ九年間揃　〇〇〇〇〇
□有史以前乃日本　鳥居龍藏著　大7布參圓
◎先史考古圖譜　大野延太郎著　明37布拾圓
○日本石器時代圖譜　神田孝平著　英文　貳圓
T. Kanda—Notes on Ancient stone Implements, & c, of Japan. 1881
□上代の東京と其周圍　鳥居龍藏著　新昭2布貳圓五拾錢
□武相考古　石野瑛著　新大15　壹圓五拾錢
○豊後磨崖石佛の研究　濱田耕作述　京大考古學大13　拾圓
△日本考古學　八木奘三郎著　明31　參圓五〇錢
△日本考古學　モンロー氏著　英文　貳拾圓

姓名考

□姓氏家系辭書　太田亮著　厚册　大9　革拾圓
△姓氏明鑑　姓氏研究會　大1　布六圓五〇錢
○訂正新撰姓氏錄　源沼彦藤長年校正　四文化4　和五圓
△新撰姓氏錄考證　栗田寬著　揃三洋裝　拾八圓
○増補本朝姓氏類纂　丸山混齋輯　栗田寬寫　慶應3　四圓
△姓名學大觀　佐々木泰幹著　大13　布六拾錢
○人名考准后准三后考　新井君美著　甘雨亭叢書　和七　拾錢
△日本古代氏族制度　太田亮著　大6　布五圓五〇錢
□氏族考　近藤瓶城著　揃二和裝　壹圓貳拾錢
△姓氏雜考　太田亮　歴地　明34　壹圓貳貳錢
△御子代御名代考　小中村清矩　史雜　明23　壹圓九拾錢
△御名代考　喜田貞吉　歴地　明13　貳圓拾六錢

△奴隷の反抗と我が古代法　瀧川政次郎　我等　大11　五拾錢
△奴婢逃亡に關する律令の法制　瀧川政次郎　法協二大11　壹圓
△本邦古代に於ける犯罪奴隷　瀧川政次郎志林　大11　五拾錢
△家人奴婢の犯罪及之に科せられたる刑罰　瀧川志林　大12　五拾錢
△律令の土地制度並租稅制度と家人奴婢との關係に就て　瀧川政次郎　法協三大14　壹圓五〇錢
△近世まで保存せられた家人奴婢の制度　喜田民歴　大5　七拾貳錢
△天平時代に於ける奴隷の價格に就て　瀧川政次郎　思想二大13　壹圓
△奴婢を和買すると云事に就て　瀧川政次郎　歴地　大6　五拾錢
△東大寺の奴婢の事に就て　赤堀又次郎　歴地　大6　五拾錢

□通論考古學　濱田耕作著　新大15布參圓五拾錢
□土俗私考　中山太郎著　新大15壹圓參拾錢

古蹟及史蹟

△古蹟　古蹟取調會　明35創然刊36廢　寶散四　拾錢　一號ゟ二年間揃　〇〇〇〇

□古代日本遺物遺蹟の研究　大野雲外著　新大14布貳圓三〇錢

上野三碑調査報告　黒板勝美　田澤金吾　史蹟報告第一大15六　圓
〇山ノ上古蹟　日光並木街道附並木寄進碑宮地直一

△甲斐古蹟考　須田太十著　洋裝壹圓五拾錢
△平將門故蹟考　織田完三著　洋裝八拾錢
△眞田之古蹟　井村米太郎著　大3八拾錢
△日本名勝史蹟　伊藤銀月著　二明44壹圓五拾錢

△日本史蹟　熊田宗次郎著　三明41布八　圓

△補日本史蹟　熊田葦城著　二大9布貳圓二〇錢
△史談史蹟國史の華　物集高量著　大6布貳圓五拾錢
□多摩の御陵を繞る史蹟　内務省地理課　新昭2布壹圓五拾錢
〇平城宮阯調査報告　上田三平述　史蹟調査報告第二大15四　圓

城

□城の歴史　小川煙村著　明43　壹圓八〇錢
□城廓の研究　大類伸著　歴史講座　大正圓五拾錢
△越後流牙城百圖　山脇正準著　原尚剛校　寫本　布貳圓五拾錢
〇主圖合結記　南海道之部　山縣大貳著　彩色寫本四　圓
　畿内東海道之部　山縣大貳著　彩色繪本四　圓
　二條・淀・郡山・高取・河内・岸和田・大阪・高槻・尼崎・上野・桑名・津・龜山・烏羽の各居城を收錄す
〇主圖合結記　山陰道山陽道之部　山縣大貳著　彩色繪本四　圓
　福知山・筥山・龜山・田邊・宮津・出石・鳥取・伯耆・松江・津和野・濱田・隱岐・姫路・立野・明石・赤穗・津山・岡山・松山・福島・廣島・德山・萩・府中の各居城を收む　圖無し寫本　五　圓
△主圖合結記　山縣大貳著　彩色寫寫　三尺七寸三尺　寫本　和參　圓
×公義御城繪圖　請取渡書　壹圓五拾錢
〇城壘受取・敬白起請文前書之事・掟・開城等の故事

古墳

△下總國小御門村の公家塚　幽々子述　歴史地理　明33五　拾錢
△宮崎縣古墳臺帳　宮崎縣内務部　大7壹　圓
〇金鎧山古墳の研究　森本六爾著　大15貳　圓

墳墓

〇稱名墓志　本多親孚編　川上親憲寫　朱入帙入揃四天保12參拾　圓
　薩藩名家の墓所を捜訪博採して各人の經歴事蹟の略傳法號等を記述したるもの
△浪花墓誌　渡邊霞亭藏印　寫本　五　圓
　元文三年より元治元年に亘る有名死者の略傳墓所死亡月等の記
□名家墳墓及略傳　片岡橘坪編　霞亭文庫藏印　寫本二　參拾　圓
　東京市内及近郊に於ける今古有名人物百有餘の略傳事蹟
△關八州名墓誌　時山彌八著　新大12布六　圓
△江戸名家墓所一覽　老樗軒輯　和拾五　圓

方言

□靜岡縣方言辭典　靜岡師範學校編　明43布參圓五〇錢
　附音韻法口語法
△佐賀縣方言辭典　佐賀縣教育會編　明35參　圓
△佐賀縣方言語典一班　清水平一郎著　明36貳圓五拾錢
⧖仙臺方言集　土井八枝著　大8壹圓貳拾錢
⧖東北方言集　仙臺税務監督局編　大9布壹圓八拾錢
□もしほ草（藻汐草）　阿部長三郎著　横覽政4和參拾五圓
　上原熊次郎著
　蝦夷の方言を書き集めたるもの、天地人物支體世事口鼻耳目器財鳥獸草木品目助辭熟語等の十一條に分類して各方言を列擧せり。末に切口上、問答語及和歌淨瑠璃等を蝦夷話に譯せしものを擧けたり
△出雲方言　後藤藏四郎著　大5貳圓
□佐渡方言集　矢田求著　明42壹圓八拾錢
□米澤方言考　内田夏三著　洋裝壹圓貳拾錢
□莊内方言考　黒川友恭著　洋裝壹圓貳拾錢
□青森縣方言訛語　青森縣縣廳　洋裝壹圓貳拾錢
□鹿兒島方言集　久永金藏著　洋裝壹圓五拾錢

文獻誌

□廣益書籍目錄　橫揃五元祿5和拾貳　圓
□新撰書籍目錄　享保版和八　圓
□本朝諸名家著述書目錄　堤朝風輯　待賈堂藏印　揃五和參圓五〇錢
▲辨疑書目錄　中村富平編　寶永7和參　圓
□德川幕府時代書籍考　附關係事項及出版史　牧野善兵衛編　大1和拾貳　圓
△典籍の廢墟　内田魯庵　改造　大13五拾錢
△日本書籍考附經典題說　林羅山著　和參圓五拾錢

文獻誌　地方圖書館藏書目錄　帝室御系圖

□群書一覽　尾崎雅嘉著　揃六和四圓八〇錢
□史料展覽會列品目錄　東大史料編纂掛第七回大4　六拾錢
□歴史的參考品陳列目錄　印刷文化展覽會　大11八拾錢
□本邦書籍刊行考　黒川眞頼學士會院雜誌　明16貳　圓
△近藤正齋書籍考　圖書刊行會正齋全集　明39布壹圓五拾錢

○群書索引　物集高見著　揃三大12革參拾五圓
△一大奇書　書林之庫　田島象二著　揃二明9和五　圓
△解題叢書　國書刊行會　第四期　大5四　圓
　經籍訪古志八　澁江纘古經題跋　同上
　官版書籍解題略二　森儼山精一堯陳譯場列位　同上
　諸藩藏版書目筆記四　東條耕倭版書籍考二　幸島宗意
　古經題跋二　松澤老泉　徹定經籍答問二

地方圖書館藏書目錄

△秋田縣立圖書館和漢圖書分類目錄　同館四明39ゟ45八　圓
　歴史傳記之部　地誌紀行之部
　數學理學醫學教育之部　事彙叢書隨筆雜書雜誌新聞之部
○宮城縣立圖書館和漢圖書分類目錄　同館　大二年度　參　圓
□本朝諸名家著述書目錄　堤朝風輯　待賈堂藏印　揃五和參圓五〇錢

▲辨疑書目錄　中村富平編　寶永7和參　圓
□德川幕府時代書籍考　附關係事項及出版史　牧野善兵衛編　大1和拾貳　圓
△典籍の廢墟　内田魯庵　改造　大13五拾錢
△日本書籍考附經典題說　林羅山著　和參圓五拾錢

皇室御系圖

○舊典類纂 皇位繼承篇 横山由清 黒川眞頼編 元老院藏 八 明27 和四 圓五〇錢

△明治天皇御一代記 河野正義編

△明治天皇陛下御年譜 英モリス著 永田榮雄譯 大1 壹圓

□先帝餘光明治御年譜 菊地勇編 大1 參拾錢

△明治天皇御傳 項藤光暉著 大1 壹圓貳拾錢

△明治大帝畫譜附御逸事集 杉謙二編 大1 布壹圓

△聖德餘聞 龜井忠一編 大1 布壹圓五拾錢

△明治之天皇 杉謙二編 大1 九拾錢

○明治聖天子 太陽特輯 大1 壹圓

△明治天皇と佛教 大内青巒著 大1 七拾錢

△先帝と居家處世 長井實田中英一郎編 壹圓拾錢

◎明治天皇宸翰 三條實憲氏藏寫眞版 五寸・九寸 壹圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2 布參圓

○世界に於ける明治天皇望月纂譯前著邦譯厚冊 大2 壹圓

○明治天皇御聖鑑 丸尾重吉編 帙入麻表紙大11 壹圓五拾錢

▲明治天皇聖德餘韻 杉浦大町編 世界文庫 大11 五拾錢

⧖明治大帝と我國民性 望月小太郎編譯 大11 六拾錢

天皇

○帝王通載 古事類苑帝王部 古事類苑帝王部 和六 拾錢

○帝王の本質 筧克彦 美濃部達吉 法協 大7 五拾錢

△天皇の本質 筧克彦 美濃部達吉 史林 大6 五拾錢

△胎中天皇 西山金太郎著 大1 貳圓

△神武天皇創業史 菊井惣纖著 大4 和壹圓五拾錢

△神武天皇御傳記 太田和泉守寫 帙入一三 天正7 貳拾五圓

○神武天皇征伐秘略

△武烈天皇紀正論・齋明天皇紀童謠考 藤原彦麿著 南洞堂寫壹圓

□宇多天皇事記 宇多天皇事記 塙忠雄編 史料 大8 和壹圓

□宇多天皇事記 古書保存書屋版 揃六 五圓五〇錢

△天皇と皇帝・大日本と日本 中村進午 新報 明29 壹圓 六拾錢

△安德天皇潛幸遺蹟 高山昇編 明31 壹圓

○崇德天皇御鎭座所緣起 金華山妙成就寺 和貳圓

△安德天皇御事蹟論 阿部纖眼著 明39 布壹圓 貳拾錢

□安德天皇御陵に就きて 高山昇 皇典 二明27 貳圓四拾錢

△長慶天皇御卽位の研究 八代國治著 新昭2 布貳圓 八拾錢

△長慶天皇御卽位に就ての研究 八代國治 史雜 壹圓五拾錢

□明治天皇御聖德 工藤武重著 明30 壹圓貳拾錢

皇后

○皇后 古事類苑帝王部 和貳圓四〇錢

△神功皇后 福田山藪慶寺寫 慶應3 參圓

□萬機集要(贈后) 后位を贈られし先例の記述 寫本壹圓

△神功皇后御傳記 矢野玄道著 揃二 壹圓

□皇后陛下の御聖德 落合直文述 明26 八拾錢

△皇后陛下の御聖德 小杉榲邨著 明40 壹圓

□明治皇后 山口鼎太郎著 大3 壹圓貳拾錢

太上天皇、皇太后

○太上天皇 古事類苑帝王部 和貳圓

△天智天皇紀 附皇太子妃 古事類苑帝王部 大10 和貳圓貳拾錢

□日本皇太子史論 三宅武郎著 壹圓

△贈太上天皇 后 (慶應三年三月六日)太政官用箋寫參圓

○夙子立太后 上田景二編 大3 布壹圓五拾錢

△昭憲皇太后史

皇儲

△東宮御讀書錄 天章禪師校閱藏觀主人著 壹圓

△皇太子未來記 文部省 大5 五拾錢

△立太子禮の要旨 歷史地理 壹圓

△立太子式奉祝號

攝政

○攝政に關して 松本愛重 大11 八拾錢

○攝政に關して 小笠原長生 太陽 大11 八拾錢

○攝政に關して 服部宇之吉 太陽 大11 八拾錢

○攝政に關して 美濃部達吉 太陽 大11 八拾錢

△國法上より見たる攝政 美濃部達吉 警協 大10 五拾錢

△國史より見たる攝政 和田英松 國雜 大11 五拾錢

△攝政宮殿下の御日常を拜して 山本信次郎述 大14 六拾錢

○攝政宮御生立の記 寺田稔彦編 大11 布壹圓

皇室

○古事類苑 帝王部 神宮司廳藏版 明29 革四圓五〇錢

□皇室御史 廣池千九郎著 明26 貳圓二〇錢

皇儲 攝政 皇室 宮廷

□今上陛下御文德錄 高橋爲吉編 明44 八拾錢

△明治天皇御一代記 河野正義編 大1 革壹圓八拾錢

皇室野史 廣池千九郎著 明26 參圓

△皇室制度稿本 有賀長雄編 大4 九圓

△帝室日誌編輯資料 拔鈔書類 宮內省本 慶應3ゟ明5寫 貳拾圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6 布參圓

△潛龍遺事 磯田正敬編 宸翰式葉添附 明30 和貳圓

○妃夫人嬪女御更衣御息所後宮雜載 古事類苑 和壹圓五拾錢

△皇室典範 馬場直美修 大3 布貳圓五拾錢

△皇室及皇族 坂下辰之助著 明43 布壹圓五拾錢

○皇室乃皇輝 太陽增刊 大1311 壹圓

△皇室御紋章之起源 河內祐憲著 八拾錢

□帝室論 尾崎行雄著 明1521 七拾錢

□帝室論 福澤諭吉述 壹圓五拾錢

○帝室統計書 同調査課 明三九年度 布五圓

□幕府時代帝室御料 增田千信 八州 明22 壹圓拾七錢

△德川時代皇室御料と其分布 芦田伊人 歷地 明38 壹圓四錢

□歷代皇朝沿革圖解 大槻東陽編 彩色銅版 明3 和壹圓七〇錢

△戰國時代の皇室 中村直勝 史地 明42 九拾五錢

△七條院御領考 八代國治 歷地 明26 壹圓五八錢

△皇室の事務と國家の事務 美濃部達吉 國家 大5 六拾錢

△皇室の大權 美濃部達吉 國家 大7 五拾錢

△皇室法一斑 美濃部達吉 法協 大7 五拾錢

○皇室典範の性質に就きて 清水澄 太陽 大11 八拾錢

宮廷

◎法規分類大全　**宮廷門**　並儀制門族爵門　内閣統計局　明26　七圓

△維新前の宮廷生活　下橋敬長述　大11　壹圓五拾錢

△雲上秘錄　田中萬逸著　大5　布壹圓八拾錢

天明八年三月禁裏院中炎上ニ付天氣御伺御機嫌御伺一件首尾留書　伊集院瀰平衛門寫　終落丁五　圓

○鳳闕見聞圖說　源宗隆寫　揃三　貳拾五圓

京都宮城内を圖說すること最も詳細を極む。一々故事沿革を頭註又は傍註せり珍奇と謂ふべし

○安政内裏新造記　繪入　寫本　六　圓

○南殿記　寫本　八　圓

皇居（京都）内南殿造作苑内草木並殿内恒例毎日の次第等を記したるものなり。漢文多くして送假名を附せり

×禁裏御所炎上箇所明細圖　一尺三・一尺八　復寫　壹　圓

◎雜々日記（宮中に關する諸記錄）明應8寫　參　圓

親王

○皇親附　古事類苑帝王部　明34　和貳　圓

△讀史親王御傳　岡谷繁實著　壹　圓

◎伏見貞愛親王日記外三　式部寮用箋寫本四　拾　圓

伏見貞愛親王宣下、御元服、敍品宣下日記—明四年　同親王二品宣下之記—文化二年　同親王御元服任官記—嘉永元年

伏見貞敬親王宣下記—寛政九年

◎伏見親王宣下之記　式部寮用箋　寫本　三　五　圓

享和二年伏見親王一品宣下之記　安永五年伏見親王三品宣下之記　安永七年伏見親王二品宣下之記

△兵部卿謚良親王　木村慥太郎清水孝教著　明45　布壹圓五拾錢

◎伏見貞敬親王敍三品之記（寛政十年六月）式部寮寫本　貳　圓

△威仁親王英國御留學費調書　寫本　五參　圓

◎伏見貞敬親王一品半車宣下之記（天保十二年一月）式部寮寫本　壹　圓

□和宮御事蹟　桑原隲旭述　昭2　壹　圓

△日本遷都考　平本定智著　和裝　六　圓

△東京奠都に關する一考察　森谷秀亮　史雜　大15　五拾錢

△東京奠都の眞相　岡部精一著　大6　布壹圓五拾錢

内裏御繪圖

×禁裏大繪圖　三尺四・四尺九　複寫　寶永6和四圓五〇錢

×内裏圖　一尺五・一尺一　林喜兵衛板　天保8和　壹　圓

×文久改正内裏御繪圖　二尺一・二尺五　平野屋板　文久3和　貳　圓

×内裏細見之圖　一尺三寸五・二尺七　彩色校正再刻和　壹圓五拾錢

×禁裏細見之圖　一尺六・二尺一寸五　彩色和　壹圓五拾錢

御陵

○山陵　古事類苑帝王部　和　參　圓

○山陵志　蒲生君平著　和　參圓五〇錢

△山陵考略　山川正宣著　大13布　參圓五〇錢

△聖蹟圖志　津久井清影識　銅版　嘉永7和五　圓

△皇陵史稿　後藤秀穗著　附柳澤吉保論　大2　六　圓

△皇陵及歷代御事蹟　日吉明助著　明41布四圓五〇錢

△皇陵　日本歷史地理學會編　大2　貳圓五〇錢

△山陵の研究　山口鋭之助著　大15　壹圓五拾錢

△陵墓一覽　宮内省編　明45　壹　圓

○天皇御儀式典禮　村上勘兵衛板　和　參　圓

○御諡書始稿本　清水正毅寫　式部寮用箋　參　圓

□和宮樣御通行に付取調向請印帳　寫本　横文久1和　壹　圓

献上及天覽

○悠紀齋田記錄　愛知縣藏版　大5　參　圓

大正三年二月愛知縣が悠紀の地方に勅定せられ嘉穀奉獻の榮を擔ひ謹んで稼穡奉仕に努めたる顚末を輯錄したるもの

女官

○女官志　永正3寫　貳　圓

△女官通解　澁井虎夫著　大1布　壹　圓

△女官物語　齋藤德太郎著　明39布貳圓五拾錢　大1　壹圓四拾錢

△女官飾抄　享保7　貳圓五拾錢

×花揃春の對面　坂上賴堯寫　辻文板　錦繪縱三和　壹圓五拾錢

宮城

□宮城寫眞帳附新宿御苑明治神宮　大日本教育會橫大14　貳圓五〇錢

×赤坂假皇居馬車御出門之圖　廣重筆錦繪縱三明14　壹圓五拾錢

×宮城御出門二重橋圖　香朝樓國貞筆　錦繪縱三　明22和　貳圓五〇錢

□宮城拜觀の栞　田中萬逸河野正義著　大11布八　拾　錢

×二重橋より櫻田門之景　楊洲周延筆錦繪縱三和　壹圓　貳拾錢

宮城御出門行幸行列の場

×大日本帝國御造營之圖　加藤著彩色二尺七・二尺七　明21和　貳　圓

△皇居之栞　田中萬逸編　大2　壹圓五拾錢

帝都

△帝都歷史講座　挾間畏三著　明32　布壹圓五拾錢

△神代帝都考　辻善之助編　大8　八　拾　錢

△東京奠都三十年　太陽增刊　明31布　壹圓五拾錢

□首註陵墓一覽表　宮内省編　平塚飄齋著　明3837　壹圓貳拾錢

▲首註陵墓一隅抄　武田子順著　嘉永7和　壹圓貳拾錢

△華山法皇山陵私考　兒島左久雄編　明28和　壹圓五拾錢

△歷朝大綱　汲古堂著　明5和　七　拾　錢

○謚思志標　沙門某甲識　和八　拾　錢

△山陵の復古と精忠　金杉英五郎著　大15和　壹圓五拾錢

△紀伊郡御陵墓誌　京都紀伊郡役所編　洋裝　壹圓五拾錢

◎諸陵周垣成就記　細井知愼著　彩色圖入橫安政2　拾五圓

諸帝陵の荒廢せるを修めたる記なり。著者の兄芝山、大和郡山に住みて知愼の君松平吉保に帝陵の修繕すべき事を聞之れより其事行はれ著者又其の事に與りしなり。伴林光平挿圖す

皇陵參拜

△皇陵參拜記　櫻田文吾著　明30　壹圓參拾錢

×皇陵巡拜道略圖　藤澤南岳著　二尺・一尺一　明31　壹　圓

△皇陵巡拜案内略記　皇陵巡拜會編　大14　五　拾　錢

□山陵巡拜御事蹟略　大6　五　拾　錢

△歷代御陵墓參拜道案内　奥野陣七著　貳　圓

□歷代御陵墓參拜道順路御宮址官國幣社便覽　奥野編明31　壹　圓

□歷代御陵巡拜の栞　大阪全市小學校長御陵巡拜會編　大14　貳圓五〇錢

◎山陵遙拜帖　山陵崇敬會　美裝橫大10　布六　圓

歷代天皇陵二九・歷代にあらざる天皇竝に追尊天皇陵三・皇后陵乞・都て一六陵本帖悉く之を收め奉り神代三陵竝に顯著なる皇子御墓六をも精査考覈並收して餘す所莫し

宮中儀式制度

△宮中儀式略　平田久著　明337　壹圓貳拾錢

△宮殿調度圖解附乘物考　關根正直著　明3837　和壹圓五拾錢

◎法規文類大全 儀制門 內閣記錄局編 明22 貳圓五〇錢

○官位儀式 宮華族日記 式部寮用箋 寫本 參 圓

○儀式諸達錄 式部寮用箋(自明九至一〇年)寫本 參 圓

△御內節覺 寺村勇馬控 寫本 四 圓

公事根源集釋 松下見林著 揃三和壹圓八拾錢

○公事根源 一條兼良著 揃三慶安2和壹圓五拾錢

年中の禁中公事を一月より三月迄順序して各其の根元を說述す

□訂正禁秘抄講義 關根正直著 揃三新大14和貳圓三大12壹圓八拾錢

△禁裡供御人に就て 中村直勝 社史

○節會次第 式部寮用箋 寫本 貳 圓

○大宮御所天滿宮御勸請次第 式部寮用箋 寫本壹 圓

○內裏式 藤原貞幹著 和貳圓五拾錢

○國朝佳節錄 貞享版 和壹圓六拾錢

神器

○神器 古事類苑帝王部 和貳圓五〇錢

△神器考證 栗田寬著 明31和貳圓五〇錢

御賢所

○賢所節分 式部寮用箋 寫本 明6 參 圓

△賢所祭神考證 田中頼庸著 明14和貳圓五〇錢

御卽位

○御卽位記 大炊御門藏卽 朱入寫本 一五參拾五圓

後三條天皇の治曆四年より後光明天皇の御字に至る御歷代天皇御卽位の御記を詳細に記したるもの

○卽位 古事類苑帝王部 和貳 圓

○讓位 古事類苑帝王部 和壹圓五〇錢

○踐祚 古事類苑帝王部 和壹圓七〇錢

◎貞永元年 御卽位記 岡屋關白兼經公記 寫本 五 圓

○御卽位見聞私記 神祇道學頭平與胤撰 寫本 寶永7參 圓

○御卽位(慶應四年八月廿七日) 太政官 寫本貳 圓

△通俗講義登極令大要 賀茂百樹著 大2壹 圓

○天皇御元服式(慶應四年一月十五日) 式部寮 寫本 參 圓

△卽位禮と大嘗祭及大嘗祭 京都府敎育會 大3布貳圓五拾錢

△御卽位 赤堀又次郎著 大4布壹圓八拾錢

□御卽位次第並參仕役付控 寫本 延享4壹 圓

△御卽位の由來沿革儀式 關根正直著 洋裝六 拾 錢

大禮

△卽位大嘗 典禮史要 櫻井秀著 大4布參圓五〇錢

◎大禮記錄 內閣書記官室記錄課編 大8革拾七圓

△御大禮記錄 朝日新聞社編 大5布壹圓五拾錢

△卽位禮大嘗祭大禮通義 山田孝雄著 大4壹 圓

△卽位禮大嘗祭大典講話 關根正直著 大4布貳圓五〇錢

△大禮ノ法制 三浦周行述 二頁 五拾錢

△大禮通義 山田孝雄著 洋裝七 拾 錢

△大正四年大禮參列記 三上參次述 寫本 壹 圓

○明治庚午ノ書類 式部寮 壹 圓

松尾社奉願・孝明天皇御祭典宣命寫・御元服由奉幣宣命其他

△御大禮圖譜 池邊義象編 明7和六 拾 錢

◎皇族大禮佩劍制並圖 今泉定介編 大4布四 圓

△御大禮畫報 太政官布告 明7和六 拾 錢

東京朝日新聞社編 大4 六 拾 錢

□御大禮關係品特別展覽會目錄 東京帝室博物館 大4壹 圓

△大禮要義 牛塚虎太郎著 大2八 拾 錢

○御大典紀念寫眞帖 大禮記念出版協會 橫大5布六 圓

○卽位大禮記念帖 櫻橋協會編 大5參 圓

○御大典記念寫眞帖 愛國生命保險會社 大5布壹 圓

△大禮奉祝大阪市記錄 大阪市役所 七 拾 錢

×高位婚禮式之圖 揚齋筆錦繪 續三明33和參 圓

大嘗會

○大嘗會便蒙 寫本 安永3參圓五〇錢

△御卽位式大嘗祭の由來沿革並に御儀式に就て 關根正直述 大3貳圓五〇錢

△大嘗祭儀通覽 伊能穎則著 大2和壹圓三〇錢

御大葬

○謚號 古事類苑帝王部 和壹 圓

◎明治天皇御大葬 杉謙二編 大1八拾五錢

大嘗會 御大葬 行幸

行幸

○行幸 古事類苑帝王部 和貳圓五〇錢

附朝覲行幸

○御幸啓 古事類苑帝王部 和壹圓 貳拾錢

△寬永行幸記 全編木版圖說 和壹 圓

○還幸日御膳供進次第(寬政三年二月)式部寮用箋 寫本五 拾 錢

△還幸御例(安政三年二月) 寫本五 拾 錢

□御行幸圖繪 橋御殿森田藏板彩色橫文久3和五 圓

並御側次第記

×貴名錄 御還幸供奉次第彩色繪入安政2和壹圓 貳拾錢

○鞏路里程御休泊制(自東京至北海道) 橫和壹 圓

△秀忠公家光公寬永三年御上洛之節禁裏樣二條御城御行幸御行列之次第 萬延2寫貳 圓

□東北北海道御巡幸諸記錄 六 和五 圓

鞏路里程御休泊制 山形縣御巡幸供奉官員宿割圖並

御巡幸供奉人名帳 御通鞏沿道地圖

東北沿道圖 北海道御巡幸圖

揃二明8

□東北巡錄 參圓五〇錢

○御巡幸時御休泊下賜金控 明9和貳 圓

□行幸啓奉迎費決算書(明治二年二月)奉迎世話掛編 五 拾 錢

×北陸道御巡幸之圖 周延筆錦繪(北越海岸圖)續三明10壹 圓

×仁德天皇難波都御所江御行幸之圖 錦繪續六 貳圓 五拾錢

△明治天皇大阪行幸誌 大阪市民博物館大10布貳圓五〇錢

行啓 勅使 詔勅 元號 和漢洋年契

△美ゆきのあと 栗原廣太輯 大1布貳圓
△御臨幸上野公園之圖 周延筆(武術叡覽圖)錦繪三明12六 拾錢
×內國勸業博覽會開場御式の圖 楊洲筆錦繪續三明10和五 拾錢
×國會開式新皇居二重橋御出門之圖 楊洲周延筆錦繪三明22 貳圓

行啓

○大宮御移徙行啓(明治三年二月十一日)式部寮用箋寫 壹圓
□行啓 御列帳 外三 小虫寫本四明13 貳圓
外御東幸御列・御東幸御用留・三重山梨京都府御巡幸見合書類

勅使

△中山記 (中山公江府問答次第) 文化3寫 壹圓
○中山公江府問答 文政6寫 壹圓
○白川小夜問答 (中山公江府問答始末) 嘉永3寫 壹圓
○中山夢物語 享和3寫八 拾錢
本書は共に寛政六年中山愛親、太上天皇宣下の件に關し東下の次第を錄したるものなり
△中山瑞夢傳 寫本 壹圓
△以武田宮內卿高松留主江返答之一冊 文久2寫 壹圓
勅使讖岐守、神奈川本陳御宿に於ての紛爭事に關する記錄

詔勅

◎法規文類大全 詔勅式 內閣記錄局 帙入 六圓
附御璽官印 帙無 明24 四圓
○制勅錄 菅原在綱寫 (自慶應三至明治三年) 五圓
△大詔 志田力二編 神代・上古・中世・近代之卷 大9布參圓五〇錢
△歷代詔勅集 新堀忠太郎編 揃二明43革貳圓八〇錢
△歷代詔勅全集 柴田勇之助編 揃二明42布參圓
○歷朝詔勅錄 同發行會 帙入二明36和貳圓五〇錢

○明治詔勅全集 柴田勇之助編 明40布壹圓
△明治聖勅集 佐村八郎編 明28布壹圓
△明治維新聖訓集 神州社編 大14布壹圓五拾錢
□皇國龜鑑 明治勅語 植村泰通編 第一輯 明1和壹圓
□今上詔勅集 福田滋次郎編 明38 壹圓五拾錢
○日露戰役詔勅 布七 壹圓五拾錢
□宣戰詔勅義解 岩瀨眞澄述 明37 五拾錢
△國民精神作興ニ關スル詔書衍義 野田義夫述 大13五 拾錢

元號

○本朝改元考 山崎垂加著 延寶5和五 圓
文武天皇の大寶元辛丑より靈元天皇の延寶元癸丑に至る改元の月日を示し卷末に古來の年號改元革命等の事を考說せり
△弘化改元公卿難陳問答 朱入寫本 貳圓
○改元(慶應四年九月八日) 外記局寫本 壹圓五拾錢

和漢洋年契

○倭蘭年表 蘭オットモンエセ著 帙入 安政2和 壹百二〇圓
魁山無憑子譯 木活版揃二
上世太古アダン時代天地創造の始期に筆を興し中世新世界の事象を述べ次で四大洲開闢順次の圖に及び皇國紀元垂仁天皇の辛酉年より嘉永庚戌に至る迄の和蘭國年表にして每年の下に各其の緊要事を掲げたり
×大成年代記 寬政9和參 拾錢
○武德編年集成 須原屋板 七卷內七卷缺 慶應1貳 圓
■萬國渡海年代記 華律外史著五寸堂藏版 和八圓五〇錢
龜山院の文永四年より嘉永年間に亘る年代記にして長崎唐人津・魯西亞將師等の彩色繪も收めたり
○西洋諸夷年表 寫本 參拾八圓
明應八己未年より弘化元甲辰年に亘る重要事の略記なり
△改正和漢洋年歷簽 市岡正一著 明7和壹圓 五拾錢
○新撰 清宮秀堅編 嘉永7和壹 圓
□增訂新撰年表 清宮秀堅原著 明44和八 拾錢
○世界大年表 歷史研究會編 明36和壹圓 五拾錢

○增補訓點四裔年表 廣瀨秉信著 明11布壹圓八拾錢
□新補東西年表(和漢洋年表) 井上賴國大槪如電撰 明12革貳圓八拾錢
□世界の寶 新昭2和壹 明19布六 拾錢
○武家必覽 泰平年表 忍屋隱士輯 寫本 揃九 八圓
○大日本國帝王年代記圖 吉田光由撰 二延寶2和貳圓五〇錢
◎本朝年號便覽 速水小房常編 天文1和貳 圓
△累年代記(武將略傳) 本屋金太郎板 和五 拾錢

□各國分類年表 渡邊修二郎著 明39 參圓
▲世界歷史對照年表 黑板勝美編 大7 參拾錢
▲事項詳解西洋歷史年表 島田增平編 大10布六 拾錢
▲最新世界年表 富山房編 上本大5和壹圓 貳拾錢
改訂版中本大8和壹 圓

和漢年表

■倭漢年表錄 橘龍編 梅村屋板 貞享4和貳圓五〇錢
⧖掌中和漢年歷簽大成 陸可彥編 享和1和五 拾錢
⧖掌中和漢年歷簽 天保10和五 拾錢
□銅鐫和漢年契 三村其原編 慶應2和五 拾錢
○和漢年契 蘆屋山人著 寬政9文政2和各五 拾錢

○日本唐土二千年袖鑑 松川半山畫 森晉三書 揃三嘉永5和貳圓五〇錢
△日本東洋歷史大年表 富本時次郎著 明39和壹圓 貳拾錢
△二千年袖鑑 和壹圓 五拾錢

本朝年代記

○史籍年表 伴信友著 正續揃二和裝 拾參圓
○日本史籍年表 小泉安次郎編 明36革八 圓

△本朝年代記 田登仙編 揃九貞享1和拾參圓
◎大日本帝系及年代記 庄右衛門開板 揃二寬永7和拾 圓
○武家必覽 泰平年表 忍屋隱士輯 寫本 揃九 八圓
○大日本國帝王年代記圖 吉田光由撰 二延寶2和貳圓五〇錢

○日本王代一覽 春齋林恕著 揃七寬文3和參圓
神武天皇より正親町天皇に至る史蹟を編年に表記せるもの
⧖本朝年代一覽 中村玄三撰 享保16和壹 圓
□本朝年代人物掌覽 岡田板 文政8和壹圓 五拾錢
横二
×萬曆兩面鑑 鹽屋板 文化14和參 拾錢
奈良屋板 天保14和參 拾錢

×萬曆兩面鑑 西村板 寶曆2和五 拾錢
×兩面年代表 文政4和參 拾錢

⧖大日本年歷簽 菊屋板 弘化3和六 拾錢
○大正自家年譜 鵜飼天淵著 大2布五 拾錢

□日本讀史年表 落合直澄著 明21 壹圓
○日本史年表 大森金五郎著 新大15布壹圓 九拾錢

◎逸號年表 藤原眞幹著 寬政10後摺和參圓
古書等に逸したる年號を一々推すに支干を以てし輯錄して年表となしたるもの。而して引用書目は二十六種に及ぶ

官員錄

□華族明鑑　西村出版局　横明8和壹圓
▲雲上明覽大全　竹原板　天保頃各揃二和壹圓五拾錢
弘化頃　散賣　壹圓五拾錢　萬延頃　散賣　壹圓
嘉永頃　散賣　壹圓五拾錢　文久元治頃　散賣　壹圓五拾錢
安政頃　散賣　壹圓五拾錢　慶應頃

官員錄

⧖官員錄　村上平樂寺板　横慶應4和四　圓
▲官員錄　官板　大阪府知府事兼勤明治初年　横和貳圓五〇錢
後藤象二郎三頁在
▲改正新刻官員錄　和泉屋板　大阪府知府事兼勤明1　壹圓五〇錢
三月改　後藤象二郎三六頁在横和
△東京官員錄　須原屋板　横明1和參　圓
▲官員錄　大阪府知事　明初年和壹圓五〇錢
後藤象二郎三頁在
■袖珍官員錄　官板須原屋板　明四年三月五日改　和參　圓
神祇・大藏・兵部・工部各省、開拓使・東京府官員錄合本
×官位相當圖　村山有成輯　二尺六・二尺一　明和2和壹圓五拾錢
△官等誌　中山繁樹編　村上版　明5和壹圓
▲官員錄　中島翠堂編　横明8和壹圓五拾錢
⧖官員錄　西村隼太郎編　横明7和壹圓五拾錢
八年五月改　壹圓　壹圓
八年二月改　九年一〇月改　壹圓
九年二月改　九年一二月改　壹圓五拾錢
一〇年改　明一〇年九月改横和　壹圓
神崎正諒編　明一〇年二月改　壹圓五拾錢

職員錄

⧖掌中職原擧要　林檉兵衛板　横文政10和壹圓五拾錢
⧖柳本枝　（御役人附）　横萬延1和八拾錢
⧖御役人附早見　自安政年間　散賣和五拾錢
横須賀氏藏版　至慶應年間　揃一四　散賣　和〇〇〇〇錢

雲上明鑑

□新改正當御公家鑑　出雲寺板　延享1和參　圓
▲新改正萬世雲上明鑑　出雲寺板　延享5和參圓五〇錢
□新刊雲上明鑑　方巾齊房常記　出雲寺和泉板　二寶曆13和參　圓
▲新增補萬世雲上明鑑　出雲寺板　二明和2和貳圓五〇錢
▲新增補萬世雲上明鑑　出雲寺板　二安永2和貳圓五〇錢
□新刊雲上明鑑卷井雲上人有司諸役名錄三　方巾齊房常記出雲寺板二天保頃散賣壹圓五拾錢　文久3寫壹圓五拾錢

曆

○曆　寶曆頃　折本縱八寸五分橫三寸　元祿頃散賣和貳　圓
文化頃　散賣　壹圓　天保頃　散賣　參拾錢
□曆　文政頃　散賣　五拾錢　慶應頃　散賣　參拾錢
安政頃　散賣　參拾錢一明治初年頃　散賣　參拾錢
△曆　久治頃　散賣　五拾錢一慶應頃　散賣　參拾錢
元治頃　散賣　四拾錢一明治初年頃　散賣　參拾錢
賀茂杉太夫撰　慶應頃　散賣和參　拾錢
△曆　藤本美濃著　慶應頃　散賣和參　拾錢
明治初年　散賣和參　拾錢
□太陽略本曆　頒曆商社　明治初年　散賣和五　拾錢
五カ二〇年頃　散賣和貳　拾錢

武鑑

□太平武鑑　津輕內匠頭　大石內藏之助在載　橫元祿頃和拾五圓
▲元祿十一年武鑑　東都千鐘堂板　小蟲橫　元祿頃和拾貳圓
淺野・吉良等在載
▲享保武鑑　須原屋板　三享和17和六　圓
△寬政都鑑　寫本　壹圓五拾錢
⧖袖玉武鑑　須原屋板　橫寬政頃散賣和五　拾錢
⧖職員錄　出雲寺板　橫明初年和貳　圓
▲職員錄　出雲寺板　大阪府知事後藤象二郎三頁在明2和貳圓五〇錢
□職員錄　和泉屋板　橫明3和貳　圓
⧖諸家御屋形早見　出雲寺板　橫明2和壹圓五拾錢

慶長頃

○駿府政事錄　後藤光次著　寫本揃八　五　圓
（或は謂ふ林羅山の作なりと）
◎駿府記　後藤光次著　寫本揃二　參　圓
兩書（異名同本）は慶長一六年八月朔日より同三年（元和一）三月二九日に至る駿城の細大事を記したるもの。朝野の政令、中外の警措等より毎日の瑣事末務迄を記す。全編漢文の記なり
○妙解君御遺事　寫本　壹圓五拾錢
慶長年中日記書扱　寫本　壹圓
慶長年間諸侯勤番・謫遷の記・江府老臣記・請文の記其他　假綴七冊
△事語繼志錄　八拾　圓
△高山樣御留書源秘錄（慶長前後高山氏武功記其他）寫本貳
△慶長年中卜齋記　板阪卜齋著　明15和壹圓五〇錢

慶長頃

享和頃　散賣　五拾錢
文化頃　散賣　五拾錢　弘化頃　散賣　五拾錢
文政頃　散賣　五拾錢　安政頃　散賣　五拾錢
▲懷寶　天保頃　散賣　五拾錢　文久頃　散賣　五拾錢
略武鑑　須原屋板　慶應頃　散賣　五拾錢
⧖袖玉武鑑　出雲寺板　橫嘉永年間散賣和五　拾錢
散賣　六拾錢　橫寬政頃散賣和六　拾錢
文化頃　散賣　六拾錢　嘉永頃　散賣　六拾錢
天保頃　散賣　六拾錢　文久頃　散賣　六拾錢
■大成分要萬世武鑑　出雲寺板　萬延頃散賣和壹　圓
×高須武鑑　後樂堂藏版　嘉永年間散賣和壹　圓
▲泰平大成武鑑　安政年間　散賣和參　圓
代文久頃　各四散賣參　揃四五　揃四六
萬次郎板　慶應二年　圓
慶應元年　慶應三年　圓
▲新改正文久武鑑　須原屋板　四文久2和四　圓
■改正廣德武鑑　慶應頃散賣和八　拾錢
⧖官許列藩一覽　村上勘兵衛板　橫明2和壹圓五拾錢
⧖改正列藩一覽　須原屋板　橫明3和壹圓五拾錢
⧖藩名錄　荒木編須原屋板　橫明3和七　拾錢

▲慶長見聞集　三浦淨心著芳賀矢一校名著文庫明39五拾錢
△文化史上の慶元時代前後の一考察　花見朔己歷地大6五拾錢

△慶長中外傳　堀田正敦水著　合本二五冊　寫本五圓
一ゟ六卷內二・四ゟ七卷迄三冊欠
卷一發言慶長三條・關原陣總論・石田三成素性・太閤微賤大志・亂起庚子之年等以下凡て三百七十箇條を記したるもの

元和より貞享頃

○元寬日錄　寫本三四圓
元和元年正月朔日より寬永末年九月二七日に至る記錄にして秀賴關東間の折衝和睦の詳細事より各藩內政諸侯對戰・琉球來聘事情・諸政令內外措置・島原亂・吳敎禁制・參勤交替制・女帝御讓位記事等外同期間中に亘る大小事の總べての日錄なり

△東照權現御賜成（公家武家諸法度其他）寫本元和1貳文久3和壹圓五拾錢
△正保野史　矢野立道撰

△慶安太平記　中村重遠寫　四永嘉5參圓
△慶安御觸書　齋藤氏寫　天保6貳圓
慶安二年幕府訓令の農家心得（文政二庚寅岩村藩に於て出版し領內へ頒配したるもの）

△寬文ゟ元祿まで大事誌　寫本　貳圓五〇錢

×田村郡海老根村定當請之事　正本萬治2寫貳圓五拾錢
△萬覺帳　寫本蟲入天和2貳圓
請取申御藏米之事、預申金子之事、親類書及奧代等日常諸雜費控並其他諸事留

元祿頃

△元祿時代觀　中村孝也著　大8布四圓
元祿時代の地位129　元祿寶永度の金銀貨74
町人階級の勃興51　改鑄56
元祿寶永前後の世態22　元祿時代の文藝56
元祿寶永前後の政局百22　元祿時代百36

△元祿時代の經濟學的研究　山本勝太郎著　大14布四圓五〇錢
日本資本主義起源考並經濟史上の元祿文學

△元祿貳巳二月朔日御成ニ付諸事覺書　寫本橫壹圓
▲元祿時勢粧　笹川臨風著　明34壹圓貳拾錢

△元祿雜書（九州某藩御使番心覺）寫本貳圓

享保より寶曆頃

○明君享保錄　吉田泉陳寫吉宗公一生の德行紀文政6貳圓
×覺（小百姓に關する御定書寫、享保8貳圓五拾錢

△享保拔書　九年ゟ一四年迄及一七年ゟ元文元年迄　三寫本拾貳圓
同年中に於ける諸法度布令・公事訴訟の記等の法政記錄なり
▲駄賃　橫壹
▲江戶御目付勤方覺書　寫本　享保卯六月寶曆5壹圓五拾錢

□寶曆歲旦帖　尾陽蓬佐著　橫和四圓五〇錢

□寶曆歲旦帖　而笑堂練石著　和六圓五〇錢

明和安永天明頃

△明和風土記　寫本　三四圓
山縣大貳系圖より大貳牢死並其一黨仕置に至る迄の顚末を詳敘したるものなり

□明和歲旦帖　各國橫五和拾圓
×切支丹宗門徒に關する御法度書の答書寫　宗對馬守　明和7寫參圓

△當世銀持氣質　永井堂龜友作　繪入　明和7和拾貳圓

△太平國恩譚　加藤在止著　揃五明和7和參圓
當時の世話氣質を現はしたる滑稽に近き作話なり

△小語　細井德民著　天明1和四圓
著者の隨筆にして主として當時人の嘉言善行の見聞筆記なり

△後見草　鶴齋主人撰　寫本天明7參拾圓
龜岡石見入道宗山の明曆大火災記並に筆者鶴齋主人が寶曆十年より天明七年間に見聞せる天變地妖に關する私記錄なり

□安永歲旦帖　眞流閨亭子等　彩色繪入　和貳圓五〇錢

○天明奇事　天明年中に於ける變事奇談異聞等を蒐錄せり弘化2寫四圓五〇錢

○家齊公御代治茂公頂戴御判物記錄　勘定所記錄方控　天明8參圓

□有事記　有無齋控　寫本三帙九拾八圓
光格天皇の天明末期より文化六年七月に亘る世事百般日錄の廣記にして中に德川家其他の系譜を挾み考證記述精細を究む

寬政享和頃

×傳奏御屋鋪圖　二尺七・一尺六　復寫　享和1貳圓
□御鹿狩笹目順筋御場所見分覺帳　奉行大竹寫寬政8八拾錢

□寬政歲旦帖　菅江湖鯉鮒等　橫和四圓五〇錢

○松平越中守殿御心得書　平時範寫　寬政2貳圓五〇錢
廣く政道治世に關する論記なり

○壬戌干役志　杉岡道啓撰　享和二年奧書五圓

□享和歲旦帖　大江丸三四坊等　和五圓五〇錢

文化文政頃

⧖文化元年江戶御番帳（江戶勤番人名帳）　寫本橫五拾錢
△書上帳　丹州氷上郡香良村　寫本文化11壹圓
同村內の家數、往還筋、方角及名所舊跡其他を記せるもの

□御役筋覺書　澤正長寫　橫文化7壹圓
□諸屆同役申達　役人公事屆書　寫本文化3貳圓

□御役日記　虫入　橫寫本　貳圓五〇錢
元文二丁巳年より文化九壬申年に亘る某藩役人手控日記

○愚癡之繰言　松平忠明控　文化13寫七圓
柳營御小姓へ番入以來勤役中の諸事を自ら控へ留めたるもの

□文化甲子歲旦帖　白岸素丸等　和參圓

□文化二年乙丑三月魯西亞人船出帆ニ付長崎竹內庄兵衞ヨリ同五兵衞江申越來狀寫　橫寫本　壹圓

□⧖文化歲旦帖　無爲幸雄等　和壹圓五拾錢
⧖政勉日記　白井明控（文政八ゟ一〇年）第一寫本壹圓五拾錢

□書留一件帳　三森清孫控（藩士手控日記）文政11壹圓
○御暇瀨山登編（丸龜藩）　文政9寫貳圓
武家歸城勤務交代病氣歸國其他御暇取計一件留書帳なり

■京都大坂立歸御用日記（藩士旅日記）　文政13寫壹圓五拾錢
□一橋一位殿准大臣宣下次第　文政八年八月七日　寫本五拾錢

△文政五壬午年傳奏御饗應役割下帳　寫本參圓

△文政太平記　高橋伊三郎寫（文政度大事誌）天保12參圓貳圓五拾錢
△新規御法被仰出候節承代控　石州堀氏寫
文政十丁亥年以降安政六己未年間に亘る新規御法の留記錄

天保弘化頃

△天保內話　寫本六元治1八圓
天保八年三月九日大鹽平八郎一黨東御奉行組天滿川崎屋舖への放火露見より逮捕に至る迄の次第の記事もあり

△保化紀事　寫本七圓
其數目を示さば　天保甲辰より弘化丁未年に亘る
橋本佐吉酒狂及傷　水野越州御咎申渡
牛御前別當閉門　弘化乙巳文武藝術御
高松候水府後見之命　書付
本町少女獨身懷妊　異船漂浦賀湊
天草徒黨一件
（災害解禁願等五九月）

○雜事記　寫本文化3貳圓
日本大困窮江戶表大施行板附寫

△酒井侯本領安堵天保快擧錄　中里重吉著　大10和貳圓
△天保改革の一節　幸田成友述　復興叢書　大13壹圓

○天保一四年癸卯歲八月大日付神尾山城守ゟ濱松侯御料地の件御呼出御口達書取之寫　寫本壹圓

△御　請　書　　天保13寫七　拾圓
△田沼家申渡覺　白川侯案文也　寫本　壹

△戊戌夢物語　　天保10寫壹圓
內外の情勢より海外交易の變遷等を書き記したるものなり　忠眞寫嘉永6壹圓八拾錢
□類例略要　竹屋次春編　天保7和壹圓五拾錢
×邊作窮民救濟に付眞一郎へ御褒美金下賜之覺　天保11寫壹圓
△御移徙御規式伺覺　瀨山登控　天保7寫壹圓
□諸事心得書　天保寫本貳圓
斷書裝束立合大風儀讖譬詞町觸差紙禮事病氣其他一般の心得書
△年々列士錄書出並宗門書出且諸屆物留　後藤寫天保7貳拾錢
×差出申一札之事（三味線貸渡の節の一札）天保15寫參圓
□天保三十六家絕句　齋藤拙堂序　揃三壹圓八拾錢
△天保以後政事上の惡口　坂部藏印　寫本　貳圓

嘉永安政頃

□異國防禦御入用獻金人別控帳　橫嘉永6寫貳圓
△御　用　留　武州飯野村名主忠藏寫　嘉永2參圓
宿場取締・盜賊捕縛急廻狀其他公儀御用の件に關する手控
□己酉肥後風聞錄　禾口道人寫（吳船渡來事情）嘉永2壹圓
□嘉永二十五家絕句　齋藤鐵研序　揃四壹圓八拾錢

△嘉永明治年間錄　吉野眞保著　揃二〇和貳拾八圓

△重用日記　岩田氏藏印　薄葉　安政寫參圓
安政當代に亘る內治外政藩狀諸儀式內裏炎上等凡ての內外重要記事を詳細に書留めたるもの
△葵異患穩政錄　德武孝寫　萬延1　五圓
安政五年七月水戶齋昭尾州慶勝等處罰關係書類・同六年水戶尾州紀州三侯處罰關係書類・井伊掃部頭殺害並水戶勅書返納騷動一件以下多くの秘事異變の記錄
△安政維新記錄　萬延　寫本六圓
附亞墨利加國書翰和解亞墨利加使節許禮之節口上之趣和解
開國起原ダ政紀事　內藤恥叟述　揃二明21六圓
附開國始末辨妄

△櫻田邊騷動　寫本橫安政7壹圓
△安政七年細川越中守樣ニ御預ケ人請取候節之御請書寫　壹圓

△血しほの雪　寫本安政7參圓五〇錢
安政七年上已大老井伊掃部頭に宿意有之而水戶浪人共致徒黨於外櫻田行列江切掛り本望相達御驗申請候始末見聞書
○江戶櫻田門異變一卷　寫本　安政7四圓
△井伊掃部頭始末　寫本　壹圓五拾錢
◎水戶家浪士十七人素懷書付寫　寫本　壹圓五拾錢
△水戶殿御家來櫻田騷動相濟御屆出候節差出書附之寫　橫萬延1寫五　拾錢
□櫻田門外の變
於櫻田御門外掃部頭同勢を襲ひ御同人を討果水戶殿家來惣人數於七人姓名及顚末　寫本　壹圓五〇錢

△彥根侯大變一條聞書　田中宕麓寫　萬延1　貳圓五〇錢
彥根侯櫻田門外に於て狼藉者より鐵砲にて打掛けられし一件に關する聞書
△櫻石秘話　明3寫貳圓五〇錢
櫻田の變前後に於ける諸藩の形勢並變事・徒黨身分・當時の世態を歌ひし落噺狂歌等を收む
△夢南叢書　櫻田斬姦紀要　寫本壹圓五〇錢
□春雪奇談近世櫻田紀聞　松村春輔編　明19　八拾錢
△集書（櫻田徒黨素懷書及脇坂候への上書其他事件記錄之寫）壹圓

△櫻田始末　野口勝一著　明25布貳圓五〇錢

□櫻　田　門　赤川菊村編
△左九百駄異變　田中宕麓書
關係諸侯より屆書寫及同事件を織込み し種々の替歌を記す
□櫻田烈士傳　寫本萬延1和貳圓五拾錢
□役人一首　明30和壹圓貳拾錢
櫻田事件を諷刺して小倉百人一首に擬せる文なり　和壹圓八拾錢

萬延文久頃

⧖京都諸司代中御先手志頭勤方並御廣間表取次勤心得書　萬延1寫參圓
△贈川路聖謨×年恐奉願上口上覺（心願開大峯山參詣他出願）萩原村萬延1壹圓
△橫濱新聞紙　對外人應衝事情の記　文久2寫壹圓五拾錢
△文久元年御書付寫廻狀留　寫本　壹圓貳拾錢
久世大和守無宿浪人取締書狀・內藤紀伊守通行禁止の書・酉四月出火事態・本禪寺外國人旅宿場亂入者仕末書寫其他　寫本　文久3拾圓
△橫濱新聞　筆を文久二年生麥の變に起し同三年六月末に之を止め英國と薩摩との戰端を開きし際の事態狀況を詳細に記載したり　文久2寫參圓五〇錢
△新聞書翰　外交內政の重要事項に關する諸留書

○文久新聞志　寫本　一一文久2ヵ4貳拾五圓
文久年中の內外重要事に關する書類の輯錄なり試に第一冊の目を示せば越人筆記道路之說・長州公建白・長州公ヵ熊本公へ申入候趣意書・勅定之寫等二五條（全卷通計百數十條あり
○文久壬戌雜記　井口氏控　寫本　參圓五〇錢
浪士等安藤信正を刺す・京都守護職設置其他の大小雜記
○天　意　震筆を以て公卿方へ御下げになりし海內治平の昭書寫　文久3參圓

△珍　書　寫本　五圓
幕政既に衰へ積陰凝閉結て解けず天地冥々其の晴れる何の時なるやを知らざりし文久時、或は說き或は佐幕を論ずる本書は此等多難の際の重要事實、書類等を寫したる好資料
△文久七卿落由來略記　荒木諦善編　明45八拾錢
△文久變格錄　朱入寫本　水入　貳圓
宣命之寫・關東御請書寫・風說戲作寫・戲言六歌仙寫其他

△文久頃勤王佐幕の狀況　寫本　五圓
○文久二年御達之寫（蠻夷渡來事情武家參勤劃合等）八拾錢
□御書付留　橫瀨寫　壹圓五拾錢
文久二年武威宣揚の御上意・夷狄來朝時の御觸・墨夷假條約類・御書面寫・戊八月衣服制・諸侯御親書等種々の書類控
⧖文久三年御發駕御上洛御行列（江戶ヵ京都惣供調連）寫本八拾錢
△安藤對馬守へ切掛り浪士討死者姓名及懷中願書寫　文久2壹圓
△御老中安藤對馬守樣御登城掛より於坂下御門外浪藉者有之一件書之寫　久保寫文久2壹圓五〇錢

△文久二安藤對馬守樣ヵ御屆　寫本　五圓
△年正月附時勢策ちよぼくれ武士・ころり病歟・常陽秘說・殿上方上書・蕃說・安藤閣老要擊浪士懷中斬奸趣意書
△斬奸趣意書並辭世和歌等　（安藤閣老へ）寫本　壹圓
△戶田越前守樣江戶御上書　寫本　文久2　壹圓

□諸御大名參勤年割附　橫文久2和壹圓
△風　聞　萬榮堂板　文久2壹圓五拾錢
文久年間諸藩に於ける尊王攘夷及逆賊足利氏に關する記錄
□文久二十六家絕句　綺貫千舟寫　揃三壹圓五拾錢
△京都說書　家重松巒序　文久2寫貳圓五拾錢
洛陽の地の風說騷亂觸書上書攘夷論尊王佐幕派暗鬪事情等

元治頃

□元治夢物語　馬場文英著　揃五元治1和參圓五〇錢
△元治夢物語　渡邊修二郎著（開國史談）明44貳圓
△元　見聞誌　寫本　貳圓
元治元年筑波奸徒騷動及之が追討錄記及慶應二年長州征伐記
○甲子七月長人妄擧之策　水府塙軍義上書　寫本　壹圓
○元治甲子殉難士名錄　活版　壹圓五拾錢

△元治元甲子合戰俗文記　寫本　四拾錢
△元治甲子禁門事變實歷談　馬屋原二郎述　大2布壹圓貳拾錢

△元治太平記　大木氏寫　參圓

○御用留　中村政助控　寫本元治2 貳圓五〇錢
某藩に於ける町名主に對する達及び通牒其他の留書
□見聞錄（幕末浪人狩一件）寫本元治1 壹圓
△幕末諸風聞・歎願書・檄文・建白書等之寫　元治2 寫貳圓
△元治元甲子七月京都合戰書記　寫本 貳圓
△元治甲子脇阪候上書（攘夷の儀に關する上書）寫本五 拾錢
△元治見聞記　寫本 慶應1 五圓
△續再夢紀事　松平家藏版 第三・四 二大10布八圓
元治元年三月ゟ慶應元年三月に亘る

慶應頃

△慶應乙丑事件（家茂ゟ朝廷への書・條約の勅許等）寫本 壹圓
△鳥羽伏見戰爭前後顚末　寫本 貳圓
△連城紀聞　日本史籍協會 第一 大11布四圓
□慶應丙寅五月　大平氏寫　二 參圓
五月より六月三日に亘る公事記錄にして柳原人數出し御屆・吉川延部願並御着圖より紀伊毀討入伺・長州討伐達・支配勤御勘定願に至る凡て四十五項目を日次に從つて記す
⧖御小姓頭勤方心得　支點寫
△慶應二年六月長州征伐見聞口書　松戸藩　壹圓五拾錢
△達書寫留（慶應二丙寅年度）　寫本 參圓
×防長征伐諸手收入之大略圖　一尺八・一尺二
□下關海峽攘夷戰史　ルツサン著　佛文　慶應寫 壹貳圓
△新聞紙政書寫　慶應2 參圓
諸侯往復の書狀・黑船應策・觸書・家茂公上書等の時勢記事
△七年史　北原雅長輯　二明37布七圓
△慶應三卯年十二月二五日三田薩邸燒討一件　寫本 壹圓五〇錢
並島津淡路守屋敷引次見聞ノ次第

○田畑山林賃入證文控　年寄岩谷氏扱控帳　慶應4 寫壹圓
○御廻狀覺（庶民服務心得條々）　慶應4 寫壹圓 五拾錢
×御廻達寫　上州吉井宿　二寫本 參圓
岩鼻民政裁判所上達の關東取締組合選出向達・賊徒官軍を裝ひ押入強要強奪するに付ての眞僞取糺逮捕方達等の寫　寫本 參圓五〇錢
○慶應戊辰雜錄　小糸氏控
京都ゟ御親征行幸部隊編成並諸役人名錄・外國御應接の觸書・大久保市藏遷都に關する建白書其他當時の大事を控へたり
□御用留　庄屋喜兵衞控　慶應4 參圓
公儀御用雜事留書
□御用留　竹澤氏控　公事諸控御用留横明1 寫貳圓
×檄文　慶應四年三月　木版美濃判一葉和壹圓
諸侯をして德川征討に從軍せしむる事の不可を論じたる檄文
△長防維新史料　明治元年正月二日の變事に關する詳細記錄　寫本 貳圓五〇錢
○振遠隊奧羽征討の爲出發ゟ歸還迄間の諸命令寫明2 壹圓五拾錢
△慶應四戊辰正月擾亂之寫　壹圓貳拾錢
△奧羽征伐官軍之書翰渡來之寫　慶應4 參圓
△慶應戊辰奧羽蝦夷戰亂史　佐藤浩敏著　大7布五圓五〇錢
△戊辰戰史　川崎三郎著　揃二二 合本二 明27布七圓
□王政復古　戊辰始末　岡本武雄著　五明22 八圓五〇錢
△戊辰私記　味岡禮實編　福島板　明36和貳圓
△維新戰役實歷談　兒玉如忠編　大6布貳圓五〇錢

◎錦乃御旗　野口富岡編　保勳會藏版　和獨文對照明40 八圓
戊辰戰記の彩色畫卷にして凡て三九圖和獨兩文の解說を附す
□淀川合戰見聞奇談　森歸一編六花園藏彩色　慶應4 和壹圓五拾錢
○說夢錄　石川忠恕著　貳
戊辰の役幕府海軍の函館五稜郭に於る實戰及人名錄詳細を極む
△諸役人役目大要　高平氏寫　明1 寫貳圓二〇錢
附庄屋心得
□戊辰物語　東京日日新聞社會部編　新昭3 貳圓
△江城日誌前編　京都版　慶應4 創刊 散賣 參 拾錢
一號ゟ一二號揃　合本和四 圓
△鎭將府日誌　官版　慶應4 創刊 散賣 和貳 拾錢
一號ゟ二號　合本三 四 圓
△王政復古御一新全國御高札　太政官　寫本慶應4 貳圓
△戊辰開見集　鈴木幣寫　壹圓八拾錢
閑叟公入京次第・會津侯歎願書・海軍局上書・戊辰閏四月下谷黑門町張札寫・薩州建白・脫藩德川家臣布告書其他
□戊辰役戰死者卅年祭一覽　參圓

□慶應大功記　淸夢館藏版　彩色繪本　慶應4 和貳圓五〇錢
△慶應四年動搖錄　寫本 貳圓五〇錢
△戊申戰爭始末　長岡藩　大6 壹圓五拾錢
△上野戰爭實記（原名幣休錄）　天野八郎著　寫本 壹圓五拾錢
■都仁志喜　開敎館藏版　慶應4 和貳圓五〇錢
□奧羽出兵日錄　枡屋爲能控　慶應4 寫壹圓五〇錢
□開成此花新書　橫濱版　慶應4 創刊 散賣 貳圓五〇錢
新聞　一號ゟ六號揃　合本和拾 參圓
△辰ノ四月ヨリ十二月迄各藩銃器買入控　上野寫　慶應4 拾貳圓

□御檢使留　富澤愛美寫　慶應年度 參圓
警察檢視職務に關する規定を書留めたるもの
△當世チヨボクレ　寫本慶應4 壹圓
△御討勢風說　戊辰記錄　慶應4 寫壹圓 五拾錢
△邊警紀聞　慶應4 寫五 圓
舊幕時代並に其以後に於ける外國船來航の顚末・邊境警備に關する事項を蒐めたるもの
△笑草ちよんがり　當世風聞の諷刺劇作　慶應4 寫壹圓五〇錢

明治二年三年

△肥後藩橫井平四郎斬殺一件ニ付三條橋張紙之寫明2 壹圓
△詔書寫附御國制改正議寫　明2 七 拾錢
□新塾月誌　北門社板　第一號　明2 和參圓
△庚午新聞　當時の政令・內外事變・布告上書・時勢詠草酒落狂句等の雜記　寫本 四 圓
○御觸書竝證文類　明2 寫壹圓五〇錢
諸觸書往來一札村送一札宗門送一札金子借用證書等の雜形寫
□立田村御年貢勘定帳　橫明2 寫貳圓五〇錢
△明治風聞錄　南薰草舍寫　七明7 和參拾五圓
△東京樂事　萩原鞏書　繪入　折本明2 和壹圓八〇錢
□御用狀御廻狀村繼御用留　甲州西青沼村　五萬延2ゟ明2 四 拾圓
□當世風聞の大與勢　寫本明3 貳圓五〇錢
藩制改革之事・外國と條約書交換之事・其他大小の諸事を書取稱氏許下之事・一世上雜事留書　收む

△世評聞書　明2　貳圓五〇錢
薩長土肥四藩主版籍奉還奏請　大村益次郎殺さるるの次第
東京に行幸　等世上の大事風評を書留めたる
榎本武陽等降伏之次第　もの

辛未明治四年

△辛未私論　本多親秘藏　和　貳　圓

△風聞事譚　隱棲老人寫　明4　貳圓五〇錢
當時に於ける世上の風潮異聞出來事等を書留めたるもの

○明治四年太政官宛各藩知事公文書　寫本　貳　圓
□明治辛未日記　世上雜事留書　明4寫壹圓五拾錢

壬申明治五年

×違式詿違條件　東京日日新聞附錄　明5和　貳　圓

○東京毎日物價表　報告社　自一至二六號　一六明5和　拾　圓

□御布告寫　中央政府並筑摩縣令布告寫　二明5ノ6　參　圓

○晦結溢言　紀州堀内信編　安政5ノ明5記錄　揃二明40　七　圓

癸酉明治六年

□京都新聞　同社　六ノ七號　内六ノ七號欠　合本明6和　貳圓五〇錢

△郵便報知新聞　太田金右衞門版　明6創刊　散賣和八　拾錢　四號ノ四號　揃七　圓

□近代月表　上卷　明6　貳圓八〇錢

○文部省第一年報　文部省（明六年度）　明8　五　圓

△皇國銘譽人名錄　東花堂五翁編　橫明10和　參　圓
明治初年東京に於ける文學美術音樂花道並茶道等の名家の住所を記したるもの

西南の役

△西南傳信錄　齋藤弘造編　繪入一ノ八卷合本　二明10和　貳圓　五拾錢
五月白杵の役を以て開卷の端緒となし以下西南役の記錄　五ノ七卷合本　明10和　貳　圓

△薩肥傳信錄　常井誠一郎編　假綴一八明10和　參圓五〇錢
西南役の釀成沿源より騷動顚末に亘る各地新聞抜萃系統記錄

□西南鎭靜錄　假名垣魯文編　繪附錄芳幾畫錦繪　散賣和七　拾錢
自一〇四至一〇八號バラ　五明8四　圓
一蕙齋芳幾の筆にして解說は轉々堂藍泉戲作に依る

丙子明治九年

□拾遺集（諸新聞雜誌の抜粋留書）明9寫　壹　圓

□世益新聞　明9創刊　八・九號　散賣五　拾錢　二　圓

丁丑明治十年

□東京日々新文　松本萬年著　一・二編　散賣和　壹　圓　二明10和　貳　圓

□魯文珍報　開珍社　明10創刊　一號ノ一〇號　散賣五　拾錢　合本　圓

□近事評論　明10創刊　七號ノ八〇號　散賣貳　拾錢　合本　圓

□智慧の庫　由己社　明10創刊　一號ノ一〇號　散賣　拾錢　合本　壹圓五拾錢

□東京新誌　九春社　明10創刊　散賣和貳　拾錢　四ノ五〇・六ノ七〇・八ノ八五合本三　壹圓五拾錢

□當世新聞集　芳春筆　繪本　明10和　壹　圓

◎東京繪入新聞　兩文社　自七二號至九二號合本明10ノ11　參　圓

△征西將軍宮　藤田明著　大4布七　圓

△明治十年六月已降各隊往復　西南戰爭公文書　謄寫本　有馬隊本營　五　圓

明治十一年後の新聞雜誌

□興民新誌　進取社　明11創刊　散賣拾錢　三號ゟ元號揃　合本和貳圓五拾錢

□智慧の庫　由已社　一〇號ゟ七號　散賣合本和八　拾　錢

◎穎才新誌　同　社　明12創刊　散賣五　合本和貳　圓錢

□扶桑新誌　共同社　明12創刊　散賣和貳拾錢　七・七圓號　二　和五　拾錢

□東京新誌　九泰社　一五九ゟ一七一號合本明12和參　×松江新聞　同　社　一三一ゟ一三六號　明12　壹圓五拾錢

▲廣益問答新聞　四通社　自三五九號　至三六八號　合本三明12和四　圓

□博物雜誌　明12創刊　散賣〇〇　〇〇〇　一ゟ三・五號　四參　圓

□中外廣問新報　四通社　明13創刊　散賣和　壹圓八拾錢　三號ゟ叁號バラ一四

□近事評論合本　共同社　二六五・二六六號　明13和五　拾錢　△公開新誌　國文社　第三號　二

△熊本報告新誌　日野綱　友直　明13創刊　散賣　〇〇　〇〇〇　一五號ゟ一七號　揃三　貳圓四拾錢

□扶桑新誌　共同社　自四一至五〇號　自一〇三至一一九號　合本明13和壹　共同社　貳圓五拾錢

△諸藝新聞　同　社　明13創刊　散賣　合本和　壹圓五拾錢　一號ゟ一〇號

□鳳鳴新誌　開新社　明11創刊明11慶　散賣　拾七　錢　一號ゟ一年間揃　五一　拾圓七拾錢

國史叢書

□國史叢書　國史研究會第一期—二期　揃五一布五　拾圓　大3ゟ7　散賣　壹圓貳拾錢

□國史叢書　第一期刊行　1—35冊　揃三五　大3ゟ5　參拾五圓

第一冊
南朝太平記　享保10　馬場信意
第二冊
室町殿物語三寶永3　檜林長敎
足利治亂記六
異本小田原記
第三冊
石田軍記　正德5
仙道軍記
第四—五冊
源平軍物語二五　明曆2　慶長
類朝最後物語　元曆1
八島檀浦合戰記
泰衡征伐物語
源平盛衰記補闕
源平拾遺　二　天保7　藤井高尙
大石實我物語一〇　天文23
寺本
第六冊
鎌倉公方九代記　三　延寶6
鎌倉九代記　天保8
第七冊—八冊
古今武家盛衰記　三〇
南嶋變亂記
第九—一〇冊
土佐物語　二〇　享保
四國軍記　三　元祿
第一一冊
古事談　六　顯兼　鄉

繪古事談　六　建曆7　永久4　藤原實兼
江談抄　六
第一二—一五冊
新東鑑　三五　安永2
新東鑑附圖
第一六冊
越後軍記　三　元祿15　白雲子
昔日北花錄　五
淺井物語　六
淺井日記　二
第一七冊
西國太平記　一〇　寬文3　橘生齋
毛利秀元記　五
第一八冊
美濃國諸舊記　三　寬永
濃陽諸士傳記　寬永15　奧田利雄
第一九—二〇冊
會津四家合考三　延寶　向井吉重
南部根元記　二　享保9
第二一冊
上州治亂記　二〇
上州岩弓老談記　三
上州金山軍記
新田正傳記
新田正傳或問
第二二—二三冊
將門記　二〇　寬文4　林　道春
續撰清正記　七　寬文3
第二四—二五冊

□國史叢書　第三期刊行　1—16冊

第一冊
武野燭談　三〇　寬永
第二—六冊
浮世の有樣　一七
第七—八冊
玉露叢　四三　延寶2　林　恕
第九冊
關侍傳記　七　慶長
天正南部日記
第一〇冊
磯城乃探湯　平朝臣玄道
高良玉垂命
大日下皇子
仁賢天皇顯宗天皇
大伴金村大連公
物部守屋大連

武田三代軍記三　享保7　片島深測
甲亂記　二　正保3　春日總二郎　理慶
理慶尼の記
甲陽遺文錄　天保8
第二六—二九冊
關原軍記大成　正德3　宮川尙古
第三〇冊
古鄉物語（黑田家）
大友公御家覺書
從道鑒五代記（島津家）文明4
第三一冊
安見太平記　元祿2
芳野拾遺物語　貞享4　松　翁
櫻木物語
三人法師　二　萬治2
細々要記　七　至德3
底倉之記
第三二冊

□國史叢書　第三期刊行　1—16冊

第一冊
蘇我石川麻呂大臣
長屋王
藤原廣嗣朝臣
藤原豐成大臣
贈大政大臣正一位奈良麻鄉
淡路天皇
小野朝臣篁鄉
紀夏井朝臣
恒貞親王
西宮左大臣源高明公
崇德天皇
後鳥羽天皇土御門天皇順德天皇
於久賀伎
久我內大臣通基公
中院內大臣通村公
第一一冊

千葉傳考記　六　寬保
小田軍記　五
小田天庵記　二
房總軍記　寶曆
里見九代記　五
第三三—三四冊

朝鮮征伐記二三　萬治2　大關定佑
蒲生軍記　六　元祿8　岡西惟中
第三五冊

軍記類纂
政宗公軍記　二
土岐齋藤由來記
備前軍記
備前常山軍記
肥後隈本戰記
黑田長政記
島津貴久御軍記

□江湖新報　四通社　第四號　明13和五　拾
○東海經濟新報　東海社　創刊號　明13　壹　圓

△興隆雜誌　三九ゟ五一號　合本明13　壹圓五〇錢

□中立政談　政談社　明13創刊　散賣　拾參錢
正黨　一號ゟ一四號　揃一三　壹圓五拾錢

□扶桑新誌　共同社　明12創刊　散賣和貳拾錢
七一・七四號　二　和五　拾錢

□近事評論合本　共同社　明9創刊　散賣合本和八　拾　錢
共同社　二ゟ三號內三號缺合本九　和參　九　圓

△面白奇聞話のたね　明14創刊　散賣　〇〇　〇〇〇
一號ゟ一〇號　合本　貳　圓

△有益新聞　三益社　一三四ゟ六四號合本明15和壹圓貳拾錢
△繪入人情雜誌　東陽社　一二ゟ二八號合本明15和五　拾　錢

□近事譚　明一五年度分合本　壹圓二〇錢

△開化新聞　三益社　明16創刊　散賣　合本和　壹圓八拾錢
一九號ゟ四三號

△繪入朝野新聞　同　社　明16創刊　散賣　合本和參圓五拾錢
一號ゟ三號

○東京輿論新誌　嚶鳴社　自一五八號　至一九九號　合本明17ゟ18　四　圓

□菁莪一筐　矯採社　明17創刊　散賣　合本六　拾　錢
三ゟ五二號內八冊缺

×岐阜日日新聞　同　社　二七・二九五號　二明18　壹　圓

○奇日新報　三七明18　五圓八〇錢

□吾妻新誌　九泰堂　一三ゟ一三〇號　一〇明19和壹圓八拾錢
○穎才新誌　同　社　四七ゟ四九六號　明19　壹圓五拾錢

揃一六　大5ゟ7　散賣　壹圓貳拾錢　六　圓

承久記　藝侯三家誌　七
承久軍物かたり　吉田物語　二　寛永周布樾之助
承久記（前田本）　第一五—一六冊　北肥戰誌　三　享保　馬渡俊繼
承久記（慈光寺本）　第一二—一四冊

△大日本史料　帝國大學史料編纂部　散賣　八四四百八拾圓

（古事類苑　和裝揃三五〇　五百圓・散賣壹圓八拾錢）

○古事類苑　神宮司廳編　揃五〇　明29ヶ大3　散賣　拾貳圓

天部（歳事部）　四卷　三〇
地部　一〇〇
神祇部　一〇〇
帝王部　一〇〇
官位部　一〇〇
封祿部　一〇〇
政治部　一〇〇
法律部　一〇〇
泉貨部　一〇〇
稱量部　一〇〇
外交部　一〇〇
兵事部　一〇〇
武技部　一〇〇
方技部　一〇〇
歳事部　一〇〇
禮式部　一〇〇
樂舞部　一〇〇
姓名部　一〇〇
産業部　一〇〇
服飾部　一〇〇
飲食部　一〇〇
居處部　一〇〇
器用部　一〇〇
遊戲部　一〇〇
動物部　一〇〇
植物部　一〇〇
金石部　一〇〇
（右二〇部　總一〇〇卷）
總目錄索引　一冊

△珍書文庫　百家叢說　田邊勝哉編　井上賴圀校　散賣四圓　明44ヶ45　拾貳圓

第二編

神漏岐神漏美命考　巽木田久守
八神考　富永弧
道神考　秋元安民
祇園會山鉾考　林　恕
歷朝禪位考　大江　春
本朝改元考　山崎　嘉
異年號考　穗積　保
偽年號考　中山信名
通信考　奈佐勝皐
遊女考　島廣足

第一冊

水滸傳　上中　施耐庵　明、游六如　羅貫中　蕃山實錄　巨勢直幹
第九冊　肥後物語　龜井道載
滑稽本集　松平定信　利瑪竇
第一〇冊　井澤蟠龍子　廣益俗說辨　交友論
谷　重遠　俗說贅辨
貝原敏夫　大和事始
太田亶編　南畝叢書
第一—二冊　篠崎東海　東海談
第三冊　戊戌太陽歷　婆心錄　藤樹先生年譜
△祕籍大觀　大阪每日新聞社發行　五大15　拾五圓
日本書紀（古鈔本）七卷八帖　倭名類聚鈔（古鈔本）二帖
倘書正義　宋槧單疏本）七冊　古今集（飛鳥井雅經自筆本）二帖
梵語千字文（古鈔本）

第八・一三冊

□史籍集覽　近藤瓶城編　散賣六　拾錢
史籍集覽總目解題　近藤瓶城編　明14ヶ18　和壹百　參拾圓
通記類　續世繼一名今鏡　二　荒木田麗子
校本扶桑略記　二卷　釋　皇圓　池の藻屑　一　同上
神皇正統錄　三　字多天皇實錄　三　林　道春
神明鏡　二　參考源平盛衰記　三
一代要記　一〇　北條九代記　二
十三代要略　二　南方記傳　四
水鏡　三　櫻雲記　三
大鏡一名世繼　八　南山巡狩錄首　二　大草公弼
大鏡異本陰書　四　軍篇應仁記　二〇
增鏡　四　織田軍記一名總見記　三　遠山信春
校本榮花物語一名世繼又世繼物語　四　大閤記一名豐臣記　三　小瀨甫菴
系圖　二　改正三河後風土記　四　成島司直訂

鳥目匹數考　大藏諸近
掌手書考　屋代弘賢
善光寺本尊考　山城國號考
遠忌考　西片外史
筑前國宗像郡阿彌陀經石銘考　山崎美成　國造考
青柳種信　國司考
大江春平

第二編

君臣名義考　千家俊信
天穗日命考　內山眞龍
出雲國造御嗣考　大江春平
淤能碁呂島考　舊事記僞書明證考
撰類聚國史考　河村秀根
榮花物語考　安藤爲章
扇考　伊勢貞丈
扇子考　大塚嘉樹
扇考　本文考
さきくさの考　松岡明義
春の七くさ　中島廣足
七種菜粥考　永井　隆
福草考　中山方鳩
十二月の名考　感應水月
十二月和名考　齋藤宇萬伎
今古米錢略考　高內眞足
樣字考　本多忠憲
田樂考　伊勢貞丈
刀劒略說　大塚嘉樹
本朝刀劒考　榊原長俊
諸國名義考　齋藤彥麿

第三編

三種神器名考　伊勢貞丈
勾玉考　谷川士清
神功皇后攝政考　坂上康俊
本朝世紀考　伴　信友
新國史考　同上
舊事記僞書明證考　多田義俊
日本紀の御局の考　藤井高尚
稻負鳥考　藤原善一
本文考　速水行道
祿考　作者未詳
かつみの考　諸成
かつみ之考　屋代弘賢
花かつみ考　多賀常政
勝美考　藤塚知明
位通考　石原正明
國史考　櫻戶翁
國軍團舊地考　伊勢貞丈
陸奧考　清原經賢
押字考　小野高潔
歌袋秘閣考　澤田義章
位服制考　奈佐勝皐
辨國號考　長澤伴雄
武藏野地名考　大塚嘉樹
歌論作者考　奈佐勝皐

△續國民文庫　國民文庫刊行會　一八　明45ヶ大2　散賣貳拾五圓

第一冊

隨筆集　北條九代記　淺井了意
第二・三・一二・一七・一八冊　重編應仁記　小林正甫
眞書太閤記　五
第四冊

第五冊

常山記談　湯淺常山
武林名譽錄　栗原柳庵
第六冊

雜史集　第七冊　狂歌狂文集

校本鎌倉大草紙　三　同四國發向記
關八州古戰錄　二〇　同任官記
北條五代記　一〇　本山豐前守安政父子軍功覺書
雲州軍話　二　細川忠興軍功記
安西軍策　七　脇坂記
淺井三代記　一八　中村一氏記
朝倉始末記　八　一柳家記
菊池傳記　五　一柳國書
歷代鎭西要略　四　渡邊勘兵衛記
肥陽軍記　一〇　大知記
豐薩軍記　一七　和田系圖寫書
南海治亂記　六　深澤城矢文
同南海通記　三九　湘山星移集
奧羽永慶軍記　里見代々記
太閤繪詞一名豪古襲來繪卷　二　里見九代記　五
竹崎五郎繪詞一名蒙古襲來繪卷　太田由己　土氣古城再興傳來記
國府臺戰記一名鴻臺前記　太田由己　同四國發向記
鴻臺後記　同任官記
偏錄類　長倉追罰記　本山豐前守安政父子軍功覺書
將門純友東西軍記　常陸國治亂記　細川勝元記
泰衡征伐物語　飛騨守景綱記　三浦淨心錄
承久兵亂記一名承久物語　二　兼山記　多々良一龍
竹崎五郎繪詞一名蒙古襲來繪卷　二　軍記　駒谷山人
長享年後記　一　堂洞軍記　同任官記
細川大心院記　一　新齋記　松陰私語　五
瓦林政賴記　一　館林盛衰記　二
道家祖看記　一　唐澤老談記一名佐野家綱記　一
立入左京亮入道隆佐記　一　藤葉榮衰記　三
豐內記　三
舟上記　一
永享記　一
永享後記　一
上杉憲實記　一
嘉吉物語　一
長祿記　一
應仁亂記　一
細川勝元記　一
官地論　一
歷代鎭西要略　四
肥陽軍記　一〇
豐薩軍記　一七
南海治亂記　六
同南海通記　三九
奧羽永慶軍記　六
北條九代記　一
重編應仁記　四
太田由己　惟任退治記　一
太閤紀州發向記　太田由己

丹州三家物語
備前文明亂記
妙善寺合戰記
備中兵亂記
太田水責記
湯川彦右衛門覺書
高橋紹運記 一名九州兵亂記
宗像軍記
清正記
島津家譜
西行一生遯草紙
三人法師一名三人懺悔册子
足利季世記 八
畠山記
舟岡記
高國記
三好記
勝軍地藏軍記
久米田軍記
義秋公方記
野田福島合戰記
松隣夜話 二
川中島五度合戰次第
上杉輝虎注進狀
毛利元就記
老翁物語 二
太閤素生記
祖父物語 一名朝日物語
南蠻寺興廢記
飛州軍覽記 二
飛州千光寺記
飛州三澤記
利家夜話 一名加州獻納記 三
會津陣物語 四
氏鄉記 二
羽州山形領徒黨一件
犬追物御覽記
旅路のうちき 二
辨疑和帝遜事 二
改正續神皇正統記
はなさく松
承應遺事
櫛田御殿之古事
異國へ通商御朱印寫
武家碎玉話脫漏四條
荒木瓜亭隨筆
正德年中金銀次替覺書
奧州本
弘長記
室町殿伊勢參宮記
東海一休和尚年譜記
京大成殿上梁の私記
享保八年改江戶町數
霜狂歌
山崎闇齋先生事業大概
祖徠先生事業大概
明和年中山縣大貳一件
文政年中邪徒決獄
島津家譜 二
伊勢貞丈古今著聞集 一〇
武藝小傳 一〇
日夏繁高

類纂類

源 信實
和氣清麿參宇佐宮綸詞
新國史殘本并考
源 俊房
叡山大師傳
傳教大師行業記
延曆寺故內供奉和上行狀
慈覺大師傳
贈大僧正空海和上傳記
高野大僧正傳
大師御行狀集記
諸寺塔供養記 附那須雲巖寺舊記
山門三井確執記
文覺四十五箇條并官符
高雄山中興記
法隆寺古今目錄拔萃
法隆寺寶物和歌
朝鮮陣古文
承應元年別木林以下徒黨一件書付 (浪人別木庄右衛門叛逆一件)
廣澤記

六史要覽 三
校本古事談 六
今昔物語一名宇治大納言物語 一〇
古今著聞集 一〇
武藝小傳一名干城小傳 一〇
日夏繁高

類纂類

藤原量原
藤堂家覺書
義經軍配團扇
朝鮮國王稱加藤清正文
東照神君御陣中御服拳方
渡邊幸庵對話筆記抄
豐太閤大阪城中壁書
岡本半助 (井伊家士) 告大阪落城狀
細川幽齋覺書
長篠合戰物語 (小幡勘兵衛)
片桐家祕記
武功雜記
福富覺書
諸士軍談
志津嶽合戰小瀨九兵衛話
田中兵部關原御陣之時江戶川先登之話
冬夏難波深祕錄
若州記事
塚原卜傳百首
蒲生飛驒守氏鄉書狀
立花宗茂朝鮮記
蒲生氏鄉記
立花立齋島原戰之覺書
有馬傳記
人國記
史料叢書 一〇五
高松城攻の物語
眞田記
眞田氏大阪陣略記

將軍宣下次第書一件
鳳紀事
田樂法師由來之事
田樂考
玉音抄
耳底抄
天明七丁未年 (家齊時代) 江戶飢饉騷動之事
定西法師傳
赤崎楨幹
琉客談記
唐律疏義訂正寫點に付て上進書 (享保年中)
荻生惣七
介壽筆叢
山地覺藏
文明一統記
文昭廟御代始新令
正德四年冬御泌汰書
晦蒙近言
畫狐遁噂
肥後政府壁書
治天下在得人論
賣治精要
上中下說
天下貧富人情曲直
戒石銘
中江藤樹書置
武邊叢書 一〇
松永道齋聞書
長澤聞書
菅氏世譜
岡田竹右衛門覺書
本多越前守利長家覺書
水野日向守覺書
酒井建康物語筆記
同具足注文
木村家從東照神君拜領御具足注文
大阪御陣大久保彥左衛門一分御穿鑿之時申分之事
佐柿十兵衛覺書論

西島氏記
兼貞齋筆記
建康樣 (酒井) 從正親櫃御讓受御鎗注文
當酒井御兩家御旗等古圖
細川家天草陣之時軍勢從公儀被下候御扶持方受取案
天草士籠城中之話
平家物語 太平記抄出語
藤堂家覺書
義經軍配團扇
朝鮮國王稱加藤清正文
東照神君御陣中御服拳方
渡邊幸庵對話筆記抄
豐太閤大阪城中壁書
岡本半助 (井伊家士) 告大阪落城狀
細川幽齋覺書
長篠合戰物語 (小幡勘兵衛)
片桐家祕記
武功雜記
福富覺書
諸士軍談
志津嶽合戰小瀨九兵衛話
田中兵部關原御陣之時江戶川先登之話
冬夏難波深祕錄
若州記事
塚原卜傳百首
蒲生飛驒守氏鄉書狀
立花宗茂朝鮮記
蒲生氏鄉記
立花立齋島原戰之覺書
有馬傳記
人國記
史料叢書 一〇五
高松城攻の物語
眞田記
眞田氏大阪陣略記

圖討餘錄拔書
森岡夏物語
とし申 (天明八年) にあれは常に事故あり
延寶七年越後家裁許一件
山渡天之說
山田仁左衛門事跡
駿府對州之家來朝鮮國にて (明和年中) 獲虎之次第
上杉家々臣格式大略並近來政
吉岡傳
烈公間語
朝鮮風俗記
最樹院殿御葬式之記
己丑記
無人島一件 申渡
戊戌夢物語
渡邊華山口書
正德年中評定所御書付
手島塔菴社約
金札和解
四座系圖
錢座鳴見平藏書上
相撲行司家傳髮結職由緒乞胸頭家傳
凶禮式
伊豆七島調書
肥後國五箇庄覺書
曹洞宗書簡和譯
唐通事平野繁十郎より到來書
京都方廣寺三十三間堂通矢數
銅山調書
天明年中國中佛寺之數
岸本浦長平無人島江漂流之記
紀州一揆覺書
大鹽平八郎檄文
方長老朝鮮物語並柳川始末
武家執政之事
法修之事
本朝寶貨通用之事略
金銀米穀之事 上下 二
太宰瀰右衛門
法曹類林
新御式目
長曾我部元親式目
淵船之式目
島津家元祖之事並島津代々軍記 (大串元善所寫)

加藤肥後守忠廣之事
頓化原合戰記 (常州佐竹一族小場石塚合戰始末)
紳書抄
太田和泉守覺書
伊勢國司傳書
長野系圖
分部氏系圖
細野氏系圖
稻生氏系圖
關氏系圖
清水長左衛門尉平宗治由來覺書
須藤姓喜多村氏傳
濃州岩村城記
武州松山書捨
湯淺甚助直宗傳記
白河結城覺書
長我部覺書
今井軍記
佐野後守略傳
佐野肥後守略傳
櫛田甲斐覺書
北條氏直賜松田助六書
武家碎玉話脫漏四條
荒木瓜亭隨筆
本多太郎左衛門之事
會津盛高之事
老士雜談
竹中半兵衛之事
奧州淺井亂民記事

□續史籍集覽 近藤瓶城編

七〇明26ノ31和九 拾五圓 散實壹圓五拾錢

眞本細々要記 1
附錄雜書撰者小傳 2
釋 實嚴
舊事本紀剞劂 6
戶田氏德
周敷神社鎭座 3
峰相記 3
遠郡考 6
大傳寺志料 4
本願聖人御傳 3
釋 清啓
國分寺唐記 7
戊子入明記 7
策彥入唐記 7
允澎入唐記 7
下行僧銀帳 7
長元物語 5
紀伊物語 5
穗井田忠友
伊勢貞丈
壺井義知

騎程錄 7
釋門事始 8
孝畜忠舒離錄 9
大道寺友山
松雲駿河士產 10
兒物語部類 11
正慶亂離志 12|1
碧山日錄 12
入鏡論 12
冤永小說 13
つれ〳〵草 拾遺 13
釋性林 信篤 如
碧山于 梵
金澤文庫考 13
足利學校考 13
杉田緒一
飛花落葉考 13
喜連川判鑑 14
みよしき 阿波三好氏歷略 14
新加制式 15
沙汰未練書 15
室町家成敗式目 15
武政軌範 15
矢島十二頭記 16
奧州葛西實記 16|1
鳩巢小說 17|1
葛西正信

臥雲日件錄 19|1—20
擴扶桑拾葉集 21|1—22
故實叢書 氏族考 27|1—28
足利時代之法制 29—30
好古小錄 31|1—32
池底叢書 目 33|1—34
秀郷流藤原氏諸家系圖 35|1—36
新抄 37
甲斐國妙法寺記 38
相模國職人盡歌合 39
語學自在 40|1—41
堀內傳右衛門覺書 44—45
義殘後錄 49|1—48
慶元古文書 52|1—51
南京遺響 55|1—54
空華日工集 58|1—57
歌儷花押 61|1—60
番外雜書解題 66|5—70
飛鳥井雅澄
釋義尚
藤原守中
戶田氏德
栗田寬
藤井貞幹
櫛田直助
野之口隆正
平田篤胤
伴信友
六人部是香
平田篤胤
吉岡信之
鈴木雅之
萩原正平
伴林光平

□改訂 史籍集覽 近藤瓶城校訂 揃三三冊 明33〜36 布壹百圓

○國史綜覽稿 重野安繹著 揃一〇和裝 貳拾八圓

○類聚國史 伍梅園藏版 揃三〇和裝 四拾圓

△史料通覽 笹川臨風著 揃一八洋裝 五拾圓

△史學叢說 星野恒著 揃二洋裝 拾貳圓

△史料綜覽 印刷局朝陽會 揃三洋裝 拾八圓

△やまと叢誌 賽德會版 揃一五 明22〜24 參拾圓

散賣貳圓參拾錢

廬須那社古傳抄廣義 1 六人部(神代敎義解 2

天津祝詞說略 2
天御中主神奉祀神社所在辨 2
松岡調
久保季茲

大物主神起疫考 2
熱田神宮略記 2
臣道 2
撞木隨附錄 2
鼈國僞僭考 3
武烈天皇御暴虐正論 3
列城宮御宇天皇御年紀考 3
小中村清矩
吉田德明
長野義言
田中頼庸

久多綰之蚊屋野考 3
市邊忍歯別命山陵考 3
筑紫四面考 3
放生會考 3
火事考 3
皇朝三種尺圖說 3
藤垣內答問答 4
信友間答 4
清石間答 4
清水濱臣
通略延約辨 4
神武天皇諱辨 5
野之口隆正
神武天皇御經歷補 5
三種神寶論 5
栗原信充
平太
高橋氏文考註 13
顯幽順考論 14
述齋偶筆 15
もとのまた〳〵 15
假名考 15
岩崎長世
久保季茲

於茂秘傳章 5
假名考 5
初夢歌合 5
擅賢本 6
矢筈の山ふみ 7
山のなげき 7
雜考 7
萬葉集古注 日本紀年紀考 8
木村正辭
矢野玄道

みかほしみや 8
香取鹿島二宮祭神說 8
天宇讀法考 8
歌學入門 8
神樂歌新釋 9
眞諳新釋 10
太昊古歷傳 11
天朝無窮曆 12
假名考 15
陸奧日記 15
皇國第一義 15
論語千字文 貢進時代考 15
活語活法活理鈔 15
野之口隆正

伊能穎則
藤原守中
吉岡信之
鈴木雅之
萩原正平
伴林光平

△甘雨亭叢書 板倉勝明編 五六 安政3五 散賣壹圓貳拾錢

第一集

文公家禮通考
仁齋日札
格物餘話
韞藏錄
貝原益軒
白石遺文 拾遺
佐藤直方
新井白石
同
室鳩巢
伊藤仁齋
上

倭史後編
瀛泊史論
湘雲瓚語

栗山潛鋒
安積澹泊
祇園南海

第二集

西銘參考 淺見絅齋

第三集

狼筅錄
赤穗義人錄
烈士報讐錄
同附錄
三宅尚齋
三宅觀瀾
上

三宅
室鳩巢
新井白石
同

天津祝詞說略 2
天御中主神奉祀神社所在辨 2
松岡調
久保季茲

大物主神起疫考 2
熱田神宮略記 2
臣道 2
撞木隨附錄 2
鼈國僞僭考 3
武烈天皇御暴虐正論 3
列城宮御宇天皇御年紀考 3
小中村清矩
吉田德明
長野義言
田中頼庸

久多綰之蚊屋野考 3
市邊忍歯別命山陵考 3
筑紫四面考 3
放生會考 3
火事考 3
皇朝三種尺圖說 3
藤垣內答問答 4
信友間答 4
清石間答 4
清水濱臣
通略延約辨 4
神武天皇諱辨 5
野之口隆正
神武天皇御經歷補 5
三種神寶論 5
栗原信充
平太
高橋氏文考註 13
顯幽順考論 14
述齋偶筆 15
もとのまた〳〵 15
假名考 15
岩崎長世
久保季茲

於茂秘傳章 5
假名考 5
初夢歌合 5
擅賢本 6
矢筈の山ふみ 7
山のなげき 7
雜考 7
萬葉集古注 日本紀年紀考 8
木村正辭
矢野玄道

みかほしみや 8
香取鹿島二宮祭神說 8
天宇讀法考 8
歌學入門 8
神樂歌新釋 9
眞諳新釋 10
太昊古歷傳 11
天朝無窮曆 12
假名考 15
陸奧日記 15
皇國第一義 15
論語千字文 貢進時代考 15
活語活法活理鈔 15
野之口隆正

伊能穎則
藤原守中
吉岡信之
鈴木雅之
萩原正平
伴林光平

第四集

尚書學 孝經識 孟子識 帝王譜略 國朝紀 東遷漫筆 十四郡考 奧羽五十 南島志 赤穗義人錄後語 阿彌陀經(修刪) 助字雅

獲生徂徠
同 上
同
伊藤東涯
奧村庸軒
新井白石
同 上

非火葬論
古學先生和歌集
蕃山先生和歌
飛驒山
觀放生會記
檜恒寺古瓦記
人考
后准三后考
櫻之辨
忠士筆記
三宅觀瀾

第五集

考經啓蒙 足利將軍傳 東韓事略 琉球事略 幣帛集 木門十四家詩集

中江藤樹
佐々十竹
桂山彩巖
同 上
梁山潛
新井白石

交兄訓
古學先生和歌集
伊藤仁齋
熊澤蕃山
荻生徂徠
太宰春臺
服部南郭
新井白石
同 上
山崎闇齋
淺見絅齋
祇園南海

第六集(別集)

病中須知 佐美上近衛公書 子姪禁俳諧書 日本養子說

室鳩巢
柴野栗山
成島錦江
跡部光海

第七集(別集)

紀元通略 南汎錄 資治通鑑評

羽倉外記編

從吾所好 史計(甲、乙集)

詠史

天下天下論
政事談
和歌
鬼門說
楠木正行筆記
稱謂目書
論語筆記
靜齋隨筆
櫻齋漫錄
忠士屋主稅處置

天事
桂山彩巖
大學
同
梁山潛
室直清
越克敏
鳩巢
新井君美
佐藤直方
中井積善
同 上
川口子深
安東守約
鈴木重充

△小四海堂叢書 二冊 明12 拾八圓

非詩人詩 養小錄 能毒

△續々群書類從 古書保存會編 五册 一枚 明36・37 拾圓

類聚神祇本源 一 豐葦原神風和記 二 舊事本紀玄義 三 神祇靈應記 四 神皇系圖 神皇實錄 天口事書 本朝諸社一覽 八 神社便覽

度會家行
皇太神宮殿舍考證
沙門慈遍
豐受皇太神宮殿舍考證同
神宮神領目錄
坂內直頼
白井宗因

縮年殘篇(應德元年皇代記)
南部七大寺巡禮記
平城宮大內裏跡坪割之圖、圖一
枚付
聖德太子傳私記(古今目錄鈔)
獨物語
延久四年五月日次記
有職問答
公武大體略記

和歌兩神記
度會延經
同
長島泓昌
同 上

△國書刊行會叢書 自第一期 至第八期 揃二六〇 明38〜大11 布七百圓

△國書刊行會叢書 第一期 揃七二 明38〜42 九拾五圓

△續々群書類從 國書刊行會叢書 第一期 1—16 揃一六 散賣壹圓參拾錢

二十二社略記
皇太神宮考證
神宮殿舍考證
內宮經日次記
內宮氏經
神宮祕傳問答
神宮祕傳
荒木田氏經
度會延經
同
度會延貞
度會家行
沙門慈遍
豐受皇太神宮殿舍考證同
神宮神領目錄
度會延貞
茂保司等
茂保記
茂注進雜記
茂祭記 一名賀茂祭再興記
賀茂祭再興記
賀茂祭
賀茂祭
賀茂祭

月能桂一名日吉祭禮記 二
染樹軒松順
東照宮大權現緣起
出雲大社記
宇佐八幡宮緣起一名宇佐大神宮
三社託宣略抄 二
陽復記 二
土德籍
末生土之傳
神學承傳記(吉川惟足傳)
會津神道生死之訣
神道正學記
土津靈神社之訓詞
病後手習
八重垣大明神由祓詞
同碑銘
神道辨草

第二册 史傳部其一

續皇年代略記
本朝歷代法皇外記
貴胤碩臣出家標目
貴胤執政井諸大名入道薙髮目錄
武將家落髮標目
法皇外記綴門鴻寶 釋 元策
議奏次第一名武家傳奏次第
辨官補任 九
新撰座主傳 三
附天台要層
東寺長者補任 五
興福寺別當次第 六

第三册 史傳部其二

常德院畫像贊並序 釋 周麟
細川源賴之公祠堂記 釋 元策
加藤光泰貞泰軍功記
會溪院行狀記

琉球國鄉帳
松前島鄉帳郡志
藝備國郡志
懷橘談 二
隱州視聽合紀 四
仙臺會津元和八年老人覺書
東奧白河往昔之記
辰巳無人島訴狀並口上留書
小笠原民部

蝦夷記
蝦夷島記
吉野記
和紀行
道の覺
貞德他行
宋雅道すがらの記
元和七年東海紀行
澤庵和尚鎌倉之記 二
立圃東の紀行
宗因東の紀行
中山日錄
癸卯于役日錄
江海風帆草
白水郎子紀行 三

第一〇册 教育部

一名宗滴物語
北條幻庵覺老物語
黑田家老士物語
千代茂登草
春鑑抄 二
三德抄 二
敵戒說
翁問答 八
鼈居童問 六
光圀頒教訓
學問關鍵
本朝學原溟華鈔 七
荷大人創學校啓
和學大概
漢學紀源 五

古點譜
乎古止點譜
京都往來
自遣往來 一名江戶往來
源平往來 二
商賣往來
名產諸色往來
諸職往來
消息往來

第一一册 宗教部其一

東大寺要錄 一〇
同醍醐本
同東大寺續要錄 九
招提千歲傳記 九
興福寺濫觴記
藥師寺新黑草紙
藥師寺黑草紙
法隆寺補忘集記
大寺巡禮記 (上)

第一二册 宗教部其二

東實記 九
入唐求法巡禮行記 四
顯戒論緣起
日本師先德明匠記
踏雲錄事
破提宇子

鈴鹿定親
釋 覺嚴
釋 義澄
釋 良訓
釋 寶月
最 澄
凝然 行智

餘目氏舊記
雙林寺傳記
公方兩將記 二
小弓御所樣御討死軍物語
平島記
多賀谷七代記
世田谷私記
吉良家正嫡考
沼田記
棚守房顯手記
佐野宗綱記

第一三册 詩文部

翰語集抄一名明德嘉言誌
立齋舊聞記 二
事語繼志錄 二
侯言行錄 三
公遺事
神言行錄 二
桃源遺事 五
三木之幹等
福住道祐
羅山
安積澹泊
奧村保之
湯淺常山
小宮山昌秀進輯
橘廣相

第四册 史傳部其三

楠木合戰注文(正慶二年分)
忽那一族軍忠次第
忽那島開後記
瑞山年錄殘編 二
金剛寺古記寫
續南行雜錄
大乘院日記目錄 三
西征日記
邊城合戰記
普照國師年譜 二
普照國師年譜二期 三
存覺上人一期記 三
存覺上人行狀 三
綱嚴
性日、性派
貞慧傳
行基年譜
弘法大師弟子傳 二
大法師淨藏傳 三
圓照上人行狀 三
凝然
宗蓮
智燈
泉高父宿禰
佐々宗淳
尋尊僧正
天荊
穗積隆彥
同上

香宗我部氏記錄 七
菅谷傳記
嶺根山中城責由來
忍城戰記
清正高麗陣覺書
石川忠總家臣大阪陣覺書
大阪陣山口休庵咄
土屋忠兵衛知貞私記
島原一揆松倉記
島原天草日記
山田右衛門作以言語記 一六
休明光記 九

第五册 記錄部

三代御記 三
貞信公記
九曆
宇治關白高野山御參詣記
江記
平知信朝臣記
吉田中納言爲經卿記
後釋念院關白冬平公記
匡遠記
北面假名記一名院北面始記
齋藤基恒日記
東大寺法花堂要錄
纘芥記
東大寺綸所日記
惟房公記
天正日記
親經卿記
九州下向記

第六册 法制部其一

講令備考 一〇
律逸 八
格逸 五
稻葉通邦等
石原正明
塙保己一
黑川春村

式逸 二
延喜式工事解附工事通解 三
延喜式工事解圖錄
春田永年
江次第抄 七
一條兼良

第七册 法制部其二

建官考
吏徵別錄 二
吏徵附錄
同
同上
三代制符(建久、寬喜、文永)
公家新制(四十一條、弘長三年)
御成敗式目注
貞應弘安式目注
建武式目注
增補田園類說 一〇
(小宮山昌秀進輯
谷本敎等增補
橘廣相)
寬文記
侍中群要 一〇
當今(中御門院)年中行事
條々聞書貞丈抄 五
諸國御關所覺書

澁井太室
向山隅堂
同
同上

和田英松
春田永年
一條兼良

第八册 地理部其一

本朝地理志略
日本略記
雍州府志 一〇
和州舊跡幽考 二〇
堺鑑 三
蘆分船 六
江戶名所記 七
兵庫名所記 二
長崎緣起略記 二
前橋風土記 三
會津風土記
端郡風土記
磐城風土記

黑川道祐
林宗甫
衣笠一閑
無軒道冶
淺井了意
植田下省子
釋法昭
古市剛
保科正之

林羅山

第九册 地理部其二

寬文印知集 二四

後水尾天皇御製詩集
鳳啼集
後光明天皇
纔山十七首
武田信玄
貞山公詩鈔
伊達政宗
惟新公自記
島津義弘
颺言錄
堀田正俊
勸忠書
慺窩先生文集 一三
慺窩先生全集 二
恭靖先生遺稿 三
垂加文集 七
山崎闇齋文集 八
三宅觀瀾
觀瀾集
大德寺玉仲宗琮
玉仲遺文

新撰菟玖波集 一〇
連集良材
岩清水物語 二
伊勢なき物語 二
つれづれ物語
兵部卿物語
源家長日記

第一六册 雜部

雙倉北雜物出用帳
延曆六年曝涼帳
延曆十二年曝涼帳
仁二年官物勘錄
弘仁二年雜物出入帳
雜物出入繼文
東大寺勅封藏目錄 記 二
天正二年藏香記
東大寺三藏御寶物御改之帳
慶長十九年藥師院實祐記
正倉院御開封記草書

僧 宗祇
薬師院祐想
性
金珠院庸
淡海三船

東大寺正倉院開封記
東大寺三倉開封勘例
二倉道具目錄
正倉院御開封勘例等御尋之日記
東大寺古文書目錄
正倉院實物御開封事書
天保四年正倉院御寶物目錄
仁和寺御室御物實錄(天曆四年十一月)

第一五册 歌文部其二

顯昭古今集註 二〇
僧 顯昭
俊賴口傳集 二
源 俊賴
續歌林良材集 二
下河邊長流
梁塵集 二
戶田茂睡
和歌會式

風葉和歌集 二〇
新撰六帖題和歌 六
千五百番歌合 二〇
集外三十六歌仙
後水尾院
慶長千首和歌
九條植通
沙彌惠空百首
天正十六年聚樂亭御歌會御歌
文祿三年吉野山御歌會御歌
後柏原院御日次結題
後水尾院御集
後十輪院內大臣詠草
後圓兼補遺
慺窩家集
慺窩先生倭謳集 五
細川幽齋
元政
祇園槐女
祇園百合女

第一四册 歌文部其一

本朝法家文書目錄
釋 社寶
寺物展閱目錄 五
但馬國太田文
下京中出入之帳
絲割符由緒書
中家實錄 三〇
書大體
大安寺碑文
三州俗聖起請十二箇條事
僧 妙達蘇生注記

美福門院御文
六條判官爲義書狀　四通
源雜經搜索之事宣下請文　二通
興福寺法隆寺牒狀
宋人陳和卿濫妨停止下文（元久三年四月）

△新群書類從　國書刊行會叢書　第一期17—26　散實貳　揃一〇貳　拾圓

第一册　演劇其一

西澤一鳳小傳　水谷不到　筆海要津　二
西澤文庫傳奇作書初編二　天保14　西澤一鳳　上賀茂松下氏文書　海惠儈都編
西澤文庫傳奇作書拾遺三　嘉永2　西澤一鳳　假面譜　喜多古能
西澤文庫傳奇作書殘編二　嘉永3　西澤一鳳　和學講談所御用留抄
西澤文庫傳奇作書續編三　嘉永3　西澤一鳳
西澤文庫傳奇作書附錄三　嘉永3　西澤一鳳
西澤文庫傳奇作書後集二　嘉永3　西澤一鳳
西澤文庫皇都午睡初編二　嘉永3　西澤一鳳
西澤文庫皇都午睡二編二　嘉永3　西澤一鳳
西澤文庫皇都午睡三編二　嘉永4　西澤一鳳
西澤文庫皇都午睡四編二　嘉永4　西澤一鳳

第二册　演劇其二

濱松歌國小傳　水谷不到　古今參考南水漫遊初編五　濱松歌國
西澤文庫脚色餘錄自序　嘉永4　西澤一鳳　古今參考南水漫遊拾遺五　同上
西澤文庫脚色餘錄初編三　嘉永4　西澤一鳳　古今參考南水漫遊續編五　同上
西澤文庫脚色餘錄二編三　嘉永5　西澤一鳳

第三册　演劇其三

役者論語　舞臺百箇條　杉九兵衛　寬文2
藝鑑　富永平兵衛　寬文8
あやめぐさ　福岡彌五四郎　寶曆5
耳塵集　二　金子吉左衛門　貞享4
續耳塵集　民屋四郎五郎　天狗羽打　萬治3
賢外集　佐度島四郎三郎　四天王むしゃ執行　萬治2
日記　東蓮智坊　四天王最後　寬文1
評林　二　賴光蜘蛛切　寬文2
古今いろは評林　中村重助　四天王北國合戰　寬文2
作者店おろし　天保14　公平誕生地　寬文4
三升屋二三治　公平根惡太郎　寬文4
並木正三一代咄　岩井半四郎さいご物語　公平化論　萬治4
市川正德追善實我一名寶　永忠信　公平關やぶり　寬文4
物語　梅幸集　中山文七一代狂言紀　公平末春いくさろん　萬治3
天明4　天明2　公平天句問答　正德6
眠獅選二　政2八文字舍自笑　八幡太郎誕生記　寬文5
作書追加二　嘉永4　渡邊智略討　寬文3
富永平兵衛　渡邊三田合戰　寬文3
富永平兵衛　菅原親王　寬文3
熊野山開帳　ぎのりつくわ　寬文3
業平河內通　公平武者執行　貞享2
公平入道山めぐり　貞享2
公平論　萬治4
公平やぶり　萬治4
公平春いくさろん　萬治3
公平天句問答　正德6
公平誕生地　寬文4
公平根惡太郎　寬文4
公平化論　萬治4
公平關やぶり　寬文4
公平末春いくさろん　萬治3
公平天句問答　正德6
公平誕生記　寬文5
公平武者執行　貞享2
公平入道山めぐり　貞享2
四天王最後　寬文2
四天王北國合戰　寬文2
京今宮御本地　寬文2
日本兩武將始　寬永8
敵討のいこん　寶曆5
四天王筑紫責　寬政8
末印問答　貞享4
きさきあらそひ　萬治3
天狗羽打　萬治3
四天王むしゃ執行　萬治2
四天王最後　寬文1
賴光蜘蛛切　寬文2
四天王北國合戰　寬文2
公平誕生地　寬文4
渡邊根惡太郎　寬文4
公平化論　萬治4
公平やぶり　寬文4
公平春いくさろん　萬治3
公平天句問答　正德6
公平誕生記　寬文5
八幡太郎誕生記　寬文5
渡邊智略討　寬文3
渡邊三田合戰　寬文3
菅原親王　寬文3
公平武者執行　貞享2
公平入道山めぐり　貞享2
殿上闇討女裝束　延寶5
賴朝三島詣　延寶6
ごばん忠信　延寶4
義經地獄破　寬文1
あさいなしまわたり　寬文2

第一〇册　狂歌

古今夷曲集一〇　寬文6　生白堂行風
後撰夷曲集一〇　寬文12　同　上

第八册　舞曲（幸若舞ノ本）

腰越　大久保藪雪
堀河夜討　大久保藪雪
四國落　大久保藪雪
靜　大久保藪雪
富樫　大久保藪雪
笈さがし　大久保藪雪
八島　大久保藪雪
清重　大久保藪雪
高館　大久保藪雪
景清　大久保藪雪
切　泉
夜討曾我　大久保藪雪
劍歎　大久保藪雪
小和田酒盛　大久保藪雪
十番切　大久保藪雪
新曲　大久保藪雪
張貝　大久保藪雪

第九册　歌曲其三（金平本）

清原大將　延寶5
四天王若盛
四天王女大力手捕軍

前期書本書目

入鹿大職冠　大久保藪雪
百合若大臣　大久保藪雪
志田滿仲　大久保藪雪
富樫笈さがし　大久保藪雪
築島磯黃が島　大久保藪雪
篠田伏見常盤問答　大久保藪雪
常盤文覺　大久保藪雪
伊吹夢合せ　大久保藪雪
木曾馬揃　大久保藪雪
敦盛最期　大久保藪雪
那須與一　大久保藪雪
未來記　大久保藪雪
笛之卷　大久保藪雪
鞍馬出　大久保藪雪
烏帽子折　大久保藪雪

增補續書本年表（五車樓主人編　大久保豐補）

合卷外題集　水谷不到
草雙紙書目　大久保藪雪
笑話書目　大久保藪雪
洒落本目錄　大久保藪雪
中本書目　大久保藪雪
人情本目錄　大久保藪雪
續本年表　西澤一鳳
參考今昔操淨瑠璃外題年鑑　西澤一鳳
一樂子

第八册　舞曲（幸若舞ノ本）

濱松歌國小傳　水谷不到
西澤文庫脚色餘錄自序　嘉永4　西澤一鳳
西澤文庫脚色餘錄初編三　嘉永4　西澤一鳳
西澤文庫脚色餘錄二編三　嘉永5　西澤一鳳
西澤文庫脚色餘錄三編三　嘉永5　西澤一鳳
西澤文庫讚佛乘初編三　嘉永5　西澤一鳳

△燕石十種　國書刊行會叢書　第一期27—29　散實　貳圓參拾錢　揃三　六圓五拾錢

第一册　初輯二輯

高尾考　原武太夫
遊女考　相馬長昭
猿樂傳記一名倭業傳記二　享保
江戶眞砂　寶曆
猿樂傳記　加藤玄悅
我衣　森山孝盛
賤のおだまき　小川顯道
塵塚談二　享和3
後は昔物語　手柄岡持
瀨田問答　大田南畝
奴師勞之　大田南畝
戲作者小傳　大田南畝
戲作六家撰　大田南畝
後見草　大田南畝
上卷一名明層懲惡錄　龜岡宗山
中下卷　杉田魯齋
附錄、淺間山噴火記事　志賀紀豐
事蹟合考　柏崎貝元
南向茶話付追考明和2　酒井忠昌
墨水消夏錄三　東蘭洲
蜘蛛の絲卷二　岩瀨京山
涙花五俠傳　文政4
猿樂沿革考一　名荼醫由來
文政9　川崎重恭
三升屋二三治戲場書留二

第二册　三輯四輯

狂言鷺集一名古今の馬鹿集　朱樂管江、四方赤良
德和歌後萬載集　寬政8　明和8
狂歌酒百首　曉月坊商珍
狂歌百首夷歌　蜀山人
吾吟我集一〇　寶曆7　馬場金埒
石田未得　天明3
牛井卜養　寶曆7
仙臺百首　蔦唐丸
狂歌鳩杖集二　天明3　寶曆7
狂歌坊海　寶曆7
家土產　永田貞柳　寶曆7
狂歌醉竹集二　唐衣橘洲　寶曆7
狂言鷺集　朱樂管江　弘化4
德和歌後萬載集　朱樂館家集　天明8
狂歌酒百首　馬場金埒　天明8
狂歌百首夷歌　蜀山人　大田南畝
狂歌坊海　寶曆7
家土產　永田貞柳　寶曆7
狂歌醉竹集二　唐衣橘洲　寶曆7
六樹園家集　朱樂館家集
朱樂管江、四方赤良
德和歌後萬載集　寬政8　明和8
狂歌酒百首　馬場金埒
吾吟我集一〇　寶曆7　蜀山人
石田未得　天明3
牛井卜養　寶曆7
仙臺百首　蔦唐丸
狂歌鳩杖集二　天明3　寶曆7
狂歌坊海　寶曆7
家土產　永田貞柳　寶曆7
狂歌醉竹集二　唐衣橘洲　寶曆7

第二册　三輯四輯

高尾考　柳澤里恭
遊女考　綾藤彥麿
猿樂傳記一名倭業傳記二　弘化4
江戶眞砂　寶曆7
猿樂沿革考一　名荼醫由來　德永種久
文政9　川崎重恭　青山某
三升屋二三治戲場書留二　東蘭洲　某
墨水消夏錄三　岩瀨京山
蜘蛛の絲卷二　文政4
涙花五俠傳　庄司勝富
猿樂沿革考一　名荼醫由來　山東京傳
文政9　川崎重恭
三升屋二三治戲場書留二

第三册　五輯六輯

異本洞房語園二　元文3
大盡舞考證二　山東京傳
吉原雜話一名青樓雜話

第四册　演劇其四

豐芥子略傳　二世柳亭種彥
豐芥子略傳　假名垣魯文
花江都歌舞伎年代記續編三　豐芥子

第五册　歌曲其一

四天王高名物語きんぴらぐんぼうやぶり　近松門左衛門
賴義　金剛山合戰　井ひやうぶ物語
釋迦八相記　附佛母まや婦人
善導記　寬文10
日本王代記　井神武天王のゆらひ
玉津島の御本地　延寶5
四天王大田合戰　すけたけろうやぶり
なすの與市竹生島詣　附舟いこん
賴光あとめろん　寬文
津戶三郎義經追善女舞
愛染明王影向松
酒天童子
念佛往生記
清水觀音利生物語
小栗判官
隅田川
善光寺
阿漕平次
（薩摩外記正本の序文）

第六册　歌曲其二

絲竹初心集三　寬文4　中村宗三
松の葉五　元祿16　秀松軒
若みどり五　靜雲閣主人
增補松の落葉五　寶曆1　大木扇德
淋敷座の慰み　文政4
諸國盆踊唱歌
淨瑠璃文句評註難波土產五　穗積以貫
璃寬天句　寬笠翁
今昔操年代記二　享保12　西澤一鳳
竹豐故事　一樂子
歌系圖　流石庵羽積

第七册　書目

江戶狂歌書目　野崎左文
俳諧書籍目錄　阿誰軒　漆山天童補
浮世草子目錄　大久保藪雪　柳亭種彥
好色本目錄　大久保藪雪　柳亭種彥
吉原書籍目錄　大久保藪雪　瀧水散人　久保豐編補
續吉原書籍目錄　大久保藪雪　瀧水散人　久保豐編補

增補背本年表

出世太平記　（土佐淨瑠璃總目錄及序文）
名古屋山三郎　京西條なくに歌舞妓
土佐日記　對面曾我
芳野の內裡　源氏六條通
定家　三世二河白道
源氏花鳥大全　艷色萬歲賴政
和國女眉問尺　通俗傾城三國志
博多露左衛門色傳授

第六册　歌曲其二

絲竹初心集　三　寬文4　中村宗三
松の葉五　元祿16　秀松軒
若みどり　靜雲閣主人
增補松の落葉五　寶曆1　大木扇德
淋敷座の慰み　文政4
諸國盆踊唱歌
淨瑠璃文句評註難波土產五　穗積以貫
璃寬天句　寬笠翁
今昔操年代記二　享保12　西澤一鳳
竹豐故事　一樂子
歌系圖　流石庵羽積

第七册　書目

江戶狂歌書目　野崎左文
俳諧書籍目錄　阿誰軒　漆山天童補
浮世草子目錄　大久保藪雪　柳亭種彥
好色本目錄　大久保藪雪　柳亭種彥
吉原書籍目錄　大久保藪雪　瀧水散人　久保豐編補
續吉原書籍目錄　大久保藪雪　瀧水散人　久保豐編補

增補背本年表

出世太平記　（土佐淨瑠璃總目錄及序文）
名古屋山三郎　京西條なくに歌舞妓
土佐日記　對面曾我
芳野の內裡　源氏六條通
定家　三世二河白道
源氏花鳥大全　艷色萬歲賴政
和國女眉問尺　通俗傾城三國志
博多露左衛門色傳授

北里蠭蜂の疝氣寶曆13原盛和
老のたのしみ抄享保2市川柏鑑
寛天見聞記
夢の浮橋附錄
江戸塵拾五
豐島屋十右衞門
文政
蠭作外題鑑
江戸往古圖說二
慶長年間江戸圖考御曲輪內圖說
大橋方長
△續燕石十種 國書刊行會叢書 第一期30—31
第一册 初輯二輯
畫證錄(下缺)
喜多村信節
式亭雜記 二
釣客傳二
馬田五柳
萍野茗談
平秩東作
過眼錄
反古染
洞房語園後集
武江年表補正略
博戲犀照
國字小說通
京攝戲作者考
一蝶流滴考
柳淇園先生一筆
深川珍者錄 四
遠人傑談 二
戲財錄
わすれ殘り 二
德永種久紀行
反古龍
俳諧古文庫 二
第一册 第二册
神祇部(文政)
姓氏部(文政)
時令部(文政)
地理部(文政)
曆占部(文政)
歲時部(文政)
△古今要賢稿 國書刊行會叢書 第一期32—37
屋代弘賢
器財部上(文政)
異聞雜稿
吉原源氏五十四君
喜多村信節
北流山人
三升屋二三治
山崎美成
山東京山
三升屋二三治
建部綾足
黑川春村
河原崎權之助
曲亭馬琴
榎本其角
曲亭馬琴
曲亭種彥
三木隆盛
山東京傳
山崎美成
二代目瀨川如皐
畠山淇山
第二册 第三册
器財部下(文政)
雜藝部(文政)
第四·五册
散實壹圓五拾錢
揃六九圓
龍の花 二
鹿の卷筆五
元祿5鹿野武左衞門
繪そらごと
石野廣道
なら柴一名三絃根元記
原盛和
經邦
屋代弘賢
中神守節
山崎美成
鹿野武左衞門
石野廣道
原盛和
經邦
屋代弘賢
吉野傳
道成寺考
吉原町定書
寛政7
芝居町へ御觸書
東 蘭洲
散實 貳圓參拾錢
揃 四圓五拾錢
第一册 初輯二輯
喜多村信節
式亭雜記 二
黑田五柳
萍庭雜錄 二
平秩東作
過眼錄
越智爲久
庄司道恕
江都百化物
山東京傳一代記
喜多村信節
金杉日記
京山高尾考
山崎美成
木村默翁
紙屑籠
山東京山
烏有山人
須美草
三升屋二三治
凉仙老樵
壹すみれ
建部綾足
柳里恭
舞曲扇林 二
黑川春村
河原崎權之助
改過筆記
柳亭遺稿
曲亭馬琴
曲亭種彥
三木隆盛
山東京傳
山崎美成
其昔がたり
無垢衣考
清神祕錄
十八大通
山東京傳一代記
江都百化物
山崎美成
金杉日記
京山高尾考
山崎美成
須美草
三升屋二三治
建部綾足
黑川春村
河原崎權之助
曲亭馬琴
曲亭種彥
三木隆盛
山東京傳
山崎美成
二代目瀨川如皐
畠山淇山
四壁庵茂蔦
德永種久
疑問錄
萬象亭
曲亭馬琴
色道大鏡 九
只今御笑草
二代目瀨川如皐
畠山淇山
第三册
散實壹圓五拾錢
揃六九圓
屋代弘賢
國書刊行會叢書 第一期32—37
器財部上(文政)
第三册
器財部下(文政)
雜藝部(文政)
第四·五册
裝束部(文政)
政治部(文政)
冠服部(文政)
散實 壹圓五拾錢
揃三 四圓五拾錢
古文故事 一六 文化14
古文故事附錄 五
古文故事錄 四
第三册
好書故事 三六 文政
正齋書籍考
牙籤考
牙籤考及附錄、附記
牙籤考錄 七 並存錄、附錄
寬政4
木瓜考
本佐錄考
新野問答一名黃白問答
車服制度手記
新近問答
文廟遺命
白石先生學訓
停雲集 二
室新詩評
天爵堂筆言
天爵堂壽詩
〔附錄〕
白石先生年譜
白石先生著述書目並附錄
三田葆光
堤 朝風
散實 壹圓五拾錢
揃三 四圓五拾錢
國書刊行會叢書 第一期44—46
村尾元長
近藤守重事蹟考
近藤重藏
囚後之近藤重藏
外蕃通書 三七
邊要分界圖考 八
安南紀略藥 二
亞媽港紀略藥 二
第二册
正齋書籍考 四 文政
國書刊行會叢書
△伴信友全集 第一期47—51
第一册
神名帳考證 一四
神名帳考證 土代附考
第二册
伴信友翁傳、略年譜 和田信二郎
神社私考 六
神名帳標目私考
神名帳標目私考附錄
△近藤正齋全集 國書刊行會叢書 第一期44—46
第一册
近藤守重事蹟考
近藤重藏
囚後之近藤重藏
外蕃通書 三七
邊要分界圖考 八 文化1
安南紀略藥 二
亞媽港紀略藥 二
第二册
正齋書籍考 四 文政
國書刊行會叢書
△伴信友全集 第一期47—51
第一册
神名帳考證 一四
神名帳考證 土代附考
第二册
伴信友翁傳、略年譜 和田信二郎
神社私考 六
神名帳標目私考
神名帳標目私考附錄
洪獄考
本朝軍器考 一三
本朝軍器考集古圖說 二
人名考
准后考
武家官位裝束考
祭祀考
聖像考
國郡名考
日東行程考
地名河川兩字通用考
玉考
樂考
俳優考
品舉威考
鎧直垂考
神璽三辨
大刀契考
鎭魂傳
長谷寺多寶塔銘文(起剝傷)
長谷寺緣
上野國三碑考
第三册
竹葉祕抄
字知都志
高橋氏文考注
松の藤蘆井附錄
殘櫻記 二
荒山大捷之碑記事 文政4
中外經緯傳草稿 六
假字の本末 二
應擊考
第四册
北古襍衣 一〇
△菅政友全集 國書刊行會叢書 第一期52
南山皇胤譜
古事記年紀考 六
淡能碁呂島考
漢籍傳人考 三
葉 藤原兼實 國書刊行會叢書 第一期53—55
玉 藤原長清 國書刊行會叢書 第一期62—63
△高麗史 鄭麟趾 國書刊行會叢書 第一期56—58
△太平記 神田本 國書刊行會叢書 第一期59
△平家物語 長門本 國書刊行會叢書 第一期60
△源注餘滴 石川雅望 國書刊行會叢書 第一期61
△夫木和歌抄同索引 藤原長清 國書刊行會叢書 第一期62—63
壹圓五拾錢
壹圓五拾錢
壹圓三〇錢
壹圓五〇錢
貳圓
壹圓三〇錢
散實壹圓五拾錢
揃三四圓
散實壹圓七拾錢
揃三五
散實壹圓五拾錢
揃五七圓
若狹國官社私考 二
若狹國神名帳私考 二
瀨見小河 四
驗の杉
八幡考
藩神考
正下考 三
中臣祓詞要解
長等の山風 二
長等の山風附錄 四
第五册
鏡祕考附日矛考 天保3
伊勢命記考 天保14
佛神論附靈島山遊矛考 文政2
方術源論一名方術考說三 文政5
周易私論一名易占辨二 天保5
論鬼神論草稿 文化3
若狹舊事考 文政8
弓矢古義推考
麻々良考
鞆考補證 天保11
神樂歌考
古詠考
表章伊勢日記附證 天保4
動植名彙 一〇 文政10
鬼神論
孫武兵法擇 三
孫武兵法擇副言
那須國造碑釋文並跋
樂對
正德年號辨
經邦典例卷之六 八
白石建議
將軍宣下三十一度儀不同次第進呈之案
蟲介部(天保)
魚介部(天保)
飲食部(天保)
散實 貳圓貳拾錢
揃六 拾參圓
榮蔬部(天保)
雜部(天保)
第六册
△新井白石全集 國書刊行會叢書 第一期38—43
第一册
藩翰譜 三
第二册
藩翰譜續編
第三册
折たく柴の記 二
新井家系
岩松家系附錄序說
古史通或問 四
讀史餘論 三
畿內治河記
奧羽海運記
五十四郡考
五事略 五
殊號事略 二
外國通信事略
琉球國事略
本朝寶貨通用事略
高野山事略
南島志 二
第四册
東雅 二〇
東音譜
同文通考 四
朝鮮聘禮考
朝鮮信使進見儀注
朝鮮信使賜饗儀注
朝鮮信使辭見儀注
朝鮮國信書之式の事
朝鮮使客奉命敎諭
朝鮮使客接應記及抄釋
朝鮮聘使後議
朝鮮冠服の事
國書復號紀事
以酉菴事議草
坐問筆語一名歎樂筆談、內殿森嚴筆談
江關筆談
白雉帖
西洋紀聞(陋錄及邏媽人款狀共) 三
采覽異言 五
第五册
白石先生遺文拾遺 二
白石詩草
白石先生餘稿 三
高子觀遊記
白石先生手簡
退私錄附言 二
白石先生紳書 一〇
第六册

△松屋筆記　高田與清　國書刊行會叢書第一期64—65　散實壹圓五拾錢　揃三四　圓

△灌頂記　弘法大師　國書刊行會叢書第一期67　折本參圓

△集古十種　松平樂翁　國書刊行會叢書第一期68—71　散實貳圓　揃四九　圓

△日本古刻書史　朝倉龜三　國書刊行會叢書第一期72　八圓

△國書刊行會叢書　第二期　揃四八明43ヶ45　八拾圓

△赤穗義人纂書及補遺　鍋田三善　國書刊行會　散實壹圓七拾錢　揃三五　圓
內容赤穗義士傳欄參照

△甲子夜話同續編　松浦清　國書刊行會叢書第二期4—9　散實壹圓七拾錢　揃六拾　圓

△近世文藝叢書　國書刊行會叢書第二期10—21　散實貳圓貳拾錢　揃一二　貳拾五圓

第一册　名所記上

江戸雀　三
增補江戸鹿　六　中川喜雲
京童跡追　六　中川喜雲
京雀　七
難波鑑　六　一無軒道冶

第二册　名所記下

諸國物語　五　中川喜雲
高野山通念集　一〇　一無軒道冶
隋都名所集　二
河内國名所鑑　六　又云、河内鑑、名所記、河内名所記
有馬名所鑑　二　江原某
長崎鳥眼鏡　四　花翁
三河雀　一

第三册　小說上

伽婢子　一三　一名懺悔物語　二　鈴木正三
七人比丘尼　二　二人比丘尼　四　角田川物語　三
貧人太平記　三　一本菊　一名少將鞍馬物語　三
水鳥記　三　地黃坊樽次
あだ物語　二　三浦爲春
瀧雲物語　二
他我身の上　六　山岡元隣

第四册　小說中

傾城武道櫻　五　西澤與四
武道張合大鑑　五　北條水
當世乙女織分　七　錦文流
心中大鑑　五　書軒方

第五册　小說下

女大名丹前能　八　西澤與四
本朝藤陰比事　七
千尋日本織　六
近代長者鑑　六　落月堂操巵
傾城難波みやげ　五　市中軒
美景詩繪松　五
傾城野群談　五　八文字舍自笑
風流傾城太々神樂　六　都の錦
風流源氏物語　六

第六册　笑話

世の是沙汰　五　四樂
今樣二十四孝　六　月尋堂
風流日本莊子　四　宋屋鐵舟
風流今平家　六　西澤與四
乳腥三本鎖　六
傾城風流杉盃　六　西澤一鳳

第七册　擬物語

仁勢物語　二　戀川春町
伊勢物語ひら言葉一名業平昔物語　四　曲亭馬琴
仁勢物語通補抄　一〇　筑府狢裂米
紀暫計　二　落咄無事志有意
志水燕十　談洲樓焉馬
おさな源氏物語　六
野々口立圃　梅翁
尤の雙紙　二
紅白源氏物語　六
おちくぼ物語一名小おちくぼ　三　今長明
犬方丈記　寬濶平家物語　六
吉原徒然草　五　結城屋來示
新つれづれ草　五
茶人徒然草

第八册　川柳上

俳風柳多留　自初篇至三十篇

第九册　川柳下

俳風柳多留　自三十一篇至六十篇

第一〇册　風俗

諸國遊里好色由來揃　五　飯袋子
麗の色　五
あづま物がたり　吉原大全　五　澤田東江
北里見聞錄　七　寬閑樓徒孝
柳花通誌　五　秀山人
かくれざと　二　石橋眞國
島原やまとごよみ　三
改正一目千軒　斜天、呑獅
廓中一覽一名浪花青樓志　九
大阪新町細見之圖みなつくし　吟古市人
虛實柳巷方言　三　香具屋先生

第一一册　俚諺

△史籍雜纂　國書刊行會叢書第二期34—38　散實貳拾圓　揃五

內容史籍類集欄參照

△神道叢說　國書刊行會叢書第二期39　貳圓五〇錢

卜部兼直　玉籤集　八
三種神器極秘傳　享保9　跡邊良顯
度會家行　神道問答　伴部安崇
吉田兼倶　神道初傳口授　同
慶長勅版日本記神代卷　神道大意　延寶6　若林強齋
神道長則　神道學則　杉岡伸貞
日本記神代卷　神道大意註　谷川士清
神道四品緣起　享保17　上月信敬
神道常談　三喜　中臣祓再八箇之傳　淺利信賢
神道啓蒙　眞野時綱　中臣祓八箇之傳　同
神道傳授　橘貞享5　山崎闇齋　神道秘傳抄
三輪物語　山崎闇齋　神道指要　二
神宮續秘傳問答　八　神學一口傳　文化1　榮名井廣聰
依勤纂井高年申加階狀　神代卷宣考　同　伊勢貞丈
神道大意註　神道通辨　天明4　人
神道四品緣起　享保17　橘貞享5　神社托宣記　同　伊勢貞丈
神道常談　三喜　中臣祓再八箇之傳　三輪正統記　寬政6　藤中溪
神道啓蒙　眞野時綱　中臣祓八箇之傳　高屋近文　鹽田兵庫
神道傳授　橘貞享5　山崎闇齋　神道秘傳抄　文化13
正保8　林鵞峰　神道指要　二
三輪物語　山崎闇齋　神學納涼問答　文化9　小野宮高潔
神宮續秘傳問答　八　神路の手引草　二　享保增穗大和
依勤纂井高年申加階狀　神道大意註　享保
神道大意註　享保17　上月信敬
神道四品緣起　享保17　橘貞享5
神道常談　三喜　中臣祓再八箇之傳
神道啓蒙　眞野時綱　中臣祓八箇之傳
神道傳授　橘貞享5　山崎闇齋　神道秘傳抄
三輪物語　山崎闇齋　神道指要　二
神宮續秘傳問答　八
依勤纂井高年申加階狀　神道大意註

△國書刊行會叢書　第三期　揃四九明45ヶ大3　百參拾圓

△宴曲十七帖　附謠曲末百番　國書刊行會叢書　第三期1　參圓

△近世風俗見聞集　國書刊行會叢書　第三期2—5　散寶　參圓　揃四　拾貳圓

第一冊
そゞろ物語　寛政18　三浦淨心
むかし〳〵物語　天保　新見正朝
久夢日記　文化3
元禄寶永珍話　四　元禄
月堂見聞集上　元禄　本島知辰

第二冊
月堂見聞集下　享保19　本島知辰
享保世話　二　享保10

△宮武通記　玉蟲佐太夫

第一冊
（文久二年）
日標　第一、二卷　大橋順藏始末　第三卷
坂下猥藉始末雜集　第三卷
安藤對馬守始末　第四卷
長州始末雜集　第五、六卷
藩士集會始末雜集　第七、八卷
御所司代始末　第九卷
久世大和守殿始末　第十卷
大原三位卿關東勅使始末　第十一卷
公方樣御上洛始末　第十二卷

第二冊
伊波傳毛乃記　曲亭馬琴　加藤敬豐　散寶　四　揃八　參拾貳圓
今昔物語　一名宇治大納言物語　三　源隆國

第四冊
草根集　上（一—一〇）　釋　正徹

第五冊
草根集　下（一一—一五）
萬代和歌集　二〇

第六冊
故實

△丹鶴全集並圖譜　水野忠央　國書刊行會叢書　第三期16—24　揃九貳拾七圓

第一冊
日本書紀（神代卷）　二　舍人親王
春記　一名資房卿記　三　藤原資房

第二、三冊
今昔物語　一名宇治大納言物語　三　源隆國

第四冊
草根集　上（一—一〇）　釋　正徹

第五冊
草根集　下（一一—一五）
萬代和歌集　二〇

第六冊
故實

第七冊　歌集、物語
和歌一字抄　二　九條右大臣集　一名藤原師輔家集
御堂關白集　一名御堂大殿集
大納言經信卿家經朝臣集
前參議教長卿集　一名貧道集　六
信實朝臣家選集　源重之むすめの集　小侍徒集　一
殷富門院大輔集　二　和泉式部續集　二
中納言物語　四　松しのびね物語　二

第八冊　繪詞、史傳
蒙古來繪詞　一名竹崎季長繪詞　繪師草紙　一名乙寶寺緣起
繪師草紙　一名乙寶寺緣起
紫式部日記繪詞　八
室町殿春日詣記
古事談　六
武藏國風土記　五

第九冊
丹鶴圖譜

△新燕石十種　國書刊行會叢書　第三期11—15　散寶　壹圓八拾錢　揃五

第一冊
飛鳥川　縯　飛鳥川
親子草　二
近來見聞噺の苗　六　飯島曉鐘成
天言筆記　五　於路加於比　三　傳奮暗記空おぼへ　菅　瀧澤馬琴　圓
けんどん爭　山崎美成
浪華百事談　九　吉原の記

第二冊
ひともと草　二　大田南畝等
五月雨草紙　喜多村香城
なるの日並　笠亭仙果
にきはひ草　二　灰屋紹益
了阿遺書　三　附花島日記　村田了阿
東都紀行　四　雪洞　辻村鎭

△建白集彙　第十一卷　公方樣御上洛始末　第十二卷
小笠原圖書頭殿御上洛始末　第四卷　御親兵始末　第十二卷
御大名不時御出府始末　第四卷　無慮雜集

（元治元年）
日標　第一、二卷
公方樣御上洛始末雜集　第三卷
潛伏浪人探索始末　第三卷
關下騷擾始末　第四、五、六卷
長州征討始末雜集　第七卷
薩州始末雜集　第八卷
長州始末雜集　第九、十卷
建白集彙　第十一、十二卷
無慮雜集　第十三卷　散寶　六　揃三　拾八圓

△德川時代商業叢書　國書刊行會叢書　第三期8—10　散寶　六　揃三　拾八圓
內容商業史欄參照

△新燕石十種　國書刊行會叢書　第三期11—15　散寶　壹圓八拾錢　揃五

第一冊
獨考論附加、餘論　只野あや子
落語家奇奴部類　烏亭房橋
江戸砂子補正　加加美遠懷

第五冊
壽十八番歌舞妓狂言考　石塚豐芳子
花街漫錄正誤　喜多村筠庭
百戲述略　五　齋藤月岑
四いろ草　茂睦考　東作遺稿
怪談老の杖　四　大田南畝編
寫山樓記　平秩東作
麗遊　野村文紹
卯花園漫錄　五　石上宣續

第四冊
見世物雜誌　四　小寺玉晁
下谷通志　山崎美成

△通航一覽　林韑等　國書刊行會叢書　第三期25—32　散寶　四　揃八　參拾貳圓

△增補武江年表　齋藤月岑　國書刊行會叢書　第三期33　貳圓

△文明源流叢書　國書刊行會叢書　第三期34—36　散寶　七　揃三　貳拾圓
內容日本文明欄參照

△萬葉集古義　鹿持雅澄　國書刊行會叢書　第三期37—46　揃一〇　散寶　壹圓五拾錢

萬葉集品物解　四　萬葉集名所考　六　萬葉集名所國分　9
萬葉集人物傳　三　萬葉集坐知佳境附錄　9
萬葉集枕詞解　五　萬葉集總論　四　萬葉古義索引　10
萬葉集玉靖考　9

第一冊
戶令　考課令　公式令
田令　祿令　廐牧令
賦役令　假寧令　官衛令
學令　喪葬令　衣服令
後宮職員令　營繕令　倉庫令
東宮職員令　雜令　獄令
職員令　捕亡令
神祇令　獄令
僧尼令
選叙令
繼嗣令

第二冊
官位令　公式令
職員令　廐牧令
田令　祿令
賦役令　假寧令
後宮職員令　官衛令
學令　喪葬令
東宮職員令　衣服令
神祇令　營繕令
僧尼令　雜令
選叙令　獄令
繼嗣令

△令集解　惟宗直本　國書刊行會叢書　第三期47—48　揃二　散寶參圓　五拾錢

△遠近橋　高橋多一郎　國書刊行會叢書　第三期49　壹圓八〇錢

△國書刊行會叢書　第四期　揃三六大3ヶ5　八拾五圓

△吾妻鏡　吉川家本　國書刊行會叢書　第四期1—3　揃三　貳圓　八拾錢

△解題叢書　國書刊行會叢書　第四期4　四圓

經籍訪古志　八　森立之　澁江全善　鵜養徹定　二
官版書籍解風略二　栂山精一　堯陳　幸島宗意　一〇
諸藩藏版書目筆記　四　東條耕　經籍答問　松澤老泉
古經題跋　二　鵜養徹定

△海　錄　山崎美成　國書刊行會叢書　第四期5　五　圓

△近世佛教集說　國書刊行會叢書　第四期6　貳圓八〇錢

山家學則　二　敬老律師　實理學捷徑　庵
續山家學則　三井法明院　敬彥律師　祖心法語　記
東叡山御建立旨趣　井輪王寺御門跡　放紙錄　二　齋藤阿能
室由來　寒松院孝泉　唯稱安心鏡　樹
叢才天祕訣　三靈雲寺淨嚴律師　勵聲念佛感應編　二
寶篋印陀羅尼經和解　祕略釋　三　德本行著語　德
祕密安心往生要集　延命寺蓮體　一心常安　信士某甲
不動尊愚抄　延命寺蓮體　千代見草　日
視孔抄　發心即到記　日　遠講

△群書備考　村井直令　國書刊行會叢書　第四期7　七　圓

△系圖綜覽　國書刊行會叢書　第四期8—9　貳圓五拾錢　散賣　揃二

內容系圖欄參照

△參考太平記　今井內藤　國書刊行會叢書　第四期10—11　壹圓八拾錢　散賣　揃二

△參考保元平治物語　今井內藤　國書刊行會叢書　第四期12　貳　圓

△雜藝叢書　國書刊行會叢書　第四期13—14　散賣　揃二　四　圓　八　圓

第一冊

揚弓射禮蓬矢抄　館　重興
揚弓射禮蓬矢抄追考　今井一中
遊花小言　山口支耀

第二冊　教訓小說

可笑記　五　釋　湯村如儡
爲愚癡物語　八　曾我自休　南園雜話　遊子方言
浮世物語　五　婦美車　紫鹿子
古今堪忍記　七　青木鷺水　契國策
子孫大黑柱　五　月尋堂　松代柳枝
庭訓染匂車　五　六

第三冊　遍歷小說

西鶴冥途物語　五
小夜嵐　三
小夜嵐　一〇
新小夜嵐　六
三千世界色修行　五　其
珍術畧粟散國　五　鳳
異國奇談和莊兵衛後編　四　遊谷子
異國再見和莊兵衛後編　四　遊谷子
異國風俗笑註烈子　五　烈子散人
東唐細見噺　四　大江文坡
成仙玉一口玄談　五　山下珍作
三千世界見て來た噓し後編濡手で粟同　五　墨洲山人
見て來た噓し後編濡手で粟同　上　惠世物語　見

第四冊　怪談小說

百物語評判　五　山岡元鄰
新百物語　五　俳林了意
狗張子　七　釋了意
玉箒木　六　林義端
拾遺御伽婢子　六　柳綠堂
怪醜夜光魂　五　隱士音久
太平百物語　五　菅生堂主人
御伽厚化粧　五　筆天齋
御伽空穗猿　五　山本好阿
怪談登志男　五　靜房
萬世百物語　五　鳥有庵

第五冊　洒落本　澤田東江

川童一代噺　五　後亨　嵐璃寶（改題雪月花）
觀延政命談　五　品田郡太　郭中奇譚

第一冊

△雜藝叢書　國書刊行會叢書　第四期13—14　散賣　揃二　四　圓　八　圓

揚弓射禮蓬矢抄　館　重興
揚弓射禮蓬矢抄追考　今井一中
遊花小言　山口支耀

第二冊　教訓小說

可笑記　五　釋　湯村如儡
爲愚癡物語　八　曾我自休　南園雜話　遊子方言
浮世物語　五　婦美車　紫鹿子
古今堪忍記　七　青木鷺水　契國策
子孫大黑柱　五　月尋堂　松代柳枝
庭訓染匂車　五　六

第三冊　遍歷小說

西鶴冥途物語　五
小夜嵐　三
小夜嵐　一〇
新小夜嵐　六
三千世界色修行　五　其
珍術畧粟散國　五　鳳
異國奇談和莊兵衛後編　四　遊谷子
異國再見和莊兵衛後編　四　遊谷子
異國風俗笑註烈子　五　烈子散人
東唐細見噺　四　大江文坡
成仙玉一口玄談　五　山下珍作
三千世界見て來た噓し後編濡手で粟同　五　墨洲山人
見て來た噓し後編濡手で粟同　上　惠世物語　見

第四冊　怪談小說

百物語評判　五　山岡元鄰
新百物語　五　俳林了意
狗張子　七　釋了意
玉箒木　六　林義端
拾遺御伽婢子　六　柳綠堂
怪醜夜光魂　五　隱士音久
太平百物語　五　菅生堂主人
御伽厚化粧　五　筆天齋
御伽空穗猿　五　山本好阿
怪談登志男　五　靜房
萬世百物語　五　鳥有庵

第五冊　洒落本　澤田東江

異紫六帖　二

△信仰叢書　國書刊行會叢書　第四期15　貳圓五拾錢　散賣　揃二

古今俄選　五　蘇生堂　百千鳥　二
座敷狂言早合點　初編　泉花堂　養鶯舞
茶番狂言早合點　二編　秋元萬藏　陶工祕襄　一名樂燒製方傳
音曲鼻毛拔　無尉齋　志水閑事　小堀常春
口合類顯鏡の塵　太瓶樂居　菓子話船橋　群司莊子
蹴鞠指南大成　二　藤原基盛　新選何曾遊び背紐　足
小弓肝要抄　投壺指南　田中江南　祕事指南車　二　章
擊毬談　觀毬齋　古今祕傳忘れの記　綾　逸
高野家盆景傳書　隣柳庵山樂　物覺祕傳　前編　藤
同　盆山之書　同　上　後編　同　上
同　盆山祕言　同　上　不及先生千里善走傳　同　伯敬
紙鳶全書一名風箏全書　二　古川琇璋　諸藝小鏡　萬藝問合袋　岡
蟠桃舍綠柳　彈　松軒

△德川文藝類聚　國書刊行會叢書　第四期20—31　散賣　揃二　參　圓　拾　圓

第一冊　事實小說

福齋物語　風流夢浮橋　四　雨滴庵松林　森本東烏
諸國心中女　忠義太平記　三　女敵高麗茶椀　二　雲州松江の鱸　三　操草紙　五　淡海子
忠義太平記　三　女敵高麗茶椀　二　雲州松江の鱸　三　操草紙　五　風來紅葉金唐革

第二冊

古今俄選　五　蘇生堂　百千鳥　二
座敷狂言早合點　初編　泉花堂　養鶯舞
茶番狂言早合點　二編　秋元萬藏　陶工祕襄　一名樂燒製方傳
音曲鼻毛拔　無尉齋　志水閑事　小堀常春
口合類顯鏡の塵　太瓶樂居　菓子話船橋　群司莊子
蹴鞠指南大成　二　藤原基盛　新選何曾遊び背紐　足
小弓肝要抄　投壺指南　田中江南　祕事指南車　二　章
擊毬談　觀毬齋　古今祕傳忘れの記　綾　逸
高野家盆景傳書　隣柳庵山樂　物覺祕傳　前編　藤
同　盆山之書　同　上　後編　同　上
同　盆山祕言　同　上　不及先生千里善走傳　同　伯敬
紙鳶全書一名風箏全書　二　古川琇璋　諸藝小鏡　萬藝問合袋　岡
蟠桃舍綠柳　彈　松軒

△言繼卿記　山科言繼　國書刊行會叢書　第四期16—19　散賣　揃四　參　圓　拾　貳　圓

高柳信之

△德川文藝類聚　國書刊行會叢書　第四期20—31　散賣　揃二　參　圓　拾　圓

第一冊　事實小說

福齋物語　風流夢浮橋　四　雨滴庵松林　森本東烏
諸國心中女　忠義太平記　三　女敵高麗茶椀　二　雲州松江の鱸　三　操草紙　五　淡海子
忠義太平記　三　女敵高麗茶椀　二　雲州松江の鱸　三　操草紙　五　風來紅葉金唐革

第二冊

やまあらし　柳亭種彥
源氏六十帖あふひの上　藍染川

第六冊　脚本上

中村明石清三郎　平安城　狂女
市川團十郎　三井寺
市川團十郎　傾城八花形（錦文流）
宮崎傳吉　西行法師墨染櫻（錦文流）
藤本平左衛門　傾城二河白道
市川團十郎　傾城遠間嶽
藤本平左衛門　後藤伊達目貫
光島七郎左衛門　今川了俊
津打半右衛門　增山金八　近松門左衛門
津打九平次　增山治助　並木宗輔
櫻田治助　並木正三
鶴屋南北　並木正三

第七冊　脚本下

傾城伊豆日記　並木和七
傾城金秤目　並木五瓶
傾城曉の鐘　並木正三
傾城山崎通　並木和七
傾城天の羽衣　並木五瓶
お花京羽二重新雛形　並木五瓶
半七　田邊彌七
傾城黃金纏　並木五瓶
桑名屋德藏入舟噺　並木正三
霧太郎天狗酒宴　並木正三
同

第八册　淨瑠璃

たかだち五段　山東京傳
むらまつ　鐘西翁
小袖そがとく丸　內田新好
しのだづま　振鷺亭
さんせう太夫　山東京傳
阿彌陀胸割　朝倉南北
風流和田酒盛　丸
瀧口橫笛　花
石川五右衛門　紫色主
江戶土產　雞波土產
甲賀三郎　若ゑびす

第九册　俗曲上

嘗刻都羽二重拍子扇　二　大田南畝
宮古路月下の梅　二　秩都紀南子
新版宮古路戀の梅　二　獻笑閣主人
常磐種　森島萬象亭
櫻草集　森島萬象亭
柏葉集　六
新內節正本集　十
增補宮薗集都大全　十

第一〇册　俗曲下

色竹薗曲集　橘　正勝
半太夫節正本集　十
十寸見聲曲集　十
歌撰　荻江節正本
常磐友前集　柴田金藏
常磐友後集　虎右衛門
歌澤節正本

第一一册　雜俳

俳諧武玉川　二　紀　逸
俳諧ゑびす講　二
新選猿蓑玖波集　一〇　一陽井素外
俳諧高天鷹　鶴壽軒長弘

冠獨歩行
俳諧萬人講
俳諧三尺のむち
俳諧あづまからげ
青木賦
歌羅衣八篇　丹頂齋一聲

第一二册　評判記

戯作評判花折紙　二
十文字舍繪草紙評判記　菊壽草　二　同
稗史評判岡目八目　同
江戸土産　三
三題噺作者評判記
　春の屠蘇久、好文舍花兒
樂屋與言鳴久者評判記
犬夷評判記　三
風流眞顯記
　惡文舍他笑
　樂亭琴魚

△戸田茂睡全集　戸田茂睡　國書刊行會叢書　參圓　第四期32

御當代記　六
梨本書　二
紫の一本　二
百人一首雜談

△日本書畫苑　國書刊行會叢書　散實參圓　第四期33—34　揃二六

第一册

弘法大師書流系圖
麒麟抄　附錄　三
金玉積傳集諸額書次第
筆法才葉集
夜鶴書札抄
書法式
書道訓
入木道傳書目錄
筆道秘傳鈔　二
能書事蹟　二
執筆撰證法　五
觀鷺百譚批考
書法發揮
氾上漫草
墨道私言　二
學書捷徑　二
東江先生書話　二　附錄
米家書訣
狩谷棭齋手簡

第二册

畫論傳授秘事口訣　林守篤
畫巧潛覽抄　大岡春卜
繪本和比事附錄畫法彩色法

歌集
書簡鈔
建言書

△鼠璞十種　國書刊行會叢書　散實四圓　第五期2—3　揃二八圓

第一册

加藤雀庵　道聽塗說　三
高力極雲　昔ばなし
奇異珍事錄
浮世草
小梅散人　五息齋
橘窻自語　四
竹尾善筑　即事考　四
反古の裏書　四
中野老樗軒　讀老庵日札　色里新迦陵賛

第二册

明和誌　青山白峯
和漢通人の寢言　院子漁
面白登美賀遠佳　大谷木忠醇
浮世の四時　小寺玉晁
甲驛談角雞卵　瀨尾柳齋
深川手習草紙　森立之
吉原楊枝　十方菴内
一目土堤　山東京傳
一向不通替善運　小林新太郎
伊賀越增補合羽之龍　蓬來山人歸橋
蓬來山人歸橋　驛路風谷廻し枕
蓬來山人歸橋　勤身傾城買四十八手
同　太田蜀山人　富岡八幡鐘
不埒山人　大通奧語
竹文舍三客　臥座
窪田俊滿　油通汚
寢分論
舌端通
木膳亭坪平

△江戸時代文藝資料　國書刊行會叢書　散實參圓　第五期4—8　揃五拾五圓

第一册　洒落本

列仙傳　先賢卜子夏
寸南破遮意　南鐐堂一片
當世左樣候　無物庵別世界
風俗問答　道樂散人
中洲雀　無玉
淨瑠璃稽古風流　佐伊野蟲魚
十八大通百手枕　金魚庵
十通秘密論
夢中
伊賀越增補合羽之龍
蓬來山人歸橋
蓬來山人歸橋
家暮長命四季物語
深川新話　太田蜀山人
賢幸先生多佳餘宇辭　不埒山人
唉嘘油通汚　竹文舍三客
舌端通　窪田俊滿
木膳亭坪平

第二册　浮世草紙

三醉一致うかれ草紙　鹿蘆江
廓通遊子仲街雙紙　越家山人
品川楊枝　芝晉交亭
玉の蝶　振鷺亭
商內神
十遍舍一九

第二册　浮世草紙

五箇の津餘情男都の花風　森本東烏
傾城仕送大臣　永井正流
立身大福帳　風流比翼鳥　東の紙子
風流敗毒散　風流門出加增藏
新色三ツ巴　忍岡やつがれ
野傾友三味線　關東名殘の秋
商人職人懷日記　百姓盛衰記
色縮緬百人後家　江島其磧
色芝居　今西鶴
猿源氏色芝居　石川流宣

第三册　浮世草紙

唯樂軒　西澤一風
夜食時分　西澤一風
同　上風

第四册　浮世草紙

忠孝永代記　八
本朝濱千鳥　五
東の紙子　五
風流門出加增藏　五
忍岡やつがれ　五
關東名殘の秋　四
百姓盛衰記　四
江島其磧　三
今西鶴　三
石川流宣　五

△民間風俗年中行事　國書刊行會叢書　第五期り　參圓五〇錢

諸國年中行事　四
增補江戸年中行事　四
石井士彭東都歲事記　四
山城四季物語　六
案內者　六
中川喜雲
民間時令　六
年中故事　四
北里年中行事

操　屐子
芝居年中行事　四
なとしばなし年中行事　二
林屋正藏
石井　鑫
坂內眞賴
正月揃　六
富岡八幡鐘

畫則雜話　二
畫道金剛杵　三
畫道傳授口訣　二
畫法小識　三
畫事鄙言　三
文晁畫談
翁畫譚

△武術叢書　國書刊行會叢書　參圓　第四期35　揃二六

本朝武藝小傳　一〇
日本中興武術系譜略
武術流祖錄　五
擊劍叢談　五
不動智
太阿記
兵法三十五箇條　五
五輪の書　五
圓明流劍法書
劍法夕雲先生相傳
一刀齋先生劍法書

△列侯深秘錄　國書刊行會叢書　內容六四三頁　參照　六圓　第四期36

柳生流新祕抄　四
天狗藝術論　四
本識三問答　附遺誡流劍術要領　四
佐野勝舊　常靜子
佚齋樗山　常靜子
木村久甫　窪田清音
木村久甫　森原鎭
平山潛

△國書刊行會叢書　第五期　揃二六5ゟ6四拾圓

△田能村竹田全集　竹田莊師友畫錄　二
山中人饒舌　二
陪駕日記
暫遊日記
花竹幽趣の記
黃築紀行
竹田莊詩話

國書刊行會叢書　第五期1

瓶花論
墳詞圖譜　二
自畫題語前編　四
自畫題語後編
隨筆沙彌語錄
竹田莊泡茶訣
竹田莊茶說
石山齋茶具圖譜
文集
詩集

西川祐信　二
櫻井雪館　本朝畫史　三
中林竹洞　本朝畫史　二
狩野素川　續本朝畫史
狩野五家譜　丹青若木集
小林自閑齋　圖畫考
藤彥麿　ゆめのたゞち
堀直格　養德錦顯文鈔
同

山中人饒舌　二
田能村竹田
狩野永納
檜山義貞
狩野重賢
小林自閑齋
藤彥麿
堀直格
同

△滑稽雜談　國書刊行會叢書第五期10—11　散賣　參圓　描二六

△柳營婦女傳叢　國書刊行會叢書第五期12　參圓

玉輿記　七　柳營婦女傳系　一七

△國書刊行會叢書　第六期　幕府祖胤傳　八　幕府鑒女傳續編　四　同人　描一二大6ふ7　參拾五圓

△正續本朝文粹　國書刊行會叢書第六期1　參圓五〇錢

△三十輻　國書刊行會叢書第六期2—5　散賣參圓五拾錢　描四拾四圓

第一册　正編

歌檀約言　田安宗武
武家諸法度之奥書　久世廣之
國本論　二　松平定信
柳巷談苑　赤水公達書目
名管記部類　伊呂波之傳　佐々木文山
伊呂波探支抄　細井廣澤
君臣歌郡子譜並圖　加茂眞淵
勢語七考　多田義寛
當道拾要錄　恩田蕙樓
鼈北璵草紙　三　士肥經平
尊榮語　三八　大藏永綏
春湊浪話　三　村士宗章
祭儀略　賓儀略　假名暦註解
國家八論　駿斗目考
はなさく松　宮城宗堂
三議一統之辨　閑窓一得
岩津々志　二　改正板本東鑑目錄
つれ〴〵草拾遺　東鑑異本考
雜記　琉鄙客談記
なくさの考　赤崎海門
古學先生和歌集　雨森芳洲

第二册　續三十輻

常磐日記　源氏外傳　2　土井熊文
本府刀劍略記　周尺考　壺井義知
赤崎長後　斎藤知明
雨森芳洲　屋代弘賢
赤崎長後　斎藤知明
梅名井花形　小野蘭山
上梅譜　東桂武群
德終記　安原貞室
貞德終焉記　吉川惟足
隊閑倉閑居記

疏儀莊記　北村季吟　飛鳥山碑始末　二　成島和鼎
朝清水記　英一蝶　跡部光海
戸山御庭記　久世舍善　藤井直
雨夜のともし火　湯淺常山
廻文俳諧百韻　石田未得
紫野大德寺中客殿記之知藩
琵琶撥附　北村季吟
季吟子和歌　釋順宣
荒陵懷舊詠　廣三十輻
對問　昌平學校釋尊式并に御祭供　林鵞峯
坊保町之圖解　大塚嘉樹
輿地各國積解　平野昌
不問談　三　篠崎東海
赤水雜錄　長久保玄珠
山鹿先生語類拔書　二　山鹿素行
飛驒の山　荻生徂徠
放生會を觀し記　太宰春臺
檜垣寺古瓦記　服部南郭
御嶽さうじ　上田秋成
雨夜物語　林
立圃追善集
議名寄
水やり花　津村淙庵
片玉集抄　林鵞峯
方長老朝鮮物語　中井履軒
華胥國ものかたり

第三册〔新三十輻一〕

甲州略記　青木昆陽
奉使小錄　同上
若むらさき　津田かみは
寺川鄉談　や
高城下野家記　二　實永堂
梅檀瑞像考　橘瓜正仙
岬柳助九郎武重覺書　屋代弘賢
安寺持方の記　岡野遙原
富急草　二

第四册〔補三十輻〕

夏山雜談　五　小野高尚
上近衞公書　柴野邦彥
三曉庵隨筆　三　木村時員
和學辨　二　篠崎東海
三英隨筆　三英
蕃諸考　望月三英
蕃諸錄　青木敦書
蕃諸考補　松岡成章
渡邊幸庵對話　青木敦書
〔百和香〕　杉本義隣
桑家漢語抄　楊梅大納言顯直
倭片假守反切義解　山人明魏
但馬國太田文　一　太田政顯

柴野栗山
栗山堂書抄

第四册〔補三十輻〕

庚子道の記　白拍子
輪軒小錄　伊藤東涯
存心　奥田士鰲
斯文源流　河口子深
靜齋詩稿　河口子深
天壽隨筆　佐久間東川
佐久間弘賢
並河永
梅寺所藏　林宇兵衛
松平定信

四方拜之事　清水濱臣
喪茶法印　非時文摘紙
酒茶論　加藤宜樹
朝倉敏景條々　穗井田寥我
景勝家法
楠判官兵庫之記　一〇卷一軸
臺歸詞　一
顯綱家集　一
西行上人談抄　一
心敬紀行　一
細川殿障子畫贊　一
明智日向守光秀百韻　一

△竹橋餘筆　太田南畝　國書刊行會叢書第六期1—18　參圓五〇錢

竹橋叢箚抄　一冊
竹橋餘筆　五卷

△上田秋成全集　上田秋成　國書刊行會叢書第六期7—8　散賣參圓　描二六

第一册

藤簍册子　六
藤簍册子脫漏　一
十雨餘言　一
歌島稻荷獻詠和歌　一
秋の雪　一
去年の枝折　一
餘齋文集　一
摹葺の詞　一
文反古　二
雨月物語　五

△譚海　津村淙庵　國書刊行會叢書第六期9　參圓五〇錢

第一册

九桂草堂隨筆　九　廣瀨旭莊
臺月庵國書漫抄　七　尾崎嘉
散錦塵圖の池水　三　多田義俊
伴林光平

第二册

閑室漫錄　五　岡本況齋
落栗物語　二　況齋雜話　三
楓軒偶話　六　小宮山楓軒

第三册

春雨物語　五　春雨物語
眷振翁物語　癩癖談　二
膽大小心錄　三
別本膽大小心錄　二
呵刈葭　二
安安言
漢委奴國王金印考

第二册

荷田氏訓讀齊明紀童謠存疑　國書刊行會叢書　散賣　參圓　描三　拾貳圓

△百家隨筆　國書刊行會叢書第六期10—12　參圓五〇錢

第一册

稜威道別　三

第二册

壽事記直日雜古事記傳　六
神代直語　三
神道辨　三
神風問答（第一稿）

萬葉集會訓　金砂剩言　一〇
古葉剩言
歌聖傳　七
冠辭考續貂　七
よしやあしや
靈語通　岡本保孝
靈語通砭鹹
也哉抄　清風瑣言　二

第三册

稜威言別　一〇

第四册

萬葉集檜嬬手　六
萬葉集檜嬬手別記　二
萬葉集綮要　二
越路の家づと

第五册

萬葉集墨繩　八
心の種　二

第六册

歷朝神異例　七
蒙古諸軍記辨疑　五
稜威雄誥

第七册

神樂歌入文　三
催馬樂入文　三
伊勢物語鑒　二
土佐日記舟の直路

第八册

山彥册子　一
名雜語考　三
鐘魁比備起　三
湖月抄別記　二

第九册

俗語考 上（上下合二冊）
第一〇册
俗語考 下
雅言考 三

第一一册
長歌撰格 二
短歌撰格 二
文章撰格 二

△日本歷史圖會
聖德太子傳圖會1
扶桑皇統記圖會1
扶桑皇統記圖會2
日本國開闢由來記2
保元平治圖會3
繪本蘭奢待3
歷代武將通鑑3
平家物語圖會4
繪本高名二葉草4
源平盛衰記圖會5
前太平記圖會6
日本百將傳一夕話7

△大日本時代史
日本古代史 二
奈良朝時代史
平安朝時代史
鎌倉時代史
南北朝時代史
室町時代史

古谷知新編
自一至三輯
散賣 貳拾圓

△日本歷史圖會
助辭本義一覽 二
てにをは童訓 二
さき草 二
五十音小說 三
待問雜記 三
箱根日記 三
橘の昔語 三
舍香物語大意 三
第一二册
散賣 貳拾圓

北條時賴記圖會8
南北太平記圖會8
釋迦御一代記圖會8
日蓮上人一代圖會9
親鸞聖人御一代記圖會10
一休諸國物語圖會10
一休諸國物語圖會補遺10
赤穗義士傳一夕話11
日本名女物語11
繪本姬文庫11
百人一首一夕話12
繪本池の蛙12
大9ゟ11 布貳拾四圓

△大日本時代史
早大出版部
撰一四 大15ゟ昭2 壹圓貳拾錢
久米邦武著 安土桃山時代史
久米邦武著 德川時代史 二
池田晃淵著 幕末史 二
三浦周行著 維新史 二
久米邦武著 明治史 二
渡邊世祐著 散賣 壹圓五拾錢

△日本全史
早大出版部
撰一二 大11ゟ12 布貳拾圓
舊版撰一〇 散賣 壹圓八拾錢
岡谷繁實著 自一至六編 明44 布參圓

△大日本歷史
有賀長雄著 上卷 新大15 革四圓 五拾錢
下卷 新大15 革四圓 五拾錢
明41 革四圓

△日本通史
藤澤南岳著 撰一六 明17 和五圓

△日本歷史
The History of the Impire of Japan. 1893
文部省圖書課編 英文 七圓

△大日本史
德川光圀卿修 撰一〇〇 嘉永4 和四拾圓
自一至三四卷

△大日本史
源光圀修齊昭補慶篤校 散賣貳圓五拾錢
德川家藏版 一五 大7 布四拾五圓

△大日本史
德川家藏版 自第一 至第六 六 明44 布七圓
附索引

□標記本朝通鑑 撮覽 □國史 明8 和貳 明12 和壹 圓

△日本通史
藤澤南岳著 撰一六 明17 和五圓

△日本歷史
The History of the Impire of Japan. 1893
文部省圖書課編 英文 七圓

△日本全史
岡谷繁實著 自一至六編 明44 布參圓

□日本歷史綱目
湯原元一著 明26 革壹圓
△大日本通史
荻野由之著 明34 革壹圓 八拾錢
上卷

△增訂日本帝國史
笹川臨風著 大2 布貳圓五〇錢

△譯文大日本史
山路彌吉譯 大2 布六 傷撰五 大3 並四圓 五拾錢

△日本歷史綱
木寺柳次郎著 大2 七 拾錢
△參考日本れきし
帝百 明45 布壹圓 五拾錢
高桑駒吉著

江戶時代創始期
江戶時代興隆期
西村眞次著 江戶時代爛熟期
高須梅溪著 江戶時代頹廢期
高須梅溪著

△倒叙日本史
吉田東伍著 撰一一 大2 布拾參圓
散賣 壹圓參拾錢

國勢發展編1
大政維新編3
江戶季世編5
江戶初世編6
憲法制定編2
江戶衰亡編4
江戶中世編5
織豐氏編6
室町亂世編7
鎌倉幕府編8
平安朝編9
上古編10
南北朝編7
院政編8
寧樂朝編9
索引編11

日本歷史

○大日本史
德川光圀卿修 撰一〇〇 嘉永4 和四拾圓
自一至三四卷

△大日本史
源光圀修齊昭補慶篤校 散賣貳圓五拾錢
德川家藏版 一五 大7 布四拾五圓

△大日本史
德川家藏版 自第一 至第六 六 明44 布七圓
附索引

□標記本朝通鑑 撮覽 □國史 明8 和貳 明12 和壹 圓

△日本通史
藤澤南岳著 撰一六 明17 和五圓

△日本歷史
The History of the Impire of Japan. 1893
文部省圖書課編 英文 七圓

△日本全史
岡谷繁實著 自一至六編 明44 布參圓

□日本歷史綱目
湯原元一著 明26 革壹圓
△大日本通史
荻野由之著 明34 革壹圓 八拾錢
上卷

△增訂日本帝國史
笹川臨風著 大2 布貳圓五〇錢

△譯文大日本史
山路彌吉譯 大2 布六 傷撰五 大3 並四圓 五拾錢

△日本歷史綱
木寺柳次郎著 大2 七 拾錢
△參考日本れきし
帝百 明45 布壹圓 五拾錢
高桑駒吉著

江戶時代創始期
江戶時代興隆期
西村眞次著 江戶時代爛熟期
高須梅溪著 江戶時代頹廢期
高須梅溪著

△倒叙日本史
吉田東伍著 撰一一 大2 布拾參圓
散賣 壹圓參拾錢

國勢發展編1
大政維新編3
江戶季世編5
江戶初世編6
憲法制定編2
江戶衰亡編4
江戶中世編5
織豐氏編6
室町亂世編7
鎌倉幕府編8
平安朝編9
上古編10
南北朝編7
院政編8
寧樂朝編9
索引編11

□國民日本歷史 高橋俊乘著 新大13 布參圓二〇錢
△原據も分り趣味も有る日本の歷史 田中啓彌著 大9 布貳圓八〇錢
△校訂 大日本歷史集成 青木武助著 上卷 大10 布五圓 下卷 大9 布四圓
△日本歷史精要 藤澤直枝著 新大13 布五圓
□時代改稱 大日本通史 重田象陽著 新大14 布貳圓六〇錢
△大日本全史 大森金五郎著 撰三 新大14 布各七圓
△大日本歷史 有賀長雄著 上卷 新大15 革四圓 五拾錢 下卷 新大15 革四圓 五拾錢 明41 革四圓
△改修日本大歷史 青木武助著 撰二 新大15 布各五圓五〇錢
△日本史精義 太田亮著 上卷 新大15 布四圓 下卷 新大15 布四圓 五拾錢
△日本歷史精要 藤澤直枝著 新大13 布五圓
□時代改稱 大日本通史 重田象陽著 新大14 布貳圓六〇錢
△大日本全史 大森金五郎著 撰三 新大14 布各七圓
△大日本歷史 有賀長雄著 上卷 新大15 革四圓 五拾錢 下卷 新大15 革四圓 五拾錢 明41 革四圓
△改修日本大歷史 青木武助著 撰二 新大15 布各五圓五〇錢
△日本史精義 太田亮著 上卷 新大15 布四圓 下卷 新大15 布四圓 五拾錢
△參考 日本歷史 □推究的日本歷史 長沼賢海著 及川儀右衛門著 大13 布壹圓 五拾錢 大15 七 拾錢
□推究的國史提要 及川儀右衛門著 新昭2 布四圓 圓
△註釋日本歷史 荻野由之著 新昭2 布參圓八〇錢
□日本史略 山本市兵衛板 和紙 明9 革壹圓
△國史紀要 岡本監輔著 繪入 撰三 明20 和壹圓 貳拾錢
△國史讀本 大森金五郎 重田定一編 撰三 明32 布參圓
△日本歷史評林 荻野由之編 撰二 明39 布七圓

△國史概說 大森金五郎著 明43 布四圓
△最新日本歷史 本多淺次郎著 布貳圓五〇錢
□國史案 文部省印行 二 明10 布貳圓五〇錢
△日本史精義 太田亮著 上卷 新大15 布四圓 下卷 新大15 布四圓 五拾錢
△校正國史擧要 栁谷元善編 撰八 明15 和貳圓二〇錢
□日本帝國史 松井廣吉著 萬國歷史全書本 明22 布 上本壹圓 參拾錢 中本八 拾錢
○本朝通紀 長井定宗著 前編 撰七 和貳圓五〇錢
□皇朝史略（一名日本通史） 太田武和編
□新體表 日日本歷史 大成學館編 明20 布壹圓 八拾錢 明29 五 拾錢
□大八洲史 久米幹文著 撰四 明24 貳圓五〇錢
△新體二千六百年史 自柳秀湖著 洋裝 參圓五〇錢
△增補訂正二千五百年史 竹越與三郎著 大10 布四圓八〇錢

△日本史講義　原秀四郎述　早大四三頁　八拾錢
△日本歷史　松本愛重述　壹圓參拾錢

△日本史講話　荻野由之著　特價新昭2布七　圓

⊠帝國史講義　笹川臨風著　大12布壹圓七拾錢
△國典十講　吉井五著　明44布壹圓參拾錢

△日本歷史講義　大村益次郎原稿　寫本　參　圓

△日本歷史講義　河野正義編　國民中學會　大6五　拾錢
△日本歷史講義　今泉定介著　大4八　拾錢

史學往來

○南朝忠臣往來　毛山處士著彩色繪入　元治1和壹圓八拾錢
○古戰短歌　山本よね寫　嘉永1壹　圓

△大皇朝歷代歌　統歌　鹽谷世弘著　嘉永4和五　拾錢
△皇朝歷代歌　草場廉著　明7和壹　圓

日本歷史教科書

△皇統小史　大屋愷敬著　揃四明7和壹圓貳拾錢
△史略　文部省編皇陵支那之部二明5和壹圓貳拾錢

△日本史略　上羽勝衛著　二明9和六　拾錢
圖史略　文部省藏版　明10和八　拾錢

△校正日本小史　大槻復軒著　揃三明20和九　拾錢
寫寫混揃三明25和壹　圓

△日本一史略　鈴木重遠編　揃五明9和壹圓五拾錢
△校刻古今紀要　川島梅坪編　揃四明14和壹圓貳拾錢

△國史要略　山名留三郎編　揃三明14和壹　圓
△內國史略　南摩綱紀編　揃四明5和壹圓五拾錢

△皇國小史要　勝浦鞆雄著　繪入　揃二明30和壹圓貳拾錢
△日本史要　關根正直小中村義象編二明26布壹圓五拾錢

日本神代志　上代王朝志
前々太平記　保元平治物語
源平盛衰記　北條九代記
太平記　後太平記
織田軍記　三河後風土記

○通俗國史　源久光著　鎌倉九代記　陰德太平記　四國軍記　北陸七國志　東國太平記　明治太平志　揃二三　和貳拾圓

△瓊矛餘滴　橋本寧著　揃六明10和貳圓五〇錢

△日本國史俚抄　味酒清人著　揃三明14和參　圓

△文化觀日本史　龍居松之助著　洋裝貳圓五〇錢

△人惰觀的日本史　伊藤銀月著　明37　壹圓　壹圓貳拾錢
△闇黑日本史　伊藤銀月著　明39　壹圓　壹圓貳拾錢

△滑稽日本史　町田柳塘著　明40　八拾錢
△裏面觀的異說日本史　伊藤銀月著　明42　壹圓五拾錢

△增補日本歷史之裏面　谷口政德著　明42　壹圓
△家庭訓話今日の歷史　清水孝敎著　明43布壹　圓

花卷

△趣味の日本史　新保磐次著　揃三大10布拾　圓
揃五新大15布各貳圓　七拾錢

⊠帝國曆日本歷史大鑑　矢野道雄著　大12布壹圓八拾錢
□大日本裏面史　樋口麗陽著　大13　六　拾錢

□物語日本史　碧瑠璃園著神代之卷新大14布各貳圓二〇錢
⊠通俗國民の日本史　廣野藤吉著　建國之卷新大15布參圓二〇錢

國號考

○國號考　本居宣長著　寫本　貳圓五拾錢
△殊號事略　源君美印　正德5寫壹　圓

國號考　府縣國誌

□日本諸國名義考　秋鹿見二編　明33　壹圓五拾錢
△大日本國號考　高橋龍雄著　明31　壹圓五拾錢

△日本州名解　阿部宛堂著　彩色圖入　和參　圓

△諸國名義考　藤原彥麿編　揃二　和貳圓五〇錢

府縣國誌

△大日本府縣志　河井庫太郎編　自卷一至卷四　合本　明23布貳圓五〇錢

△改置府縣概表　大藏省編　圖入　明5和壹　圓

△國分史　犬塚甘古編　天地二大1布五　圓

△史料通信叢誌　近藤瓶城編　揃二八明30　貳拾圓

△通俗日本全史　早大出版部編　揃二〇　散賣五拾錢　布拾圓

郷土志

△郷土研究　大2創刊大6廢一號ヶ四年間合本　散賣八拾錢　四冊　四拾圓

△郷土趣味　同社　大9創刊・月一號ヶ　散賣貳拾四錢　〇〇〇〇

□郷土會記錄　柳田國男著　新大14布貳圓五〇錢

□郷土史話　清水文彌著　新昭2　壹圓五拾錢
△郷土地理の研究　栗原貨次郎著　新大15布貳　圓

□敎授の統合中心としての郷土科研究　牧口常三郎著大12布壹圓五〇錢

△尾參遠郷土史論　日本歷史地理學會　大6布參圓五〇錢

△郷土舞踊と民謠　日本青年館　第一・二回二大15和壹圓八拾錢
□お國自慢　大島貞吉著　明44　壹圓貳拾錢

□わしが國さ　伊藤金次郎著　大15布參　圓

□增訂日本村落史考　小野武夫著　新昭2布參圓二〇錢

○郷土鄉華號　日本及日本人增刊　大4　貳　圓

對外日本史

△對外日本歷史　繪山鋭著　洋裝　貳　圓
□伊達政宗贈南蠻使始末　堀田信直述　大1　貳圓　五拾錢

△日本外戰史　曾根俊虎著　明28布參　圓

△松平樂翁公の對外政策　井野邊茂雄述　大7　八拾錢
□外人内徒論　重野安繹　學士　明23　壹圓五貳錢

△外邦職工來朝辨々　黒川眞頼　學志　明6　貳圓二〇錢

△江戸幕府の對外政策　井野邊茂雄　史雜　大14　五拾錢
△皇太子殿下臺覽對外史料目錄　長崎圖書館　大9　壹圓五拾錢

日本政治史

△日本政治史　有賀長雄述東京專門　六六貢　五圓五〇錢

△日本政治史要領　稻田周之助著　大14　貳　圓

△最近政治史要　有賀長雄述　寫本　壹圓貳拾錢
○大政紀　宮内省用箋　貳　圓
△天孫高天原に君臨ましてより皇極天皇御宇に至る財政植産事項　大1布貳
△大政紀要　宮内省藏版　明34　壹圓八錢
△日本政體論　穗積八束　明法

○日本政權競爭史　湯本文彦編　揃二明44和六　圓

△政治類典　經濟雜誌社編　揃四　洋裝五　圓

△日本の政治　村瀨武比古　法治　大12四　拾錢
△日本に於ける代議政體の發生　宮岡恒次郎辯協大8四　拾錢
△日本政治史上公儀輿論の意義　稻田周之助新報大2七　拾五錢
△我立憲政體の特色　上杉愼吉　國家　大10五　拾錢
△我國の政治運動　永井亨　社政　大13六　拾錢
△日本の立憲政治に對するラートゲン敎授の批評　新報　大1八　拾錢
△日本政治史に於ける中央主義と地方主義　澤田謙　中公大14八　拾錢
□日本政體史　秦政次郎著　明23　貳　圓

土佐96　壹圓　肥後百28　壹圓參拾錢　北海道　百10　壹圓拾錢
筑前百24　貳圓五拾錢　日向七拾　總圖　四圓五拾錢
筑後670　七拾錢　大隅2868　參拾錢　國外（滿洲）　四拾錢
豐前705　六拾錢　薩摩百18　壹圓貳拾錢　編外（臺灣）　貳拾錢
豐後七拾錢　壹岐對馬壹圓參拾錢
肥前百24　壹圓參拾錢　沖繩百10　壹圓貳拾錢

△日本政體史　稻田周之助著　洋裝　貳　圓

□民政史鑑　岩田衞著　大5　壹圓五拾錢
△鎌倉幕府の緊縮政治　大森金五郎　中史　大11　五　拾　錢

△足利義政の政治と女性　三浦周行史林三大5參圓六〇錢

△足利時代の德政　三浦周行　國經　八大8四　圓

△建武中興の政治史的社會史的觀察　三浦周行中史二大10壹　圓
△法史漫談（元弘以前德政の弊）　坪井九馬三史雜明26　壹圓七五錢
△史話戰國の民憎（德政の事に及ぶ）　星野恒史雜明26　壹圓七五錢
△德政考　横井時冬　史雜　明24　壹圓八五錢

△德政の研究　三浦周行　國經　九大4ヶ6五圓三五錢

△初度の德政　平出鑑二郎　史雜　明28　壹圓六五錢
○我國のモラトリアム（德政）に就て　石卷良夫　大3　七　拾　錢

△德川政教考　吉田東伍著　揃二明27貳圓五〇錢

家康8　學政9
神國思想と主權の歸著9　諫鼓鳥8
浪人と公家8　大學或問11　闇齋7
會津殿4　神佛の橫行及頓座6　山崎闇齋7
三輪物語9　學問漸く平民に落つ10　熊澤次郎八7
武家の變相及大奥9　水戸の紀傳4　天道と佛道6
五代の大揚11　南學6　舊事大成經5
水戸光圀5　八代吉宗7　兩部の變化5
淺見絅齋6　大名仕掛の釣合如何6　光圀薨後の修史6
新井白石25　混濁時代四十年5　三宅尚齋と谷秦山8
旅宿凡立替の論6　形勢西に偏倚する所あり7　鳩巢と徂徠の對抗8
財物文運と共に上下に顚倒す7　佛敎の勢力11　徂徠の經濟論6
蘭學事始5　公武の嫉惡と候伯腐蝕6　國學興りて混戰を開く9
變革運動9
田沼の搖廻し8
變革窺望7
天明の彦九郎は竹山
定信の執政7
夢語8
變革遊訊7
平田神道8

にかづかる7　章王一件と彦九郎の死6
彦九郎の遊びと尊號一件7　蝦夷一件8
西洋思想の輸入を引受けた幕府の經濟談9　外國の形勢10
木居宣長9　天保年中の學風與
樂屋モメ一轉木戸口へ移る7　天保天警と篤胤信
山陽と侗庵宮陰8　震湯三十年7

△德川縣治要略　安藤博編　大4布四　圓

△德川將軍傳　安部正人編　明36　壹圓五拾錢
□後北條氏民政史論　牧野純一著　大5　壹　圓

○北條氏の雄大政策を憶ふ　玉山　洋經　大3　四拾貳錢
△寬政改革と柳樽の改版　岡田朝太郎　早法　大15　參　圓

△郡縣の議（藩置縣の環境）　藤井甚太郎歷地大12　四拾五錢
△幕府政治を論じて社會政策の根本問題に及ぶ　大10　六拾　錢

△維新前後政治の觀察　渡邊洪基　國家二明23參圓八〇錢

△明治初年の地方官會議　藤井甚太郎史林三大13參　圓

△明治初期政治學參考文獻概目　吉野作造國家大14　五拾錢
△明治初期政治學關係文獻解題　吉野作造國家大15　五　拾　錢

△明治憲政史　工藤武重著　揃二大11革拾貳圓

□明治大正五十三年史論　高須梅溪著　大9布貳圓五〇錢

□大正政局史論　德富猪一郎著　民友社　大5　貳　圓

△大正政戰史　半澤玉城著　大3布壹圓五拾錢
△佐藤信淵の政治學說　内田繁隆　早政　大14　壹　圓

△山鹿素行の民政論　田崎義介　國經　九明42八圓五錢

□古來政府考　小中村清矩述　皇典　明22　壹圓貳拾錢
□日本上世の政體　有賀長雄述　皇典　明24　壹圓貳拾錢

議會史

△帝國議會史　工藤武重著　三明36　革拾貳圓
⧖帝國議會史綱　工藤武重著　明41布貳　圓
□日本國會論纂　三宅虎太編　明13　五　圓
○明治議會史附明治三十六年史　太陽增刊　明37　貳　圓
□通俗國會審論　淺野義文編　明壹圓五拾錢
△帝國議會通鑑　帝國修史會編　明41布四　圓
□第一期國會始末　議員集會所編　明524　壹圓貳拾錢
△停會の先例　花井卓藏　新報　大1523　五拾錢
△解散と其先例　伊藤龜雄　外時　大136　六拾錢
△議會の解散と其先例　大隈重信　新日　大136　五拾錢
□第一期帝國議會要錄　植木枝盛編　明24　參圓五〇錢
△呪はれたる第四十三議會　大山郁夫　我等　大9　五拾錢
○第四十二議會と立憲政治の前途　植原悅二郎　太陽　大9　八拾錢

貴族院

△貴族院制度に就いて　美濃部達吉　改造　大1313　五拾錢
△貴族院改革資料　堀切善次郎著　改造　大1313　貳圓五拾錢
□貴族院改革と將來　鎌田勝太郎著　大1314　五拾錢
○貴族院制改革論　副島義一　日人　大1314　五拾錢
△貴族院改革の根本義　小村俊三郎　日人　大1313　五拾錢
△貴族院改革問題　占部百太郎　財經　大1313　參拾錢
△貴族院改造問題の聲　稻田周之助　新報　大1313　五拾錢
○貴族院改造の聲　齋藤澄雄　日人　大1311　五拾錢
△貴族院改革論　阪東宣雄　我觀　大1413　五拾錢
△貴族院改革の思想的背景　小林俊三　我觀　大1413　五拾錢
△貴族院改革と勞資問題　五來欣造　社政　大1414　六拾錢
△貴族院改革の原理　占部百太郎　公民　大1414　貳拾五錢
△貴族院改革問題の嚴正批評　半澤玉城　外時　大1414　五拾錢
△貴族院の改革の限度　上杉慎吉　國家　大1414　五拾錢

衆議院

△衆議院三十年誌　同院事務局　大8　四　圓
□第一期衆議院議事提要　天野藐撫編　明24　壹圓五〇錢
△衆議院報告　同院自初議會至二議會　明24ヶ大15　散賣　壹圓五拾錢
△帝國衆議院議事摘要　同院自初議會至四議會　明24ヶ大13　散賣　壹圓五拾錢　揃七拾圓

政黨史

△大日本政黨史　若林清著　大2布參　圓
□日本政黨史　林田龜太郎著　上卷　昭2布貳圓八拾錢　下卷　貳圓五拾錢
△日本政黨發達史　上野熊藏著　大8布五　圓
□日本政黨史料　伊藤痴遊著　壹圓五拾錢
○明治政黨史　太陽增刊　明401　貳　圓
△政黨政治の將來　小寺謙吉著　大11　壹圓八拾錢
△政爭と黨弊　細井肇著　大11　壹圓八拾錢
□信州政黨史　江川爲信著　大11　壹圓貳拾錢
△日本に於ける黨派の消長　大隈重信　國家　明391　壹圓貳拾錢
△政黨の近狀と我國憲政の前途　大山郁夫　中公　大7　八拾錢
△政黨政治史觀　南牕逸人　歷地　大11　四拾五錢
△商農勞三黨の我國に於ける將來　高橋龜吉　改造　大1312　五拾錢
△護憲三派の運動　山川均　改造　大1312　五拾錢

自由黨史

板垣退助監修　揃二明43布九　圓

○進歩黨黨報

自第一號至第二百號　合本明30ヶ31布五　圓
□政友會罪惡史論　室伏高信著　大5　八拾錢
□政友會罪惡史　安藤音三郎著　大8　八拾錢
△立憲政友會史要　小林雄吾編　大9　壹圓貳拾錢
○立憲政友會年表　西野雄治編　大10　壹圓七拾錢
△新政友會論　坂口二郎著　大11　七拾錢
△實業同志會の成立に就て　森口繁治法巖　大1211　五拾錢

△立憲政友會史

小林雄吾著　揃四大13ヶ14布拾八　圓
△政友會の新陣容と其將來　三宅雪嶺　中公　大1311　八拾錢
△政友會の分裂と「特權內閣」　財經社說　大1311　參拾錢
○無產政黨運動の將來　永口正一　日人　大14　五拾錢
△新政治意識の發生と無產政黨の前途　大山郁夫　中公　大14　八拾錢
△選擧干涉の變遷　三宅雄二郎　雄辯　大9　八拾錢
□總選擧記　上田外男著　大6　壹　圓

△二十三年の總選擧

末松謙澄　國家　二明23　參圓八〇錢

△二十五年總選擧統計

末松謙澄國家　二明25　參圓六〇錢

國防史

△帝國國防史論　佐藤鐵太郎著　水交社版　明41布貳　圓
△帝國國防史論抄　佐藤鐵太郎著　明45布壹圓八拾錢
×柳營海岸略圖　一尺五・一尺二（東京灣）　和貳　圓
○熊本藩ヶ註文の軍艦一件記　寫本　拾　圓
慶應二年二月肥後熊本藩より新規打建軍艦の註文購入を英商會カラバと定約せし一件記錄の寫
×北八ヶ國御固附×江戶警備ニ關スル圖面　萬屋板　一尺三・一尺和八　拾　圓
一尺六・一尺二　和壹　圓
×品川沖埋立御臺場略圖並坪數　彩色　一尺五・一尺　和貳圓五〇錢
△內海御臺場圖幷積書　寫本嘉永6　五　圓
△江戶御臺場坪數書附繪圖　內海　復寫嘉永6　參　圓
×相州房州御固繪圖　復寫彩色　二尺五・二尺五嘉永6　參　圓
△相房州臺場出來樣見分幷引渡御用留　奉行大竹氏寫弘化4　五　圓
△相武房總海岸圖附伊豆七島　復寫二尺五・二尺八　貳　圓
×相武房總海岸圖附伊豆七島　復寫二尺五・二尺八　貳　圓
△維新前ニ於ケル軍政（經理）機關ノ變遷　森貝述明29　壹　圓
△國民的戰爭と國家總動員　佐藤鋼次郎著　大7　壹圓四拾錢
△海國兵談　林子平著　圖南社版　大5布貳　圓
△帝國國防の本義　國防叢書　大5布壹圓八拾錢
□國難論　衣斐紡吉著　大8　壹圓貳拾錢
□獨逸敗戰の教訓と我國防の將來　日高謹爾述　大8　五　拾錢
○國防私論　高木繁　日人　大5　六　拾錢
△文化年間の砲台築造　伴三千雄　歷地　大1013　四拾五錢
○國防改造論　原象一郎　太陽　大1013　八拾　錢
△飛行機の發達と立方的國防論　長岡外史述　大1110　四拾錢
△我が陸軍當局の國防錯覺　伊藤正德　財經　二大1111　六拾錢

△國防の根本方針策立の好機　成田篤　外時　大12　五　拾　錢
△我國防の基調　河野恒吉　國智　大12　五　拾　錢

海防史

△海　防　海防義會　大13創刊・年六　散賣　參　拾　錢
一號ヶ五年間揃二五　〇〇〇〇
△海　防私　論　盛田曉逃　大6　壹圓參拾錢
△佐藤信淵の海防策　海老名一雄　歷地　明28　壹圓四九錢
△攝海戰守御備　松平修理太夫內　本田彌右衛門寫　壹圓五〇錢

陸海軍史

△陸軍主計團記事　同團　明43創刊・月刊　散賣　參　拾　五　錢
一號ヶ八年間揃二一四　〇〇〇〇
◎海　軍　光村　大15創刊・月刊散賣　貳　拾　壹　錢
美術部　一號ヶ二年間　揃二四　〇〇〇〇
△水交社記事　水交社　明23創刊・月刊　散賣　五　拾　錢
最近二十年間揃二四〇　〇〇〇〇
△帝國海軍　同社　大4創刊・月刊　散賣　貳　拾　錢
一號ヶ一三年間揃一五六　〇〇〇〇
◎法規分類大全　兵制門　內閣記錄局編　揃四明24　六　圓
△帝國陸軍史　田邊元二郎著　明44　革貳　圓
荒川衛次郎
△陸軍歷史　陸軍省編　揃二洋裝六圓五〇錢
△日本兵制史　歷史地理學會編　大15　壹圓參拾錢
△兵制に就て　赤堀又次郎　歷地　大11　四、拾　五錢
△帝國陸軍史論　小笠原長生著　明13布參圓五〇錢

△日本海上發展史　足立栗園著　大3布貳圓五〇錢
並に日本海軍之發展
○海軍歷史　勝安房著　揃一〇和六　圓
□大日本海軍沿革史　石原勇五郎著第一編明20布五　圓
上代より寛永年間に亘る船舶及水軍の沿革を記述し併せて海運進歩の原因結果を明にし其變遷經歷の實勢を知らしむ
○日本帝國海上權力史講義　小笠原長生著　明37布五　圓
△中世の兵士及兵士米に就て　相田二郎　歷地大13　四　拾　五　錢
△明治初年の帝國海軍　淺井將秀　水交社　大3　壹　圓
△騎兵制の發達と武士　西岡虎之助　史雜　大15　五　拾　錢
△再び北海道屯田兵制に就て　森谷秀亮　歷地二　大14　九　拾　錢
△徵兵統計の話　橫山雅男　統集　明44　六　拾　八　錢
△徵兵と學生の關係　曾我祐準　國家　明26　壹圓七五錢
△徵兵危險率に就て　玉野重次郎　保維　大7　七拾、五錢
△中古徵兵制度の變遷　川上多助　歷地　明45　七拾貳錢

日本古戰史

△日本戰史　參謀本部編　揃二七　散賣壹圓八　洋裝拾八
關ヶ原役　三方原役
大阪役　小牧役
樋狹間役　柳瀨役
山崎役　長篠役
九州役　中國役
姉川役　小田原役
△皇朝戰略編　宮田敏輯　揃一五安政3和四　圓
上承平天慶の平將門の亂より下寬永年間天草の亂に至る凡そ七百年間の軍事戰畧を諸史野乘に採り年序に從つて記す
△日本古戰法　參謀本部編　大15　壹圓參拾錢
△通俗軍役奇談　紫田六郎譯鈴木政男訓解　明2013　革壹圓八拾錢
□第三師官古戰場集　笠原保久著　明21　七　拾　錢
○賤ヶ嶽大合戰諸勇士高名之圖　芳虎畫錦繪　續三　八　拾　錢
○關原軍記　村田尙賢寫　小蟲　享保15　壹圓五拾錢
△關原合戰圖志　神谷道一著　明25布壹圓七〇錢
△關原備考後編　霞亭文庫藏印　寫本　揃八參　圓
×濃州關原古戰場之圖　曬谷治通寫　五尺、二尺五彩色嘉永3六　圓
標圖明細緻密にして彩色鮮明且つ紙質薄葉にして頗る美圖なり
×關原合戰之圖　彩色複寫　一尺三・二尺四　和六　圓
×關原合戰圖　彩色複寫　二尺六・三尺七　和五　圓
□小牧陣始末記　神谷存心著日本戰附圖共二明22　壹圓參拾錢
史料附圖無　壹
×尾州小牧合戰之圖　彩色複寫　一尺九・二尺七　和壹圓五拾錢
△今川義元織田信長桶挾間合戰緣記　繪入　和壹　圓
×小牧山圖　彩色複寫　一尺三・一尺三　和貳　圓
×三州三方原合戰圖　複寫彩色　一尺七・二尺二　和壹　圓
×味方原合戰圖　筆寫彩色　一尺三・二尺三　和壹圓五拾錢
△甲越川中島合戰略傳　和四　拾　錢
△上杉家就御尋書上川中島五戰記　土井信敬寫蟲入慶應3　壹　圓
×長篠合戰之圖　筆寫彩色　五尺五・四尺　和七　圓
×姉川合戰圖　筆寫彩色　二尺六・二尺二　和貳圓五〇錢
×三增峠合戰圖　筆寫彩色　四尺三・三尺九　和六　圓
×長篠合戰之陣圖　馬場文英　三尺四・一尺二　安政4貳　圓
□日本戰史三河物語　大久保彥左衛門著　明23布八　拾　錢
△弘安文祿征戰偉績　史學會編（諸家論集）　明38　壹圓五拾錢
△末守記　前田利家佐々成家政合戰記寫本　壹　圓

軍記戰記

△石山軍記　通俗日本全史假綴二冊　大2　壹　圓
□大和軍記・名古屋合戰記　史籍集覽　和八　拾　錢
附和田系圖裏書・關岡家始末・清須合戰記
□北越軍功目錄　壽年堂控　寫本　橫五　圓
米澤藩士越後の新發田藩へ攻擊せる時の日誌にして辰六月十二日より七月二十日に亘る留書なり
△近世四戰紀聞　橋爪貫一編　明11　和貳圓五〇錢
近藤圭造校　繪入
△古備群書集成戰記部　田中誠一編同集成刊行會　大11布貳　圓
○關ヶ原記酸漿主水　秀次公高野山伏誅之件　寫本　壹圓五拾錢
△繪本拾遺信長記　外賀如圭畫　和泉屋源七板　二三文化1和七　圓

神皇正統記

○評註校正神皇正統記　北畠親房撰　山田茂助版揃三慶應1後摺　和貳圓五〇錢
□神皇正統記　塚本哲三編　大7布壹圓五拾錢
△神皇正統講義　今泉定介述　大9　壹圓參拾錢
△校正評註神皇正統記考　內藤耻叟校　明29和五　拾　錢
大4　五　拾　錢
△國史神皇正統記　久米幹文述　布貳圓五〇錢
□神皇正統記　朝野房編　明44　五　拾　錢
○神皇正統記　群書類從本　揃三和貳　圓
△補正神宮正統記評釋　大久保初雄著　明27　八　拾　錢
□神皇正統記　大町桂月著　新大15布壹圓六拾錢

國史略

□訂正國史略　岩垣松苗編　五慶應1和壹圓五拾錢
□國史略訓蒙　安富國民著　揃四明7和八　拾錢

○續國史略　谷寬得原攬　小笠原勝修纂　正續一〇明7和壹圓五〇錢

○明治新刻　國史略　石村貞一編　揃七明9和壹圓八〇錢

○國史略　岩垣善三郎著　揃五明9　壹圓七拾錢
□國史略　岩垣松苗編帙入雁皮紙二明10和貳圓

□國史略　菊池純編　正續續編　揃一五明12五　圓
續續々編付

□國史略字解大全　紫田秀有編　揃三明15和五　拾錢
○增補點註國史略　巖垣松苗著　巖垣杉苗註　揃五明17和貳圓參拾錢

日本政記

○日本政記　賴襄子成著　揃八和　壹圓五〇錢

△日本政記劄記　雨森精翁編　揃四明和310　壹圓參拾錢
□改正增補日本政記字類大全　河村輿一郎編　三明2310和五　拾錢

□日本政記　賴久太郎著　揃八明9和壹圓　貳拾錢
明17和壹圓

△增補校正　日本政記　賴久太郎著　揃八明3023和壹圓八拾錢　明3023和壹圓七拾錢

□論文日本政記講義　富本長洲著　明29和壹
△論文日本政記講義　河村定靜述　二明3529和壹圓貳拾錢

日本外史

□日本外史　賴元協後藤機校帙入　揃五元治1和貳圓五〇錢

△標註日本外史　賴又二郎標註　北畠版　揃三三明10和貳圓五〇錢
雲谷任齋註

□日本外史　賴氏藏板　揃一二元治1和壹圓貳拾錢
須原屋版　揃三三文治12和貳　圓

×日本外史之內(義平重盛一騎打之圖)清親畫錦繪明13壹圓參拾錢
△校刻日本外史　保岡元吉校　川越版　揃一二明16和貳　圓

△校正日本外史　後藤機撰　揃一二明18和壹圓參拾錢
田中屋版　明2418和壹圓貳拾錢

△日本外史　賴久太郎增補　揃一二明3327和壹圓七拾錢
田中屋版　明3327和壹圓參拾錢

□增補日本外史　賴久太郎著　明1326革壹
□重訂日本外史　久保天隨訂　大1326布壹圓五拾錢

△校刻日本外史　賴襄子成著　明41布貳圓五〇錢

日本外史講義及字解

△系譜頭書日本外史便蒙　水野旭山校　二明6和七　拾錢
□日本外史質疑應答　鹿島長次郎著　明25八　拾錢

□演義日本外史　松村操修邁　明16布壹圓五〇錢

△日本外史新論　中村正直著　中西桑陽寫　明43布七　壹圓五拾錢
▲新譯日本外史　大町桂月譯　拾錢

□改正刪補日本外史字類大全　河村輿一郎編　四明6和六　拾錢
□日本外史纂語字類大全　櫻井茂衛編　揃四明2539和六　拾錢

□校刻日本外史附字典　賴山陽著　郁文舍刊　二明39布貳　圓
△便蒙日本外史纂語講義　雨森精翁述　六明1439和六　拾錢

△日本外史論文講義　賴山陽著　片岡潛夫講述　明3330　壹圓
△日本外史論文講義　岩田德義著　明3330　壹　圓

△日本外史講義　輿文社編　揃四大8和六　圓
少年叢書

△論文日本外史講義　的場鉉之助著　明29　壹
△日本外史論文箋註　池田蘆洲著　和五　拾　圓

△纘外史餘論　長川東洲著　二明6和壹圓五拾錢
□雛頭註解日本外史字類　岡野竹堂著　明43和五　拾錢

□外史譯語　大森惟中庄原和纂　揃二明7和八　拾錢
■日本外史字類大全　河村輿一郎輯譯入　揃二明11和五　拾錢

△日本外史前記　近藤瓶城著　坂上版　揃五明11和壹　圓
○日本外史補　岡田儀撰　揃九嘉永3和壹圓五拾錢

日本外史

塚本哲三編
有朋堂文庫

⧖新譯日本外史論文精解　吉川秀雄著　新昭2　布壹圓貳拾錢
□啓蒙日本外史大概誡之解　渡邊益軒校　三五明7和壹圓五拾錢

日本開闢史

△大日本開闢由來記　指淵漁者編　揃六萬延1和五　圓

△皇國開闢由來記　指淵漁著　揃三安政3和四　圓

□日本開闢由來記　一夢道人著　明18　壹圓五拾錢
○日本開闢　大和田建樹著　明331　壹　圓

△日本開闢史　中邨德五郎著　明42布參圓五〇錢

△大日本建國史　木村鷹太郎著　洋裝　壹圓八〇錢

神代記

◎神代卷　日本書記　大槻藏印　二和壹　圓
△神代物語　佐藤小吉著　明43　壹圓五拾錢

○神代紀髣髴山陰　本居宣長著　須原屋板　和壹圓五拾錢
△神代記新解　黑神直臣著　明11　壹圓五拾錢

△神代史の研究　津田左右吉著　大13布參圓貳〇錢

△日本書紀神代卷　加藤立智著　洋裝　參　圓
世界聖典全集

△神代の研究　福田芳之助著　大2　貳　圓

○神代卷講述鈔　山本廣足著　揃二　和貳圓五〇錢

太古史

□祖志　岡本監輔著　明23
自天地開闢至鷗鷹草葺不合尊　參　圓

△日本太古史　木村鷹太郎著　揃二　洋裝　六圓五〇錢

○赤縣太古傳成文　平篤胤撰　和五　拾錢
□考訂古史成文　平篤胤著　揃三文政6和壹圓五拾錢

△日本太古史　石川利之著　明33　參圓五〇錢

△世界的研究に基づける日本太古史　木村鷹太郎著　明44布參　圓

△日本の使命世界統一日本太古小史　木村鷹太郎著　大2布壹圓五〇錢
△原始時代　史略　野村秋定編　明14和五　拾錢
　日本上古略史　宮本茂任編　明15和五　拾錢

△原始時代之研究　國史講習會編　大14布參圓六〇錢

○古史徵　平田篤胤著　揃一〇　和六　圓

△古史通或問　源君美撰　假綴一〇八頁　八拾錢
△古史通或問　源君美撰　正德六年　假綴八〇頁　七拾錢

古代史

△少彦名命の研究　喜田貞吉述　民族と歴史大10　八拾錢
○倭姫命世記講述抄　高宮玉串内人度會清在述　寫本貳圓
□古事記抄　鴻巣次田栗原編　大14　六拾錢
□標註古文古事記　池田常太郎著　明44　壹圓
○舊事本紀剳偽　伊勢貞丈著　關本々玄寫文政13貳圓
□古代の研究　田口卯吉著　明35　壹圓貳拾錢
國語上より觀察したる人種の初代・日本朝鮮及支那古代の交通・高皇産靈尊・太后と蒙古の骨占
□日本記略　國史大系本經濟雜誌社　明30布七　圓
△日本古代史　久米邦武著　合本明42布貳圓五拾錢　大4布參圓五拾錢
△大日本古代史　堀田璋左右述　國史講習錄　壹圓五拾錢
□日本古代史と神道との關係　久米邦武著　明42　八拾錢
△日本古代思想史　橘惠勝著　洋裝　四　圓

古事記

○古事記傳　本居宣長著　箱入美本　揃四五和裝參拾五圓
○校正古事記　德川氏藏版　揃三明8和貳　圓
○古事記標註　村上忠順著　揃三　和貳圓五〇錢
○古訓古事記　三國幽眠略解　揃三　和貳　圓
□訂正古訓古事記讀本　本居宣長編　揃三明4和壹　圓
△標註古事記讀本　加藤高文著　明44　壹圓五拾錢
△古事記及日本書紀の研究　津田左右吉著　大13　參　圓
□古事記講義　大久保初雄著　帙入揃三明25貳冊合本新大15布貳　圓

古事記

△古事記通俗講義　美濃部伴郎著　昭2布貳　圓
□古事記抄　鴻巣次田栗原編　大14　六拾錢
□標註古文古事記　池田常太郎著　明44　壹　圓
△古事記通釋　池邊義象著　大6布參　圓
△古事記之研究　美濃部伴郎著　大3　壹圓貳拾錢
△古事記總論　藤原成元著　新大14布壹　圓
△古事傳通解　大國隆正著　一卷　明27　壹　圓
△古事記選釋　千秋季隆述　早大二三頁
□古事記序解　龜田鶯谷述　和壹圓五拾錢
□古事記神話の新研究　石川三四郎著　大10布壹圓貳拾錢
△古事記の性質及び其編述の時代　安藤正次述　大6　七拾錢
△古事記の性質及び植物　白井光太郎述　明治聖德紀要三頁　八拾錢
△古事記日本書紀　飯田武郷　布壹圓七拾錢
□古事記新釋　萩野由之述　新大15布貳圓五拾錢
△古事記新講　次田潤著　新大15布五　圓

△古事記全釋　植松安著　廣文堂　新大15布四圓五〇錢
△古事記數釋　大塚龍夫著　洋裝　貳　圓
□通俗古事記　井上友吉著
⊠要領を得てよくわかる古事記新解　古谷幹夫著新昭2布壹圓六拾錢

本朝六國史

□國史大系　六國史　黒板勝美校　經濟雜誌社版　五大4から5布〇〇〇〇　散寶六　圓
日本書紀一の一　舍人親王　文德實錄一〇三
續日本紀四の二　菅野眞道　三代實錄五〇四
日本後紀三の三　藤原冬嗣等　別册
續日本後紀三の三　藤原良房等　國史大系類纂國史　菅原道眞等
□本朝六國史　伴信友校訂　桐箱入四〇明16和　貳拾參圓
日本書紀續日本紀日本後紀文德實錄三代實錄

○日本書紀　勅本板　訓點註釋朱入揃一五慶長4和　拾　圓
△日本書紀通釋　飯田武郷著　揃五明26布　貳拾六圓
△校本日本書紀　大八州學會訂　明28　四　圓
△文化史上より見たる日本書紀　三浦周行藝文大8　五　拾錢
△日本書紀文字錯亂備考　大關增業識　文政5和壹圓　五拾錢
△日本古事記　國學院大學編　揃七洋裝　參拾六圓
□註釋假名の日本書紀　植松安著　揃二新大15布各參圓五〇錢

奈良朝史

○巖屋完節志　帆足萬里鷗渚　嘉永4寫貳圓五〇錢
中井竹山の逸史に謬妄あるを慨して編纂したる櫻岳公遺事を譯者が其門生と共に潤譯せるものなり
□本朝世紀　國史大系本經濟雜誌社　明31布　六　圓
(朝野群載所收)
○日本逸史　鴨祐之著　二二享保9和五　圓
桓武天皇延曆十一年より淳和天皇の天長十一年に亘る歴史なり
(日本逸史　寫本　壹圓
▲奈良朝　稿本　明34布八　拾錢
△奈良朝史　天皇本記附皇子列傳　寫本　壹圓
□奈良朝史　笹川臨風著　明38　貳圓五〇錢
△奈良時代史論　久米邦武述　早大六六頁
△奈良時代史　日本歷史地理學會編　大3布五　圓
△奈良朝時代の文化　清原武雄史地四明42から43　參圓七錢
△天平時代物語　木村小舟著(美術)　大11布貳圓五〇錢

平安朝史

×奥州後三年合戰畫卷　木箱入三天保13　四拾五圓
肉筆彩色畫にして頗る美麗、大版長尺卷物なり
△日本書紀通釋　飯田武郷著　揃五明26布　貳拾六圓
○保建大記　打聞　安積學政　揃三正德4和壹圓　五拾錢
○保建大記　栗山潛鋒撰　揃二正德6和壹圓　五拾錢
保元から建久に至る三十餘年間の重要事を記したる歴史なり
△平安朝史　池田光淵述　早大四九頁　明39　貳圓五〇錢
△平安初期裏面より見たる日本歷史　久米邦武述　明44布　圓
□平安年中行事記　笠原鴨涯齋藤靜花著　壹　圓
△平安朝文化と庶民階級　西田直二郎　史林二大7　拾　圓
⊠日本史蹟叢書(保元平治)　日本史蹟刊行會　大7布八　拾錢
⊠平安朝文化と庶民階級　西田直二郎　史林二大7　拾　圓
△平安朝に於ける王政復古　西岡虎之助　中史大11　五　拾錢
△平安朝の文化　歴史と地理特輯　大9　壹　圓

▲藤原時代物語　木村小舟著(美術)　大11布貳圓五〇錢
○參考平治物語　今井弘濟著　揃六元祿6和四圓五〇錢
内藤貞顯校
異本五部を集めて互にその文句の異同を註し且つ事實の誤謬を刪訂したるものなり

鎌倉時代

□增補鎌倉武鑑　木村櫻年記　一二編揃四文政2和四　圓
須原屋板
○鎌倉大草紙考　黒川眞頼述　假綴寫貳
□鎌倉大草紙　永和より文明に至る鎌倉の盛衰顚末を記したるもの　寫本　五拾錢
△鎌倉大草紙脱漏　督紀氏寫　壹圓五拾錢
△鎌倉時代史　日下寛述　早大二六六頁
△鎌倉時代通俗史談　大森金五郎著　明45　壹圓貳拾錢
□文化より見たる鎌倉時代　醍醐悪端著　大7布貳　圓

○鎌倉將軍家譜　林道春著　寛永18和五　圖
高倉天皇の治承四年より光嚴天皇の正慶二年に至る關東將軍九代、百五十四年間の系譜傳記なり
△鎌倉文明史論　日本歷史地理學會　明42布四圓三〇錢

×賴朝鎌倉舘中之圖　奥村德義寫二尺八・四尺彩色天保12貳　五　拾　圖　錢
×鎌倉右幕下燒香場の圖　貞秀畫　錦繪
□鎌倉將軍並伊豫守御侍帳　谷長國寫　嘉永7七　拾　錢
□氏政諸將城附（北條家公文所列姓之衆）　寫本　橫五　拾　錢

○鎌倉源氏一統志　馬場立隆著　揃一六文政4和　拾　圓

□鎌倉武士と禪　鷲尾順敬著　歷史講座　布壹圓五拾錢
△武家時代概論　久米邦武黑板勝美　中央大4六　拾五錢

△鎌倉時代に於ける鎌倉の文化に就て　大森史雜大10五　拾　錢
△鎌倉時代の武士道管見　清原貞雄　史地　大9五　拾　錢

△情の清盛　岩井松風軒著　明34八　拾　錢
□賴朝公給帳　松井氏寫　參　拾　錢

△武家時代之研究　大森金五郎著　卷一　新昭2貳圓三〇錢

△源賴朝公御大名分限帳　源家系圖附天明8寫八　拾　錢
安永5寫八　拾　錢

○仁部要　日野櫛中納言資宣著　寫本　五　圓
建長八年五月より弘安二年五月（鎌倉時代中葉）迄の公務上見聞せしことを記述せるもの

□武家時代史論　山路愛山著　明43　壹　圓
△近古史附近世史　荻野由之小中村義象著　壹圓貳拾錢

△國史參考玉葉　藤原兼實著　高頭忠造編　二大6布參圓五〇錢

△玉葉　藤原兼實著　市島謙吉編　二明39布貳圓五〇錢
長寛二年正月より正治二年末月間の朝章典禮時勢の隆替公武關係より天時地理人情風俗の細故に至る迄の日錄なり

△源平盛衰記圖繪　秋里雛嶋輯　揃六寛政12和八　圓
揃二〇　四圓五拾錢

○源平軍記語　一〇明曆2和八　圓

□參考源平盛衰記　德川昭武編　史籍覽　三明35布五　圓

□校訂源平盛衰記　帝國文庫本　明43革貳圓五〇錢

義經記

○新阪繪入義經記　梅村三郎兵衛板　八元祿10和七　圓

△義經記講談　藏田國秀述　明35五　拾　錢
△義經公北方傳記　越後國頭越郡上輪村龜割山　和八　拾　錢

△源九郎義經　中村孝也著　新大15布貳圓八〇錢

□義經再興記　內田鯛八郎譯述　明20八　拾　錢
△義經傳　黑板勝美著　洋裝　壹圓六拾錢

△通俗義經蝦夷軍談　繪入　揃一〇　和五圓五〇錢

△源爲朝　兒玉花外著　明43五　拾　錢
△賴朝　幸田露伴著　明42布壹　圓

△賴朝一爲朝　露伴學人著　新大15布貳　圓
△賴朝　長與善郎著　大9八　拾　錢

△賴朝の事業及び人格　大川周明著　日本精神研究大14參　拾　錢
△北條氏康の武藏野紀行の眞僞に就て　田中義成述明35五　拾　錢

○明月記　藤原定家著　寫本揃六一拾八　圓
建久三年三月一日以後天福元年三月晦日に及ぶ日錄なり。而して第一乃至第六册に至り朱書を以て手入あり

源平盛衰記

○○源平盛衰記圖繪　揃六寛政12和八　圓
揃二〇　四圓五拾錢

○源平軍記語　一〇明曆2和八　圓

□參考源平盛衰記　德川昭武編　史籍覽　三明35布五　圓

□校訂源平盛衰記　帝國文庫本　明43革貳圓五〇錢

義經記

○新阪繪入義經記　梅村三郎兵衛板　八元祿10和七　圓

△義經記講談　藏田國秀述　明35五　拾　錢
△義經公北方傳記　越後國頭越郡上輪村龜割山　和八　拾　錢

△源九郎義經　中村孝也著　新大15布貳圓八〇錢

□義經再興記　內田鯛八郎譯述　明20八　拾　錢
△義經傳　黑板勝美著　洋裝　壹圓六拾錢

△通俗義經蝦夷軍談　繪入　揃一〇　和五圓五〇錢

元寇の役

○伏敵論　山田安榮編　明25革六　圓
附靖方溯源・蒙古襲來繪詞（竹崎季長畫）　並四圓五拾錢

○元寇紀略　大橋訥菴著思誠塾版二嘉永6和四圓五〇錢

○蒙古襲來繪詞　竹崎季長畫　揃三大5和五圓五〇錢
風俗繪卷圖畫刊行會

□蒙古合戰元寇軍記　鶴越敬士著　明24　貳　圓

□元寇反擊護國美談　紫山居士著中洲補　明20　壹　圓
□元寇事蹟殉難及勳功關係者姓名錄　山田安英輯橫　明30　貳　圓

△太平記軍傳　涙花吳玉寫　一册欠五九四圓五〇錢

△頭書增補繪本太平記　東京同益出版社　山林樓　湖繊繪揃二一明17和六　圓

△訂正繪本太平記　揃三明41和貳圓五〇錢

□校訂前々太平記　纘帝國文庫　明38　壹圓五拾錢
△太平記　市島謙吉編　明40　布　壹圓五拾錢

□訂正太平記　田島象二著　揃二明15布貳圓五〇錢

△校訂太平記　纘帝國文庫博文館　揃二大2革參　圓

□太平記　永井一考校訂　揃二明43布參　圓

△太平記・後太平記　通俗日本全史早大三大3布四圓五〇錢

太平記

△關東中心足利時代之研究　渡邊世祐著　新大15布四圓五〇錢

□△足利將軍傳　佐々宗淳子朴著　七　拾　錢
△足利十五代史　國史研究會編　大1布貳　圓

室町時代史

△室町時代史　渡邊世祐述　早大　明39　貳　圓
△室町時代之裏面　秋山眞著　洋裝　壹　圓

△兵部卿護良親王　木村鷹太郎清水孝敎著　大1布壹圓七拾錢
△建內記　寫本　應永24　壹　圓

△結番日記・親孝日記・聲日記　坪井九馬三校　明41　壹圓五拾錢
□足利尊氏　山路愛山著日本英雄傳　明42七　拾　錢

△足利時代史　田中義成著　新大14布貳圓貳〇錢

南北朝

△南北朝時代史　久米邦武著　早大　明40 布貳圓 大5 五拾錢

△南北朝時代史　田中義成著　新大13 布貳圓八〇錢

△南北朝正閏論纂　山崎藤吉著　明44 布貳圓五〇錢

○南北朝正閏論　史學協會編　明444 壹圓 五拾錢
□南北朝問題と國體の大義　姉崎正治著　明444 壹圓

□現代名家　南北朝論　高橋越山編　明445 八拾錢
□南朝と北朝　伊藤銀月著　明434 六拾錢

○南朝紀傳　山岡俊明著　寫本揃三明和9參圓
霞亭文庫藏印　後醍醐天皇の元弘元年より稱光院の應永三二年に亘る南都に關する事蹟を記したるもの一名を南方紀傳とも云ふ

△南朝考論　二宮成著　明44 壹圓 五拾錢
□南朝傳　大町桂月著　洋裝壹圓

△南朝五十年史　笹川臨風著　明44 布貳圓五〇錢

□南朝史話　忠不忠　藤田精一著　新大15 布貳圓
□南山義烈史　橋詰照江著　明33 布壹圓 五拾錢

□南朝遺史　林柳齋編　揃三 貳圓五〇錢

△南朝　朝號　敎育會增刊　明444 八拾錢
△南北朝正閏論　私見　平山修辯協　明444 六拾八錢

楠公史實

○三楠實錄　畠山竹陰著　寫本揃八明16和參圓五〇錢
延尉・金吾・典廐之卷
□增補三楠實錄　畠山部輿編　明15 布壹圓 參拾錢
×四條繩手にて楠家高名を表すの圖　國芳筆錦繪續三壹圓

△楠氏遺蹟志　楠氏組勝會藏版　明35 參圓

△楠氏研究　藤田明著　洋裝六圓
□楠氏考　川田剛著　和裝壹圓
△楠正成傳　村田通信撰　天保11寫貳圓

○楠公父子碑文　文化4壹圓
△楠公文集　菱潭澤寬書衆芳堂梓　寫本　和八拾錢

○楠公軍學秘鈔　河內守橘朝臣寫　建武3貳圓
△大楠公高橋淡水著　大11布壹圓五拾錢

□楠正成　碧瑠璃園著　洋裝貳圓

△大楠公奪忠事歷　大熊權平著　大3 壹圓五拾錢
△太平兵庫記　渡邊林之輔編　繪入二明17和壹圓貳拾錢

△我楠公主義　青池晃太郎著　鐵版　大13和八拾錢
□楠の下露　笹川臨風著　大6 五拾錢

△南氏櫻井之傳書　佐々木春次寫　戰術書　嘉永4八拾錢
△櫻井之傳書　兵法戰術書　寫本　壹圓

△中興元勳楠木正成殉難傳　岡谷繁實著　明35 七拾錢
△小楠公未松謙澄川尻寶岑著繪入明26和壹圓
△小楠公遺芳錄　池上幸次郎著　明38 七拾錢
○小楠公五百五十年祭獻詠詩歌集　三牧文吾編明31 六拾錢

□大楠公夫人傳　碧瑠璃園著　洋裝壹圓九拾錢
△楠公夫人傳　織田完之著　大4 八拾錢

戰國時代史

△地歷參考近世戰略上より觀たる戰國時代活史　荒川衙次郎著　明44 布壹圓八〇錢

△戰國時代史論　日本歷史地理學會編　明44 布參圓

△戰國時代本願寺　中村德五郎著
△戰國時代概觀　三浦周行　中史　二大1031 壹圓 五拾錢

安土桃山史

△安土桃山時代史　渡邊世祐著　大日本時代史　大5 布貳圓五〇錢

□安土桃山時代　西村眞次著　國民の日本史　大11 布貳圓五〇錢

△安土桃山時代史論　日本歷史地理學會編　大4 布四圓

△織田時代史　田中義文著　新大13 布貳圓八〇錢

○信長記　太田牛一輯　小瀨道喜撰　八寬永1和六圓
太田牛一の信長記を敷衍し省略し全體に文飾を加へて版刻す
○明智軍記　大阪伊丹屋板　一三元祿15和五圓
明智光秀出世の始より沒落の終に至るまでの實錄にして凡て全文六十五箇條あり

△信長記・太閤記　國民文庫刊行會本　明43 布壹圓五拾錢
×氏鄕記・最上出羽守義光物語　日本歷史文庫本　明45 布壹圓

×眞書太閤記本能寺燒討之圖　楊齋延一筆錦繪　明26和六
○林英武話　合本寫本　壹圓五拾錢

△常山紀談　湯淺元禎著　揃六明和8和貳圓五〇錢

△桃山時代と城下町　大類伸　歷地　明37 壹圓八錢
□常山紀談　湯淺元禎著宋榮堂版　二明31 壹圓五拾錢

△雨夜之燈　津村宣德寫　武者物語　文久2五 拾錢
□桃山時代概觀　德富猪一郎著　新大14 參 圓

○松亞記　松殿大納言忠嗣著　永享7寫五圓
東叡山開山堂藏印　貞和五年中に於ける公務上見聞せることを記したるもの
△織田信長　小泉策太郎著　明30 五 拾錢
△室町幕府の政治と備倭　三浦周行　佛史　八 拾錢

△東山時代の京都　西田直二郎　史地　明42 九拾五錢
△東山時代の文化概論　笹川臨風　史地　明42 九拾五錢

△東山殿營中之圖　歷史と地理特輯號　大8 壹圓
×東山殿營中之圖　寢室半山畫　寢室寫彩色　二尺三・二尺六　壹圓五拾錢

豐太閤時代記

△豐臣時代史　田中義文著　新大14 布貳圓八〇錢

□昔古累世　織田豐臣兩家　彩色地圖入　二和貳圓五〇錢
鎌倉京都室町　折本

□太閤記　武鑑　和壹圓
△豐國神君御治世武鑑　古瀨善左衛門寫　文政3壹圓

□繪入太閤記　野田板　橫一〇寬永7和六圓

△太閤記　法橋玉山撰通俗日本全史二大3布參圓
△太閤記　伊藤銀月著　明38 六 拾錢

△繪入豐臣勳功記　八功舍德水著　揃七〇安政7和貳拾圓
翠簜堂半山畫

○豐臣秀吉譜　羅山子道春撰　揃三明曆4和參圓

□豐臣年代昇進錄　自初編至七編　合本慶應2和七　拾錢
×豐臣昇進略繪入　前編　和壹圓五拾錢

△豐太閤　村上溟六著　明44 布壹圓八〇錢

□新太閤記　アルターデニング著英文明37 布壹圓 貳拾錢
△川角太閤記　公民文庫本　揃二明42 壹 圓

□太閤素生記　近藤瓶城校訂觀奕堂版　和六 拾錢
□豐臣英名傳　孟齋茉虎畫　繪本二明14和五 拾錢

△淀君と太閤　岩井松風軒著　明34 五 拾錢
□豐臣鎭西軍記　通俗日本全史　大2 壹 圓

△豐公遺寶圖略　景文・豐彦畫　　揃二　和貳圓五〇錢

□眞像太閤記畫譜　又玄齋南可畫　彩色繪本　　揃三　和壹圓五〇錢

△豐太閤征外新史　木下眞弘著　　揃五　和參圓五〇錢

△正確なる史料にあらはれたる豐太閤三上參次述明36七　拾錢
○豐國會趣意書　若松雅太郎著　明30壹　圓

□豐太閤と其家族　渡邊世祐著　歷史講座　明43　布壹圓五拾錢
○豐太閤と其號　成功特輯　明43　七　拾錢

□豐公時代品展覽會目錄（明二八年）大阪博物館　明29八　拾錢
△豐臣諸侯表　松平年一　歷地　大13　五　拾錢

○秀賴記　高木宗夢述　霞亭藏本　寫本三寶曆5　貳圓五〇錢
△稿本石田三成　渡邊世祐編　　明40布壹圓二〇錢

近世史

△日本近世史說　花見朔巳著　新大15布參　圓

△日本近世史　中村孝也著　三大5ゟ7布五圓五拾錢　國家結成の時代　大6

△日本近世時代史　早稻田大學編　散寶貳　揃三明42布六　圓　德川氏幕末史　維新史

□近世日本國民史　德富猪一郎著　三三大14ゟ昭2參　散寶壹圓五拾錢　拾五圓

織田氏時代　三　家康時代關原役
豐臣氏時代　家康時代大阪役
豐臣氏時代朝鮮役三
豐臣氏時代桃山時代概觀

△德川十五代史　內藤耻叟編書入本　揃一二明26拾　圓
本書は終始懇切詳細なる朱書あり研究閱讀上甚だ至便なるべし

△德川通史　井原儀著　大1革六　圓

△德川幕府時代史　池田晃淵著　明37　貳圓五〇錢

△德川時代史　中卷　寫本　貳圓五〇錢
三代將軍に至る迄の政　五代將軍の初世並に幣風俗　四代將軍　學問上の形勢六代及七代將軍
幕府初代諸藩の治績

△德川十五代史　內藤耻叟編　揃一二明26七　圓

△德川幕府時代史　源照短編源賴短校　七文久1和　圓
自後水尾天皇至孝明天皇卽位

△德川通史　舊德川將軍家編　內藤耻叟校訂　揃四二明17ゟ32和八　圓

□德川實紀　經濟雜誌社本　揃一二布貳拾五圓
德川家康より同家治に亘る十代間の實錄にして、其間の政績時事を尋れんには此書に若くものなかるべし

△德川十五代記　山田俊藏著　四明9和壹圓五拾錢
□德川幕府時代史　佐田和太郎著　明41　壹　圓

△德川十五代史　內藤耻叟編　揃一二明26七　圓

△十三朝紀聞　源照短編源賴短校　七文久1和　參　圓
自後水尾天皇至孝明天皇卽位

△德川實紀　舊德川將軍家編　內藤耻叟校訂　揃四二明17ゟ32和八　圓

□德川實紀　經濟雜誌社本　揃一二布貳拾五圓
德川家康より同家治に亘る十代間の實錄にして、其間の政績時事を尋れんには此書に若くものなかるべし

△德川十五代記　山田俊藏著　四明9和壹圓五拾錢
□德川幕府時代史　佐田和太郎著　明41　壹　圓

德川通史

□野史　飯田忠彥著　飯田文彥訓　八帙揃一〇〇明15和拾五圓
後小松天皇より仁孝天皇に至る大略二百四十年間の大小事蹟を紀傳體に記したる漢文史なり

德川幕府鎖國篇　元祿享保中間時代
德川幕府統制篇　吉宗時代
德川幕府思想篇　寶曆明和篇
元祿時代政治篇　田沼時代
元祿時代義士篇　松平定信時代
元祿時代世相篇　幕府分解接近時代

□評論德川世記　飯田宇宙著　明20　壹圓五拾錢
□德川氏の出擊　小宮山綏介述　皇典　明24　壹　圓

△德川太平志　後藤宙外撰通俗日本全史大2布壹圓五〇錢

△德川太平記　一二明27ゟ30參圓五〇錢

△德川制度考　寫本　第一卷　六　圓

△法制を中心とせる江戶時代史論　吳文炳著　大7布五圓五〇錢

△江戶時代史論　日本歷史地理學會編　大4　六　圓

△舊幕府　戶川殘花著　自創卷至終卷　合本五洋裝參拾　圓

△江戶幕府鎖國史論　中村孝也著　洋裝　六圓五〇錢

△二大社會革命戰亂の齎せる德川氏三百年の平和と享樂　笹川臨風　中公大11　八拾錢

△開國論の勃興と田沼時代　海老名一雄　歷地明41　九　拾錢
△德川綱吉及其時代　古田良一　藝文　大7　五　拾錢

○武家秘鑑　泰平年表　大野廣城著　自第一編至第六編寫本揃二八參拾參圓
天文十一壬寅年より文久三癸亥年まで卽ち德川家康より家茂の世に至る三百二十餘年に亘る德川治下に於ける出來事を年序を遂ふて採錄したるものなり

德川史實

○紀伊夜話　寫本　明和8四　圓
主として武將としての德川家康の言行を錄したるものなり
木村高敦著

○武德編年集成　內田靖共寫　三〇文化13拾五圓
德川家康一生の事歷を詳敍したるもの。天文十一年十二月廿日の誕生より元和二年十月の薨去に至る七十五年間の事實を悉くせり

德川史實　德川俗史　藩史

○家忠日記增補卷　何陽林子序　峽入寫本揃一三寬文8八　圓
永正八未年より慶長十九寅年に亘る日記なり

△德川家康より秀忠夫人へ遺りたる書面寫　都竹重利寫　文化2　參　圓

△德川家綱越前秀康松平忠吉尾張義直の雜筆記　寫本貳　圓
△駿河土產大道寺友山著稻塵氏敦寫　寬政6壹圓五拾錢
駿府在城の德川家康が言行遺蹟に關することの雜記

德川俗史

○獻上物異變　滊華散人寫　揃二寬政1六　圓

△德川時代の裏面　秋山賛著　大5　壹圓貳拾錢
△滑稽德川明治史　町田柳塘著　明40　八　拾錢

△和國太平記　揃八寫本貳圓五拾錢
□德川略傳記　鴻田編靜齋芳村蠹繪本　五和壹　圓

△金城奇聞德川家內幕　高橋翠巢著　明26　八　拾錢
△深秘德川大奧　羽皐隱史著　大4　壹圓五拾錢

△千代田城大奧　永島今四郎著　揃二明28貳　圓
太田贊雄

△大奧の女中　池田晃淵著　揃三明34壹圓五拾錢
□武川武士銘々傳　戶川安宅著　明27　參　拾錢

藩史

△日本藩史　北川舜治編　明17革　拾貳圓

△列侯深秘錄　國書刊行會第四期　大3布四　圓
盤井物語　明和5　梶原景長　西木紹山居士碑銘
黑田甲斐守書付　寬永18　栗山大膳紀事
栗山大膳記　井上某　正德1
西木子紀事　寬永18　福岡夢物語
內山家藏古文書天保9伊丹景扶　天和聚訟記　天和1
松平越後守家來戮決書

柳澤家秘藏實記　文政6　望月富治
遊女濃安都　天保11　秋田杉直物語　寛政4
播州色夫錄　寛保1　秋田治亂記實錄
僕約書延享3　田沼主膳頭殿へ被仰渡書　天明7
龜山訓　文政12　田沼狂書
見語　驚田爲綉　蚊やり火　文政13
政隣記抄本　大槻朝元　出石侯内亂記之事　天保6
久留米騷動記　津田政隣　松濱侍從書問封書
寶曆國民嗷訴記　寶曆4　濱の松風　龍の宮夢物語　文政13
寶曆四甲戌歲騷動御制詞　高橋音門

○藩　翰　譜　新井白石著　如瓶翁寫　揃二三嘉永6　參　圓

最近世史

△開國五十年史　大隈重信撰　揃二明41革五　圓

◎奠都五十年史　文友社編　原色版錦繪寫眞板多數挿入　大6布四　圓

○寫眞五拾年史　國民タイムス社編　大4布參　圓

□最近五十年史　明44　布壹圓五拾錢
□幕末明治裏面史　藤森花影著　大5　七拾錢

△開國大勢史　大隈重信著　厚册大2革四圓五〇錢

△開國起原　勝海舟著　揃三洋裝參拾圓

△大日本現代史　國府種德著　揃二洋裝四圓五〇錢

△開國論の濫觴　海老名一雄　歷地　明26　壹圓五八錢

△太平洋捕鯨事業と日本の開國　新村出　史地明44　八拾五錢
△松平定信の開國に就きて　上野菊爾　歷地　明44　七拾七錢

△開知新編　橋爪貫一編　繪入　揃六明2和六　圓

幕府衰亡史論

□幕府衰亡論　福地櫻痴著　新大15　壹圓五拾錢
△本朝雙姑傳　（朝廷と幕府との關係）　寫本貳　圓

⧖幕府瓦解史　熊田葦城著　新二大4布參　圓

△近世太平記　吉村明道編　揃二明12和八　圓

□近世外史　正田筑山輯　揃五嘉永6和貳圓五〇錢

△近世太平記　市川かめ版（嘉永6ヶ明16）明21貳　壹圓五拾錢
□維新前後　溝口白洋著　大10

△新影近世史略　椒山野史著　揃三明5和貳　圓
△校補近世史略　山口謙著　揃六明8和壹圓八拾錢

□繪本通俗近世史略　山口謙著　明21布貳　圓

△近世事情　山田俊藏　大角豐太郎　揃七明7和貳圓八〇錢
寬政元年より明治二年に至る迄の記事なり

△近世紀略　石津賢勤　菊池經著　正續八明9和參　圓

□近世紀聞　染崎延房輯　明19布四　圓

△近世紀聞　條野傳平　染崎延房輯鮮齊永濯畫　揃三六明8和貳拾五圓

△近世紀聞　條野傳平　染崎延房輯鮮齊永濯畫　合本明20布四圓五〇錢

□近世野史　城兼文著　四和貳圓五〇錢

△幕末外國關係文書　文科大學編　大日本古文書本　二三布壹百六〇圓
內容並に散賣價古文書欄參照

△幕末諸公文書達寫　寫本三拾八圓
文久元辛酉年二月より三癸亥七月に亘る諸記錄にして當時の內外情勢を窺ふに足る好史料たり

○夷事輯錄　附嘉永六年以後　寫本八八拾圓
異國船渡來一件
八月十日關東江被仰出勅諚之事
間部侯上京之事
水府老公御沙汰付京都一件御仕置之事
水戸家江勅諚返納被仰下付御國中騷動之事
勅諚返納名義論
安政七申年三月三日井伊掃部頭殿憤死之事
水戸浪士十七人妻懷書
筑波秘錄
江戸來狀
井伊家上使付內情之事
水戸御沙汰付藩州御達之事
以上は夷事輯錄五册の大目にして附するに嘉永六年より安政四年に亘る異國船渡來交涉事件一切の精細なる記錄を以てす

○隨筆時態見聞誌　自弘化二己年　寫本三貳拾圓
至明治元辰年
世事最も多端なりし當時の世態見聞隨筆にして異船渡來內政外交武六藝開國攘夷諸藩騷擾朝野の政令內外の措擧より日日の瑣事風聞に至る迄も採錄したる幕末維新の好史料たり

△幕末雜記　寫本三貳拾圓

△幕末世態記錄　厚册　寫本三　拾五圓
異船渡來に際しての外交對策、海內各地の政績事態より世上の風聞各藩上書觸書に至る迄登載したる幕末維新の記錄
吉野眞保著

△嘉永明治年間錄　揃二〇和裝貳拾參圓

△近世太平記　吉村明道編　揃二明12和八　圓

□近世外史　正田筑山輯　揃五嘉永6和貳圓五〇錢

△近世太平記　市川かめ版（嘉永6ヶ明16）明21貳　壹圓五拾錢
□維新前後　溝口白洋著　大10

△新影近世史略　椒山野史著　揃三明5和貳　圓
△校補近世史略　山口謙著　揃六明8和壹圓八拾錢

□繪本通俗近世史略　山口謙著　明21布貳　圓

△近世事情　山田俊藏　大角豐太郎　揃七明7和貳圓八〇錢
寬政元年より明治二年に至る迄の記事なり

△近世紀略　石津賢勤　菊池經著　正續八明9和參　圓

□近世紀聞　染崎延房輯　明19布四　圓

△近世紀聞　條野傳平　染崎延房輯鮮齊永濯畫　揃三六明8和貳拾五圓

△近世紀聞　條野傳平　染崎延房輯鮮齊永濯畫　合本明20布四圓五〇錢

□近世野史　城兼文著　四和貳圓五〇錢

□明治前記　鈴木大編　明23　五　圓
上、弘化元甲辰年より下、慶應三丁卯年に亘る歷史なり

△幕末史の研究　井野邊茂雄著　新昭2布五圓六〇錢

△幕末史　小林庄次郎著　早大明33　並壹圓五拾錢
明40布貳圓五拾錢

△幕末史概說　井野邊茂雄著　新昭2布五圓八〇錢

△幕末小史　戶川安宅著　揃三明32　貳圓五〇錢

□幕末哀史　堀江秀雄著　新昭2布貳圓二〇錢

△幕末京坂地方ニ於ケル重要事聞書　元治1寫壹圓五拾錢
△西國筋風評之大意（長州追討一件其他）　寫本七　拾錢

□幕末維新熱血史　溝口白羊著　維新前後之卷　新昭2布貳圓五拾錢
維新之人々卷　新昭2布貳圓五拾錢

△幕末百話　篠田鐵造編　明38　壹圓貳拾錢
△幕末見聞錄　安田正秀著　大8　壹圓

□幕末事變錄　皆川昌著　明33　貳
△幕末裏面の活動　高橋幸義著　明43　布壹圓五拾錢

△側面觀幕末史　櫻木章著　洋裝　四圓五〇錢

△幕末秘史櫻吹雪　南海夢樂作　大15　四拾錢
△幕末維新の際に於ける民政に就て　尾佐竹猛述　六頁大10　八拾錢

△幕府始末　勝安芳著　明28和參　圓

△昨夢紀事　中根雪江著　二明29布拾貳圓

□潛中紀事　清河正明著　明21布貳圓五〇錢

△尊攘紀事　岡千仞著　　揃四洋裝壹圓五〇錢
△幕末變革期に於ける社會缺陷の研究　久代高任中史二大10壹圓
△德川末期より明治新政へ　藤井甚太郎　史地大13五　拾錢

維新史

△維新史料　野史叢編　六六明20ノ25　八拾圓
上書　翰書
日記　雜傳記　回天實記　筑波戰爭記　泰平年表
碑文　雜記　唱義聞見錄　常陸帶
開港起原　柳營沙汰書　望東禪尼傳　安政錄
公文　論策　中村圓太傳　小川一繁略傳
海警年表　銘肝錄　英彦山義僧傳　島津齊彬略傳
長行始末　歌詩　北島志竝新撰組始末
○維新前後の記錄　寫本參　圓
鹿兒島藩西鄉建白　明治六年地租改正條例　諸藩知事上書
廢藩置縣詔書　當路諸大官建白　養蠶論其他多數の記
文司兩省敎導職建議　事を收めたるもの
△維新史　本多辰次郎著　明41布貳圓五〇錢
⧖維新史八講と德川政敎考　吉田東伍著　新大13布貳圓二〇錢
△明治維新史講話　藤井甚太郎著　新大15布貳圓五〇錢
△維新史八講　吉田東伍著　明43布壹圓五拾錢
△大日本維新史　重野安繹著　漢文　揃二明32和貳圓
△維新史研究資料索引　歷史地理增刊　大8　參圓五〇錢
△明治維新發祥地記念會編　維新發祥地記念會編　大8布壹圓五拾錢
△維新史物語　村上長風編　明45壹圓貳拾錢
□維新沿革　菊地曉香林南軒編　明1042壹圓貳拾錢
△明治維新の新研究　解放特輯

△明治興國史　平井觀著　　大6布貳　圓
□明治歷史　坪谷善四郎著　　揃二明3026布參圓五拾錢　並貳圓五拾錢
△七年史　北原雅長著　　揃二洋裝六　圓
△三十年史　木村芥舟著　　洋裝　八　圓
△明治三十年史　岸上操編　太陽增刊　　布貳　圓
△明治四十年史　河野正義著　　明42布貳圓五〇錢
△明治史要　修史局編（自慶應三至明七）明9革貳拾五圓　　揃二明9革七　圓
△明治發達史　毛利原田日野外著　附農商工大全　　明44布參　圓
△通俗明治歷史　坪谷善四郎著　百全　　明37壹
□通俗明治起原史　內村義城稿　　明2037貳　圓
△明治聖代史　高桑駒吉著　　大1布壹圓貳拾錢
△明治文化史概論　三浦周行　　大13八拾錢
△日本最近史　燈山專太郎述　解放　　早大　圓
△人情觀的明治史　伊藤銀月著　　明45壹圓五拾錢
△聖代實錄　石川鴻齋論評　中里篤信記述　　揃四明22和五　圓
□明治外史　松村操編　自明元年至明九年　　明17布貳圓五〇錢
▲明治年表　偉人史叢編輯部編（明一ノ三年）明34壹圓參拾錢
⧖維新後大年表　婁木忠太著　大3布壹圓五拾錢
△明治史料　顯要職務補任錄　金井之恭著　二明36布七　圓

△明治風聞錄　寫本七　五拾圓
國歩最も多事なりし明治前後に於ける內外重要事に關する詳細廣況なる記錄にして建白觸書諸藩風聞內政外交文武技藝等總て何事に論なく之を輯錄す。當時の世情を知るに好資料なり
△維新戰史　寫本　天地二　拾圓
幕末維新に際しての水戶藩に關する文書寫等あり史料としてまとまりたるよきものなり
△伊藤井上二老直話維新風雲錄　末松謙澄編　明44貳　圓
△勅語、口達神道自葬祭告諡附靈屋靈祭、石碑之圖　寫本八　拾　錢
△維新史料（碑文）　野口勝一編　和貳　圓
寫本　大小金判に關するもの　壹圓貳拾錢
△覺
△開國始末　島田三郎著　明21布貳圓二〇錢
附井伊直弼傳
△王政御一新に付封公御奉還御示置村方觸書　寫本　貳　圓
△谷干城意見書　（內政外交に關する政治意見）寫本壹　圓
△橫山正太郎建言書　（政道革新に關する建言）明3寫壹　圓
△維新前後の歷史的地理的批判　新井伍軒　歷地二大5壹圓八錢

王政復古

△王政復古の歷史　萩野由之著　大7布貳　圓
△王政復古義擧錄　小河一敏著　揃二明19和參　圓
□復古夢物語　松村春輔著國輝畫二編揃五明7和貳　圓
△復古維新錄　津田氏寫　明6壹圓五拾錢
□復古論一二號　二參　圓

明治史

○太陽增刊　明治史　博文館　揃六明37ノ40拾　圓
議會史　交通發達史　明39
外交史　財政史　明3837　文藝史　明3939　政黨史　明4040
散賣壹圓五拾錢

△明治政史　指原安三著　揃二布貳拾八圓
□明治開化史　渡邊脩次郎著　明12布貳圓五〇錢
△明治新政談　宮川孫二郎編　明324貳　圓
△明治歷史の裏面　秋山贊著　明43壹圓貳拾錢
△明治憲政經濟史論　國家學會編　大8布貳圓五〇錢

大正史

□大正維新の眞相　淺野和三郎著　大8布六拾錢
△大正維新史　國論特輯號　大13六拾錢

□幕末史の再演(第二維新の序幕)　尾崎行雄著　大14　參　拾　錢
△大正政局史論　德富蘇峰著　大5　布貳　圖

系圖

△系譜と傳記　系譜學會　大14創刊・月刊　散實貳拾五錢　一號ゟ三年寫揃三六〇〇〇〇
△國史と系譜　立命館大學　大13創刊・月刊　散實拾貳錢　一號ゟ三年間揃三六〇〇〇〇
△系圖綜覽　國書刊行會　二大4布六　圖
帝系圖1　第四期本　諸家系圖纂九一篇2　丸山可澄
執次註所御系譜1　三實院藏本　武藏七黨系圖2
皇室系譜1
□系圖綱要　太田亮著　洋裝貳　圖
○增訂百家系譜　經濟雜誌社　洋裝五　圓
○尊卑分脈　洞院公定著　索引共一三和六拾　圓
帝王及び諸氏の系圖にして卷一の初めに編纂本朝尊卑分脈圖、特進亞槐藤公定撰とありて清和天皇より記し始め卷三崇光院に至り卷四以下に源氏平氏楠氏藤原氏の系圖を登載す。古の氏骨を考ふべき唯一の參考書たりといふ
○南方龍孫　南朝御系譜　寫本壹圓　五拾錢
○長谷川家喜多村家山本家田二家島居家房譜寬政5寫壹
△物部氏及宮道氏史蹟　蟾川新著　大11　五拾　圓
△新井家系　源君美著　假綴六冊　八拾　錢

△先祖書及諸證文書付大久保菊三郎寫文久2　參　圓
○菅家世系錄　玉田永教著　玉田永辰訂　三文化6和五　圓
○織田信長譜　林道春著　和裝參　圓

×德川家々譜　寫本　壹　圓
○東照宮御譜略　二尺七・二尺七　寫本　壹　圓
△御將軍譜　系圖　寫本　六拾　圓
家康以下歷代の誕生日及墓所等を詳記したるものなり
□千年山御傳略　朝風記(德川家齊子女略傳)　橫和壹　圓
△鎭座史記・御代々御靈屋年中行事　蟲入寫本貳　圓
○崇廟祭名錄　文化11和壹圓五拾錢
○御先祖記　小宮山政武寫　六天明5壹圓五拾錢
家康の系圖及戰記にして永享より延寶年度に亘る記錄なり
○要臣辨志　彩色圖入　寫本　參　圓
祖廟社參之事・官位早進之次第以下數十條凡て安永より文化年間に於けろ幕府年中の儀式等を雜記せるもの

華族

○法規分類大全　族爵門　內閣記錄局　明26　參圓五〇錢
△貴族制度論　山名義鶴述　解放　大9　七拾　錢
△一代華族論　板垣退助伯著　明45　五拾　錢
△華族同方會報告　古城貞吉編　散實貳　四〇明22ゟ26〇〇〇〇　拾　錢
△華族大系　水野慶次編　大3　布貳圓五〇錢
△貴族小史　德川喜幹　法叢　六大11ゟ12　參　圓
△華族列傳　國乃礎　杉本勝二郎編　揃三明26　貳　圓
□華族會館創設事略會議及諸規則　明16ゟ22　參　圓
○華族會館會員名簿　寫本　壹　圓
□華族會館例規便覽　岡崎卯之助著　明29布七　拾　錢
△皇室之藩屏　神田中學校友會(華紳の略傳)　傷明34布壹圓
□華族要覽　南部信民編　明22　七　拾　錢

○豐臣秀吉譜　林道春著　揃三　和裝四　圓
○本朝武家大系圖　楠原家圖書　二　和八　圓
天神七代
平家　清和源氏　菅家　大江氏
橘氏　藤原氏　安倍氏　和氣氏
在原氏　小野氏　中原氏　小槻氏
大中臣氏　清原氏　丹波氏　賀茂氏
卜部氏
△南山小譜　等の系圖を詳述したるもの
□諸家御續書　兼院藏版　橫和壹　圓　五拾錢
伊達佐竹水戶本多小笠原氏等外十有五家の系圖を輯錄せり
○菊地・大伴宿禰・遠藤等之系圖　橫寫本壹圓
△長澤・松平御家系　寫本五　拾　錢
久保氏寫　安政2　壹　圓

△大江家御系圖寫　自寬永三年至寬政三年(大江廣元孫成等系圖)　寫本貳圓五〇錢
△加藤家傳　森本義治校　繪入　二明13和四　圓
×甲信源氏之系圖　羽場艷太郎著　尺六・一尺八大4　壹圓五〇錢
△新田族譜　鈴木眞平著　和裝參　圓
○門院傳　霞亭文庫藏印　揃三寫本六　圓
東三條院　上東門院　高陽院　美福門院
陽明門院　二條院　皇嘉門院　以下九十八門院の血統
郁芳門院　待賢門院　を記し各出生年歷寂年等を記す
○寬政重修諸家譜　屋代弘賢著　揃九　布六拾五圓
□諸家祖先考　植村茂三郎著　洋裝四　圓

德川家譜及廟墓

△外戚傳　揃六　寫本參　圓

○華族祿券償却割合表　國債寮調理　神原家圖書　明八年調三寫四　圓
附華族祿券利子割合一覽表及祿券元利償却割合一覽表
□華族諸家傳　鈴木眞平編　揃三明13和五　圓

公卿

△公卿補任　國史大系本　經濟雜誌社　揃三明32布拾八　圓
□御公家分限帳　橫和七　圓
禁裏御所・女中方・御公家衆・法皇御所・比丘尼御所・關名次第以下詳細なる御公家分限帳なり
⊠宮御移轉御供御用掛掌中覽要　河內屋板　橫和壹　圓
御公家鑑　寫本橫五　拾　錢
△吉野朝時代洛中に於ける公家の有樣魚住總五郎史地　大13五拾　錢

士族

□士族　成瀨關次著　壹圓參拾錢
○家祿賞典祿處分法案(原案及修正案)　二明30　壹圓五拾錢
○祿制法規　大藏省用箋　寫本明1ゟ10　四圓五〇錢
○秩祿處分顚末略　臨時秩祿處分調查局　布八　圓
△士分階級の崩壞　藤井甚太郎　新書　大14　五拾　錢
△家格の實質　藤井甚太郎　新書　大14　五拾　錢
△士族の歸農　藤井甚太郎　新書　大14　五拾　錢
△士族の歸商　藤井甚太郎　新書　大14　五拾　錢
△廢刀の評論　藤井甚太郎　新書　大14　五拾　錢
△士族の卒族・藤井甚太郎　新書　大14　五拾　錢
△士族の賣買　藤井甚太郎　新書　大14　五拾　錢
△株の賣買　藤井甚太郎　歷地社　大2　四拾五　錢
△士族の賣買　藤井甚太郎　社史　大10　六拾　錢

浪人

△中間社會群としての浪人群　尾池義雄述　大15　參拾錢
△島原の亂と浪人問題　栗田元次　中史　大13　五拾錢
△戰國時代に於ける浪人の活動　松永柴水中史　大11　五拾錢
△江戸時代と浪人問題　栗田元次　歷地　明36　壹圓拾參錢
△浪人　堀田璋左右　史界　明38　壹圓拾五錢
△浪人　中村直勝　史地　明41　壹圓
△浪人問題　犬野峯　歷地　明32　壹圓參拾錢
△浪人問題に就きて　大森金五郎　歷地　大4　五拾九錢
△王代の浪人に就て　川上多助國經揃三大3、4　貳圓五錢

人名辭典

○新版　大日本人名辭書同書刊行會編揃三　昭2　革參拾七圓
○大日本人名辭書　經濟雜誌社　第七版大1　布拾五圓
第八版　大6　革　拾五圓　第九版　革　貳拾圓
○大日本人名辭書　第七版增補之部　經濟雜誌社　大1　布貳　圓
△修訂增補帝國人名辭典　帝國圖書出版會社編　明40　革參圓五〇錢
□日本人名辭典　芳賀矢一編　大6　革六　圓
□增補大日本人名辭典　栗島山之助編　大5　革參　圓
△大正人名辭典　五十嵐榮吉著　大3　革參　圓
附日本帝國之富力商工業發達史
△日本現今人名辭典　同書發行所　明34　革壹　圓
△英傑名家の出詳地皇國自慢　牧野勘三郎編　明44　壹圓　壹圓五拾錢

人物史傳

△古今人物年表　早川龍介著　銅版明33　和拾　圓
紀元初年より明治三三年に亘り年號干支逆推漢土西洋曆を對照し公卿より庶人に至る迄著名人物及一技一藝に長ぜし者を收む
續々群書類從　史傳部　（國書刊行會第一期本　散實　壹圓五拾錢　（內容六〇八頁參照）　三　明40　布四圓五拾錢）

△江戸諸家人名錄　覆製　揃二　貳圓五〇錢
△江戸當時諸家人名錄　文化12　和貳圓五〇錢
△廣益諸家人名錄　揃二　天保6　和壹圓貳拾錢
□墨林今話人名錄　須原晁三著　揃二　和四　拾錢

紳士錄

△日本紳士錄　村上雄次郎著　新版昭3　布貳拾五圓
交詢社版　大一五年版　布五圓　（自大一三年版）　散實貳圓五拾錢
大一四年版　參圓　（至明四一年版）　明45　革參　圓
△日本紳士名鑑　須藤省編
△朝野紳士傳　第一興信所　明43　布壹圓五拾錢
△日本紳士錄　ガセツテー會社編英文　大8　布壹圓參拾錢
△日本人名錄　日本ガセツト社　英文　明36　布八拾錢
明41　壹　圓
○現今日本名家列傳　日本力行會　明36　布壹圓五拾錢
東京名鑑　加藤新著　橫明18　和壹圓五拾錢
○日本之精華　北川由之助編　大3　布參　圓
每日通信社
○大日本博士錄　井關九郎修　大9　革貳圓二〇錢
○博士錄法學博士及醫學博士　和英文對照

□逸傳六種　近藤圭造編　存採叢書　明13　和壹圓五〇錢
文應皇帝外記　菅原陳經
上宮皇太子菩薩傳　菅原御傳記
恒貞親王傳（殘缺）　橘逸勢傳　師錬
藤原保則傳　思託
○日本古今人物志　宇都宮由的著寫本六寬文9　奧書　參　圓
▲日本諸家人物誌　南山道人纂　揃四寬政12　和貳圓五〇錢
□日本諸家人物誌　淇園先生閱　揃三　和貳圓五〇錢
□古今評論早引人物故事川關惟充著　橫揃二文政8　和貳圓五〇錢
△人物研究と史論　橫山健堂著　大2　布貳圓八〇錢
○一九二四年に於ける大日本人物史　中村武三著　大13　革貳　圓
△人物論叢　辻善之助著　新大14　布四　圓
△隨感隨錄史傳史話（史上の人物・地方史話）　大森金五郎著　新大14　布參　圓
▣皇朝大家人物論　遠藤進正編　明18　和壹圓五拾錢
□日本傑初新志　近藤元弘編　漢文　二　明14　壹圓八拾錢
凡て百三十五家の逸事・史傳等を纂輯したるものなり
△古今名學實錄　春陽堂　自一卷　合本二　明28　六　圓
至二〇卷
△維新前後實歷史傳　西河稱編　揃七　明25　和四圓五〇錢
△日本百傑傳　松井廣吉　揃一二　明26　五　圓
川崎三郎著
△近世百傑傳　干海岸貫一編　明33　布壹　圓
○現代百傑傳　「活人」增刊　大2　五　拾錢

△近世十傑傳　河野正義著　明41　八　拾錢
明治十二傑　太陽增刊　明32　壹　圓
▲日本史傳文選　幸田露伴著　上卷　大8　布壹　圓
□日本智臺　中村和周著（名士傳）　揃二　明25　壹圓　五拾錢
△近世名家傳　渡邊脩次郎著　揃二　明11　和貳　圓
△帝國名家列傳　木村勝治編　大2　革壹圓　五拾錢
△日本精英　幸田露伴編　上卷　大2　布壹圓　五拾錢
□日本立志編　千海岸貫一著　揃六　壹圓貳拾錢
△明治新刻皇朝百家論文鈔　沖廷嶺著　揃八　明17　和壹圓八拾錢
□近世佳人傳　蒲生重章著　揃六　貳圓八〇錢
□名家乃遺影　村松忠雄編　明34　五　拾錢
○新進廿五名家　太陽增刊　明42　六　拾錢
□維新後に於ける名士の逸談　伊澤時編　明33　壹　拾錢
△頌德表　政教社編（名家頌德碑銘集）　明26　八　拾　圓
□明治名譽略傳　福田恒久編　極小形本　揃四　明12　壹圓　貳拾錢
□知己八賢　杉浦重剛述　大10　布壹　圓
□亡友遺錄　杉浦重剛述　大10　布八　拾錢
△帝國博士列傳　荻原善太郎著　明23　八　拾錢

德川三百年史

△德川三百年史　叢華房編　（上卷）　揃二　明36　布六　圓
（末刊）
藤原星窩　四八頁　日東學人著　新井白石　四三頁　散實　貳拾五錢
林羅山　四四頁　日東學人著　室鳩巢　四三頁
中江藤樹　四六頁　新治正行著　頌陽堂　四三頁
熊澤蕃山　四六頁　日東學人著　梅巖と塔庵　四三頁
朱舜水　四六頁　杉田玄白　四三頁
山崎闇齋　四六頁　長田偶得著　伊藤仁齋　四三頁
貝原益軒　四六頁　伊能忠敬　四三頁
伊藤仁齋　四六頁　足利衍述著　佐藤信淵　四三頁
荻生徂徠　四六頁　竹內水哉著　圓珠菴契沖　四六頁
岡野和十著　四六頁　加茂眞淵　四六頁

△德川三百年史　足立栗園著　日東學人著　坂本箕山著　足立栗園著　川子長著　富士岡野知十著　石川半山著　安藤紫陽著　散實　貳拾五錢　圓

人物評傳

△時之人　同社　大13創刊・月刊　散賣　貳拾錢　一號ヵ四年間揃　○○○○

△活眼活功　活眼社　大15創刊・月刊　散賣貳拾錢　一號ヵ一年間揃　○○○○

○成功　成功雜誌社　明35創刊明42廢　散賣貳拾錢　合本貳拾圓　一卷ヵ一五卷

□朝野人物評　高田穉治編　明23　壹圓

△雅號批判朝野之人物　三好錢南著　明44　壹圓

△當世活人畫　佐瀨得三著　明32　壹圓貳拾錢　○現代人物一百人　覆面評　日人增刊　二大10・11　壹圓五拾錢

自叙傳

□福翁自傳　時事新報社編（福澤諭吉）　明34　八拾錢

□自叙傳　大杉榮著　大13　壹圓五拾錢

△川崎寬美自叙傳序　川崎寬美誌　未定稿

△自叙傳　片山潛著　大10　洋裝　貳圓八拾錢

△加藤弘之自叙傳　加藤先生祝賀會編　大4　和貳圓

偉人傳

△近世偉人傳　蒲生重章著　揃四明10　和貳圓五〇錢

□近世偉人物語　野邊地天馬著　大14　和壹圓五拾錢

△日本偉人傳　獵麟野史著　明39　六拾錢

△東西偉人傳　西村眞次著　明39　六拾錢

△鄉土偉人號　學生增刊　大1　壹圓貳拾錢

△世界偉人の跡　學生增刊　三宅雄次郎著　大2　洋裝　五拾錢　壹圓貳拾錢

□海內偉人名錄　小野基國輯　橫　和四圓八〇錢

△偉人事蹟　福島縣廳　明41　洋裝　壹圓

△偉人景仰宗忠　木山熊次郎著　壹圓貳拾錢

△幕末偉人齋藤彌九郎傳　大坪武門著　大7　壹圓五拾錢

△日本偉人百首通解　齋藤眞次郎著　大2　壹圓

△勤王開國の先唱者溝口健齋公　梅田又次郎著　明40　布貳圓五〇錢

△高山正之傳　杉山千太郎　藤田一正撰　玉誠堂版　和壹圓五〇錢

△蒲生秀實墓表

△訂正忠正公勤王事績　中原邦平著　明44　布貳圓五〇錢

△幕末勤王烈士手翰抄　佐竹義繼編　明42　布壹圓　貳拾錢

△勤王祕史佐々木（高行）老侯昔日談　津田茂麿編大4　布貳　圓

△竹內式部君事迹考　星野恒著　明32　壹圓五拾錢

□天龍道人傳一名竹內式部勤王始末　渡邊國武著明22　壹圓五拾錢

△眞木和泉懷藤高眞著　偉人史叢　明30　七拾錢

△大島誠夫（世に不顯勤王志士）と石黑忠悳　石黑述大12　壹圓

○勤王烈士傳　荻原正太郎編　大2　革六　圓

×古今勤王一覽　早川德之助畫錦繪　續三明9　八拾錢

△富士名所官義綱傳　宮崎幸麿著　大2　六拾錢

勤王史實

△勤王遵奉ニ付上方筋文通留　田中親方寫　慶應4　拾貳圓

△勤王文庫　大日本明道會編　揃六布六　圓

△日本勤王篇　高木賚編　揃六明17和貳圓五〇錢

△訂尊攘紀事補遺　岡千仞著　四明17和貳圓五〇錢

△古今勤王傳略　石津發三郎述　揃四明10和貳圓

□勤王論の發達　歷史講會　和壹圓五拾錢

△尊號一件　美談　東京日々新聞社　明20　壹圓五拾錢

□王政維新日本勤王篇　小島功一著　表紙傷　明24　革貳圓

△勤王開國の先唱者溝口健齋公　梅田又次郎著　明40　布貳圓五〇錢

△高山正之傳　杉山千太郎　藤田一正撰　玉誠堂版　和壹圓五〇錢

△蒲生秀實墓表

△訂正忠正公勤王事績　中原邦平著　明44　布貳圓五〇錢

△幕末勤王烈士手翰抄　佐竹義繼編　明42　布壹圓　貳拾錢

△勤王祕史佐々木（高行）老侯昔日談　津田茂麿編大4　布貳　圓

△竹內式部君事迹考　星野恒著　明32　壹圓五拾錢

□天龍道人傳一名竹內式部勤王始末　渡邊國武著明22　壹圓五拾錢

△眞木和泉懷藤高眞著　偉人史叢　明30　七拾錢

△大島誠夫（世に不顯勤王志士）と石黑忠悳　石黑述大12　壹圓

○勤王烈士傳　荻原正太郎編　大2　革六　圓

×古今勤王一覽　早川德之助畫錦繪　續三明9　八拾錢

△富士名所官義綱傳　宮崎幸麿著　大2　六拾錢

△新宮涼庭（碩）先生言行錄　新宮涼亭編（丹後國學者）　大5　五拾錢

□山鹿素行言行錄　足立栗園著　洋裝　五　拾錢

言行錄

△名將言行錄　岡谷繁實著　揃四明43布參圓五〇錢

△自恃（高橋健三郎）言行錄　川那邊編（出羽人）明32　壹圓七〇錢

△續名將言行錄　岡谷繁實著　明44　布壹圓　五拾錢

□松平豆州言行錄　中山政德編（嘉永6）　活版三貳壹　圓

△藤田翁（傳三郎）言行錄　岩下清周著　大2　布壹圓

△張維錄　五十嵐師曾輯大月氏寫ニ嘉永1　壹圓　五拾錢

多くの名將勇士の言行を輯錄したるものなり

□新島（襄）先生言行錄　石塚正治編　洋裝　五　拾錢

□二宮尊德言行錄　中里介山著　偉人研究　明40　八　拾錢

△高島翁（呑象）言行錄　大野雲澤著　明41　八　拾錢

□中江藤樹言行錄　中里介山著　偉人研究明40　五　拾錢

□井伊直弼言行錄　武田鏡塘著　修養史傳　大7　壹圓

△贈位功臣言行錄　河野正義編　大5　布壹圓　五拾錢

▲彼我言行錄　赤松渡編　繪入　二明13和八　拾錢

△梧堂（岡山兼吉）言行錄　岡山同窓會編　明28　布壹　圓

△增補臨淵（福富孝季）言行錄　陸實編　渡邊修二郎著偉人研究　明28　壹　拾錢

□大久保利通言行錄　大10・11　壹圓貳拾錢

▲纘明治人物評論　鳥谷部春汀著　明33　布七　拾錢

△新人國記　橫山健堂著　明44　布壹圓　五拾錢

△漫遊人國記　角田勤一郎著　大2　布貳　圓

△忠臣か逆臣か實在か傳說か國史上疑問の人物　大13貳　圓

國史講習會編

△大和人物評論海　倉田熱血著　明26　壹　圓

依田百川著　寸珍百種揃三明26　壹圓　五拾錢

△人物評論薩の海軍長の陸軍　鵜崎鷺城著　明44　布壹圓　五拾錢

△人物評論朝野乃五大閥　鵜崎鷺城著　大2　布壹圓　五拾錢

□舊人物と新人物　近藤泥牛著　明43　布壹　圓

△國史上疑問の人物　國史講習會　洋裝　貳　圓

△尊王實記　馬場文英編（木曾源太郎記）明30和壹圓五拾錢
□勤王美談賴光一代記　森順三郎編　繪本　明30和參　拾錢
△△河上彦齋　河上彦齋建碑事務所　大15布八　拾錢
△名和氏紀事　門脇重綾著　揃二　壹圓五拾錢
△膳城烈士傳　永元南溟編　附遺稿　揃四和貳圓五〇錢

英雄豪傑論

△△英雜論　福本誠著　洋裝　壹圓五拾錢
⧖東西英雄一夕話　三宅雪嶺著　大7布壹　圓
△豪傑の少時　來城小隱著　豪傑叢談　明34　七拾錢
□牢獄之英雄　野崎海東著　明36　五拾錢
△△惰の英雄史　斬馬劍禪著　期39　壹圓
△△維新豪傑の情事　長田偶得著　明39　八拾錢
△△豪傑の遺訓　松風軒主人著　明33　七拾錢
△豪傑の臨終　來城小隱著　豪傑叢談　明33　七拾錢
△三十一豪傑列傳　天野御民編　揃四和參圓五〇錢

⧖武術流祖錄　羽鳥池田青山輯　橫　壹圓八〇錢

武將傳

△六雄八將論　青山延光著　集義社藏版　揃二和壹　拾錢
上杉謙信　武田信玄　蒲生氏鄉　合本八　圓
北條早雲　毛利元就　小早川隆景　佐々成政
織田信長　豐臣秀吉　加藤清正　加藤嘉明　黑田如水　前田利家　伊達政宗
△六雄八將論講義　獲麟野史述　明43八　拾錢
□勇臣英名百雄傳　橋本玉蘭齋編並畫　揃三慶應2和壹　圓
○日本百將傳一夕話　松亭金水撰　繪入　揃一二文久3和　拾壹　圓

△武功雜記　松浦詮編　秋元家藏版　揃五明36和四　圓
△皇朝名臣傳　中澤寬一郎著　揃五明13和參　圓
□日本武將高名鑑　繪入　和五　拾錢
□武將感狀記　淡庵子編　大3　八　拾錢
△武家禁秘錄　自一卷至二〇卷　五　寫本四　圓
中古以來諸家の事績・將士の雜話等を記載したるもの
□武藝百話　須原屋板　彩色繪入　和壹　圓
△上杉謙信　杉謙信傳　得能機堂著　洋裝　壹　圓
△上杉謙信傳　布施秀治著　洋裝　壹　圓
△戰へる僧　大川周明著　大13　參　拾錢
△武田信玄事蹟考　內藤慶助著　洋裝　壹圓五〇錢
△信玄の民政　土屋操　歷地　繪入　明23　壹圓七拾錢
△賴一代記　平等院淨家藏板　和五　拾錢
△蒲生氏鄉　幸田露伴著　新大15布貳　圓
△平將門故蹟考　織田完之著　明40　八　拾錢
○將門記　檢校保已一集群書類從寫寫　天保5　壹圓五拾錢
□秀實事實考　野口南豐編　八　拾錢
□藤堂高兌公傳略　藤堂家編　壹　圓
□黑田如水翁記　賀維閣藏印　橫寫本　壹　圓
△黑田如水傳　金子堅太郎著　洋裝　壹圓五拾錢
△古今史料武田信玄百首　太田百祥著　八　拾錢
□淺野長政公傳　手島益雄著　大9　壹　圓
□桃太郎傳　猪良堅著　參　圓

△家康と直弼　大久保湖州著　洋裝　壹圓五〇錢
□德川家康事蹟　村岡素一郎著　明35　五　拾錢
△大君言行錄　本柴藏書　寫本　八　拾錢

△家康公尺牘　大宮覺實編　大宮覺實編　明30　和參　圓
□德川家光　芳賀八彌著　芳賀八彌著　明30　八　拾錢

△歷代將軍略評　有澤永貞著　朱入寶永壬年奧書寫　壹圓　貳拾錢
○神君御書之寫　牧健二　史地　文政13寫　壹　圓
⧖美也古能春　御上洛御用掛職名　蟲入寫本　壹　圓
△德川慶喜公傳　澁澤榮一著　繪入　和八　拾錢
揃八大7布　拾五　圓

×德川慶喜朝廷への歎願書　稻葉子爵家所藏寫眞版　六　拾錢
○德川內府の大政返上及軍職辭退條　寫本　八　拾錢
△德川慶喜天下之形勢不得已を察し大政返上將軍職辭退相願之書　寫本　壹　圓

旗本

□御旗本御姓名宿高覺帳　光利寫　橫安政4八　圓
姓氏をいろは別に分ち旗本衆の住所・石高等を記したるもの
□國字分名集　橫揃二文政12和　參　圓
萬石以下五百石に至る諸家屋敷・家紋・系譜等を記す
□御旗本千石以上覺　毛利氏寫　橫天保13　參　圓
いろは別旗本石高屋敷在地の記にして附するに「交代御旗本並三千石以上御寄合記」を以てす
⧖布衣以上・御目見以上・御目見以下大概順　寫本　樣五　拾錢
▣御旗本三千石以上（大久保小石川品川本庄下谷筋）寫本五　拾錢
○吉宗公被仰出（旗本江被仰出心得書）　天明8寫八　拾錢
□諸家萬石以上陪審錄（凡て七十家）　寫本橫　八　拾錢

諸侯

△三百諸侯　戶川殘花著　自一至三卷　合本布七　圓

◎幕府諸侯所勞病氣死亡記錄　松平阿波守所藏　寫本二　貳拾五圓
自安政四年一月至慶應三年十二月（十一年間）美濃紙約八百枚
△諸家改易錄　寫本萬延1　壹圓五拾錢
⧖江戶詰諸國大名御使番御勘定高石高調　橫寫本　五　拾錢

△古今大小名改易並國替其外寫　弘化8　參　圓
△大名論　牧健二　史地　壹　圓
△大名の研究　中村直勝　史地　壹　圓
△閣老安藤對馬守　藤澤衞彥著　大3布貳圓五〇錢

○仰　春錄　山口安固識　寫本明和2　參圓五〇錢
酒井忠勝の言行事蹟其他を錄したるものにして史料としてよし
□慶長以來亡家帳　橫寫本　壹　圓
▲水野越前守　天和元年に至る　角田音吉著　寸珍百種　明26　八　拾錢
△三河記　脫漏（大久保彥左衞門之記）　寫本　八　拾錢
▲德川の孔明　（大久保彥左衞門之記）　明35　五　拾錢
□德川二名臣　民友社（伊豆と豐後）　明931　八　拾錢
△柳澤吉保　工藤武重著　偉人史叢　明29　六　拾錢
△柳澤吉保の一面　辻善之助　史林　二　大4　貳　圓
△白河樂翁公と德川時代　三上參次著　明24　壹圓五拾錢
△樂翁と須多因　井上友一著　明41　布壹圓貳拾錢
△松井佐渡守　廣瀨苧庵著　明44　壹　圓
△阿部正弘事蹟　渡邊修二郎著　揃二明43革六　圓
△松雲公小傳　藤岡作太郎著　（加賀）　明42布貳　圓
△加賀松雲公　近藤磐雄著　揃三明42布六　圓

△尾張藩公　西村時彦著　洋裝壹圓五拾錢
△銀臺敬公　池邊義象著（肥藩）　明40壹圓

○贈正一位島津齋彬公記　寺師宗德著
△島津義弘公記　明41大7　壹圓參拾錢

△島津久光公實記　島津家藏版　揃八　和拾圓

□細川頼之補傳　細川十洲著　鐵齋畫像入　揃二　貳圓三〇錢

○長岡雲海公傳　附錄共揃一〇　四圓五〇錢

△由利公正傳　三岡丈夫著　洋裝壹圓五拾錢
□宗藩　高山通男著（大友宗麟）　大10壹圓

□柳田利家公　陸紀事（土井利忠公傳）　洋裝八拾錢
△前田文次郎著　明32六拾錢

△鷹山公世紀　池田成章著（米澤）千餘頁大13布五圓五〇錢

□米澤鷹山公　川村惇編　明26布壹圓貳拾錢
△上杉鷹山公とフリードリッヒ大王の農政　高岡經叢　大8五拾錢

刺客及暗殺

△來島恒喜　的野半介著　大2布壹圓五拾錢
□通俗近代暗殺事蹟　菊亭靜編　鐵舟題　明18貳圓五拾錢

政治家

□幕末政治家　福地櫻癡著　明33寺圓五拾錢　大1貳圓五拾錢

△現代日本の政治家　細井肇著　大5革壹圓五拾錢
□薩長土肥　小林雄七郎著　明22壹圓五拾錢

□廟堂人物論　大久保常吉著　明14壹圓五拾錢
□板垣退助君傳　岩田德義著　明41壹圓五拾錢

□板垣君演説集並刺客變報詳記　木瀧清類編　明29一革壹圓貳拾錢
△板垣退助君傳　梁原亮一宇田友猪編一卷　明40壹圓

□板垣君歐米漫遊錄　伯銅像記念碑建設會編　大13八拾錢
□板垣退助君略傳　清水益次郎編一編　明16五拾錢

△鵜原定吉君略傳　池原鹿之助著　大6布壹圓貳拾錢
△弧松餘影（二宮弧松）　加藤房藏著（伊豫國人）　大6布壹圓貳拾錢

△子爵井上勝君小傳　村井正利編（前鐵道頭）　大4壹圓
□政局を繞る人々　山浦貫一著　新昭2壹圓五拾錢

元勳

⧖明治功臣錄　朝比奈知泉著　新二大15布四圓

□維新三傑　大橋進一編少年文學叢書　大10八拾錢
△明治三傑傳　獲鹿野史著（西郷大村勝）　明30壹圓

▲維新元勳三傑詩文　内山編（木戸西郷大久保）　明43八拾錢
□木戸孝允　無何有鄉著　民友社　明30五拾錢

□木戸孝允言行錄　渡邊修二郎著偉人研究　大1八拾錢
□木戸松菊略傳　川崎紫山著　洋裝五拾錢

△木戸松菊略傳　妻木忠太著　大15貳圓
▣大久保利通鄉略傳　小野田虎太編　明8和壹圓

△大久保利通傳　勝田孫彌著　揃三明44布五圓五〇錢

□大久保利通公之傳　三宅虎太編　明11和壹圓
△岩倉具視傳　ボールダー著　佛文　貳圓
I. V. Polder Biographie de son excellence Iwakoura Tomomi. 1885

○岩倉公實記　宮内省藏版　揃三　布參拾五圓

○三條實美公履歷　東久世通禧著　揃五和裝八圓五〇錢

西郷隆盛

□西郷隆盛蓋棺記（いちたいき）　山本圓衛編　自一卷至五卷　五明10和參圓

□繪本西郷一代記　松月保誠畫　一八・九・二〇・二號　五明10和壹圓五拾錢
△西郷隆盛物語　小神野中編　土居信敬寫　明11壹

△繪入通俗西郷隆盛一代記　村井弦齋著　揃六明3633五圓　揃三明3634四圓

□西鄉詩文　坂東一平編並評　明11和武
△祭西鄉隆盛文　黑田清隆述　寫本八拾圓

□維新元勳西鄉隆盛君之傳　渡邊朝霞著　大3和壹圓五拾錢
□西鄉月照投海始末　泰東散士著　敎訓叢書　大3和壹圓貳拾錢

△西鄉南洲翁逸話　川崎三郎著　明27壹圓五拾錢
□西鄉南洲翁百話　河村定靜著　明27壹圓五拾錢

▲西鄉南洲翁　川崎紫山著　明27九拾錢
△西鄉隆盛傳　勝田孫彌著　寸珍百種　明27九拾錢
　　卷一

△西鄉隆盛詳傳　村井弦齋著　揃二洋裝壹圓五拾錢
△西鄉南洲翁　川崎紫山著　明30壹圓五拾錢

△西鄉隆盛傳　坂本忠一郎著江戸城卷　明42壹圓
△南洲翁逸話所遺話　東鄉中介著　明42和壹圓

□絕島の南洲　田中鐵軒著　明42壹圓
□西鄉隆盛　山路愛山著　上卷　明43壹圓五拾錢

□西鄉隆盛と軍事附宮廷　葛生東介著　明44八拾錢
△西鄉南洲書翰集　關矢允郎著　大8布壹圓六拾錢

△西鄉南洲書簡集　加治木常樹編　明44布壹圓五〇錢

□西鄉隆盛傳　下中彌三郎著　明45布壹圓八拾錢
△後乃西鄉南洲　伊藤痴遊著　明45八拾錢

□南洲手抄言志錄　南洲遺訓共二　貳圓八〇錢

△西鄉南洲先生遺訓　木内克矢氏書　明29和壹圓
□西鄉南洲翁遺訓及遺文　神崎政德編　大14八拾錢

○西鄉南洲先生遺訓　濱田正夫編　大15四拾錢
□西鄉南洲附逸話遺訓　土屋春泉著　昭2布壹圓

○南洲號　日本及日本人增刊　明43壹
　　大15壹圓貳拾錢

□西鄉隆盛號　山本富夫編　偉人研究　大15參拾錢
▣南洲翁記念展覽會出品目錄　大阪白木屋　大15參拾錢

△西鄉南洲言行錄　白田石楠編　明41六拾錢
□大西鄉言行錄　鈴木郁翁著　大4八拾錢

□西鄉南洲先生　德富猪一郎著　大15五拾錢
×西鄉隆盛首實檢之圖　年信畫錦繪　續三明10和壹圓五拾錢

×戰地之實況奏聞之圖　年信畫錦繪　續三明18和八拾錢
×波烟南河の夢　芦原國直畫錦繪　續三明18和壹圓五拾錢
川施哦鬼供養に隆盛利秋國幹の靈魂出現し鐵舟に感謝するの圖

×西鄉隆盛愛妾別惜圖　楊洲筆錦繪　續三明10和七拾錢
×近世人物誌西鄉隆盛　やまと新聞附錄錦繪　明21和壹圓

×かな傳報註進畿　珍聞かんぶん壹號　明1010和壹圓六拾錢
×有名十八史略西鄉隆盛　雷齋年基筆錦繪　明1010和六拾錢

×西南役鹿兒島英雄傳西鄉の室貞信筆錦繪　續三明10和壹圓貳拾錢
×西南雲晴朝東風（西鄉之圖）　芳年筆錦繪續　續三明11和壹圓貳拾錢

×西南役鹿兒島英雄傳（芳峰筆錦繪）　明1010和壹圓
×西南珍聞（西鄉の圖）　梅堂國政筆錦繪　明1010和六拾錢

×鎭撫鹿兒島新聞（西鄉隆盛）　銀光筆錦繪續三明10和壹圓
×鹿兒島各縣西南珍聞俗稱西鄉星之圖　國政錦繪明10和五拾錢

×西鄉星顯はる圖　笑門舍述　錦繪　續三明10和壹圓
×西鄉隆盛家族離別之圖　國明筆錦繪　和壹圓貳拾錢

×西鄉隆盛城山籠穴之圖　貞信筆錦繪　續三明10和壹圓參拾錢
×西鄉始メ賊徒討死之圖　周延筆錦繪　和壹圓貳拾錢

×西鄉隆盛之圖　玉亭芳峰筆錦繪　明10和七拾錢
×隆盛討死之圖　一英齋芳艷筆錦繪　和六拾錢

×清隆訪問隆盛之圖　年英筆錦繪　續三明25和壹圓五拾錢
△西鄉南洲と僧月照の話　中村德五郎述史談會　大12四拾錢

×鹿兒島暴徒見立　あふむ石　周重筆錦繪　明10和六　拾錢
×雷名鏡　佛ナポレオン　西郷隆盛楚項羽年基筆錦繪　明11和五　拾錢
×奇星之實說（隆盛）　周延筆錦繪　明10和七　拾錢
×西郷出陣子別之圖　國政圖錦繪　三明10和壹　參拾錢
×鹿兒島戰記西郷中根會見之圖　周延筆錦繪　三明10和壹　壹圓
×西南役鹿兒島英雄傳（隆盛）　貞信筆錦繪　二明10和壹　七拾錢
×鹿兒島新誌西郷花岡山巡見　芳年筆錦繪　三明10和壹　貳拾錢
×近世人物誌（西郷之圖）　芳年筆錦繪　明21和六　拾錢
×鹿兒島新誌西郷の圖　國周筆錦繪　明10和七　拾錢
×谷干城西郷隆盛之像　玉亭貞信筆錦繪　二　壹圓
×鹿兒島新報隆盛仁愛妾離別圖　芳年筆錦繪　三明10和壹　參拾錢
×二勇之義說西郷勝會見之圖　松月保誠錦繪續　三明10和壹　壹圓
×錦繪西南夢物語　よし瀧筆　三和壹　貳拾錢
×鹿兒島戰記桐野野津一騎打之圖　周延筆錦繪　三明10和壹　二錢
×鹿兒島兩勇桐野野津三騎討之圖　芳年筆錦繪　三明10和壹　三錢
×鹿兒島英勇傳篠原國幹之圖　清親筆錦繪　明10和五　拾錢
△西鄉子岩倉殿江差出候書付（政道改革の條々）寫本　壹圓五拾錢
△西鄉隆盛辛未の建白と廢藩置縣　妻木忠太歷地大14　四拾五錢

伊藤博文

□伊藤博文附伊東巳代治末松謙澄　民友社編　明29　七拾錢
□伊藤博文侯對清政策附貿易意　緒方常彰編　明31　壹圓
△鳴呼伊藤公爵附韓國合併論　松風同窓會　明42　五拾錢
□伊藤公演說集　東京日日新聞附錄　明32　壹圓
△伊藤侯井上伯山縣侯元勳談　中央新聞社　明33　壹圓八拾錢
□伊藤侯八面觀　大町桂月東川楊舟著　明35　拾錢
○伊藤博文公　太陽增刊　博文館　傷42　八拾錢
△伊藤博文公民友社著今世人物評傳叢書　明29　壹圓五拾錢
×伊藤公狙擊狀況報告公文電報　始一枚欠　拾五圓

伊藤博文

□伊藤博文附伊東巳代治末松謙澄　民友社編　明29　七拾錢
□伊藤博文侯對清政策附貿易意　緒方常彰編　明31　壹圓
△鳴呼伊藤公爵附韓國合併論　松風同窓會　明42　五拾錢
□伊藤公演說集　東京日日新聞附錄　明32　壹圓五拾錢
△伊藤侯井上伯山縣侯元勳談　中央新聞社　明33　壹圓八拾錢
□伊藤侯八面觀　大町桂月東川楊舟著　明35　拾錢
○伊藤博文公　太陽增刊　博文館　傷42　八拾錢
△伊藤博文公民友社著今世人物評傳叢書　明29　壹圓五拾錢
×伊藤公狙擊狀況報告公文電報　始一枚欠　拾五圓

大隈重信

△大隈侯八十五季史　同史編纂會　附風雲偉觀　揃四大15革　拾五圓
△聞キ込ミシ事柄ヲ取集メ記載致シ御報告仕候也　寫本　明18　五圓
大隈重信氏が三菱會社長岩崎彌之助氏に發したる通知及岩崎氏が之に答へたる返答書
△大隈伯昔日譚　圓城寺清著　明28大11　壹圓八拾錢
□大隈重信附矢野大石無何有鄉主人著民友社　明29大11　七拾錢
△大隈侯哀悼號　大觀特輯　拾錢
□大隈侯昔日譚　渡部外太郎編　大4大11　八拾錢
□大隈侯一言一行　松枝保二編　報知新聞社　參拾錢
□重信大隈　市島謙吉著　大11大11　壹圓七拾五錢
△大隈伯演說集　水谷竹紫鶴淡々著　早大編　洋裝　壹圓六〇錢
△大隈侯論集　大隈重信著　洋裝　貳圓五〇錢

志士名士

×維新名譽昇進錄　佐藤多三郎編　折本明12和參　圓

□志士小傳　青雲閣城兼文輯　明22　壹圓貳拾錢
△戰亡殉難志士人名錄　史談會編（嘉永一ヶ明三間）明40布貳　圓
△國事殉難者報效志士人名錄　史談會編　二明44布參圓五〇錢
△殉難士傳　川田剛撰　揃五七　和四　拾圓
□獄中憂憤餘情　宮內省藏　明15　拾錢
△幕末明治人物史論　原彌一郎編（漢詩）　大15　和八　五　拾錢
□血淚一滴　中史
圖南居士編　前編　明21布參　圓
△殉難士傳　馬杉繁著　明10和壹　五拾錢
△近世義烈傳　龜谷行撰　溫知塾版　二明7和壹　圓
□偉臣名家維新全輯　江之本編第二集（漢詩）　明11和八　拾錢
△明治中興憾意編　田島象二著維新叢書　明12和壹　五拾錢
△得間璵錄　甕江老漁著　明24和六　拾錢
□近世英傑略傳　金田耕平著　二明11和壹　五拾錢
□明治英傑遺稿　高見泰藏山住方三編　明10和壹　五拾錢
□維新名譽昇進錄　佐藤多三郎編　折本　明12和壹　五拾錢
△明治活史江戶開城　坂本忠一郎著　大10　七　拾錢
△明治活史七卿落　坂本燕林著　大10　七　拾錢
□近古慷慨家列傳　西村三郎編　明20　壹圓五拾錢
□慷慨詩歌集　衝冠生編（凡て百三五家）　明35　五　拾錢
△海南義烈傳　土居香國編　揃三　和壹圓八拾錢
△東洋義人百家傳　小室信介編　揃三　和壹圓參拾錢

維新志士列傳

△土方伯　木村知治著（土方久元）　大2　布壹圓五拾錢
△姉小路公知傳　關博直述　明38　布壹圓貳拾錢
△佐久間象山先生と石黑忠悳の初對面　石黑述　大3　壹圓
□佐久間象山　齋藤馴著　洋裝七　拾錢

△象山松蔭橋世餘聞　齋藤丁治編　明42　壹圓貳拾錢
△佐久間象山大志傳　清水義壽編　和壹圓參拾錢

東行先生遺文

東行五十年祭記念會編（高杉晉作）　大5布參　圓

日記及手錄（安政三ー慶應三年間）　答書學校問答書21　獄中手記23
弊御日誌27　甲子殘稿2
東帆錄5　觀光錄4
番初手行日誌18　東行遺稿（漢詩文）其他
遊清五錄53
△高杉東行の思想と人物　安岡正篤著東洋思想研究大13　五　拾錢
△高杉晉作傳入筑始末　江島茂逸著　明26　壹圓五拾錢

坂本龍馬

千頭清臣著偉人傳叢書　大3大13　壹圓　壹圓貳拾錢
□坂本龍馬　弘松宣枝著　明29昭2　八　拾錢
□風雲兒坂本龍馬　山下白雲著　壹圓
□坂本龍馬　碧瑠璃園著　洋裝　貳圓五〇錢
□幕末俊傑高野長英　青果園著　明42大3　壹圓
△高野長英先生傳　長田偶得著　壹圓五拾錢
□高野長英言行錄　杉原三省著　偉人研究　明41　五　拾錢
□平賀鳩溪實記　竹窓機齋撰　假綴七頁　壹圓
△蒲生君平傳　上城南城著　偉人研究　明29　八　拾錢
△蒲生君平　高橋直記著　明29大2　和壹圓五拾錢
△偉人蒲生君平　下野敎育會編　明44　壹圓
△蒲生秀實墓表・高山正之傳　藤田杉山撰　文政1和　壹圓五拾錢
▲高山彥九郎　山路愛山著　明33　壹圓貳拾錢
△高山彥九郎操志　金井之恭編　揃二明3和　貳圓
△河井繼之助傳　今泉鐸次郎著　明42布　貳　圓
▲幕末英傑橋本左內　遊外居士著　明33　七拾五錢
△小山田與清傳　紀淑雄著　明30　壹圓貳拾錢
△山縣大貳　櫻痴居士著　明26　八　拾錢
△幕末偉人齋藤馴九郎傳　大坪武門著　大7　壹圓五拾錢

□森田節齋と郡山　武岡豐太著　大38　壹圓
△明治中興凌煙圖錄　田島象之藏名家圖錄小傳明13和壹圓五拾錢
□列士伊東七十郎　齋藤七十郎編（仙臺人）大8　六拾錢
△橋本左内　西村文則著　明42　八拾錢

吉田松陰

△吉田松陰傳　野口勝一編　富岡政信　明24　布參　圓
□吉田松陰　德富蘇峰著　明4326　壹圓
□吉田松陰　齋藤謙著　洋裝　七拾錢
△吉田松陰　帝國教育會編　明42　八拾錢
△吉田松陰　德富猪一郎著民友社　明41　布貳　圓
△吉田寅次郎と少年時代　偉人叢書　洋裝　壹圓
△松陰先生と少年時代　金原善三郎著　大4　八拾錢
△松陰先生　武教講錄　高木卯三郎編　大5　和六　拾錢
□吉田松陰　平凡社編　偉人史談　大7　五拾錢
□松陰快談　長野覺山著　藝苑叢書　大8　和壹圓　貳拾錢
△吉田松陰と國士的陶谷　安岡正篤著　大13　五拾錢
□猛省錄・士規七則　松陰遺稿子輯　明41　和七　拾錢
○松陰　日本及日本人增刊號　壹　圓
□留魂錄・風齋遺草　吉田松陰著　明2　和壹　圓
○時勢論附大原三位ニ上ルノ書　松蔭逃藤原矩方寫　壹圓　貳拾錢
△松陰先生遺著　吉田庫三編民友社刊厚册明42　布八　圓

平野國臣

△國士平野國臣傳　今田主稅著　明25　壹圓五〇錢

△平野國臣君碑文並小傳　偉人史叢　明29　八拾錢
□平野國臣君碑文並小傳　石津灌園譯　明15　七拾錢
○平野國臣傳書　大川周明著日本精神研究　寫本　壹圓五拾錢
△純情の人平野國臣　大13參　拾錢

△平野國臣傳記及遺稿　平野國臣顯彰會編　大5　布七　圓

遺稿

安政三年對策草稿8　同天三策5
萬延元年三月上書7　文久二年四月上書4
尊攘英斷錄26　保國策8
上島津久光公書別啓　遊肥雜記33
培覆論6　大體辨5

神武必勝論18
征討就3　弓馬古意4
制變確策3　打刀直剌刀之略說12
讒志錄8

明治志士列傳

△江藤南白　的野半介著　峽入三　大3　布五　圓
△後藤象二郎　岩崎英重著　明31　壹圓五拾錢
□明治史傳　槍崎隆存編　第二集　明10　和貳　圓
△干城資紀定遺謙造文在利眞綱眞彌九郎彌一愼八其他名士史傳　大3　布貳　圓
△伯爵後藤象二郎の動靜報告　大町桂月著　東京憲兵隊用箋寫參　圓
△丸山作樂と後藤象二郎の　
△大村益次郎先生事蹟　村田峰次郎著　大8　布貳圓三〇錢
□近世傑士雲井龍雄事蹟　有田正夫編　明16　壹圓　貳拾錢
△雲井龍雄之傳　的野華編　明14　和壹　圓
△山岡鐵舟傳　佐倉孫三編　明26　七　拾錢
△鐵舟居士の眞面目　圓山收田編　大7　壹　圓
△大鳥圭介傳　山崎有信著　大4　布壹圓八拾錢
△青山餘影（田中光顯伯小傳）　熊澤一衞著　大13　布壹圓五拾錢
△品川子爵傳　村田峰次郎著　明43　貳圓五〇錢
△品川子爵追悼錄　阿部信一著（品川彌次郎）　明33　五　拾錢　圓
△昨今承知致候件ヲ記載シ報告致候也　寫本參
△大石正巳氏と岩崎彌太郎氏との關係を記載したるもの　大11　布參　圓
△巨人頭山滿翁　藤本尙則著

△河野磐州傳　中山義助著河野磐州傳編纂會　二大13　四圓五〇錢
△頭山翁清話　柴田德次郎編　大1514　布壹圓四拾錢
○噫總裁大木遠吉伯爵　大日本國粹會々報　七　拾錢

勝海舟

□勝海舟傳　田村維則編　明3223　和壹圓　貳拾錢
□勝伯昔日譚　氷魚庵述　壹圓五拾錢
△勝海舟言行錄　民友社編　明4032　壹圓　五拾錢
□勝海舟言行錄　揖東正孫編　大5　八　拾錢
△勝海舟言行錄　淺海琴一著　明44　壹　圓
□勝安房號　山路愛山著
□勝伯事蹟　山本富夫編　大2315　五　拾錢
□勝伯事蹟　開城始末　坂崎斌著　偉人研究　明2315　八　拾錢

□海舟先生　氷川逸話　靜古學人著　明3132　六　拾錢
□續海舟先生　氷川情話　吉本襄著　明3132　五　拾錢

國務大臣列傳

□新內閣大臣列傳　池田忠五郎編　明3019　八　拾錢
□評傳井上馨　渡邊修二郎著　明3019　壹　圓

△井上伯（馨）傳　中原邦平編　帙入揃九明40　和四圓五〇錢

△公爵桂太郎　德富猪一郎編　厚册二大6　布八　圓

△公爵桂太郎之功罪史論　坂本長之助著　大2　八　拾錢
□桂公功罪史論　高橋鐵太郎著　大3　五　拾錢
□森有禮　海門山人著　明3230　七　拾錢
△森先生傳　民友社（森有禮）　明3230　七　拾錢
△西鄉從道　安田直著　明2935　九　拾錢
□山縣有朋附渡邊國武岡本柳之助　民友社編　明2935　七　拾錢
□山縣公のおもかげ　入江貫一著　大1511　布壹　圓　拾錢
△大浦兼武傳　香川悅次松井廣吉編　大1511　布貳　圓　拾錢

政黨員

△怪傑星亨　附刺客論　仙洞隱士著　明34　九　拾錢
△時代思想の權化（星亨と社會）　正岡猶一著　明34　七　拾錢
△政界名士星亨傳　藤井竹官著　明34　八　拾錢
△星亨傳　奧平昌洪　辯協　揃二大5　6　壹圓　拾五錢

代議士列傳

□國會議員百首　伊東洋二郎著國菜書　明24　和壹圓五〇錢
△憲政國大平民杉田鷄山　中村江畔編（杉田定一）大5　八　拾錢
△波多野（傳三郎）先生傳　渡邊幾治郎編（越後人）大2　布壹　圓

282377

對外先覺者

□開國勳將事略　友部八太郎著　二　明24　和　貳　圓
□冒險遠征傑士傳　丸田猷彦著　明25　貳　圓
□南海偉人高田屋嘉兵衞傳　山下磋一郎編　明17　和七　拾　錢
□高田屋嘉兵衞　碧瑠璃園著　洋裝　貳圓三〇錢
△外交家としての高田屋嘉兵衞　深瀨春一歷地　二　大14　九　拾　錢
△寬政三奇士　林子平　藤原信軒著　明36　八　拾　錢
△林子平處罰論　上野菊爾　歷地　明43　八　拾　錢
×渡邊崋山　崋山　碧瑠璃園著　輿風叢書　明45　布貳　圓
○華山遺墨　寫眞版十一葉入　布參圓五〇錢
×渡邊崋山逮捕の自畫　志賀重昂藏五寸・四寸五寫眞版　八　拾　錢
△藤田東湖　藤田東湖傳　雨谷幹一著　洋裝　五　拾　錢
□藤田東湖傳　菊池謙二郎著　明32　布壹圓五拾錢
△東湖全集　菊池謙二郎編　明42　布　九　圓
回天詩史50　東湖見聞偶筆32　彪物語68　明24　布參　圓
常陸帶86　東湖歌話214　上下當有の議20
弘道館記述義58　回天必力264　士着の議16
東湖遺稿2百32　壬辰封事264　東湖封事2百72
東湖詩文拾遺88　浪華驅援記事10　許々路廼阿登17
東湖隨筆12　丁酉日錄70
△開國井伊直弼傳　島田三郎著　明44　壹圓
始末　五拾錢
□開國元勳　井伊大老　伊豆のや著　明44　壹圓
△近藤重藏　長田權治郎著　洋裝　五拾錢
△佐藤一齋と其門人　高瀨代次郎著　洋裝　八　圓
△柳水遺稿　青木昆陽傳　猪股延太郎（柳水）著　明42　布五　圓

日本志篇　一〇三　六六二

△開國論者としての司馬江漢　海老名一雄歷地　明27　壹圓五拾錢
○吉岡艮太夫小傳　洋裝　壹圓
△西周傳　森鷗外著　明31　和　參　圓
△神田孝平略傳　神田乃武編　明43　布　參　圓

賴山陽

△山陽論　河村禎著　明31　和八　拾　錢
□賴山陽　少年文學　漢文　洋裝　八　拾　錢
△賴山陽大觀　坂本箕山著　厚册　大5　布參圓五〇錢
△家庭の賴山陽　木崎愛吉著　明38　布貳圓五〇錢
△賴山陽　坂本箕山著　洋裝　五　圓
□賴山陽言行錄　高橋立吉著　明42　八　拾　錢
□賴山陽及其時代　森田思軒著　洋裝　壹圓四拾錢
△賴山陽　德富猪一郎著　洋裝　四　圓
□山陽外傳　吉村春雄編　明10　和　壹圓五〇錢

外交家

△自然の人小村壽太郎　桝本卯平著　大3　布貳圓五拾錢
△陸奥宗光　阪崎斌著　明44　壹圓　明31　布壹圓　參拾錢
□評傳陸奥宗光　渡邊修二郎著　洋裝　五　拾錢
△子爵花房義質君事略　黑瀨義門編　明30　八　拾　錢
大2　布壹圓五拾錢

宗教家

△勸誡正宗國師自隱和尚全集　禪學編輯局編　施行歌3　安心ほこりたゝ記6　大3　和五　拾　錢
正宗國師年譜34　夜船閑話24　寶鏡寺記8　辻談議18　大道ちよぼくれ5　明28　八　拾　錢
遠羅天釜百1　假名法語10　主心お婆々粉引歌6　おたふく女郎粉引歌8
假名法語10
さし藻草49
邊鄙以知語36

△日蓮上人　小川日貞編　大6　布壹圓五拾錢
△一休和尚傳　高島米峰著　大1　布壹圓五拾錢

△弘法大師　渡邊霞亭著　洋裝　貳圓五〇錢
□弘法大師一代記　高峰虎次郎著　洋裝　五　拾　錢
△傳教大師傳　山方香峰著　洋裝　八　拾　錢

△大僧正天海　須藤光暉著　洋裝　貳圓五〇錢
△空海　須藤光暉著　洋裝　貳圓五〇錢
□大愚良寬　相馬御風著　洋裝　貳圓五〇錢
○華芳餘輝（慈覺大師傳）　比叡山延曆寺著　和　參圓五〇錢

日蓮上人

日蓮上人　教育家傳

△親鸞上人眞傳　松原致遠著　二　明44　貳圓五〇錢

△杉浦重剛先生　大町桂月　猪狩史山著　大13　布貳圓五〇錢

△樂石伊澤脩二先生　同先生記念事業會編　大8　布壹圓五拾錢
△福澤（諭吉）先生と小川武平翁　增島信吉著　大1　布八　拾　錢

□日蓮上人傳十講　山川智應著　洋裝　四圓五〇錢

□立正大師日蓮　碧瑠璃園著　洋裝　參圓八〇錢

教育家傳

□大聖日蓮　林元吉著　大4　壹圓
□日蓮聖人　碧瑠璃園著　洋裝　壹圓　五拾錢
△日蓮上人　須藤光暉著　大3　和五　拾　錢
□超日蓮上人　藤井眞澄著　明28　八　拾　錢

□福翁百話　時事新報社編（福澤諭吉）　大10　七　拾　五　錢
□福澤諭吉傳　宮森麻太郎著　英文　明35　布壹圓五拾錢

□余が見たる福澤先生　土屋元作著　明36　布貳　圓
△數藤斧三郎君　同君遺稿出版會著（一高數授）　大7　布壹圓　八拾錢

△福澤全集　時事新報社編　揃一〇　大14　布貳圓五拾錢

第一册

緒言81　掌中萬國一覽　清英交際始末　大3　布壹圓五拾錢
華英通語二9　英國議事院談63　明44　壹圓五拾錢
西洋事情初編百31　世界國盡97　壹圓貳拾錢
西洋事情二編百51　附錄19
西洋事情二編百51　啓蒙手習之友36

第二册

雷銃操法百29　學問のすゝめ百49　大15　布壹圓五拾錢
西洋旅案內67　童蒙教草二19　大1　布壹圓五拾錢
條約十一國記23　寓言かたわ娘7
西洋衣食住35　改曆辨13
訓蒙窮理圖解63　帳合之法二41
洋兵明鑑六11　文字之教47

第三册

文明論之概略緒言5　散實貳圓　五拾錢
文明論概略一〇章　布貳拾五　圓
議論本位ヲ定9　會議辨28
西洋文明ヲ目的ヲ論ス1928
文明本旨ヲ論ス1
一國人民ノ智德ヲ論ス41
智德の辨43
智德の行はるべき時代と場所論24

第四册

西洋文明の由來16
日本文明の由來415
自國獨立を論ず25
學者安心論73
分權論73
民間經濟錄百3
福澤文集百79
第五册

通貨論37
通俗民權論139
通俗國權論91
民情一新79
時事小言百771
時事大勢論277
帝室論45
德育如何19
兵論71
學問之獨立33
全國徵兵論333
通俗外交論283
△矢野一郎傳
△西村泊翁先生年譜

□泊翁西村先生　日本弘道會編　大2　布參　圓

△自助的人物典型中村正直傳　石井民司著　明44　八拾錢
△十大德教家傳　山方香峯著　明44　布壹圓
聖德太子弘法道實親鸞日蓮藤樹素行仁齋益軒尊德　八拾錢
△噫小野勘導烈婦小野勘導　中田武雄著　大11　參拾錢

□高名學校校主自筆百人一首　渡邊益編　明15　和參　圓
東京府內有名學校校主肖像畫及自筆漢詩和歌幾句等の採錄

△江原素六先生　麻布中學先生五周年記念　大15　五拾錢
△信松先生錫爵錄（辻新次）　樋口勘治郎著　明45　壹圓　貳拾錢

△保險學者列傳　三浦義道保雜　揃二七大1ゟ5　二九圓三〇錢
△本多利明の著書に就て　本庄榮治郎經叢　大4　六拾五錢
△再び本多利明の著書に就て　本庄榮治郎經叢大5　六拾錢
△本多利明の墓に就て　伊藤武雄　歷地　大6　五拾錢
△山片蟠桃の二つの意見書に就て　土屋喬雄國家大15　五拾錢
△山片蟠桃のことゝも　歷地　三大8　壹圓參五錢
△故杉博士と舊統計學校　橫山雅男　統雜　大7　參拾五錢

△杉先師略傳　河合利安　統雜　揃三五大7　十二圓二〇錢
△杉享二翁略傳及事蹟　田中太郎　統雜　大6　參拾九錢
△故杉享二氏と本邦の統計學　高野岩三郎國家大7　五拾錢
△故花房直三郎博士小傳　田中太郎　統集　大10　四拾錢
△法學士廣部周助君小傳　神戸正雄　凉法　明40　壹圓五錢

軍人傳

□干城偉績　松本燊編（偉烈三大家の勳績）　明25　八拾錢
△大將東鄉　橫山健堂著　洋裝　壹圓七拾錢

□東鄉元帥詳傳　小笠原長生著　洋裝　五圓

△中牟田倉之助傳　中村孝也著（佐賀人海軍中將）　大8　布貳圓
□福島中佐之傳附遠征紀行　村松恒一郎編　明26　八拾錢
△元帥寺內伯爵傳　黑田甲子郎編　大9　布參圓
△甘粕事件といふもの　山崎今朝彌　辯協　大13　四拾錢
▲甘粕事件の皮相觀　播磨龍城　新聞　大12　拾五錢
◎甘粕事件辯論を讀みて　荒木櫻洲　新聞　大13　拾五錢
△所謂乃木問題　仁井田益太郎　新報　大4　六拾五錢
△乃木問題資料　布施辰治　法協　大4　六拾五錢

△大將乃木　橫山健堂著　大1　布貳圓五〇錢
○陸軍大將伯爵乃木希典卿逸話　山田龍雄誌　大4　寫五　拾錢
×乃木大將那須野閑居當時の消息　長府桂嚴市藏七寸五寸六　拾錢
×乃木大將の遺書　東京遊就館藏　寫眞版六　拾錢
□乃木ペンだより　古江楓堂著　大6　六　拾錢
▲詩傳乃木大將　兒玉花外著　大5　八　拾錢
□乃木家再興と世論　佐々木勿來編　大4　六　拾錢
△乃木將軍及同夫人死體檢案始末　岩田凡平記　大1　八　圓
△乃木大將と其夫人　九十九峯外史著　大1　壹　圓
△乃木大將言行錄　鹿野千代夫著　大1　布壹圓　六拾錢
△乃木將軍景仰會餘韻　旅順同會　大3　五　拾錢
△乃木家再興同盟について日本全國民に訴ふ　樋口麗陽著　大4　壹圓
△實傳乃木大將　碧瑠璃園著　揃二大2　布參　圓
△乃木大將事蹟　塚田清市編　大5　布參圓五〇錢
△乃木院長記念錄　學習院輔仁會編　大5　布貳　圓
○乃木院長記念帖　學習院編　和裝八　圓
△乃木大將の面影　乃木會編　大6　五　拾錢
▲少年乃木無人　猪谷不美男著　大12　參拾五錢
△乃木會講演集　乃木會編　一ゟ四回　四大4ゟ7　壹圓六拾錢
○乃木夫人哀悼畫報　新婦人特輯　大1　參　拾錢

乃木希典

福翁百餘話665
福翁自傳言266
第八册時事論集

政治篇言11
外交篇言3
軍事篇74
第九册時事論集

經濟篇言61
教育篇789
道德篇1338
品行篇133
宗教篇71
教訓篇百23
第一〇册時事論集

學術篇9961
處世篇7
社會篇言7
雜說篇百43
漫言百98

第六册
日本婦人論79
士人處世論45
男女交際論1545
日本男子論591
韋王論35
國會の前途49
國會難局の由來33
治安小言21
地租論39
實業論67
明治十年丁丑公論31
痩我慢の說143
女大學評論61
新女大學37
福澤先生浮世談29
福澤情26
第七册
福翁百話言29
島田三郎著（商業教育家）　大2　布壹圓　五拾錢
伏見釣之助編（佐倉藩人）　明40　壹　圓

△江木冷灰（衷）先生追憶譚　末松謙次郎編　大14　八拾錢
◎噫冷灰博士　播磨龍城　新聞　大14　拾　五錢

△小野梓　永田新之允著　大2　壹圓五拾錢
△冷灰漫筆　江木衷著　明42　八　拾錢
理窟と法律との別8
刑法改正の奇觀7
新說奇論9
常識の定義14
司法界の現狀7
司法參與權4
憲法と司法參與機關3
地方自治と參與權6
大義名文6
法律の融化11
宗教と法律と國民の品性8
司法參與機關6
故石坂博士に付て思ひ出づるまゝ　牧野英一　大6　五拾五錢
嗚呼梅謙次郎先生　山田三良　法協　明43　九　拾錢
智能の練磨12
語音の修養4
多々益辨11
學校騷動の原則11

△嗚呼奧田博士　岡田明治著（奧田義人）　大11　壹圓五拾錢
△故法學博士男爵奧田義人先生を悼む　穗積重遠　法協　大6　五拾五錢
△嗚呼川名兼四郎先生　末弘嚴太郎　法協　大3　七　拾錢
△護神の神兒島惟謙全傳　佐藤天風沼波瓊音臺　法協　大3　七　拾錢
五　大15　貳圓五〇錢
ボアソナード氏の功績を紀念せよ　石山圓平辯協明43　七　拾　貳錢
△箕作麟祥君傳　大槻文彥著　明40　布壹　圓
△穗積陳重先生不朽の功績　山田三良　法協　大15　五　拾錢
△穗積陳重博士の日本法學に於ける意義　內藤社雜　大15　五　拾錢
△故法學博士本多精一君の經歷　緒方竹虎財經大9　參　拾錢
○日本辯護士寫眞帖　文獻社編　橫明36　布壹圓　五拾錢

□近畿辯護士評傳　越山黃太郎著　明33　布貳圓五〇錢

經濟學者

△德川末期の經濟學者正司考祺　吉田忠輔早商　大15　壹圓五拾錢
△山片蟠桃翁の事蹟　龜田次郎　藝文　大7　五　拾錢
△馬場正通の生涯及其遺書補遺　內田銀藏　藝文大5　六　拾錢
△東京統計協會長渡邊洪基君事蹟概略　統集　明34　壹圓八錢
△統計學士傳　黑山樵叟　統集　明20　壹圓六拾錢
△兒玉文學士傳　吳建著　大9　布壹圓五拾錢

官吏　地方名望家　社會思想家　農業家　產業家　工業家

◎法律上より觀たる乃木家　原嘉道　大4 拾參錢
◎乃木家再興問題に就て　誠思堂山人　新聞　大4 拾參錢
◎乃木家再興問題　岸精一　新聞　大4 拾參錢
◎乃木家再興問題に對する辯明　牧野菊之助新聞大4 拾參錢
◎乃木家創立問題　川久保滾治　新聞　大4 拾參錢
◎乃木家再興問題に關し學士牧野菊之助氏に問ふ　宮島清次郎　新聞　大4 拾參錢
◎大浦乃木兩問題　增島六一郎　新聞　大4 拾參錢
◎大浦及乃木問題に就て　龜山要　新聞　大4 拾參錢
◎乃木家再興問題と風敎論　布施辰治　新聞　大4 貳拾六錢
△所謂乃木家再興問題　吉田三市郎　法協　大4 六拾五錢
△乃木家問題に就て　大澤眞吉　法協　大4 六拾五錢
△純然たる科法上より觀たる乃木問題　乾政彥　法協　大5 六拾錢

官吏

△都筑馨六傳　馨光會編　上州人樞密顧問官　大15 布壹圓五拾錢
△橫尾東作翁傳　河東田經濟編（警視廳記錄課長）　大6 六拾錢
△得能良介君傳　池田敬八刊（印刷局長）　大10 布壹圓五〇錢
■府縣長官銘々傳　西村兹文編　芝田盞　明19 八拾錢
△橫山壯次郎君　新渡戸稻造編（鹿兒島縣）　明43 八拾錢
△井上明府遺稿　近江匡男編（東京府知事）　大9 布貳圓
井上友一君斷片傳54　井上明府著書目錄2　書信77
論文及講話298　手記百39

地方名望家

△增田宋太郎　熊谷克已著（大分縣人）　大2 壹圓貳拾錢
△田中兵庫先生評傳　島養編（市制施行功勞者）　相州人鐵版大13 壹圓
△岸宇吉翁　小畔龜太郎編（新潟縣人）　明44 壹圓五〇錢
△贈正五位本間四郎三郎光丘翁事歷　齋藤編（山形）　大9 布壹圓
△長者番附　民族と歷史特輯號　大11 五拾錢

社會思想家

□馬場辰猪　安藤梧郎著　明30 八洋裝 拾五錢
□民權家列傳　小池洋次郎著　拾錢
□東洋民權百家傳　小室信介著　揃三 和裝貳 大15 布七 拾錢
△半生を社會事業に捧げたる人々　慶福會編

農業家

□老農關根矢作　杉山栃木著（栃木縣人）　大6 壹圓
□日本牧牛家實傳　金田耕平編　卷一　明19 八拾錢

產業家

△二宮尊德　碧瑠璃園著　興風叢書　揃三 明43 貳圓
□二宮尊德　碧瑠璃園著　霞亭會　大5 布九 拾錢
△二宮尊德　獲麟野史著　明41 壹圓

工業家

△田邊朔郎博士六十年史　西川正治郎著　大13 布壹圓 貳拾錢
△高峯博士　鹽原又策編（高峯讓吉）　大15 布壹圓
○恩輝軒主人（川島甚兵衛）小傳　橋本五雄編　大2 參圓五〇錢
△土木統計の恩人たる故近藤工學博士　篠崎亮統雜　大11 參拾五錢
△西村勝三翁傳　西村翁傳記編纂會　大10 布壹圓
○大日本印刷業者名鑑　大阪出版社編　昭2 貳圓

○機業家富田彌三郎概歷　大熊濟次郎編（博多）　傷明28 和壹圓
△橫山隆興翁　碧瑠璃園著（金澤人）　大9 布壹圓

實業家傳

△德川初期の貿易家綠屋隨右衛門　川島元次郎　史林大10 壹圓
△海外貿易家平野藤次郎　岩生成一　歷地大14 四拾五錢
△天下の糸平　高橋淡水著　大6 壹圓
□實業史談　切山聽松編（名士傳記）　明20 和壹圓

○大日本實業家名鑑　實業之世界社　二大8 布四圓五〇錢

□金傑叢談　天城甚七編　明25 六拾錢
△現代名家精彩成文社編（實業界名士履歷）　明44 布壹圓五拾錢

△三井の起立　江戶　明23 參圓八〇錢
△下村（大丸）の起立　江戶　明24 參圓七〇錢
△住友家の五十年　廣瀨宰平　地球　大9 五拾錢
△鴻池家の過去及現在　地球　大9 五拾錢
○現代百傑　實業雜誌社　大增刊　大2 五拾錢
△明治の商工界に於ける五代友厚　三浦周行　史地大5 六拾錢
□人物併觀海運界の曉將　石丸素川著　大8 布壹圓 貳拾錢
△從六位光村彌兵衛傳　中西牛郎編　明27 壹圓 貳拾錢

△青淵先生六十年史　龍門社編　揃二明33 布四圓五〇錢

△今村清之助君事歷　足立栗園著　明39 布壹圓
□岩崎彌太郎　弘松宣枝著　民友社　明32 壹圓
△岩崎彌太郎　南海漁人著　明31 八拾錢
▲森村翁熱海一夕話　井上雅二編　大9 五拾錢
□于斯濫澤榮一　大瀨鞍馬著　大14 布壹圓
△川崎正藏　山本實彥著　大7 布壹圓 五拾錢

△大倉鶴彥翁　鶴友會編（喜八郎）　大13 布貳圓五〇錢

△和田豐治傳　喜多貞吉編　大15 布貳圓
△鴻原定吉君略傳　池原鹿之助著（福岡縣）　大6 布壹圓
□豐川良平　鵜崎熊吉著　大11 布壹圓 五拾錢
△淺野總一郎　淺野泰治郎著　大4 總率壹圓 五拾錢
□淺野松濠洲翁　西川文太郎著　大3 布壹圓
△園田幸吉傳　荻野仲三郎著　大15 布壹圓 五拾錢
□小林富次郎傳　加藤直士著　明44 布壹圓

銀行家

△安田善次郎傳　矢野文雄著　天金大14 布貳圓五〇錢
△三島太郎氏記念誌　中島司編　大12 布貳圓五〇錢
□銀行王安田善次郎　坂井磊川著　大14 布壹圓 參拾錢
△中上川彥次郎君　菊池武德著　明36 布八 拾錢

商人

△日本商人史　日本歷史地理學會編　大14 布壹圓 五拾錢
□日本商人五百年史　河瀨蘇北著　大14 壹圓 參拾錢

△近江商人　井上政共編（今古商人傳）　明23 布貳圓五〇錢

△近江商人の起源に就ての一考察　田中秀作　ノ大15 六拾錢
□勤王商傑山中新十郎翁傳　橘仁太郎編　大5 布八 拾錢
△日本商人史　三浦周行　歷地　大11 四拾五錢
□起業秀才明治百商傳　竹內蟄亭編　卷一　明13 壹圓

先哲傳

○前賢故實　菊池武保著並畫　二〇天保7 和拾貳圓

神武天皇の朝より後村上天皇の御世に至る古賢者の圖像なり上王公より下庶民婦女に至る迄、凡て賢德を以て知られたるもの數百人を圖出し各小傳を附記したり

□前賢故實　菊池武保著東陽堂版　揃一〇和拾　圓

△前賢故實　菊池武保著弘文館版　揃一〇和八　圓

△前賢故實　菊池武保著郁文舍版　明36布六圓五〇錢

○先哲叢談　原念齋著　揃五文化13和參　圓
江戸時代に於ける儒家の性行履歷等を記載したるもの

□先哲叢談　原善東條耕著　揃二明25壹圓參拾錢

△先正國家中興の覇者三十五家の史傳を輯錄したるもの　館森鴻著　小蟲揃二明37和壹圓五拾錢

⧖先哲叢談　塚本哲三編東陽堂文庫　大9布壹圓七拾錢

△日本六大先哲　帝國教育會編　明42壹圓五拾錢

山鹿素行山崎闇齋中江藤樹伊藤仁齋新井白石青木昆陽

△近世先哲叢談　松村操著　揃四明31和貳圓五〇錢

○先哲像傳　德齋原義著　揃四和貳圓八〇錢

○三哲小傳　紙形惠齋著　彩畫肖像入　和四圓五〇錢

□賢哲遺傳　有馬有政島野幸次編上卷大8布壹圓五拾錢

○先賢叢傳　寺師宗德著　明41壹圓八拾錢

△日本近世哲學者小傳　田中泰麻呂編　洋裝貳圓五〇錢
西洋近世哲學者略傳

○徂來先生答問書　根遜志伯編　蟲入三享保12和壹圓五拾錢

△藤樹先生年譜　滋賀縣高島郡教有會　大10壹圓

□慕賢錄　鹿鳴園叢書四〇頁　六拾錢
岡山縣廳（熊澤伯繼傳）　明34八拾錢

□伊藤仁齋と其教育　增澤淑著　大8壹圓

△伊藤仁齋　竹內松治著　洋裝五拾錢

△益軒全集　益軒會編　揃八明43ゟ44散賣六八拾圓

△益軒先生年譜　貝原好古撰　城戸宗信寫　嘉永4參圓

益軒先生著述年表1　益軒先生傳1　日本釋名二1　點例一1　知事解1　花譜二1　榮譜一1　三禮口訣一1　萬寶鄙事記八1　和漢古諺二1　日本歲時記七1　中華事始六1　大和事始六1　憶思錄六2　大疑錄二2　自娛集七2　格物餘話2　自警編2　初學知要二2　小學句讀備考六2　近思錄備考二四2　和漢名數二2　續和漢名數二2　初學訓六3　大和俗訓八3

△白石先生餘稿　新井大亮撰　正德5和參　圓

△新井白石の人物と事業　新井誠夫　中央史維　大13五拾錢

△新井白石先生について　三上參次　大14五拾錢

新井白石

△白石先生停雲集　槇堀泉南閱　蟲入二文化4和壹圓五拾錢

△新井白石　足立栗園著　偉人史叢明30六拾錢

□近世儒林年表　內野皖亭編　大15和壹圓

□賀茂眞淵と本居宣長　佐々木信綱著　大6壹圓貳拾錢

⧖尚友小史　中村哲五著　壹圓

△鑑宗仲景考　平田篤胤著　貳圓

□東坡外傳　萩原裕纂　揃二和壹圓

△玉山紫溪兩先生略傳　二先生追遠會編　明45壹圓貳拾錢

□井原西鶴　片岡良一著　大15布參圓

△塙按詳傳　埼玉縣教育會　德育資料明41布壹圓五拾錢

△南海之偉業（野中兼山傳）　松野尾儀行著　洋裝五拾錢

△佐藤信淵翁傳　飯村粹著　洋裝貳圓

△佐藤信淵の國家專賣法　瀧本誠一　三學　大14五拾錢

△日本のカメラリスト佐藤信淵論　松崎藏之助　國家六明22拾壹圓

△佐藤信淵の政治學說　內田繁隆　早政大14四拾錢

△幕末の社會主義者佐藤信淵　河上肇　京法明42九拾五錢

△佐藤信淵の理想國家　大川周明著　大13參拾錢

△大原幽學事蹟　高木千次郎著　明43八拾錢

熊澤蕃山

□蕃山先生年譜　岸山重範著　洋裝壹圓

□熊澤蕃山　塚越芳太郎著　明31壹圓五拾錢

△朝顏實記　熊澤蕃山　伊藤陵潮述　明31壹圓貳拾錢

△蕃山　巨勢直幹著鹿鳴園叢書二四頁　五拾錢

△蕃山先生の終焉　藤懸靜也　大12五拾錢

□蕃山　井上通泰著　中史　正續二洋裝貳圓五拾錢

文學者

△日本文學者年表　赤堀又次郎木村浩藏今園國貞著　正續二布參拾五圓

△日本文學者年表　赤堀又次郎編第一冊明35參圓

△日本洋學者年表　大槻文彥著　和裝五圓

△慶長以來國學者史傳　逸見仲三郎編　附名家年表　新大15布貳圓五〇錢

△國學者傳記集成　大川茂雄　南茂樹編　明37革五拾五圓

□江戸文人壽命附　平亭銀鷄著　和五圓

⧖江戸文人藝園一覽　畑銀鷄著

□安政文雅人名錄　細谷弘文堂版　折本和壹圓貳拾錢　機壹圓五拾錢

古道大意1　俗神道大意1　歌道大意1　志部乃石屋（皇道大意）1　西籍概論（儒道大意）1　出定笑語（佛道大意）1　出定笑語附錄1　出定笑語原本1　悟道辨（尻口物語）1　伊吹於呂志1　靈の眞柱2　三大考辨々2

大和本草26　諸品圖考6　本草名物附錄6　本草和名抄6　京城勝覽拾遺7　京城勝覽記7　相州巡覽記7　西北紀行二7　南遊紀行二7　諸州めぐり二7　吾妻路之記7　日光名勝記二7　木曾路之記7　有馬山溫泉記7　有馬山溫泉記追加7　扶桑記勝分7　和爾雅分7　頤生輯要分7　存齋遺集7　和軒吟草7　和軒續吟草7　朝野雜載一五8　農業全書二8　孝經釋義便蒙二8　孝經釋義便蒙附纂二8

○新井白石關係文獻總覽　日比谷圖書館編　大15　參圓五〇錢

△新井白石傳　ノツクス著　アジアチック本　英文　參　圓
Knox-Autobiography of Arai Hakuseki, 1902

△新井白石全集　國書刊行會叢書第一期　散賣　壹圓貳拾錢
內容六二頁參照　揃六　拾參圓

熊澤蕃山

□蕃山先生年譜　岸山重範著　洋裝　壹圓

□熊澤蕃山　塚越芳太郎著　明31　壹圓五拾錢

△朝顏實記　熊澤蕃山　伊藤陵潮述　明31　壹圓貳拾錢

△蕃山　巨勢直幹著鹿鳴園叢書二四頁　五拾錢

△蕃山先生の終焉　藤懸靜也　大12　五拾錢

□蕃山　井上通泰著　中史　正續二洋裝貳圓五拾錢

文學者

△日本文學者年表　赤堀又次郎木村浩藏今園國貞著　正續二布參拾五圓

△日本文學者年表　赤堀又次郎編第一冊明35　參　圓

△日本洋學者年表　大槻文彥著　和裝　五　圓

△慶長以來國學者史傳　逸見仲三郎編　附名家年表　新大15布貳圓五〇錢

△國學者傳記集成　大川茂雄　南茂樹編　明37革五拾五圓

□江戸文人壽命附　平亭銀鷄著　和五　圓

⧖江戸文人藝園一覽　畑銀鷄著

□安政文雅人名錄　細谷弘文堂版　折本和壹圓貳拾錢　機壹圓五拾錢

古道大意1　俗神道大意1　歌道大意1　志部乃石屋（皇道大意）1　西籍概論（儒道大意）1　出定笑語（佛道大意）1　出定笑語附錄1　出定笑語原本1　悟道辨（尻口物語）1　伊吹於呂志1　靈の眞柱2　三大考辨々2

△平田篤胤全集　室松岩雄編　揃一五明44ゟ大7布壹　百　圓

天說辨々2　しもとのまに〳〵2　大道或問2　牛頭天王曆神辨2　伯家學則演義2　吉家系譜傳稿2　伊勢物語粹弓2　神樂歌考2　氣吹廼舍歌集2　氣吹廼舍文集2　氣吹廼舍筆叢2　呵妄書2　天柱記稿2　鎔造化育論稿2　雜稿拾遺2　本敎外編本敎自鏡策2　鬼神新論3　古今妖魅考3　ひとりごと2　仙境異聞（實言物語）3　神童談略記3　勝五生舞の記3　勝五郎再生記聞3　幽郷眞語3　稻生物怪錄3　徵古說時記3

△神拜詞記 4
△たまだすき 4
同 上追加 4
天津祝詞考 4
祝詞式正訓 4
神拜詞解 4
古學訣辭集 4
三島由來記 5
三曆由來記 5
夏殷周年表 5
春秋曆本術編 5
前漢曆志辨 5
醫宗仲景考 5
金匱玉函經解 5
孔子聖說考 5
老子語 5
弘仁略運記考 6
△春秋命歷序考 6
赤縣太古傳 6
黃帝傳記 6
太皞古易傳 6
古曆傳 6
葛仙翁傳 6
古史傳 7—10
天朝無窮曆 11
古史年曆稿 11
古史徵開題記 12
古史徵 12
神代系圖 12
古史本辭經 12
印度藏志 13
密法修事部類稿 14
大扶桑國考 14
葛仙翁文粹 14
△皇典文藪 14
赤縣太古傳成文 14
大昊古曆傳成文 14
大昊古易傳成文 14
古易大象經成文 14
童蒙入學門 14
天柱五嶽餘論 14
神字日文傳 別錄 疑字篇 15
印度藏志未定稿 15
三五本國考 15
山神山餘考 15
宮比神御傳記 15
舊事記疑問 15
學問答 15
赤縣度制考 15
平田篤胤翁 全集完成の辭 15

△江戸醫家人名錄　文政3和四圓五〇錢

△近世名醫傳　松尾耕三著　揃三明19和參　圓
△高松淺雲翁經歷談　磐瀨立策編　明45　壹圓
△伊東支　朴傳　伊東榮著　大5　貳圓
△箕□吳黃石先生小傳　吳秀三著　大3　壹圓五拾錢
□吳秀三編（藝州人）　大6　壹圓
△贈從五位入澤恭平先生日記　入澤達吉編　大13　壹圓
△杉山博士紀念志　岡島松次郎編（大阪人）　大8　布五　拾錢

美術家

○書畫鑑定大日本名家全書　宮崎幸麿著　帙入揃七和六圓五〇錢
△日本畫家辭典　澤田章編　落款篇　新昭2　布拾　貳圓
人名篇
△日本書畫名家編年史　石田誠太郎著揃八和裝八　圓
○日本畫家大辭典　啓成社編　洋裝　貳拾五圓
××書畫鑑賞藝苑人名辭典　橘宇坤著　昭2　布壹圓五拾錢
××日本古今書畫人名辭典　奧村眺洋著　洋裝　貳圓參拾錢
△本朝畫人傳補遺　西村兼文著　和壹　圓
□本朝畫工便覽　橫須賀安枝著　和壹　圓
××浮世繪師便覽　飯島虛心著　橫和貳　圓
△古今書畫名家年表　石田誠太郎著　壹　圓
○扶桑畫人傳　古筆了仲編　揃五和參　圓
△近世畫家書畫談　雲煙子著　揃八和裝參圓五〇錢

△本朝畫家人名辭書　狩野春信著　揃二和裝壹圓八〇錢
△本朝畫家落款印譜　狩野春信著　揃三和裝參　圓
△日本書畫人名辭書　杉原夷山著　正篇貳圓五拾錢　續篇和裝參　圓
△日本美術畫家人名詳傳　樋口文山著　揃四洋裝貳　圓
△彫金家年表　桑原半次郎著　壹圓五拾錢
△鑽工二十八氣象　北尾紅翠齋畫　和壹圓五拾錢
△雲烟略傳　清宮秀堅著　壹圓五拾錢
△美術家名鑑　實業新聞社版　洋裝　壹圓五拾錢
△改訂增補西肥遺芳　狩野雄一編　大6　和壹圓五拾錢
肥前古來よりの著名美術家學者彫刻家其他一切の名家略傳
△蒔繪師傳　飯島半十郎著　桃井雲深寫　上下合綴寫本參拾五圓
附塗師通實拔書・塗師傳・假漆の製法

△日本畫家辭典　澤田章編　落款篇　新昭2　布拾　貳圓
人名篇
△日本書畫名家編年史　石田誠太郎著揃八和裝八　圓
○日本畫家大辭典　啓成社編　洋裝　貳拾五圓
××書畫鑑賞藝苑人名辭典　橘宇坤著　昭2　布壹圓五拾錢
××日本古今書畫人名辭典　奧村眺洋著　洋裝　貳圓參拾錢
△本朝畫人傳補遺　西村兼文著　和壹　圓
□本朝畫工便覽　橫須賀安枝著　和壹　圓
××浮世繪師便覽　飯島虛心著　橫和貳　圓
△古今書畫名家年表　石田誠太郎著　壹　圓
○扶桑畫人傳　古筆了仲編　揃五和參　圓
△近世畫家書畫談　雲煙子著　揃八和裝參圓五〇錢

歌人

△歌誹百人選　梶庄寫　天保15　壹圓五拾錢
未魚寫終落丁　貳圓五拾錢
○狂歌作者部類　六樹園大人撰繪入　二文化8和七　圓

△歌仙肖像集　画堂大人撰　繪入　和貳圓五〇錢
△三十六番賢乏歌仙　加藤景猛寫　元文4　貳　圓
□高名三十六歌仙　金連舍一瀨以下三家　繪入　和壹圓五拾錢
○女歌三十六歌仙　山崎金兵衛版　繪入明和8和參圓五〇錢
△誹才三國人名牒　古來庵存義著　和壹　圓
△大正歌人銘鑑　大町五城編　大8　和壹　圓
△不盡酒舍遺稿　中村春二編　明44　布參　圓
△碩園先生（西村時彥）追悼錄　大阪懷德堂々友會大14　壹圓
△兆民先生幸德秋水著　明35　參拾錢
△方谷先生（山田琢卿）年譜　山田準編（備中人）明38和壹　圓
△文林花押集　橫文化6和壹圓八拾錢
△神田乃武先生追憶と遺稿　神田記念事業會編　英文昭2　布五　圓
Memorials of Naibu Kanda edited by Kanda memorial committee

科學者

△現代發明家傳　牧野輝智著　明44　布壹圓五〇錢
高峯讓吉　山田伊三郎　倉田雲平
高林謙三　村田經芳　高田嘉助
齋藤外市　御法川直三郎　山葉寅楠
豐田佐吉　野澤泰次郎　宮原二郎
深川文十　茂木重次郎　長井長義
下瀨雅允　御木本幸吉　磯崎眠龜
寺島昇　中原作太郎　大野正
△清少納言と紫式部　梅澤和軒著　明44　布貳　圓
▲清少納言　尾上柴舟著　十二名媛　明0935　六拾　錢
△清少納言　綠亭主人著　家庭叢書　明2935　壹　圓
△伊能忠敬附測量日記　伊能發著　忠敬會　明44　布貳　圓
□偉人伊能忠敬　加瀨宗太郎著　洋裝　壹　圓

醫人傳

△皇國名醫傳　淺田栗園著　揃三和裝七　圓

△本朝　文學史料　壹圓五拾錢
△柿本人丸事跡考　岡田正美述　壹圓五拾錢
□柿本人丸御歌入胎出胎兩義　尺五堂撰村田梅園寫文政1　壹圓五拾錢
□北村季吟傳　石倉重繼著　明和3寫六拾錢　明31　壹圓五拾錢

新聞記者

□新聞屋の腹ふくり　佐々木吉太郎編　前篇　明12　和壹圓五拾錢
△日本記者年鑑　新聞及新聞記者特輯　大11　壹圓參拾錢

□新聞記者奇行傳　隅田丁古編　鮮齊永濯畫　明14　和貳　圓

□現今名家記者列傳　大屋專五郎編　明22　八拾錢
△三十三年之夢　白浪庵酒天著　明35　壹圓五拾錢

□新聞記者之十年間　平田久著　明39　壹圓五拾錢
□新聞及記者の罪惡　東日出夫著　大14　壹圓貳拾錢

□新聞及新聞記者腕競べ　大正之新聞特輯　大15　壹圓貳拾錢
□新聞記者列傳　佐々木秀二郎著　昭6　壹圓五拾錢　二明16

畸人傳

○近世畸人傳　伴蒿蹊著　正續一〇冊　寬政2　和五　圓
鴻儒碩德孝義貞烈者詩人「歌人俳諧者等にして世の著名なる人」百餘名の傳記なり。和文にて記す

□□近世畸人傳　伴蒿蹊著　文求堂版　明20　布壹圓　參拾錢
□校註近世畸人傳　佐藤仁之助註　明44　布壹圓　貳拾錢

□□近世畸人傳　大川錠吉編　十錢文庫　大1　五拾錢
□近世畸人傳　蒿蹊大人著　西村玖選　大1　五拾錢

△明治畸人傳　文藝倶樂部增刊　明3639　八拾錢
□明治畸人傳　阪井辨著　六拾錢

□妙好人傳　平田思水著　帙入揃五冊　明19　和參圓五〇錢

△△本朝賢人名家總覽　石川二三造著　(三百六十家)　明25　參壹圓　貳拾錢
△偉人傳　寫本　貳拾錢

□□狹斜家列傳　局山外人編　水入表紙傷　明19　壹圓
□畸人百人一首　綠亭川柳編　繪入　嘉永5　和壹圓　五拾錢

婦人傳

△小學勸善本朝烈女傳　松平直溫著　和裝　壹圓
△近世名婦傳　大日本文明協會　洋裝　壹圓五拾錢

△近世名婦傳　岡田霞船編　四明15　和貳　圓

△德川大奥眞烈義忠阿茶の局　松林伯知述　明27　八拾錢
△古今名婦傳　豐國畫　繪畫文庫　和壹圓五拾錢

△柳營婦女傳叢　國書刊行會　大6　布參　圓
第五期

畫傳及肖像

○大日本名家肖像集　經濟雜誌社　明40　布參　圓

△英雄百將傳　渡邊廣照末孫畫　彩色肉筆　參　圓

□近世道勸高名像傳　子安信成編　石田溪岳畫　二明13　和壹圓五拾錢
△人物畫傳　畫傳子編　明40　八拾錢

△偉人之肖像　賴朝親戮素行以下九家彩色肖像眞蹟及各略傳を別記す　折本　貳圓五〇錢

○先哲像傳　原德齋著　四弘化1　和五　圓
儒者の肖を揭げて小傳を添へたるもの凡て二十名家を揭ぐ。上標に各家の眞蹟を模刻し傳後に著書を列擧す

△挿畫　近世名家傳　三尾重定編初集　揃二明13　和壹圓五〇錢

□秀雅百人一首　綠亭川柳輯　國芳英泉畫　傷弘化5　和八　拾錢
○明治百人一首　石丸忠胤編　自筆歌肖像入　明15　和壹圓五拾錢

■高名像傳現今百人一首　大島細吉編　銅版　明15　和八　拾錢
□現今英名百首　沼尻桂一郎編　鮮齋永濯畫　明14　和八　拾錢

○明治肖像錄　藤野彦次郎編　明31　布壹圓　五拾錢
△高名像傳　子安信成編　和壹圓　八拾錢

俠客傳

△近世俠義傳　魁齋芳年畫　彩色錦繪　大6　和壹圓五〇錢
風俗繪卷圖畫刊行會

□俠客傳全集　帝國文庫第四編　明34　革貳　圓

蟠龍院長兵衛一代記　奴の小萬
天竺水滸傳　髯黑兵衛東雄奇遇絲筋
國定忠治實記　總角助六江戶紫三人同胞
息小僧實記　松前屋五郎兵衛
神明强勇傳

□俠客傳　塚原渋柿著　洋裝　貳
□江戶俠客物語全　林和著　洋裝　壹圓五拾錢

□幡隨院長兵衛　碧瑠璃園著　洋裝　貳圓五〇錢

□開卷奇驚俠客傳　曲亭馬琴著　文事堂版　明19　布貳　圓
△國定忠二傳　觀堂弄寫　安政4　壹　圓

仇討

□日本十大仇討錄　泉光哉著　劍客叢書　大15　壹　圓
■古今復讐日本義烈傳　福田宇中著　帙入　二明13　和壹圓五拾錢

△奥州仙臺女敵討(敵討千本荻)　寬永七年白石城下にて寫本壹　圓
○殺法輪記　久谷彦太郎寫　三慶歷3　壹圓貳拾錢

△改良伊賀越仇討一件　澤村辰之助振附臺本　明36　寫壹　圓
(伊賀越乘掛合羽)
△松平誠丸元家來須藤準太郎外貳人復讐之始末　御屆書寫壹　圓

○肥後國駒下駄物語　(向井善九郎父の復仇記)　寫本壹　圓
□東毛粟谷復讐記　庸賴孝作編　大1　壹圓五拾錢

△東毛復讐始末　竹內安素子行著　漢文嘉永4　寫參　圓
野州足利郡粟谷村宮下金井信珍が父の討金井隼人並悴吉右衛門の兩人を討取り關八州在方取締本陣へ名乘り出たる復讐記

△龜山敵討　寫本　二元祿頃貳　圓
△備前渡邊數馬仇討記　中村照只寫本　文政2　八拾　錢

俳優傳

△校訂　俳優全集　續帝國文庫本博文館　明34　革參　圓

△市川團十郎自傳　江原青々園著　明35　布貳圓五拾錢
△尾上菊五郎自傳　時事新報社版　洋裝　壹圓五拾錢

孝貞美談

□日本忠孝傳　碧瑠璃園著　洋裝　壹圓八拾錢
□古今孝子至情哀史　夢想兵衛著　大10　布壹圓貳拾錢

□北越孝士傳　藤山張太郎著　洋裝　五拾錢
■本朝忠孝美名錄　國晴彩畫入　折本　壹圓五拾錢

□杉平作彌翁之卷　熊本縣阿蘇郡北小國村敎育會　大12　七拾錢
□大平記菊水之卷　竹田小出雲外五名作　明2　六拾錢

△訓育資料川田繁馬　原口晃著(高知縣孝貞者)　明44　八拾錢
△忠僕庄七傳　駿東敎育會(靜岡縣駿東郡人)　大1　七拾錢

□住谷兄弟仇討實記　岡田編　稻野年恒畫　二明16和八　拾錢
○飯沼始末錄　巻　（箱根權現勝五郎仇討）嘉永1寫壹　四
□御堂前仇討　松林堂板繪入　島川義雄錄　和八　拾錢
□復讐月氷奇緣　曲亭馬琴著　明18和八　拾錢
□田宮坊太郎金毘羅御利生記　晋米齊玉粒逃貞房畫和五　拾錢
□箱根山躑躅仇討　柳水亭種清記芳直畫繪入嘉永7和五　拾錢
□荒河英勇記　笠亭仙果抄國芳娘登里女畫　和五　拾錢
△賛我物語　初代廣重畫錦繪　大7和壹圓　五拾錢
○賛我實驗記大全　繪巻圖畫刊行會　二弘化寫壹圓五拾錢
△敵討專孝靈貞錄　大高家舊藏書（總州相馬郡甲尾村長藏一件）二寫本貳圓

△大久保家士復讐　寫本文政3　參圓二〇錢
文政三年水戸祝町に於て大久保加賀守足輕淺田鐵藏同門次郎の二人か養父只助の敵滅纏万助を討留めたる復讐記

△小田原候潛淺田鐵藏淺田門次郎敵討一件　寫本文政7　參圓五〇錢

□鏡山實錄　松田女敵討　中山清七板繪入　寛政5和　貳圓五〇錢

□仇討小說集　帝國文庫第貳編　明29革　貳圓五〇錢
天下茶屋敵付眞傳記　繪本箱根山靈應記
繪本二島英勇記　繪本敵討孝女傳
繪本彦山權現靈驗記
□續仇討小說集　帝國文庫第貳編　寒燈夜話小栗外傳　明29革　貳圓五〇錢
柳荒美談　三都勇烈傳
實說名畫血達磨　西國巡禮八月赤子娘敵討
仇討合邦辻　孝子嫩物語
敵討高田馬場

赤穗義士傳

○赤城盟傳　神崎則休註　木村貞行跋　水入寫本元祿15奥書五　圓
○赤穗義人錄補正　室鳩巢著　惟熊國枝補　二明5和貳圓五〇錢

△赤穗義人纂書　國書刊行會第二期　散讀壹圓五拾錢　二明44布參圓

第一册

鳩巢先生義人錄後語寶曆度　大地昌言　大石氏寓邸碑安永4　龍公美
村松三太夫高直事蹟安永　苗村春暢

烈士報讐錄寬永　三宅觀瀾　伊藤東涯
太宰德夫赤穗四十六士論評附濱野君記　天野屋利兵衛傳　元文
大高忠雄寄母書寬永赤松國籌　小島喜兵衛　加藤惟寬
復讐論　林信篤　忠義碑　鳩巢小說評論抄錄　加藤善庵
赤穗義士行　伊藤東涯　平山兵原
赤穗四十六士論　寺坂信行逸事碑記　栗山愚
讀春臺四十六士論附右和譯　荻生徂徠　文化　内田叔明
殿太宰純四十六士論　太宰春臺　清水正德
大石良雄復君讐輪　五井純禎　赤穗義士論評　平子龍
四十七子論說　河口光遠　四十六士論　伊勢貞丈
四十七子論說　藤沼仁内　赤穗盟傳　前原伊助、神崎與五郎
四十六士論　伊奈忠賢　國宇赤穗盟傳　天保10
復讐論　佐藤直方　魚躍傳　天保10　内野正方
三宅重固問目佐藤直方朱批　附上州址景
三宅重固問目稻葉正義朱批　林信篤詩
再論四十六士　船說義
一武人四十六士論　泉岳寺法會の時の歌
四十六士批判　其角沽德等誹諧
奥氏問目佐藤直方朱批　小野寺十内妻辭世　天保
淺野吉良非喧嘩論　義人遺草　青山延光
或人論淺野之臣討吉良　赤城士話　元祿16　東城守拙
赤穗四十六士論　多門傳八郎筆記　天保
大石論七章　堀内傳右衛門覺書　二
天保9　大石良雄贈備後惠光等書
義士雪冤　大高源五臨東下贈母氏之書
天保12　吉田忠左衛門兼亮妻之文
明3　淺見絅齋　牧野直友　山本北山
支政　伊良子大洲　澤熊山　加藤善庵
赤穗義士論　横井也有
赤穗城中大會議　高田の馬場決闘
赤穗城中大會議　高田の馬場決闘
赤穗浪人御預之記　大石良雄與三坊書
赤穗義士親類書　元祿16　大石良雄書　元祿
義士亡身　河野通綸　大石良雄贈寺井玄達書　元祿
赤水鄉談　河野內匠頭殿家來松平隱岐守え　大石良雄贈寺井玄達二書　元祿14
淺野內匠頭殿家來松平隱岐守え　奥平藩士櫻井惣右衛門正朝書翰
淺野仇討御領一件　近松門左衛門其角に贈る書　元祿14
淺野仇討記　寬政　佐治爲綱　大石良雄後室清林院答村尾書
妙海語　大石良雄贈三尾氏書　元祿14
妙海願書　支同放言抄　大石良雄贈寺井玄達書　元祿
赤穗書翰實錄寶曆6　山村富竹輯　大石良雄贈三尾氏書　元祿14
赤坂信行筆記　亨保大藏謙齋評　上　橫川勘平贈大石良雄書　元祿
妙海語評　同　橫川勘平贈三尾氏書　元祿14
異本淺野報讐記　元祿15　三平贈大石良雄書
梶川氏筆記　梶川頼照　大高子葉贈水間沾德書
水野監物淺野義士御預古文書　吉田忠左衛門贈堀部安兵衛等書
近世畸人傳抄　伴蒿蹊　堀部武庸贈乃父金丸書
二老略傳抄　巢鳩庵逸話抄　堀部武庸贈從弟書置
大和永年　堀部武庸贈母氏書置
異說區抄　上野介邸手負口上書等
烈士肥後藩大川源兵衛が事　佐倉新助贈松山藩士書
鈴木白藤　無名氏書翰

耳袋抄　濱澤馬琴
昔噺抄　肥後藩堀部氏略系　竹內逢廬
橘窓自語抄　閑田耕筆、同次筆抄　俳家奇人傳抄　橘南谿
閑散餘筆抄　清圓尼の手實
復讐辨　橋本經亮　撞木町笹樓
藤澤東畡
遠州見聞附驛淺野宿割帳　肥後藩堀部家所藏古文書　青山延光
大石良雄自畫像畧赤穗不二貞房　赤穗四十七士傳序　片山某
大石良雄妻石束氏書箚譜記　間十次郎號箚記
大石良雄所藏小刀　桑名藩所傳覺書

夜人の圖　朝芝邊にて見懸たる義
大高子葉姻管筒　堀部氏箚
妙海尼自造殭姑之事　義士夜討の節起請文前書
義士五人家內書九通　大石良雄與三坊書
堀部安兵衛贈福村平左衛門書
片岡高房大石良雄書
中村正辰贈大石良雄書
大石良雄贈寺井玄達書　元祿
大石良雄贈寺井玄達二書　元祿14
大石良雄贈三尾氏書　元祿
大石良雄室石束氏與田佐太夫書　元祿
大石良雄後室清林院答村尾書　元祿
晋其角贈文鱗手簡　元祿
大石良雄贈三尾氏書　元祿14
橫川勘平贈大石良雄書
三平贈大石良雄書
大高子葉贈水間沾德書
吉田忠左衛門贈堀部安兵衛等書
堀部武庸贈乃父金丸書
堀部武庸贈從弟書置
堀部武庸贈母氏書置
上野介邸手負口上書等
松山藩士書

橫川勘平贈油山仲右衛門書　安井彦右衛門　藤井又左衛門　服大
原惣右衛門與中川助左衛門書　介石記　四
鵜江穆園詩　文政10　杉本義鄰
遺聞三則　赤穗鐘秀記　三　赤穗城引渡一件　天保　三橋飛州
大石良雄贈田中清兵衛書　淺野內匠頭分限牒　天保8
間喜兵衛與瀧太夫書　淺野內匠頭宿割帳　明和5　半明庵
大石良雄妻石束氏贈神護寺書　義人不破數右衛門襯衣記川崎珊　細川邸の切腹
寺坂吉右衛門書捨之窩　義人不破數右衛門　伏見の里
赤穗義人纂書補遺　國書刊行會第三期　明44布壹圓五〇錢　堀內傳右衛門覺書　二　伏見の里の豪興
堀部武庸筆記　寶永4　大高源吾詫證文　白井廣澤
波賀清太夫覺書　嘉永　淺野內匠頭宿割帳　凶
白明話錄　戶部良熙　義人不破數右衛門　伊藤仁齋と內藏助
大河原文書抄　江赤見聞記　七　大石良雄贈寺井玄達書　元祿
德川實記抄　元祿　室　大石良雄贈寺井玄達二書　元祿14
評定所一座存寄書　義人錄　二　鳩巢　大石良雄贈大石良雄書　元祿
徂徠擬律書　忠誠後鑑錄　八　正德1　小川恒充　大石良雄贈大石良雄書　元祿
松山叢談抄　赤穗義人纂書諸儒序跋　嘉永7　大石良雄贈大石良雄書　元祿
丁丑紀行　大高源吾　義士會　福本日南解說　三大9ゟ10和拾貳圓

◎義士大觀附解說

各題著名畸伯の彩色畫に說明を附し加ふるに名士の詩歌を添ふ
殿中の爭闘　五月雨の小夜の中山　大石父子男山八幡宮に
赤穗城中大會議　瑞泉院の賢行　祈る仇首を故君の墓前に捧ぐ
高田の馬場決闘　中柱の試所
英雄の閑日月　吉良邸討入
義徒と細井廣澤　不破數右衛門の惡戰
伊藤仁齋と內藏助　伏見の里の豪興
凶雛の急報に禱る　母の小袖
赤穗城と大石邸址　吉良上野介の最後
一領の遺鎧　興情の沸騰
義人と烈士　山科の隱栖
山鹿素行の慼化　吉良邸の引揚
義人錄の引用書　大石主稅の逃懶
愈阪山の櫻花　一黨の引揚
隅田川舟中會議　大石良雄の逃懶
桑の弓　天罰覿面
大石主稅一行琵琶湖　父兄へ訣別
大石內藏助良雄像　長蛇を逸す
大石良雄妻石束氏書箚譜記　片山某
大石良雄所藏小刀

鈴鹿の秋雨　圓山大會議　白河の關跡
雪裡の別盃　寒梅一枝　四方庵の快報
函嶺の回顧　戀の廣せる敵情
須磨の殘月　鳴立澤の旅合羽

□赤穂復讐全集　帝國文庫第三編　明42革貳圓
赤穂義士傳一夕話　三1　山崎美成　長門本忠臣藏14
忠義武道播磨石68　忠臣藏岡目評判30
狂歌忠臣藏當振舞34　院本裏評繪本忠臣藏8　集義堂一
俳諧忠臣藏10　二九亭赤面　正史實傳いろは文庫六三16　狂訓亭

△赤穂義人錄　室鳩巢著　寫本壹圓
□赤穂義人錄　室鳩巢著　四元祿16　和壹圓　五拾錢
附鳩巢先生義人錄後語（大地昌言錄）烈士報讐錄（三宅用晦著）壹
野三平傳大高忠雄寄母書、天野屋利兵衞傳、大石良雄自書像記
△赤穂誠忠錄　通俗教育普及會編　二大9布參圓

△四十六士論　山陰外史佐邨琴著　明20布貳　圓
□赤穂四十七士傳　青山延光著　大2布壹　圓
□赤穂義士傳　寫本壹
附義士傳十八箇條　奧田玄統輯　二嘉永4和壹圓　貳拾錢
繪入　合本　寫本貳　和壹圓　貳拾錢

△赤穂四十七士覆歷　假綴四冊　和壹　圓
△赤穂四十七義士碑　龜田興撰並書二尺三尺三拓本　三明43和壹圓
□赤穂中心義士談　西村豐岩崎元一著　洋裝五　拾錢
△元祿快擧別錄　三田村玄龍著　明43布壹　拾錢
□畫入大石良雄十八箇條申開實錄　永島庚重畫　繪本　明15和四　拾錢
△主家顚覆に際し大石良雄の處置　岩崎元一述　大15參　拾錢
△武林唯七母之事（自及して我子激勵顚末記）文久1寫五　拾錢
×赤穂義士切腹の見取圖　安嶋男爵家原藏尺四寸一尺七　五　拾錢
×淺野家時代赤穂藩之圖　彩色三尺六一尺八　壹　圓

△義士像　芳艷筆錦繪　和六圓五〇錢

□赤穂義士事蹟　岡謙藏編　明20布貳　圓
△赤穂義士家庭　西村豐著　大2布壹　圓

△赤穂義士筒腹及義臣遺事　奧田玄統輯　合本　寫本貳　圓
□義士傳附義士傳十八箇條　繪入　和壹圓　貳拾錢

□赤穂中心義士談　西村豐岩崎元一著　洋裝五　拾錢
△元祿快擧別錄　三田村玄龍著　明43布壹　拾錢

□元祿血淚史　塚原澁柿著　合本　大10布壹圓八拾錢
大7布壹圓五拾錢

×義士亂入之圖　五渡亭國貞畫　錦繪　檄三和五　圓

×義士良黑橋引上之圖　一勇齋國芳畫　錦繪　續三和六　圓
×義士墓前へ手向の圖　一勇齋國芳畫　錦繪　續三和貳　圓

△不共戴天　高橋祐雄著　赤穂四十七士傳大3和壹
□誠忠義士銘々傳　大野屋金藏版　和八　拾錢

△赤穂義士の修養　樂太仙著　明44革壹　圓
△國民必讀元祿忠節史詩談　野々山直記著　大14　八　拾錢

○義士眞筆集　寫本　壹　圓
△赤穂義士實錄　信夫恕軒著　洋裝　壹　圓

□恕軒遺稿義士の眞相　信夫淳平編　洋裝　壹圓
△大石良雄の末裔　樋口委著　明42　壹　六拾錢

×大石良雄の勤定帳　箱根神社所藏尺六寸一尺壹　圓
□大石良雄十八箇條申開　長谷川編彩色繪本　明15和五　拾錢

□大石良雄十八箇條申開實錄　永島庚重畫　繪本　明15和四　拾錢
□畫入大石良雄十八箇條申開實錄　松下鐵之助編　明28參　拾錢

△主家顚覆に際し大石良雄の處置　岩崎元一述　大15參　拾錢
△武林唯七母之事（自及して我子激勵顚末記）文久1寫五　拾錢

×精選審定赤穂義士一覽表　釋種蓬仙著　二尺六・一尺八　大13四拾五錢
□堀部安兵衞　福本日南著　大6布壹　圓

忠臣藏

△忠臣藏　井上十吉著　英文　六圓
Judaichi Inouye—Chushingura, 1910

△忠臣藏　デイクンス著　英文　五圓
V. Dickins—Chushingura or the Loyal League, 1910

△忠臣藏　ドースデマー譯　佛文　六圓
Albert Dousdebes—Tchou—chin—Goura ou une vengeance japonaise, 1886

△忠臣庫　鴻濛陳人撰譯下卷欠二乾隆59寫參　圓

□校訂忠臣藏淨瑠璃集　帝國文庫本　明44革壹圓五〇錢

△假名手本忠臣藏　竹田出雲作竹本直傳　嘉永3和壹圓　五拾錢
□馬鹿手本忠臣藏　寫本　蟲入　流行歌　壹　圓

□新板忠臣藏大津繪ぶし　繪入　上下合本和五　拾錢
□新板忠臣藏くどき　繪入　上下合本和五　拾錢

×假名手本忠臣藏双六　歌川國安畫彩色三尺二一尺四和壹
×忠臣藏討双六　錦江齋春艸畫　一尺五・一尺一　和八　拾　錢

御家騷動

△御家騷動の研究　國史講習會　新大14布貳　圓
△仙石騷動記錄（神谷轉主謀）　寫本天保6　壹　圓

△伊達騷動實記　大槻文彥著　揃二明42布四　圓

△屋代騷動記　薦口村安口氏寫　天保9　七　圓
房州屋代越中守家來川井藤左衞門高免之割付願書騷動記之寫

△酒井雅樂頭殿騷動記　寫本　貳圓五〇錢

△五萬石騷動　細野格城著　明44　參圓五〇錢
高崎藩領内百姓減納訴願の顚末

○信州仙人床　寫本　自一至八卷合本揃三　參圓五〇錢
諏訪因幡守殿御家騷動の顚末を詳記したもの

△諏訪騷動記　寫本　參圓五〇錢
諏訪因播守殿御家老職騷動一件を輯錄せるもの

政談

△大岡忠相秘事　寫本　壹圓五拾錢
□大岡政談　帝國文庫本　明34革參　圓

義民傳

△櫻宗五郎子別　紀伊國屋長之助寫　明27　參　圓
渡し場より岩橋村の千渡場中詮義御白洲迄芝居臺本
□佐倉宗五郎義民錄　岡本美津都司寫芝居臺本　明24壹圓　五拾錢
聽松逸士著　明20布貳　圓

△日本義民實傳　樋口二葉著　明43　貳　圓
△今古實錄佐倉義民傳　假名垣魯文誌　明15　和八　拾　錢

□佐倉宗五郎　碧瑠璃園著　洋裝　貳圓五〇錢

暴動及一揆

□相摸國しんど村百姓そうどうくどき　繪入　和參　圓
相摸國眞土村松木禮惡傳くどき

△英人旅館品川東禪寺へ暴徒押込候件御屆書　松平寫壹圓　貳拾錢
△大阪市中亂暴人名前並御仕置聞書　天保9寫壹圓　五拾錢
附攝州能勢郡村々一揆亂防聞書並に松平公聞札引下仕置件

△肥後相良領百姓騷立聞合下調　天保12寫五　圓
相良領人吉郡百姓が町人共の願による公儀設立の推茸山殖林を
百姓の不爲なりとし茸小屋を燒拂ひ夫より城下に入り名所を打
崩して騷立たる事件の聞合下調べ記錄なり

△德川時代百姓一揆叢談　小野武夫編　上冊　四　圓
下冊新昭2布　五圓　五拾錢

△相摸國しんど村百姓そうどうくどき　繪入　和參　圓
相摸國眞土村松木禮惡傳くどき

△英人旅館品川東禪寺へ暴徒押込候件御屆書　松平寫壹圓　貳拾錢
△大阪市中亂暴人名前並御仕置聞書　天保9寫壹圓　五拾錢
附攝州能勢郡村々一揆亂防聞書並に松平公聞札引下仕置件

△肥後相良領百姓騷立聞合下調　天保12寫五　圓
相良領人吉郡百姓が町人共の願による公儀設立の推茸山殖林を
百姓の不爲なりとし茸小屋を燒拂ひ夫より城下に入り名所を打
崩して騷立たる事件の聞合下調べ記錄なり

△德川時代百姓一揆叢談　小野武夫編　上冊　四　圓
下冊新昭2布　五圓　五拾錢

○油井根元記　平田正康藏印　寫本貳圓五〇錢
慶安の亂人油井正雪の事蹟を記したるもの　駿府御加番秋田安房
守內山下瀨三左門京大阪駿府等の見聞隨記と鈴木理左衞門の內
記とを折衷取捨せるものなりと云ふ

△安政水訴動日記　上州邑樂郡田谷村　雪卷　八　圓
安政二卯年上州邑樂郡田谷村外四ヶ村に起りし水騷動並に之が
訴願公事裁きに至るまでの詳細なる記錄

△安政年度讃岐農民の越境騷動　小野武夫史學大14　壹　圓
△幕末石州濱田藩下に起れる百姓一揆　村山林藏大8　四拾　五錢

△福山江地方刺人民暴動ニ付キ天裁伺　開拓次官提出　明6寫參圓
函館支廳所轄同所に於て收穫の儀に關し人民暴動を致せし爲奏
請を不經出兵鎭壓の責を負ひ太政官に提出せし待罪書

△伊勢國百姓暴動記　寫本　貳圓五〇錢
明治九年十二月十八日三重縣下第八區魚取村百姓暴動始末
△一揆の觀念　本庄榮治郎　經叢　大8　五拾錢
△德川時代の米騷動　阿部秀助　三訂　大6　參拾參錢
△米一揆　本庄榮治郎　經叢　大7　五拾錢
△土一揆　三浦周行　史林　大8　五拾錢
△米騷動の今昔　横田藤吉　國經　大7　五拾錢
△米騷動　有賀成可　辯協　大7　八拾錢　二
△米騷動の社會觀　櫛田民藏　國家　大7　五拾錢
□倉敷淺尾騷動史　渡邊賴母編　大8　六拾錢
△我が國社會史に現れたる一揆の研究　佐野學　解放　大14　參拾錢
△土民一揆と農民一揆　佐野學　解放　大14　六拾錢　二
△百姓一揆物語　小野武夫　中公　大14　八拾錢
△百姓一揆の鎭壓　佐野學　解放　大14　參拾錢
△舊幕府領の小作騷動　小野武夫　帝農　大15　四拾五錢
△作州鏡田藩の農民騷動　黑正巖　史地　大14　五拾錢
△元文騷動（鳥取藩百姓一揆の事）　小杉生　帝農　大15　五拾錢
△筑後騷動記　雜中史　大13　壹圓
△維新後に於ける農民暴動　小野武夫　農研　大15　參拾五錢
△明治初期の百姓一揆　梅原北明　解放　大15　參拾錢

日本災害史

△災害の種類と其沿革　江馬務　風俗　大15　拾錢
△天災を背景として見た史上の文化　和八　拾錢
高須芳次郎　熟期及び其建設期　五　拾錢
△德川時代に於ける天災地變　中史　大11
田代善吉　歷地明13　貳圓一六錢
△平安朝末期の國民思想と天變地異　森德太郎　風俗　大15　和八　拾錢
△江戸時代に於ける天災と政治との關係　栗田元次　中史　大11　五拾錢
△天災を豫防した鈴木爲蝶軒　大塚久　中史　大13　五拾錢
□明暦安政及大正の雛　東京市編　復興叢書　大13　四拾錢

○安政見聞誌　彩色繪入　揃三和拾　圓
安政年度の大地震に於ける江戸の災害記にして著者が當時江戸中を奔馳して見聞隨記隨畫せるところ。文に修飾なく詳しく實況を寫し出でたり。凡そ四十六項畫圖二十八に及ぶ
○安政風聞集　金屯道人著　揃三和拾　圓
安政年間天災前後の巷說・見聞雜事の筆記
△地震史と其エピソード　高須芳次郎　中公　大12　八拾錢
×永代記　錄　島根堀氏寫　貳
嘉永七寅年安政二卯年等の震災記錄其他の雜事を書留む
△江戸から東京への震災ごよみ　矢田挿雲改造　大12　五拾錢
△地震三十六歌仙　寫本　安政2　貳

△日本震災史　社會史研究　特輯　大12　壹圓五拾錢
△本邦地震考　和田雄治　統集　明17　壹圓七六錢
△日本大震災史　藤澤衞彥　中史　大10　五拾錢
△本邦中古の地震　和田雄治　統集　明18　壹圓七二錢

震火災史

△日本災異志　小鹿島果著　洋裝參拾五圓
△日本の災害　河合利安　統集　二明32　貳圓三錢
△東京市役所編　變災篇　大3ゟ6　散賣四　未完揃五　貳　拾　圓
史稿　第一册　變災史　關東首府時代ノ震災　天正迄　慶應迄
覇都時代ノ震災　帝都時代ノ震災　明42迄
第二册　變災史　關東首府時代ノ風水災　慶長迄
覇都時代ノ風水災九百82　慶應迄
第三册　變災史　帝都時代ノ風水災五百93　明45迄
橋斷23　明30迄
關東首府時代ノ飢饉6　慶長迄
覇都時代ノ飢饉17　慶應迄
覇都時代ノ疫癘百53　慶長迄
帝都時代ノ疫癘百70　明40迄
第四册　變災史　關東首府時代ノ火災6　慶長迄
覇都時代ノ火災千83　慶長迄
安永迄
第五册　變災史　覇都時代ノ火災九百50　慶應迄
帝都時代ノ火災三百30　明40迄

△地震報告　宮崎測候所（大六・七年度）　二大8　貳　圓
△眞幸地震ト噴火報告　宮崎測候所　大3　貳　圓
△嘉義地方震災誌　臺灣總督府民政部　明40　壹　圓
△千葉縣管內地震報告　銚子測候所　大五年度　七　拾　錢
△關東地方ノ多震ニ就テ　明38　七　拾錢
△明治三九年二月三・二兩日神奈川縣下地震記事　縣測候所　七拾錢

凶荒史

▲宮城縣凶歉誌　宮城縣（明三五年度）　明37　貳　圓
△福島縣凶作救濟概要　福島縣（明三六年度）　明39　八　拾　錢
△宮城縣凶荒誌　宮城縣（明三六年度）　大5　布貳圓五〇錢
△福島縣凶荒誌　福島縣藏版　揃二明43　七　圓
△大正二年青森縣凶作救濟誌　青森縣藏版　大4　布參　圓
△青森縣凶作狀況一斑　青森縣　大3　壹　圓
△天明大飢饉後の鈴木爲蝶軒　大塚久　中史　大14　五　拾　錢
○天保凶歉の經濟的觀察　石卷亘夫　中銀　大10　五　拾錢
△寬喜大飢饉の顚末及其影響に就て　藤原猶雪　史雜大15　五　拾錢
△饑饉は衞生に大關係あり　杉亨二　スタ　明21　九　拾錢
△饑饉の豫備　杉亨二　スタ　明21　九　拾錢
△飢饉の話　佐野學　我等　大11　五　拾錢
△東北凶歉と稻作　横井時敬　日經　大3　四　拾　貳　錢
△東北凶作地方狀況の瞥見　三浦哲郎　日社　大3　四　拾錢
△東北凶作と外米輸入稅減廢　秋村居士　東經大2　四　拾五錢

△大震火災誌　神奈川縣警察部編　三餘頁　大15　革四圓五〇錢
△大震災震害及火害之研究　警繕管　財局編　新大14　布六　圓
△大正震災志　內務省社會局　美本天金附圖共揃三大15　布拾五圓
◎大正震災志寫眞帖　內務省社會局　天金美本橫大15　布五　圓

△救荒誌　福島縣編　明36　參　圓
△增補救荒事宜　齋藤拙堂著　文久1和　參　圓

△濟救記聞　常陸且暮庵野巢輯　天保版和貳圓二〇錢

震災と其結果

△震災後の失業問題　河津暹　社會政策　大12 六拾錢
△大震災と社會政策　赤井亨　社會政策　大12 六拾錢
△大震災と社會事業　田澤義輔　社會政策　大12 六拾錢
△震災後の朝鮮人に關する統計的概觀　小野國家　大13 五拾錢
△震災の影響を憂ふ　上田外時　大12 五拾錢
△大震災善後會報告書　同會編　大14 布壹圓五拾錢
△震災の影響を憂ふ　本庄榮治郎　經叢　大12 五拾錢
△安政の震災と救濟策　本庄榮治郎　經叢　大12 五拾錢
△安政震災の復舊策に就て　本庄榮治郎　經叢　大12 五拾錢
△安政震災の復活　三田村鳶魚　改造　大12 五拾錢
△震害の農村に及ぼしたる影響　協調會大三年十月調　八拾錢
○安政及桑港震災ト今回ノ震災ノ經濟的關係　三邊金藏　財經　大12 參拾錢
△大震災後の失業救濟法　三邊金藏　財經　大12 參拾錢

震災と産業

△大震火災損害額計算に就て　古館市太郎　計理　大13 四拾錢
△震災地と産業組合　大森健作　經叢　大12 五拾錢
△震災と本邦纖維工業　資料　大13 壹圓
△三池鑛山震災損害要償事件の法理的觀察　江木哀　新報　明28 壹圓壹錢
□大震災經濟史　時事新報社編　大13 壹圓
△平時經濟と震災經濟　大內嗣次　經商　大12 貳圓
□震災經濟誌　河田嗣郎著　大13 壹圓
△安政桑港兩震災の經濟的影響の比較　勝田貞次　銀研　大12 六拾錢

震災と生命保險

△震災に關する生命保險統計　竹下清松　保雜　大13 七拾五錢
△震災に關する生命保險統計　鈴木敏一　保雜　大13 七拾五錢

△震災に關する生命保險統計　奥石丑太郎　保雜　大13 七拾五錢
△震災に關する生命保險統計　土肥梶太郎　保雜　大13 七拾五錢

火災志

○最近十年間に於ける東京市の火災統計　高井保評　大1 八拾錢
△明治四十五年大阪市大火救護誌　市役所編　明45 布壹圓
△大阪火災と火災保險　村上隆吉　國經　明92 九拾五錢
△函館大火に關し火災保險事業に就て　村上　國經　明40 壹圓五錢
○石卷湊大火之狀　文久三年三月廿二日（陸前國）　寫本　元治1 和貳圓
□洛中大火夢物語　繪入
△大阪市大火救護誌　大阪市役所編　明43 布壹圓五〇錢
△大阪大火と火災保險　村上隆吉　國經　明42 九拾五錢
△大阪大火義捐金の處分私案　河上肇　日經　明42 五拾七錢

噴火史

○日本噴火誌　震災豫防調査會　揃二洋裝　拾參圓
○文月淺間記　上毛羽毛氏撰　寫本　參圓五〇錢
△淺間山噴火記錄及燒岳蹈査報告書　長野縣　明42 壹圓五拾錢
△淺間火山調査書　大森房吉述　明45 七拾錢
○磐梯山破裂の記　關谷清景　安述　理科大學紀要論文　洋裝　五圓
□磐梯山噴火實況　大塚又兵著　明21 壹圓
▽阿蘇大火山附溫泉勝地　角田政治著　大14 四拾錢
○櫻島爆發紀念寫眞帖　杉本寫眞館　橫大3 布壹圓五拾錢
□櫻島大爆震記　同記編纂事務所　大3 八拾五錢
○櫻島噴火の研究　小藤文次郎述　理科大學紀要　洋裝　七圓

△大正三年櫻島噴火記事　九州鐵道管理局　大3 布壹圓五拾錢
○櫻島大噴火寫眞帖　杉本寫眞館　橫大3 布壹圓五拾錢

△櫻島噴火狀況　講話會編　大3 壹圓
櫻島噴火ニ就テ36　押川則吉　噴火及地震豫知ト櫻島噴火ニ就テ28　今村明恒
櫻島爆發ノ被害8　谷口留五郎

海嘯史

△宮城縣海嘯誌　宮城縣藏版　明36 參圓
△海嘯義損小說　文藝俱樂部增刊　明29 壹圓
○大海嘯被害錄　風俗畫報增刊　明29 八拾錢
○日本ニ於ケル津浪ニ就テ　大森房吉述　震災豫防調査會　明43 參圓五〇錢

風水害史

△元祿十五年八月雲州大洪水被損所書付寫　嘉永3 五拾錢
△東京風水害救濟會報告書　中村由次郎編　大7 五拾錢
△東北九州水害救濟會報告書　同會　大3 布八拾錢
△享保二十卯年洪水之日記　布川氏寫　嘉永5 貳圓
×奈良縣下十津川地方變災害實況圖　東京朝日附錄　明22 八拾錢
和歌山縣下西牟婁郡中變災實況圖

△埴科水害誌　埴科郡役所　大1 壹圓
△武相兩國境川水荒御普請所日錄見帳　天明6 寫壹圓
△水害と森林の關係　川瀨善太郎　明43 五拾四錢
□他國洪水にて田畑損毛御鄙公儀被仰上留横天和3 寫壹圓五拾錢
亥ノ月廿三日同廿六日兩度風雨に付紀州並勢州領分在に損失之覺
○大正十四年七月中間京城附近ニ於ケル漢江氾濫調査報文　立岩巖述　大14 貳圓
○近年に於ける朝鮮の風水害　總督府觀測所　大15 參圓八拾錢
△水害並暴風雨より受たる我邦の損失　河合統集二　大4 壹圓四錢

國體史

△國體論史　內務省神社局　大10 四圓
○大日本皇國國體要論　中川周順著　大1和貳
△尊嚴なる我國體　佐瀨範雄著　大4和八 拾錢
□國體觀念の研究　池田直孝著　新大12 布壹圓 九拾錢
△帝國の國體と帝國憲法　美濃部達吉　法協　大2 七拾五錢
△皇國國體根柢たる古神道に就て　筧克彥　法協　三大3 貳圓拾錢
△我が國體の特長を論ず　佐藤丑次郎　法論　大6 六拾錢
△建國の大精神　田崎仁義　商濟　大15 五拾錢
□日本の堅實性　永田秀次郎著　大13 布壹圓
△崇神天皇は國家統一の時期を劃すもの也の私見　明44 八拾五錢
河上肇　京法

國旗志

△國旗論　松波仁一郎　國際　大3 七拾錢
△大日本國旗山口正勝著　大14 八拾錢

□大日本帝國國旗　亘理章三郎著　新大14 布貳圓五〇錢

民權史

△日本民權發達史　植原悅二郎著　大5 布參圓五〇錢
△明治民權史論　中野正剛著　大2 布參圓五〇錢
△維新前の民衆運動　尾池義雄　解放　大14 五拾圓
△東陬民權史　關戶覺藏著　明35 革參
加波山義擧の事を主とし諸士の精神行動を畫ける實錄なり
△佐幕論と民權論　尾佐竹猛　歷地　大14 四拾五錢
△戰國時代都市發達の上に現はれた民衆力　高須中史　大11 五拾錢

□鮮血愚魂　大日本民權史　東洋狂史著（久永廉三）　表紙傷明21　貳圓五〇錢

政治思想史

△天保鏡連々草　鈴木惠助寫　嘉永4　四圓
天保年間水野越前守忠邦執政當時の時勢世情を連歌・發句・川柳・芝居狂詞等に書き綴れるもの

○風流田沼たん歌　寫本慶應4　參圓
内憂外患最も多端なりし幕末當世の朝野諸藩世態の詠草

△當世よぼくれぶし　寫本（幕末世論物語）慶應4　貳圓

△日本政治史上公議輿論の意義　稻田周之助新報大2　七拾五錢

△國會開設ヲ願望セザルベカラザル儀ニ付意見書　豐前中津亦一社　明12　和參圓

△心いきとゞいつ婦し　各藩見立の諷刺どゝ逸　寫本壹圓五拾錢

△時勢作千代穗久禮　上州茂林寺守鵜作　安政4寫貳圓

△新井白石の政治思想　粟田元次　史地　大11　五拾錢

△西南戰爭後より憲法發布に到る政治思想　山田止才三　國家　大14　五拾錢

日本思想史

△現代日本之思想界　伊藤銀二編　明40　布壹圓五拾錢

△國民道德の本質としての祖先崇拜　永茂助　法政三大12　壹圓五〇錢

△日本古代の祭政と法律　川面凡兒　國國二大3、4　壹圓八錢

△祖先の祭祀と現行の法律　野村調太郎朝司　大15　參拾錢

△日本古代思想史　橋惠勝著　大11　布貳圓五〇錢

△日本に於けるソリダリテイの思想　瀧本誠一　三學大11　五拾錢

▲國史上の革命思想　三浦周行　中史　大5　六拾錢

△山城國民議會祕譚　阪本勝　解放　大14　五拾錢

△日本社會運動史　高畠素之　解放　大13　五拾錢

△日本社會運動史論　白柳秀湖　中公改造　大8　五拾錢

△日本社會主義運動史　山口孤劍　大8　五拾錢

△日本に於ける我國民性　石坂音四郎　京法　大3　七拾錢

△我が民族性に就て　佐藤丑次郎　京法　大3　七拾錢

△交通機關より見たる我國民性　下村宏　國國大5　四拾八錢

△古き外人の觀たる日本國民性　蟾川新譯　大10　七拾錢

□國民性の上より觀たる鏡の話　石橋臥波著　附御卽位大典と鏡民俗叢書大3　參圓

△日本人は好戰的國民なりや　大森金五郎史地明26　壹圓七五錢

□日本人の精神研究　大川周明著　新昭2　布貳圓　貳拾錢

國民性

△日本の國民性（日本は軍閥國なりや）原敬　外時大9　五拾錢

△我が國民性に就て　戶田海市　京法　大3　七拾錢

△戶田博士の國民性論を評す　佐藤丑次郎　京法　大3　七拾錢

△我が民族性に就て　佐藤丑次郎　京法　大3　七拾錢

△西周先生の百一新論に於ける法理思想　鵜澤總明　法協　揃二明41　貳圓

國國　揃五大4　貳圓六拾錢

△日本帝國主義の發展　高橋貞樹　マル　大14　四拾錢

△再び科學的日本主義に就て　志賀義雄　マル　大14　四拾錢

△科學的日本主義の理論に就て　赤松克麿　マル大14　四拾錢

△明治の文明と近代思潮　樋口龍峽　新日　大2　九拾錢

△明治時代の思想界　清原貞雄　史地　明44　八拾五錢

△幕末に於ける帝國膨脹の思想　魚住　史地　明26　壹圓七五錢

△國史上の革命思想　三浦周行　中史　大5　六拾錢

△上代人の思想　中村孝也　歷地　大14　四拾五錢

△古代日本人の民族的觀念　松本芳夫　史學　大9　壹圓

△近世思想問題の回顧　藤井甚太郎　中史　大5　六拾錢

△江戶時代思想の回顧　佐々木臥山　歷地　三大7　壹圓參五錢

△德川時代思想の一考察　佐々木臥山　史地　大5　六拾錢

△明治思想界の啓蒙時代　佐々木臥山　史地三大6　壹圓六五錢

△明治元年の御誓約と我國立憲思想の淵源　山口鋭之助　歷地　大13　四拾五錢

△明治大正思想史の傾向　佐々木臥山　中史　大1111　五拾錢

△歷史上より見たる現代思想　喜田貞吉　歷地　大1111　四拾五錢

建白志

△諸家上書往返尺牘拔萃　寫本二嘉永6　七圓
松平越中守・薩摩守・外當時の當路者が鳩首凝議して時勢に應策せる尺牘及露西亞尺牘浦賀鎭臺屆書等に好史料多し

○獻芹徵　菊地海荘（諸般行政の件）寫本壹圓五拾錢

○牧野遠江守及菅原蕙子建白　寫本慶應4　壹圓貳拾錢
前者は徒罪書にして後者は痛烈なる攘夷的建白書なり

▲木戶・板垣・島津・有栖川宮諸建言書　邑野奮藏　明8七　拾錢

△出所不知無名公京師へ上書の寫　寫本貳
黑船來航當時の建言にて末尾に附したる一文は當時の世界國際關係を視る一資料たらん

□獻策新編第一集　高深忠義編（戊辰前後諸家建白）明10　和壹圓

△建言二十ケ條御尋問　島津久光　二
政道御不審二十ケ條に付三條公へ御尋問の寫なり　寫本明8壹圓

△高知縣立志社建白書　寫本　貳圓五〇錢
時世を慨し政府の失政專壇を糺す上奏文なり

△幕末時務建言書　寫本　壹圓

△建白　石本寫　安政4　八拾錢

亞米利加使節來朝に際し萬石以上諸侯への達書及其意見書なり

○林子平上書　寫本　參圓
學政、武備、制度、法令、賞罰其他合計九篇に分ち上書せる寫し

○水府公不可和之議　舊矢島文庫藏　寫本（治國策建言）貳圓

○內建白　崇德天皇之御社地御治定に付き保元の忠臣合祀方を建白せる也　寫本慶應2　壹圓

○紀州公建白・文久勅書・長井上書・江戶御仰出　寫本貳圓

○再上閣老書　大橋順藏　寫本安政1　貳圓

異國船渡來に就きて時の堀田閣老へ海防策を建言する寫しなり

○大槻獻策　大槻清崇書（黑船關係）寫本嘉永6八拾錢

△島地默雷建白・東京日々新聞投書寫　明6　壹圓
神佛混淆反對に就て敎部省へ上書せるものなり

□建白　杉山茂丸（首相政道改革建白）大12　壹圓五〇錢

○堀平太左衛門並島田嘉津次上書　高木寫　天保15　壹圓參拾錢
肥後細川家の擧用せる儒臣堀の上書及堀に關し島田の上書

□七郷薩州因州日本橋張紙浪士建白　元治頃寫　四圓
尊王攘夷に關し或は失政に對し前記各家よりの上書及當時日本橋上に張紙せるものを寫せしものなり

△九鬼式部少補建白　弘化4　四圓
國防に關する上書にて兵制に武具に詳細を極むる長文なり

△山下廣內上書同書評　岡宮源好信寫　寬政5　拾貳圓
金融財政改革を論じ夫れに對し伊豆守、越中守其他の評言あり終りに物價論を寫したるもの

△水府公獻策　淺井氏書

△植崎氏上書及町人より差上御書付の寫　寫本安政2　壹圓五拾錢
小身の武士及び町人より政道改革に就き歎願的意見書の寫也

□谷干城氏意見書　寫本明7　貳圓五拾錢

○谷干城君意見書　靖民甫寫　明22　壹圓八拾錢
歐米視察より歸朝後內閣に出したる文にして條約改正其他國策

勤王志

△貝原益軒の勤王思想　藤井甚太郎　歷地　大8　四拾五錢

△心學の勤王說　藤井甚太郎　歷地　大8　四拾五錢

日本社會主義志

△本邦社會主義（初期）文獻　石川茂　マル　大15　四拾錢

△桂內閣と社會主義者　橫山勝太郎　辯協　明43　七拾貳錢

○林子平上書　寫本　參圓
學政、武備、制度、法令、賞罰其他合計九篇に分ち上書せる寫し

○日本現在の社會主義　桑原册二郎　日人　大11　五拾錢

△日本に於ける社會主義運動の發達　淺野研眞法政　二大10　壹圓

△最近日本に於ける婦人社會主義運動　伊那玄夫社政大10　六拾錢

△明治社會主義史概論　石川三四郎　大13　參拾錢

△德川時代の社會主義　國家　九明27　拾五圓

起原史

△萬物のはじめ　大坂笹屋板　繪入　和貳圓

□萬物のはじめ　江戶森屋板　繪入　和貳圓

△雅俗傾覽日本事物起原　金子晉編　明36　參圓

□明治事物起原　石井研堂著　洋裝　五圓五〇錢

▲古今事物起源　遠藤隆編　明45　參圓五〇錢
□明治新刻日本温古類聚　島津倉治編　明18　參　圓
□事物原始一千題　岸上操著　寸珍百種　明25　貳　圓

日本文明

□文明東漸史　藤田茂吉著　洋裝　參　圓
△東西文明の調和　大隈重信著　大12　和壹圓五拾錢
△文明論之概略　福澤諭吉著　揃六明8和貳圓五拾錢
□文明論之概略　福澤諭吉著　明10　革貳圓八〇錢
□内部文明論　川尻義祐著　明17　布參圓五〇錢
△文明開化　加藤祐一著　繪入　明6和四　圓
△文明餘響　三尾重定編　繪入　揃二明11和貳　圓
□文明田舍問答　松田敏足著　初編繪入　明11和貳　圓
△日本文明叢話　足立栗園著　大6布壹圓五拾錢
□日本文明史　北川藤太著　明11　壹圓五拾錢
□日本文明史　大川周明著　新大15和貳圓二〇錢
△日本文明史略　文部省編輯局編　繪入　揃五明20和參　圓
□大日本文明略史　福田久松著　明24　布貳圓二〇錢
△略訂日本文明史略　物集高見著　明35　布壹圓五〇錢

△生活と趣味より觀たる日本文明史話　物集高見著　大4　布貳　圓
△日本文明史　大町桂月著　帝百　明37　布八拾錢
△最近日本經濟的文明史　ポーター著英文　布拾　圓
P. Porter-The full recognition of Japan. 1911
△阿波國最近文明史料　神河庚藏著　洋裝　拾參圓
□文明開化内外事情　東江學人編　彩色繪入　明6和壹圓五拾錢
△江戸時代西洋文化輸入の公許に關せる隱れたる媒介者九拾錢　中澤澄男　歷地　明41
△日本文明と其經濟的價値　丹羽筑山　東經　明44　五拾壹錢
△サンダーランド博士の日本文明を讀む　小齋緯協大10四拾錢

日本世相史

△近世日本世相史　齋藤隆三著　新大14布五　圓
△元祿世相志　齋藤隆三著　明38　參圓五拾錢
△元祿時代に於ける奢侈の增進　古田良一史地明44　八拾五錢

日本關學志

△文明源流叢書　國書刊行會第三期　揃三大2ふ5貳　拾　圓
第一册
日本文明之先驅者　大槻文彦　乾坤辨說　四　寬政10　西吉兵衛和書　向井玄松辨說
蘭學事始　二　杉田玄白　曆象新書　六　寬政10　志築忠雄
南蠻寺物語　二　氣海觀瀾　文政10　青地林宗
天馬異聞　文化　植學啓原　三　天保4　宇田川榕庵
伊會保物語　三　萬治　解體新書　四　安永3　杉田玄白
漂荒紀事　六　天明8　和蘭醫事問答　二　寬政7　杉田玄白答
蘭學階梯　二　天明8　大槻玄澤
蘭學逕　文化7　藤林淳道
輿地誌略　八　青地林宗
紅毛談　二　明和2　後藤梨春
紅毛雜話附紅毛服飾圖式　五　天明7　森島中良
蘭說辨惑　二　天明8　大槻磐水
第二册
古今事物起源　墨田宇宙三觀歌　雜史　佐野雉日嶺遊行
日本文明史話　羽田捕鴨場に遊ぶ記　雜史　辭は佳辭
日本文明叢話　三浦自愛　雜歟　阿彌田佛
學問ノスヽメ　福澤諭吉著　漫評　北清風俗
北清觀戰記序　北海　揃一四　和四圓五〇錢

日本の開化

△新學の先驅　土屋元作著　明4　布四圓五〇錢
我國歐洲文明受用の歷史にして新學の源委・詳叙遺すこと靡く
文化の因果、瞭然之を知るべし

△繪入開化往來　宇喜多練輯　明6和壹圓五拾錢
□通俗繪入日本開化之性質　田口卯吉著　明19　壹圓貳拾錢
△開化之本　西村兼文著　繪入　明7和參　圓
△大日本開化史　羽山尙德著　揃四明21和八　圓
□日本開化小史　田口卯吉著　揃六　貳圓五拾錢
□開化ばなし　長谷川忠兵衛編　明18和壹圓五拾錢
□開化美やげ　假名垣魯文著　揃二明5和參圓五〇錢
曉齋畫

△開化問答　小川爲治著　揃二明7和四　圓
△開化古徵一　柴田花守著貞信畫　揃二明7和四　圓
名御布令敬承譚初集
書中大意の事　裸體を禁ぜらるる事　皇太神宮神靈の事
長崎縣市中へ御諭書の事　椅子に腰を懸る事　學校の事
外國へ親睦の事　風俗の變る事　種痘の事

□樂天錄　田口卯吉著　明17　布八拾錢
日本の唱歌　グリム舞踏會
興雲降雨の術　ヤツプの石貨
熱海　バラオ倶樂部
寶氏經濟野話序　京都
想像世界　箱根
箱根山　杉田觀梅記
南洋　駿豆
三日順禮　日本開化之性質
題詠　相撲物がたり

日本文化

□日本文化史　揃二大11布貳拾五圓　散寶貳圓貳拾錢
古代　安藤正次著　南北朝時代　中村直勝著
奈良朝初期　西村爲之助著　魚澄總五郎著
平安朝中期　太田亮著　花見朔巳著
平安朝末期　安土桃山時代　白澤清人著
鎌倉時代　西岡虎之助著　江戸時代前期　清原貞雄著
竹岡勝也著　江戸時代後期　吉雄忠雄著
龍嘉著　明治時代　杉田成卿著
△日本文化史研究　内藤虎次郎著　新大15革參　圓
△文化觀　龍居松之助著　大10布壹圓五拾錢
□日本文化史(江戸時代前期)　白澤清人著　大11布壹圓八拾錢
△日本文化生活史　西村文則著　大13布參　圓
△日本古代の文化　日本歷史地理學會　洋裝　壹　圓
□東洋文化振興ニ關スル協議會議事錄　木下編　大11　八拾　錢
△稿本國民文化史概論　中村孝也著　大11布參圓八〇錢
△明治文化の研究　解放特輯號　大11布壹圓五〇錢
△明治文化發祥記念誌　森脇美樹編　大13　八拾　錢
△明治文化の記念と其批判　森脇美樹編　大14　五拾　錢
△京阪文化史論　史學地理學同攷會　洋裝　參圓四〇錢
△大阪文化史論　大阪市民博物館　洋裝　參　圓

△日本文化の獨立　内藤虎次郎　史地　大8　五拾錢
△日本國文化の特色　中村孝也　中史　大5　六拾錢
△我が上代文化に於ける地方相　後藤守一　中史大10　五拾錢
△樂浪帶方二郡の遺民と我が上古の文化　木宮歷地大12　四拾五錢
△大　内氏の　文化　伊木壽一　二大9　貳圓
○江戸時代に於ける文化事業　本多辰次郎　太陽大11　八拾錢
△日本の　文化的使命　後藤新平　外時　二大9　壹圓
△世界新文化の開展と日本　手塚小南　國聯大11　四拾錢

明治文化書誌

△雜誌　新舊時代　明治文化研究會　大14創刊・月刊散賣參拾錢　一號ヶ三年間揃
○明治名著集　博文館（太陽臨時增刊）明40　壹圓五〇錢
學問のすゝめ　福澤諭吉　啓蒙植物集說　伊藤圭介
百一新論　西周　小說神髓　坪内雄藏
日本經濟論　田口卯吉　社會改良と耶蘇教との關係
人權新說　加藤弘之
民約譯解　中江篤介
王法論　鳥尾小彌太
論理新說　井上哲次郎
天賦人權論　馬場辰猪
文明東漸史　藤田茂吉

宗教史

△日本宗教史　土屋詮教著　早稻田叢書　明41革　貳圓五〇錢
△日本宗教史　土屋詮教著　新大14布五　圓五〇錢
△日本宗教史　比屋根安定著　大14革八圓　五拾錢
新大15革拾　圓
△日本宗教史　土屋詮教述　早大四三頁
□日本宗教全史　グリフィス著　英文　布壹圓　五拾錢
W. E. Griffis—The religions of Japan. 1895　布貳　圓

△通俗東西比較宗教史　加藤玄智著　明36　貳圓五〇錢
△朝鮮宗教史　青柳南冥著　明44布壹圓　五拾錢
□日本の宗教及其現勢　松岡艮友著　大6布八　拾錢
□神代史と宗教思想の發達　津田敬武著　新大14布四圓八〇錢
△日本佛教史之研究　辻善之助著　大14布四圓五〇錢
△日本佛教外史　菊地亮三郎著　大37布四　圓
△日本佛教史論　石原則聞著　帝百　洋裝壹　圓
△小乘佛教史論　舟橋水哉著　明37　壹圓　八拾錢
△禪林文藝史譚　上村觀光著　大8布貳　圓
△新編日蓮宗歷史　影山堯雄著　大10布壹圓　五拾錢
△日蓮宗史要　磯野本精著　大3布貳圓　八拾錢
□日宗史談附統合史論　小笹原殺堂著　大1布壹圓　五拾錢
□曹洞宗史要　麻疇舌溪著　明26布壹圓　八拾錢
△釋尊御遺形傳來史　小室重弘著　明36布壹圓　五拾錢
□批判的日本佛教史　足立栗園著　大3壹圓　五拾錢
△日本佛教史綱　村上專精著　揃二洋裝　拾　圓
△佛教の美術と歷史　小野玄妙著　洋裝　拾　圓
△僧侶の物質的事業　尾田信直　史雜　三明29　四圓八〇錢
△日本佛教小史　境野黃洋著　明44布八　拾錢
△宗教統計　高橋二郎　統雜　明25壹圓　貳六錢
△國勢調査に於ける宗教　世良太一　統雜　明35　九拾錢
△我宗教制度の將來を論ず　清水澄　國家　明40　壹錢
◎我國宗教制度の將來に就て　清水澄　新聞三　大4　六拾錢
△國家と宗教の溯革的觀察　渡邊清太郎　法政　明33　壹圓　四拾錢

西教史

△日本西教史　太政官飜譯　内閣記錄課藏版　揃二明27　貳拾貳圓
△日本基督教史　山本秀煌著　揃二大14布五　圓
□西教史談　山本秀煌著　大8布參　圓
△長崎叢書（耶蘇會年報）　村上直次郎譯　大15　貳　圓

社寺志

△中世寺院法の貨幣說　山口正太郎　我等　大13　五拾錢
△中世寺院法と銀行業　山口正太郎　銀研　大14　六拾錢
△中世寺院法と社會問題　山口正太郎　國經　大14　五拾錢
△中世日本の寺院領　朝河貫一　歷地　明45　七拾貳錢
△延久記錄所の意義　三浦周行　史地　二大8　壹圓
△德川時代に於ける寺社境内の私法的性質　中田薰　國家　三大5　壹圓　八拾錢
△武家時代の神道概觀　山本信哉　法政　大14　五拾錢
△神社敎賛制度の一例　黑正巖　經叢　大15　五拾錢
○社寺領性質の研究　三上・芝・辻著　東大文科紀要　大3　貳拾五圓

外交史

△外交史稿　外務省編　二洋裝　貳拾五圓
△日本外交史　木島幸藏　國際　五明41ヶ42　五　圓
△德川家康の外交政策　柴謙太郎　史雜　四二明37ヶ40　四拾六圓

△幕末外交談　田邊太一著　洋裝　參拾五圓
△幕末之外交　高橋宇一著　明39　壹圓　八拾錢
△日本最近外交史　齋藤文藏述　國史講習會　四四頁　壹圓　貳拾錢

最近三十年外交史

有賀長雄著　揃二明43革六　圓

明治外交要錄

小川平吉著　明35　貳圓五〇錢
△日本と東亞に於ける歐洲協調　有賀長雄外時　明31　壹圓　參拾錢
△世界五大講和會議の史實と其の比較　牧野國知　大8　壹圓　六拾錢
△尼港事件と世論是非　蜷川新　外時　大9　五　拾錢
○尼港問題と蘇丹事件　田川大吉郎　洋經　大9　參　拾錢
△外交史上より觀たる倭寇　後藤秀穗　外時　四大4　貳圓　八拾錢
△滿洲問題と日本外交の將來　北崎進　東經　明43　五拾四錢
△日本平和運動史　松下芳男　國知　二大12　壹　圓
△蒲生氏鄉の羅馬遣使に就て　辻善之助　史雜大15　五　拾　錢

外交思想史

△日本に於ける平和思想發展　澤田節藏　國知大14　五　拾　錢
△江戸時代の開國思想に就き　上野菊爾　歷地明44　七拾七錢

異船渡來記

○鹿兒島灣沖黑船碇泊せし儀ニ付　松平大膳太夫控寫本壹　圓
○浦賀表江渡來之亞墨利加船よりの書翰和解　寫本　壹　圓
△亞墨利加船之儀ニ付急遽申上候書付（伊豆守）　寫本壹　圓
提督ペルリ日本全權林大學頭取極候條約附錄
△異國船打拂一件（黑船渡來の節の諸藩應策事情）八　拾　錢
△月　光　山鹿素水著　嘉永1寫貳圓　五拾錢
酉　異國船渡來に付相州守衛を命ぜられたるに關し上家老より輕輩に至る迄の心得を記したるものなり

外國の影響誌

△異椿生譚　月下亭東流作　東春嶺畫　揃三文化5和拾五圓

「千種侯家惜春談古今」より延て一劍を紛失し種々の事を惹起し遂に椿生芳園の雛を報い「劍氣化龍歸侯家」と云ふ條に終れる一の仇討話にして文章に間々異國語を取入れ挿畫甚だ多くして中に異人の姿態を畫けるもあり

對外思想史

△田原珍事記　寫本　參圓

弘化三年三州田原侯領海へ黑船出現の際に於る公儀の措擧政令巷間の異事奇聞其他を書き記せるもの

△脇坂中務大輔へ横濱町人より駕籠訴狀之寫萬延1寫壹圓

△異船來朝に際しての諸侯鳩首熟慮の雜志　寫本　壹圓

□憤懣論附缺舌或問缺舌小說　渡邊登著　內藤耻叟校　明24八拾錢

△松代侯之臣佐久間修理書上之寫　小蟲寫本　天保13貳圓

內外の情勢を痛論し邊備の急務なることを論述す

△夷船打拂之儀ニ付長府ヶ小倉江使者應接書　寫本　壹圓五〇錢

京都警備並姉小路家一條其他諸件

△長州新聞（薩長二藩外國船砲擊戰鬪狀況）　寫本　壹圓

△照顏錄・坐獄日錄　吉田松陰著　合册和壹圓

△校正幽囚錄　吉田松陰著　明12寫貳圓五〇錢

○海國兵談　林子平著　寫本揃三貳圓五拾錢

○井伊直弼の開國政策に關する功過の判斷　槙松考昭　洋經　明42五拾七錢

△開席料理三者論　因循堂主人作　寫本　貳圓五〇錢

儒者藝者醫者との問答に假托し藝者の口を籍りて長藩等の攘夷鎖國論は私利を謀らん爲に唱ふる癖見なりと喝破し幕府の開國策は內外の情勢を達觀せる高見なりと主張せるものなり

△日本人の對外思想を論ず　丹羽筑山　東經　明41六拾錢

△佐久間象山の對外意見　井野邊茂雄　國際　大1341壹圓

△赤化防止と大和民族發展策　內田定槌　外時　大13五拾錢

△內地雜居の可否は須らく學術的に研究すべし　明26　加藤弘之　國家　壹圓七五錢

國際聯盟

△國際聯盟新議定書と日本　橫田喜三郎外時　大13五拾錢

△國際聯盟會議と日本　一外交家　外時　大9五拾錢

△國際聯盟と日本の地位　三枝茂智　外時　二大8壹圓

△國際聯盟と日本の主張　末弘重雄　國聯　大10四拾錢

△國際聯盟と國民の覺悟　織田萬　國聯　大10四拾錢

△國際聯盟と日本　高石眞五郎　國聯　大10四拾錢

○國際勞働會議と日本　堀江歸一　エコ　大13參拾錢

△國際勞働と日本　田川大吉郎　國知　大14五拾錢

△國際聯盟の批判及其將來　土生秀穗　日社　二大9四圓

日支關係

△日支關係と英米の幹旋　伊籐正德　財經　大12參拾錢

△日本古代に於ける支那文化の傳來　高樹健自　中央大5六拾錢

△日本に於ける對支爲替の採算　岡田重要商事　大14六拾錢

△日明交通に關する明史の想誤　後藤秀穗　史雜二大6壹圓拾錢

△支那の將來と日本　寺尾亨　國國　大2六拾錢

△宋代に於ける日支交通　後藤肅堂　早講　大3七拾錢

△清韓兩國に於ける發明意匠商標及び著作權の保護に關する日米條約釋義　菊地駒次　明41壹圓

△支那及我邦に於ける穀倉の研究　小島憲　經商二大11壹圓

△支那南洋より觀たる日本教育　後藤朝太郎　外時大14五拾錢

△清人に對する邦人の態度　松崎藏之助　日經　明40六拾錢

△辰丸事件と日清の國交　青柳篤恒　外時　明41壹圓

△菊の根分け（日支經濟上の施設に就て）　勝田主計述　大7壹圓

△元治元年に於ける幕吏の上海視察記　新村出　商濟大14四拾錢

○日本と支那と日本　田川大吉郎　洋經　二大9六拾錢

△支那と日本　本多熊太郎　外時　大9五拾錢

△日支關係の現在及將來　神田正雄　國知　大12五拾錢

△日支提携實現の機　神田正雄　國知　大13五拾錢

△日支外交の側面觀　青柳篤恒　外時　大9五拾錢

△支那の視察の所感を述べて日支關係に及ぶ　仁保龜松　法叢　二大10壹

○日支交涉事件に就て　山本唯三郎　洋經　大4參拾九錢

△日支交涉と最後通牒　小山清一郎　外事　大4六拾五錢

△邦人の中華民國に寶する態度一般　泉善治長廣　大14壹圓五拾錢

△往古に於ける上海と日本の史的關係　新村出　經叢大14五拾錢

△日本人は支那の知識に乏し　布川靜淵　東經　三大3壹圓貳六錢

○本邦紡織の對支關係　神坂靜太郎　エコ　大14參拾錢

△日元貿易の研究　栢原昌三　史雜　大3七拾錢

△日明勘合貿易に於ける細川大內二氏の抗爭　栢原昌三　史雜　三大3・4貳圓五錢

△唐人屋敷　福田忠昭　歷地　明37壹圓八錢

△舊幕時代に於ける長崎唐船貿易の研究參考書　妻木忠太　歷地　明30壹圓四拾錢

日露關係

△日露交涉彙報　渡邊新太郎著　洋裝　參圓二〇錢

日蘭關係

○日蘭三百年の親交　村上直次郎著　洋裝　拾六圓

△日蘭通商航海條約　國際　大2七拾五錢

△足利時代に於ける日蘭關係　新村出　藝文　大4六拾五錢

△德川時代和蘭通商始末　山縣昌藏　史雜八明24拾四圓

△和蘭商館主の書翰　史雜　八明24拾四圓

△和蘭通商の起原及其　創立考　本多淺治郎　史雜二明27參圓四〇錢

○吾邦蘭學勃興の原因　大槻文彥　日人　大4六拾五錢

△和蘭通詞の蘭學史上の地位と功績　高槻末知生　歷地　大6五拾錢

△阿蘭陀人風說書　小林重介寫　安政3貳圓二〇錢

附亞墨利加人浦賀江渡見聞之事、江戶近郊洪水見聞之事、老のくりごと、江府大地震之事、及亞人献貢見聞書

○日本と和蘭　日蘭協會編　大3布拾八圓

日蘭三百年の親交慈愛に富める文明の母石黑忠悳　村上直次郎　八代將軍と蘭學輸入　大槻文彥　我新文明の曙光　杉享二　和蘭之現狀　松本義顯

△日露國交史料　梅森三郎著　洋裝　六　圓

▲維新前より日露交渉史　植木直一郎著　明37　壹圓五拾錢
△日露開戰觀　ウエスレーキ國際　明38　壹圓貳拾錢
△樺太下半露民の國籍　中村進午　法政　壹圓貳五錢
△十七八世紀に亘れる露國の太平洋發展と對日關係　田保橋潔　歷地　二　大9　拾錢
△朝鮮に於ける日露關係の近狀　鳳凰山人　外時　明3333　壹圓四拾錢
△露國の朝鮮入兵一件　有賀長雄　外時　壹圓四拾錢

△幕末に於ける我對露論者　畑山專太郎外時　四　明39　四圓四〇錢

○露國果して復讐戰を企圖すべき乎?　植松考昭　洋經　揃五　明41　參　圓
○日露果して再戰すべきや　植松考昭　洋經　四　明1044　貳圓四錢
△日露關係溯源　十時惟親　商濟　大1044　四拾錢

△日露關係の將來　後藤新平　外時　大12　五拾錢
△古代日露接觸回顧(露國の日本探險)　播磨稻吉　外時　大12　五拾錢

△日露交渉の沿革　牧野義智　國際　大5　六拾錢
△對露問題の過現來　高木信威　外時　大12　五拾錢

△樺太境界劃定事業經過概要附錄圖書　明39　拾貳圓

日米關係

△鐵川時代日米の外交　日米協會　英文　洋裝　參圓二〇錢

△萬延元年第一遣米使節日記　芝間篇吉著　洋裝　四　圓

○萬延元年遣米使節圖錄　田中一貞著　洋裝　九圓五〇錢

△在米日本人の一大問題　米田實　外時　大6　五拾錢
△日本人の米國歸化權　石川安次郎　外時　大11　五拾錢

□維新秘史日米外交の眞相　生駒翁翔著　洋裝貳　圓

△遣米使日記　村亘淡路守著　洋裝參圓五〇錢

△米國歸化法に於ける日本人の排斥　山田福三郎　明法　明35　壹圓四錢
△幕末本邦藝人の米國出稼　EM　歷地　明34　壹圓貳貳錢
△太平洋に於ける日米關係　福島平　京法　明1040　壹圓五錢
△太平洋上の日米關係　松波仁一郎　外時　大1040　五拾錢
△太平洋時代に入れる日米關係　堀光龜　商叢　大10　六拾錢
△日米軍備の現狀　村田秋麿　外時　大10　五拾錢

△日米海軍力競爭と日米戰爭論　副島道正　外時　二　大10　壹圓
△日米海軍の對勢及作戰　川島清治郎　外時　大12　五拾錢

△日米兩國の對支投資に就て　一宮房次郎　財經　大5　參拾六錢
△日米金融市場と市場利率　平野清　銀研　大11　六拾錢

△信託會社に關する日米比較　吳文炳　銀研　大11　六拾錢
△日米兩國に於ける夫婦結合の強さに關する比較　戶田貞三　統時　大13　壹圓五錢

△太平洋に於ける日米關係の將來　福島平　京法　明40　壹圓五錢
△米國水師提督ペルリは果して日本の恩人なりや　高橋作衛　國際　明43　九拾錢

○對米問題の難澁と日本基督敎徒の責任　片山潛　洋經　明42　五拾七錢
△本邦人と米人　植原悅二郎　國國　大4　五拾貳錢

△太平洋上の日米關係　松波仁一郎　外時　大10　五拾錢
△日米問題の經過と其善後策　添田壽一　辯協　二　大13　八拾錢

△日米關係論　藤澤利喜太郎　國知　大13　五拾錢
△日米關係の將來　大山由剛　外時　大14　五拾錢

△日米問題と朝鮮統治の根本義　副島道正　外時　大15　五拾錢
△日米間の貿易關係　塚田愼次　經商　大11　五拾錢

△米國に於ける日本人土地訴訟事件　桑港日本總領事館英文　五　圓
Documental history of law cases affecting japanese in the United states 1916—1924, 1925

△日印の經濟關係　神戶正雄　時經　大15　貳拾五錢
△日本印度間航海競爭の結果如何　莊田秋村東經　明45　四拾八錢

日英關係

△日英の物價　河田嗣郎　經叢　大5　六拾錢
△日英の物價趨勢　河田嗣郎　經叢　大6　五拾五錢

△日露開戰と英國の地位　松宮春一郎　外時　明36　壹圓貳五錢
△三浦安針の書翰　本多淺次郎　史雜　明2636　壹圓七五錢

△日英同盟廢棄後の英國の苦悶　稻原勝治　外時　大14　五　拾錢
△露佛對日英巽來治郎　外時　明35　壹圓參拾錢

△英米と日本(國際的疑懼心と平和主義)　米國實國知　大11　五　拾錢
△日本對英米　高木信威　外時　大14　五　拾錢

△極東外交と日英の地位　西澤英一　財經　大14　參　拾錢
△東亞を支配する日露英の三角關係　稻原勝治　外時　大15　五　拾錢

○日英關稅問題と我市製織　谷與利吉　洋經　二　明44　壹圓貳錢
△英國人は日本に歸化することを得ざるか　松井慶四郎　法協　明42　九拾五錢

△日本の婚姻と英國法廷　植村俊平　法協　明223　壹圓九拾錢
△平戶に於ける英國商館の歷史　ルドウイヒ・リース　二　史雜　明322　貳圓九拾錢

△日英同盟の史的記述　牧野義智　國國　大6　四拾四錢
△日英同盟史論　牧野義智　國國　揃三　大7　8　壹圓貳拾錢

日獨關係

△日獨今後に於ける經濟關係に就て　ゾルフ東經　大9　參　拾錢
△下の關係約と獨逸干涉の動因　煙山專太郎外時　大15　五　拾錢

△日本普西亞市制比較論　野村彌三郎　揃五　明22　九圓七五錢

△和獨條約書(明治二年)　舊上野藏書　和　貳圓五〇錢

△暹羅の日本町　新村出　史林　大12　13　貳　圓
△呂宋の入貢を促したる秀吉の書翰に就て　村上直次郎　大14　五　拾　錢

新聞史

△本邦新聞史　朝倉龜三著　繪入　明44　和　拾五圓

前編に新聞紙創刊以前の時に於ける其類似物を詳述し後編に至り本邦新聞紙の起原と其變遷に及べり、其間數多の挿圖あり而して卷末に日本新聞紙雜誌年表を附したるものにして新聞史研究者必携の良書なり

△新聞の歷史　大日本新聞學會　大5　貳　圓
□新聞の歷史　吉野作造編現代叢書　大5　布壹圓八拾錢

△最近新聞紙學　杉村楚人冠著　大4　布六　圓

□最新實際新聞學　米ドレヤー著　小野瀨不二人譯　大4　布參圓五〇錢

△全國新聞紙調　內務省警保局　大六年十月現在　四　圓

□最近全國新聞雜誌總目錄　前田千賀艮編　明40　布五　圓

□諧謔新聞總覽　京都新聞附錄　大8　和壹　圓
□縮刷新聞表　日本電通社編　大8　六拾　錢

△日本新聞年鑑　新聞研究所編　大一四年版　壹圓九拾錢
昭二年版　壹圓貳拾錢

△新聞名鑑　日本電通社編　明42　布壹　圓
△東京府下發行新聞紙調　警保局　大7　貳　圓

□新聞紙講話　後藤武男著　新大15　布貳圓八〇錢

△文明開化新聞篇　屢姓外骨著　新大14　和貳圓五〇錢

△新聞になるまで小觀　東京朝日新聞社　大11　壹　圓
□新聞になるまで小觀　苦米地奧南著　明35　壹圓五拾錢

△新聞發達史　松本秋太郎　法治國經　大14　四拾錢
△新聞の起源　熊崎良　明44　八拾五錢
△新聞の起源　關末代策　法治國經　揃三大13　壹圓貳拾錢
△新聞紙と社會教育　大山郁夫　我等　大9　五拾錢
△新聞紙圖に就て　吉井外雄　社雜　大13　五拾錢
△商業教育と新聞紙　津村秀松　國經　明43　九拾錢
△新聞賣子の研究　中村桂三學　大3　七拾錢
△新聞紙が犯罪並に社會的行爲に及ぼす影響　川島金五郎　國家　大2　七拾五錢
△戒嚴令の適用及新聞紙の發行停止に關する非常命令に就て　花井卓藏辯協明38　九拾貳錢
△新聞賣子の調査　稻葉幹一　社政　大10　六拾錢
△新聞紙の發行停止を論ず　美濃部達吉　明學明38　九拾貳錢
△新聞紙編輯人發行人印刷人の責任　藤波元雄　法記明39　壹圓拾錢
△法律上より觀たる發賣禁止問題　美濃部達吉　國家明41　壹圓
△新聞紙に對する正誤權　織田萬　京法　明42　九拾五錢
△新聞紙の性質に關する東京地法裁判所判決を讀む　横山勝太郎　辯協　明42　七拾六錢
◎發賣禁止論　平出修　新聞　明42　貳拾錢
◎新聞紙法上の檢事の差止命令は何人に交付すへきか？　巍丘生　新聞　明42　貳拾錢
△新聞雜誌の摘發記事　戸水寛人　刑評　明43　九拾錢
◎新聞條例違反に就て　徹山　新聞　明43　貳拾錢
△新聞雜誌重罰論に就て　横山勝太郎　辯協　明44　六拾錢
◎新聞の虚僞の報道に對する民事責任　寺田新聞五六3　壹圓
△新聞紙の發行禁止と其違反　佐々木惣一　京法　大5　六拾錢
△新聞紙に對する不法の發賣頒布禁止に就いて　大澤眞吉　大5　四拾八錢

△新聞紙法第四條の解釋　草野豹一郎　志林七大10　參圓五〇錢

◎新聞紙の同一性の意義　佐々木惣一　新聞　大5　貳拾錢
◎滿洲に新聞紙法を適用し行政訴訟の途を開くべし　小野實雄　新聞　大12　貳拾錢
○新刑事訴訟法と新聞記事の揭載　富岡重雄　辯協　法新二大13　四拾錢
△新聞紙法改正の論點　布施辰治　辯協　大14　四拾錢

演說史

△明治演說史　廢姓外骨著　表裏叢書　新大15布貳　圓

日本法制史

△新聞紙論　河田嗣郎　國家　二明42　壹圓九〇錢

出版及印刷志

◎法規分類大全　出版　內閣記錄局編　文書門　明24　四　圓
△寧樂刊經史　大屋德城著　帙入大12布八圓五〇錢
奈良朝時代以降德川時代に亘る奈良に於ける佛典開版の歷史的研究にして古刻經典の寫眞圖版一百枚を添へたり
△南北朝時代の出版事業　中村直勝　史地　大13　五拾錢
△近世の出版界　中村喜代藏　史地　三大8ふ9　壹圓五拾錢
△日本印刷史　龍肅　中央　大15　五拾錢
△共同印刷爭議　木曾二郎　企社　大15　四拾錢

筆禍史

□明治大正筆禍史　芳賀榮造著　大13　壹圓五拾錢
△近代筆禍文獻號　文藝市場特輯　大15　八拾錢

△筆禍史　宮武外骨著　和裝　參圓五〇錢

△書簡一通（森戸君の筆禍に就て）　河上肇　社問大9　貳拾錢
△思想問題森戸事件及び杉敎授の論說に就て　仁保龜松　法叢　大9　五拾錢
◎森戸問題の研究　竹內賀久治　新聞　六大9　六拾錢
△無政府主義の學術論文と朝憲紊亂事項　佐々木惣一　法叢　大9　五拾錢
◎森戸問題批判の批評　竹內賀久治　新聞　八大9　八拾錢
◎森戸事件の判決を繞きて若き司法官に望む　天山生　新聞　大9　貳拾錢

演說史

△明治演說史　廢姓外骨著表裏叢書　新大15布貳　圓

日本法制史

△日本法制史　三浦菊太郎著　帝百　明33　貳圓五〇錢
△日本法制史　有賀長雄述　早大三四七頁　四　圓
△日本法制史　池邊義象著　明45布拾　參圓
△日本法制史　瀧川政次郎述　八〇六頁　美裝布五圓五〇錢
△江戸時代制度の研究　松平太郎著　上卷　大9布六圓五〇錢
△日本法制史書目解題　池邊義象著　二大7　五圓五〇錢
△法制史の研究　三浦周行著　新大14革七圓五〇錢
△續法制史の研究　三浦周行著　新大14革九圓五〇錢

△大日本帝國及其法制の沿革　スタイン　國家　二明20　四圓拾錢

△日本法制史　堀田璋左右述　國史講習錄大13　七拾錢
△法史雜觀　富山單治　京法　明40　壹圓五錢

△法制史雜話　藤園隱士　京法揃一〇明41ふ43　九圓五〇錢

△法制の史的研究　吳文炳　歷地　大8　五拾錢
△明治初年の拷問制度と其弱點　播磨龍城　國國大6　五拾錢

△足利時代の法制　續史籍集覽　揃二明31　四　圓

△笈掛日記　檢見放實可覺悟條々　武雜記2　貳拾錢
出法師落書1　大追物篦袋1　貳札三百八十箇條2
篠葉集1　產所養月射事1
射犬正法1　諸家參會記2

△本朝法律起原沿革　小中村清矩　國家　明23　壹圓
△國家法制起源序　穗積陳重　法協　明25　八拾錢
△法制史に於ける手の動き　中田薰　國家　明45　八拾錢
△試家法制に現れた道德　澤田勝藏　史地　大12　五拾錢

△法制雜考　三浦周行法協　揃二明32ふ35　貳拾九圓

△新制の研究　三浦周行　法叢　揃七大15　參圓五〇錢
△失はれたる近世法制史料　三浦周行　法叢二大13　壹圓
○制　法　山梨縣　明6和　壹圓
△國造と伴造と宮造　星野恒　歷地　明23　壹圓七拾錢
△憲之した階人民告諭大意　明2　壹圓五拾錢
王政に付き人民の守るべき道を京都府伊那縣より告諭せる文也
△國司の起原　宮崎道三郎　法協　明25　壹圓八拾錢
△緣坐法論　三浦周行　京法　大7　五拾錢
△官奴司考　瀧川政次郎　社科　二大14　壹圓
△養老戶令應分條の由來　中田薰　法協　二明36　貳圓五拾錢
△驛士及屯士の研究　和田一郎　法協　三大8　壹圓五拾錢
△漢字の別訓轉用と古代に於ける我邦制度上の用語　宮崎道三郎　法協　明43　九拾錢
△勝部考　宮崎道三郎　法協　明42　九拾五錢
△鄯加佐名義考　宮崎道三郎　法協　明36　壹圓貳五錢
△部曲考　宮崎道三郎　法協　二明40　貳圓拾錢
△新曲靱猿　高見北欅　刑評　明44　八拾五錢

△登聞鼓　東川德治　志林　大8　五拾錢
△任那雜考其一任那疆城考　宮崎道三郎　國家二明43ふ44　壹圓七五錢

△賑と出擧　宮崎道三郎　國家　揃四明38　四圓六〇錢

△御朱印寺社領の性質　中田薰　國家　二明40　貳圓拾錢
△王朝時代に於ける人的執行　瀧川政次郎　法協大12　五拾錢
△戰國時代の國質所質に就て　三浦周行　法協明40　壹圓五錢
△コホリ（郡）ムラ（村）なる語の意義　中田薰　國家明38　壹圓拾五錢
△武田家の法律「甲州法度」の研究　三浦周行　法叢大8　五拾錢
△正倉院御物中法政史料に就て　瀧川政次郎　社科大15　五拾錢

△法制史上より見たる國民性　三浦周行　解放大13・参拾錢
△穢多非人の法制史上の地位　三浦周行　京法大7・五拾錢
△古法律の吾人に與ふる教訓　池邊義象　刑評明43・九拾錢
△本朝法律起源沿革　小中村清矩　國家　明23・壹圓九拾錢

△歴史法學の由來及其必要なる所以　三崎龜之助　法協　明17・貳圓二〇錢

△頼山陽の法律論　中島玉吉　法叢　大15・五拾錢
△日本の法學　江木衷　法協　明35・壹圓參拾錢
△維新以後國法學通勢　加藤正治　志林　揃二明36・貳圓五拾錢
△法學の趨勢　岡村司　法記　明40・壹圓五錢

法律發達史

△法律に發達の順序あり　奥田義人　法協　明21・貳圓
△法律の變遷　鈴木充美　法協　明24・壹圓八五錢
△法律の進化を論ず　仁保龜松　内外　明38・壹圓拾五錢
△我國法律の發達を叙して法律學の現況に及ぶ　仁保龜松　法政　明37・參圓六拾錢

△法の觀念に關する沿革　筧克彦　法協　揃三明39・參圓三〇錢

△法の由來及本質　副島義一　法政　明42・九拾五錢
△諧曲「放下僧」より法の基礎觀念を論ず　筧克彦　法協　明39・壹圓拾錢

△法律に於ける進化と進歩　牧野英一　志林　一〇大6・7・貳圓五〇錢
△法律の意義の變遷を論ず　仁保龜松　京法　明42・九拾五錢
△法の進化　小林俊三　辯協　大1042・四拾錢

△法の歴史的進化に就て　高柳賢三　法協　二大11・壹圓
◎我法律思想最近の趨勢に付て　鈴木信雄　新聞　大11・貳拾錢
△文化と法律　安澤喜一郎　法協　二大11・壹圓
◎古代の法律問題と常用漢字　播磨龍城　新聞　大12・四拾錢

△法律發達に於ける判例の職能　牧野英一　志林一ノ一　大14・五圓五〇錢

△大寶令の施行及び破棄　赤堀又次郎　歴地　明4044・七拾錢
△大寶令及其の註釋書　池邊義象　京法　壹圓五錢

大寶令と貞永式目　岡部精一　法協　揃二明28・參圓三〇錢

△大寶令の政府組織　辰巳小次郎　國家　明20・貳圓五錢
△大寶令に見えたる稱呼並畫指　黒板勝美　法協　揃二大8・壹圓
△養老戸令應分條の研究　中田薫　法叢　大14・五拾錢
△大寶律令制定に至れる顚末並大寶律令の批評　山田正躰　國家　明39・壹圓拾錢
△養老令の施行期に就て　中田薫　明38・壹圓
△律令の奴婢賣買法　瀧川政次郎　法協　揃二大12・壹圓拾五錢
△奴婢逃亡に關する律令の法制　瀧川政次郎　法協　二大11・壹圓
△律令時代の賭博罪に就て　内山慶之進　法治大15・四拾錢
△王朝の律令と唐の律令　桑原隲藏　史地　大2・七拾五錢
△律令の變遷　橋口長一　國院　大11・五拾錢

△法典編纂の沿革　小澤正太郎　新報　明330・壹圓五五錢
△伊藤公と立法事業　梅謙次郎　國家　明43・九拾錢
△法典編纂論　鳩山和夫　法協　明22・壹圓九五錢
△日本に於ける法典編纂の狀況　富井政章　法協　明31・壹圓五拾錢

式目

△御成敗式目　一品尊圓親王筆　寛文6・和貳圓五拾錢
△御成敗式目　下河邊拾水書讀　和壹圓參拾錢
△大寶令と貞永式目　岡部精一　法協　揃二明28・參圓參拾錢
△御成敗式目古寫本に就て　三浦周行　法叢　大9・五拾錢

○貞永式目抄　北條泰時草案　和七圓五〇錢

△貞永式目批判　三浦周行　法叢　揃二大10・壹圓
△板倉氏新式目に就て　中田薫　國家　揃三大12・壹圓五拾錢

立法志

△令義解講義　小中村清矩著　洋裝　五圓五〇錢
△令集解　三浦博士校訂　洋裝　五圓
△大寶令新解　筧美昌保著　和裝　參圓五〇錢

令

△「法律に於ける進化と進歩」を讀む　鈴木義男　志林大14・五拾錢
△電氣と法律　穂積陳重　法協　明36・壹圓貳五錢

△古い法律新しい法律　大塚鄕二　志林揃一四　大5・6・8・七圓拾錢

古代法典

△日本古代法典　萩野由之等校　合本明25・革拾貳圓
律疏殘篇1
新編追加3
逸律1
建武式目4
法曹至要抄2
建武以來追加4
貞永式目3
公家法度5
武家法度5
諸士法度5
高札5
御定書百ヶ條5

□日本古代法典　小中村清矩著　洋裝九圓五〇錢

△日本古代法釋義　有賀長雄著　洋裝貳拾圓

△律令古法制三題考　逸瀧川政次郎　中田薫　法協　揃五大15・明45・貳圓五拾錢
△古法制雜筆　中田薫　國家　明45・八拾錢
△我國最古の法　牧健二　大9・大15・五拾錢　法叢

△大寶法典の發布及修正　增田于信　法協　明25・壹圓八拾錢
△古法と觸穢　中田薫　國家　揃二大6・壹圓拾錢

△我古法に於ける保護及連帶債務　中田薫　國家　揃二大14・壹圓
△我國古代の法制關係語　中田薫　國家　明40・壹圓五錢

△貞永式目より見たる祭政一致論　西岡歴地　揃二大7・九拾錢
△弘仁式及貞觀式に就て　佐伯有義　國院　大12・五拾錢

△九條家延喜式紙背の養老律斷簡に就て　瀧川法協大12・五拾錢
△九條家延喜式紙背の明法質問狀　瀧川政次郎　法協大14・五拾錢

御定書

□御定書目錄（寛政二年）　寫本　壹圓五拾錢
□格律　松戸藩寫本　横參圓

□寛保御定書　寛保二年制定御定書百ヶ條の寫　小蟲　貳圓五〇錢

×定書一札寫本　二安政5・四圓
大中庄屋勤方、村民呼出、年中諸雜費、郡役所門番小使下札帳等に關する御定書
△九條家弘仁格抄の研究　瀧川政次郎　志林二大15・壹圓
△御成敗式目古寫本に就て　三浦周行　法協　揃二明28・參圓參拾錢
高札之寫　頂思堂又助板　天保14・和壹圓五拾錢
正德より享保年間の御定及高札等を寫したるもの
×定書一札　貞享4・四圓
宗教、農家生活、風習、儉約等に關する御定書なり

田制

○舊典類纂田制篇　元老院藏板　和貳拾圓

△井田の話と班田の話　清水靜文　三學　揃二明42・壹圓九拾錢
△田區改良法に就て　三浦周行　法協　明31・壹圓五拾錢
△舊岡山藩の井田法　黒正巖　經叢　大11・五拾錢
△法の主格附田制の事　木下廣次　法協　揃二明18・四圓參拾錢

○井田圖考　萬尾時春著　二享保11・和八圓

○田園類說　谷猶右衞門輯　寫本八圓
田園に關する一切の制度其他の事を詳細に記したるもの

帝國憲法史

立法志　式目　御定書　田制　帝國憲法史

△憲法及憲法史研究　美濃部達吉著　明41革五　圓
國法學資料
△日本憲法淵源論　廣池千九郎著　大7壹圓五拾錢
△聖德太子十七憲法　藤岡勝二著　大10五　拾錢
△十七憲法　和解　廣池進一述　大9和五　拾錢
□十七憲法　河邊堯祐編　明45八　拾錢
□帝國憲法皇室典範義解　伊藤博文著　明34布壹　圓
□十七憲法講話　加藤熊一郎著　大9七　拾錢
□聖德太子御憲法　寬永寺釋孝泉解　壹圓五拾錢
◎聖德太子の十七條憲法に就て　黑板勝美新聞大5　貳　拾錢
△憲法制度の由來　穗積八束　法協　大1八　拾錢
△本邦憲法制定の由來　伊藤博文　國家　揃二明30貳圓拾錢
△日本憲法の特色　美濃部達吉　國家　揃六大3參　圓
△皇室典範と憲法との關係　奥田義人　新報　15明43九　拾錢
△帝國の國體と帝國憲法　美濃部達吉　法協　大2七　拾錢
△帝國憲法と政黨政治　美濃部達吉　國國　大2六　拾錢
△我が日本の憲法問題　稻田周之助　新報　大12五　拾錢
△聖德太子の十七條憲法論　植木直一郎　國院大10五　拾錢
△五箇條御誓文の宣布と由來　宍木忠太　歷地大14四　拾五錢
△皇室の事務と國家の事務　美濃部達吉　國家大5六　拾錢
△皇室の大權　美濃部達吉　國家　大7五　拾錢
△我憲法に於ける國務大臣の責任　市村光惠　內外明37壹圓四錢
△日本憲法に於ける大臣責任の想定　美濃部法協明37壹圓貳拾錢
△憲法及び律令の制定と破毀　赤堀又次郎　歷地大5五　拾四錢
△日本憲法制定史談　藤井甚太郎　歷地　一三明43　44拾壹圓

德川制度史

△德川禁令考　司法省藏版　揃一〇洋裝　壹百五〇圓

◎寬政御目附正意・御條目看板・御敎諭看板・衣服御制・殿中施諸席立合檢使控・道中筋始末其他　寫本　寬政10　五圓

明治制度史　清浦奎吾著　明32革五　圓

△明治法制史譚　尾佐竹猛　國國　揃五大9貳圓
◎樺太に於ける法令整理に就て　杉生私　新聞大12貳　拾錢
△新領地に關する法律關係を論ず　山田三良　國家明28壹圓六五錢
◎最近十五年間に於ける本邦法制變遷　富井政章　新聞大4貳拾錢

慣習

△慣習法起源諸說の批評　江木衷　法協　明17參　圓
△憲法的習慣を論ず　齋藤隆夫　辯協　明39壹　圓
△慣習法を論じて民法商法に及ぶ　松本重敏　辯協明32　壹圓拾六錢
△慣習法の性質　一木喜德郎　法政　明31　壹圓五拾錢
△慣習法を論ず　岡實　志林　揃五明39　壹圓五拾錢
△慣習法の觀念に就て　島田俊雄　法政　明37　壹圓貳拾錢
△慣習の法力を論ず　市村光惠　京法　明39　壹圓拾錢
△慣習法を論ず　石阪音四郎　京法　明40　壹圓五錢
△慣習　法の起原　菊池武夫　新報　明44　八拾五錢
△慣習　習の起原　穗積陳重　法協　明40　壹圓五錢
△本邦後見慣習一斑　勝龍居士　新報　明26　參圓七五錢
△日本の習慣古例譯ぜざるべからざるを論ず　小林清藏　法協　明19　貳圓拾錢
△婚姻に關する習俗法令　關根正直　中史　大15　五　拾錢
○人格法學と慣習論　渡邊省三　法新　大15　貳　拾錢

日本民法史

△民法小史　岡村司　志林　大2　七拾五錢
△一子相續制度に就て　八木芳之助　經叢揃三大13　壹圓五拾錢

○御仕置御定秘鑑　寫本　揃一〇延享3四拾五圓
德川時代に於ける公事訴訟手續及科人罪科御仕置等の事を詳細に輯錄し又當時の評定所掛看板の文言を記せり
○類例秘錄　忍屋隱士輯　寫本揃一〇　四　拾　圓
天明以後文政に至る年間關東諸州に於て德川幕府の諸達・令・吟味書類を輯集部類別したるものなり
□御定目附御仕置御規定　自寬曆至天保4年　寫本一二　貳拾貳圓
○公裁秘錄附公裁御定　勝安房藏印寫本揃五　六圓五〇錢
□公事方心得書　勝安房家舊藏　寫本二　四　圓
□公事方下知留　勝安房家舊藏　寫本　貳圓五〇錢
△變死人疵人等の處置方法　寫本　四圓五〇錢
變死口論疵人、捨子、出火等の事故に對し其取調方並に御屆樣式を記したるものなり
□頭書參考德川百ケ條　伊藤忍校　明17　壹圓五拾錢
△德川時代の文學に見えたる私法　中田薰著　大14　布貳圓貳拾錢
△德川時代の衡平法論　豐浦與七　法叢　三大13　壹圓五拾錢
△德川時代の婚姻法　中田薰　國家　大14　五　拾錢

江戶時代制度の研究　松平太郎著　上編洋裝　六圓五〇錢

△德川時代寺社境內の私法的性質　中田薰　國家揃二大5　壹圓貳拾錢
△德川時代不動產擔保法　中田薰　法協　大7　五　拾錢
△德川時代の刑事判決例　黑川眞前　法曹　大13　五　拾錢
△德川刑法の論評　中田薰　志林　大5　六　拾錢
△德川氏の處分に就て　岡部精一　史雜大5　五拾九錢
△江戶時代に於ける賭博犯の種類　三浦法協二明36　貳圓五拾錢
◎德川刑法の論評　中田薰・三上參次・志林　新聞　揃四大3　六　拾五　錢

△大寶令の親族法　池邊義象　京法揃六明39　六圓六〇錢
△日本親族法の特質　山口弘一　商研　大14　貳　圓
△日本中世の相續法　中田薰　國家　揃三大7　壹圓五拾錢

日本中世相續法の研究　中田薰　國家　揃四大5　貳圓四〇錢

日本相續制度論　石山彌平　新報　揃一〇明29　拾　六　圓

△社會學上より相續の沿革を概論す　石山彌平　新報明31　壹圓五拾錢
△養子制度論　石山彌平　新報　壹圓七拾錢

比較養子論　田中秀知　內外　揃五明38ゟ39　五圓六五錢

△養子の制度　淺見倫太郎　法政　明33　壹圓四拾錢
△德川時代養子法　中田薰　法叢　揃三大14　壹圓五拾錢
△養子制度の濫用　中島玉吉　法叢　大11　五　拾錢
◎繼子養子と實子養子　鬼武義彦　新聞　大11　貳　拾錢
○隱居制度を論じて穗積博士に答ふ　三浦周行　太陽大4　壹圓四錢
△我が太古の婚姻法　中田薰　法叢　大13　五　拾　錢
△離婚制度私見　加藤行吉　法政　大11　五　拾錢
△離緣狀と緣切寺　穗積重遠　法協　揃四大12　貳　圓
△緣切寺滿德寺　穗積重遠　法協　揃二大12　壹　圓
△由井正雪事件と德川幕府の養子法　穗積陳重　法協大2壹圓五拾錢
△戶籍の歷史地理的價值　三浦周行　歷地　明18　壹圓九四錢
△遺產相續法と土地の分配　瀧本誠一　三學揃三大9　壹圓五拾錢
△土地所有權の起源　岡田朝太郎　法協　揃二明25　參圓六拾錢
△吾邦土地保有制度沿革に就て　宮岡恒次郎　法協明36　壹圓貳五錢
△現行土地相續法に就て　松崎藏之助　法協二明39　貳圓貳拾錢
△我が國に於る土地所有權の移動に就て　高岡熊雄　國經明44　八　拾　五錢
△德川時代に於ける土地所有權　中田薰　法協　大8五　拾　圓
△我國に於ける土地所有權の移動　高岡熊雄　國經二大10　壹　拾　圓

△東西對的後見制の比較　中田薫　國家　大6　五拾五錢
△日本不動產法沿革史　橫井時冬著　大15革參　圓

□大日本不動產法沿革史　橫井時冬編　明21布五　圓

△維新後不動產法　梅謙次郎　法協　揃二明39　貳圓貳拾錢
△日本中世の不動產質　中田薫　國家　揃四大6　貳圓貳拾錢
△中古の土地公有制度　牧健二　法叢　大12　五拾錢
△舊尾張藩に於ける地割制度　奥田晴　經叢　大11　五拾錢
△本邦の動產抵當を論ず　石山彌平　新報　二明26　參圓五拾錢
△王朝時代に於ける動產所有權　瀧川　新報四大14　貳圓

△日本古法に於ける追奪擔保沿革　中田薫　法協三大9　壹圓五拾錢
△京都濱職事件に關する人權問題に就　大澤眞吉辯協大9　四拾錢
△雇傭契約發展の史的考察　末川博　法叢　大10　五拾錢
△日本に於ける人權の擁護　宮岡恒次郎　新報大8　五拾錢
△本邦著作權法の沿革　水野錬太郎　法協　明35　壹圓參拾錢
△日本と著作權の保護　水野錬太郎　國家　明34　壹圓參拾錢
△深野新田永小作　小野武夫　法協　大11　五拾錢
△吉野川沿岸の永小作問題　小野武夫　法協　大12　五拾錢

刑法史

□日本刑法沿革史　小田切成德述　明15　貳圓
□刑法志署　橫山由清述會館記事附錄共明8和貳圓五〇錢

○刑事審判錄並附則　明17布參圓五〇錢
刑法頒布以來明治一六年一一月に至る迄の司法省の指令回答內訓其他該法關係事項を各法條の下に網羅編纂す
○大正明治死刑執行記錄　鐵版二和貳拾五圓

△我神代の刑法　澤田順次郎　國學　大5　四拾八錢
△大寶令の刑法　池邊義象　京法　明44　八拾五錢
△松田前法相と刑法改正の經過　菊池武夫　刑評　明44　九拾五錢
△滿正の新刑法の精神　鈴木喜三郎　刑評　明44　八拾五錢

△本邦民刑事統計に就て　秋田稔　統集　明30　壹圓貳四錢
△本邦民刑事統計に就て　石川惟安　統雜　明30　壹圓九錢
△刑事統計研究と新刑法運用　牧野英一　志林　明42　九拾四錢
△刑事統計報告統集　牧野英一　志林　明42　八圓六拾錢

△行政科統計論　岡松徑　統集　揃八明15　拾四圓

○破產統計　加藤正治　法協　大3　七拾錢
△京都に於ける破產統計　山田正三　京法　大2¼　七拾五錢

△佛教の正法律(二千五百年前の法律特に刑法)　花井卓藏　法記辯協　三大3　貳圓拾錢　大3五　拾六錢
△我刑法は最優良の刑法か最劣惡の刑法か　大場新報大3七拾錢
△盜難は米價に從て增減するの論　內務省統集明17　壹圓七六錢

△喧嘩兩成敗法　三浦周行　法協　揃八明33ゟ34　拾圓九〇錢
△死刑の沿革　卜部喜太郎　新報　明28　壹圓六五錢
△日本古代法の追放刑論　三浦周行　京法　三大5　壹圓八拾錢
△拷問制度の沿革　藤田知治　刑評　揃四大1　參圓二〇錢

△小河氏著笞刑論を讀む　鈴木宗言　法協二明37　貳圓四拾錢
新聞七明3737　壹圓六八錢
△讀賣刑の歷史的發達　岡田庄作　志林　三大6　壹圓六五錢
△明初の拷問制度と其弱點　潘應龍　國學大6　四拾四錢
◎天誅事件に於ける檢事の論に就て　三上英雄　新聞大9　貳拾錢
△伊庭被告事件を論じ謀殺放殺の法理に及ぶ　花井卓藏　新報　四明35　壹圓參拾錢
◎天誅事件の檢事の論告批評　梅原錦三郎　新聞大9　貳拾錢
△大浦告發事件を論じて司法省官制の改正を促す　大澤眞吉辯協　大4　五拾貳錢

法律統計

△日本刑事訴訟法史論　花井卓藏　新報　大4　六拾五錢
△破產法の沿革及主義　小澤正太郎　新報　明29　壹圓六拾錢

△破產法案

法記揃二明35　貳圓六〇錢

△大阪奉行所訴訟手續概略

高根義人　法協　二明29　參圓二〇錢

△王朝時代伊勢神領の裁判手續　石卷良夫　法協大2　七拾五錢
△大名領地の裁判制度　三浦周行　京法　大6　五拾五錢
○舊法律と新裁判　安達元之助　法新　大13　貳拾錢
△艮賤之訴訟　瀧川政次郎　志林　揃三大13　壹圓五拾錢
△神誓裁判について　牧野信之助　史林　大15　壹圓
△古文書の裁判鑑定　三浦周行　京法　大5　六拾錢
△考證概言　木下廣次　法協　明20　貳圓五錢
◎裁判文學論　不破清馨　新聞　大11　貳拾錢
△裁判至要抄の由來　宮崎道三郎　法協　明27　壹圓七拾錢
◎最近十五年間に於ける訴訟法の學說及判例の變遷　板倉松太郎　新聞大4　貳拾錢
◎最近十五年間民事訴訟學說の變遷　雉本朗造　新聞大4　貳拾錢
△商業登記の歷史　東季彥　法協　大4　六拾五錢

商法志

◎商慣習法　松波仁一郎　新聞　明39　貳拾貳錢
◎商慣習　森作太郎　新聞　明39　貳拾貳錢
△當事者雙方の商慣習法の相異なる場合の準備法　梅志林　明41　壹圓
□手附の話　宮崎道三郎　學士　明32　壹圓拾六錢
△小賣商慣習と公設市場　根本清六　三學　大8　五拾錢
△商業慣習の權威　內池廉吉　國經　大2　七拾五錢
△手形法の過去現在及將來　松波仁一郎　新報明41　壹圓
◎來綿輸出に使用する船荷證券　田口松治　新聞大15　貳拾錢
△中世に於ける賣買の擔保　三浦周行　經叢　大6　五拾五錢
△「三井物產」手形僞造事件に關し同社の責任を論ず　高窪喜八郎　評論　大1　壹圓九貳錢

社倉志

○社倉私儀　中井積善著　吉田嘉武寫　天保12八　圓
社會創設に關する建議なり蓋し宋の朱子が建寧府崇安縣開耀鄉に創立せる社倉法に倣ひて其藩主に勸告したるものなり
△舊岡山藩の社倉法に就て　黑正巖　經叢　大12　五拾錢
△社會法に就いて　重田定一　帝農　大4　五拾九錢

○社倉考　宅佐美惠著　早田寫　五　圓

△今の米穀法案と昔の三倉制度　芝葛盛　中史大5　五拾錢
○朱子社倉法　壽文堂刊　和參　圓

日本國際法史

△國際法沿革略史　菊地駒次　國際　大13　五拾錢
△日本の古代史と國際法　蟾川新　國際　大7　五拾錢
△幕末に於ける國際法　尾佐竹猛　志林　揃四大3
△幕末國際法の發達　尾佐竹猛　法治揃七大13ゟ15　貳圓八拾錢
△國際法の現在及將來　寺尾亨　法協國際　明35　各壹圓參拾錢
△國際法の將來　寺尾亨　志林　明35　壹圓參拾錢
△先例と國際法　蟾川新　國際　明36　壹圓
△國際法の沿革を論ず　花井卓藏　明法　明27　壹圓七拾錢
△日本主義と國際法觀念　蟾川新　國際　大1　八拾錢
△國際公法沿革の大要　寺尾亨　法協　明36　壹圓貳五錢
△國際公法著書略評　末岡精一　國家　明20　貳圓五錢
△國際法と耶蘇教との關係　井上毅　國家　明24　壹圓八五錢
△明治天皇と國際法　有賀長雄　國際　大1　八拾錢
△東京灣口の砲臺と國際法　蟾川新　外時　明36　壹圓貳五錢

△明治時代に於ける國際法研究の發達　高橋作衛　法協揃五大1ゟ2　參圓九〇錢
△國際公法典籍解釋　寺田四郎　國際
△國際協會及び外交史　萬國會議參會の顚末　寺尾亨　外時　大4　六拾五錢
△國際政治上の日本　町田梓樓　外時　大15　五拾錢
△世界に於ける日本の地位　添田壽一　京法　大3　七拾錢
△日本國民の世界に對する二大主義　川島信太郎　國際　大12　五拾錢
△我國最初の國際法研究者　尾佐竹猛　國知　大13　五拾錢
△國際私法上より觀察したる我が民事訴訟法修正案　花岡敏夫　國際辯協　明37　壹圓貳拾錢
△辰丸事件國際法規　立作太郎　國際　明41　壹圓
△條約改正と土地所有權　米田實　國際　明43　壹圓
△日韓覺書と憲法　佐々木惣一　京法　明42　九拾五錢
△日韓條約と條約締結權　立作太郎　國家　明40　壹圓五錢
△臺灣と條約との關係　水野遵　國家　明31　壹圓五拾錢
△國際法上の西比利亞出兵問題　泉哲　外時　大7　五拾錢
△日本に於る過去現在の領事裁判　中村進午　志林明36　壹圓貳五錢
△東洋諸國特に日本帝國に於ける領事裁判權　明27　壹圓七拾錢
△日本仲裁々判條約に就て　山田三良　法協明41　壹圓
△居留地家屋稅仲裁裁判　中村進午　法政　明39　壹圓拾錢
△日本人歸化權を論じて條約締結に及ぶ　米田實　國際明43　九拾錢
△内地雜居ト地外法權　尾崎三良著　明26　貳圓

海法史

◎海法會誌　松波仁一郎著　揃二二　散賣　五圓　洋裝　六拾圓
△北條時代の領船式目と現代の海法　寺尾新報二二大10　壹圓　八四錢
△豐臣秀吉の海法　松波仁一郎　明學二二明38　壹圓

△德川時代の海法　中田薰　法協揃二大3　壹圓四拾錢
△德川時代に於ける海難救助の研究　生島國經二二大12　壹圓
△本邦に於ける海法　穗積陳重　海法　大5　參圓
△我が海上保險業の萠芽時代　穗積陳重　國家　七大14　參圓五〇錢
△日本海法會小史　松波仁一郎　海法　大5　參圓
△タイタニック號沈沒と其審問　松波仁一郎　法協大1　八拾錢
△愛鷹丸沈沒事件　松波仁一郎　法協　大3　七拾錢
△梅ヶ香丸沈沒事件　岩田宙造　法協　大3　七拾錢

朝鮮法制史

△朝鮮法制史稿　淺見倫太郎著　大11布四　圓
△朝鮮亞臺灣談合事件の經過を敍して司法統一の緊要を論ず　大井靜雄　辯協大6　四拾四錢
◎朝鮮民事令と民事訴訟法改正法律案　多田吉鍾　朝司　大6　貳拾錢
△朝鮮民事令と民事訴訟法改正法律案　多田吉鍾　朝司　大15　參拾錢
△韓國に於ける日本の司法權　有賀長雄　外時明39　壹圓拾錢
◎朝鮮司法制度の改革　宮脇梅吉　新聞　明44　貳拾錢
△韓國理事廳の判決は内地に於て執行し得るや　清瀨一郎　國際　明41　壹圓
△祭位土の總有性に就て　多田吉鍾　朝司　大11　參拾錢
△韓國の合併と立法事業　梅謙次郎　國際　明43　九拾錢
△朝鮮法系の歷史的研究　淺見倫太郎　法協　大10　五拾錢
△朝鮮近情　根村熊五郎編　明15　壹圓
△朝鮮司法制度大要　手島兵次郎編　明43　貳圓

臺灣制度史

△臺灣私法の完成　福田德三　國經一　大1　八拾錢
△松岡博士の内地臺灣司法共通を讃ず　菅野協明41　八拾錢
△臺灣誤判問題と司法統一　土屋理喜治　辯協大6　四拾錢
△獨立せる臺灣の司法　三好一八　臺法　大8　五拾錢
△臺灣に於ける相續主義の立法に就て　玲瓏學人　臺法大8　五拾錢
△臺灣人の刑罰感應性と刑量裁定との關係上　臺法四大8貳　圓
△臺灣笞刑例に就て　小河滋太郎　法協二明37　貳圓四〇錢
△本島(臺灣)人内地人と公法及私法　伊藤正介　臺法大6　五拾錢
△臺灣に於る既往及現在の國際法問題　後藤新平　國際大1　八拾錢
△登記簿公信主義と臺灣　岩澤彰二郎　臺法三大10　壹圓五拾錢
△臺灣に於ける相續主義の立法に就て　玲瓏學人　臺法大8　五拾錢
△臺灣に於ける法律施行に就て　岡野敬次郎　新報明40　壹圓五錢
△民法商法を本島臺灣人間に施行の可否　杉本　臺法大14　五拾錢
○臺灣の司法制度に就ての所感　新田繁永　新聞二大5　貳拾四錢
△南支の我國司法權を臺灣に領有するの議　三好　臺法大8　五拾錢
△臺灣と憲法　小澤政許　新報　二明30ゟ31　貳圓九五錢
△臺灣に關する立法の錯誤　有賀長雄　國家　明34　壹圓參五錢
◎井上博士臺灣律令違憲論を駁す　武田鬼十郎　新聞明35　四拾錢
△内地臺灣間に於ける法律命令の效力に就き　鈴木宗言　法協　揃二明38　貳圓三〇錢
◎内地及臺灣間に於る法制上の連絡　鈴木　新聞揃三明38　六拾九錢
△臺灣の國法的關係を論じて律令違憲論に及ぶ　菊地駒次　國家　明37　壹圓　貳拾錢
◎臺灣律令問題に就て　無名生　新聞　揃五明38　壹圓拾五錢
◎臺灣又は樺太に法律を施行するの勅令の效力　長岡法協明42　九五錢
△臺灣に於ける笞刑處分例を評す　花井卓藏　辯協明37　九拾六錢
△内地人臺灣人間の親族關係入入家及轉籍の研究　二大8　壹圓
三好一八　臺法

支那母體日本法制史

△唐令と日本令との比較研究　中田薰　國家　三明77　參圓六〇錢

陪審制度史

△日本陪審の沿革　尾佐竹猛　法曹揃九大12　四圓五〇錢
△日本の陪審制度　林賴三郎　臺法　大12　五拾錢
△日本陪審法の綱領　林賴三郎　新報　大12　五拾錢
△陪審制度の沿革　大場茂馬　新報　明44　八拾五錢
△陪審制度の北條泰時　石山彌平　辯協　大8　四拾錢
◎伊藤公と陪審制　江木衷　新聞　明42　貳拾錢
辯協　明42　七拾六錢
△我國の陪審制度　中島玉吉著　洋裝　六拾圓
△陪審法論　大場茂馬著　洋裝　六拾圓
◎憲法の最高解釋と陪審制度　松本重敏　新聞大9　貳拾錢
◎陪審制度と憲法の關係論　小室春富　新聞大9　貳拾錢
△倘書に見えたる法の公示　淺井虎夫　京法　明41　壹圓
△馬端臨の四裔考に見えたる比較法制史料　淺井虎夫　京法　大8　五拾錢
中田薰　法協

入會權史

△入會山野入會論　小町谷純　新報　明26　壹圓七五錢
◎山林原野に對する入會權を論ず　藤澤茂十郎　新聞明39　貳拾貳錢
△入會權の性質を論ず　田多井四郎治　辯協大9　四拾錢
△國有山野に對する入會權問題　播磨龍城　辯協大1　六拾四錢
△林野入會權の整理を非とす　横井時敬　日經明45　四拾八錢
◎國有山野入會權餘論　播磨龍城　新聞　大1　拾六錢
△入會權と町村制の規定　織田萬　京法　大2　七拾五錢
◎入會山野法の制定は立消歟　播磨龍城　新聞大8　貳拾錢

◎岩手縣の山野入會權問題　播磨龍城新聞　一一　大11.6.12　壹圓拾錢
△入會と所有　菊池武雄　新報　明42　九拾五錢

辯護士會志

□法曹至要抄正解　三島敦雄著　洋裝　六圓五〇錢
△日本辯護士史　奥平昌洪著　洋裝　八　圓
◎辯護士協會派非協會派　幡磨龍城　新聞　大11　貳　拾　錢
◎東京辯護士界の內紛所謂協會非協會派　幡磨新聞　大12　貳　拾　錢
△東京辯護士會の內紛に就て　猪股淇水　新報　大12　五　拾　錢
○東京辯護士會分立問題　安達元之助　法新　大1　貳　拾　錢
△代言職の起原　穗積陳重　法協　明19　貳圓拾錢
△古の辯護士及今の辯護士　岡村輝彥　明44　八　拾　五　錢
△代言人時代の法廷　角田眞平　刑評　明44　八　拾　五　錢

日本神祇史

△大日本神祇史　佐伯有義著　大2革八　圓
△神祇史　宮地直一著　二明43布　拾　八　圓
△神祇志料　栗田寬著　揃一七和五　拾　圓
△神道起源論　津田敬武著　洋裝　五　圓
△神道沿革史論　清原貞雄著　洋裝　五　圓
△古神道大義　筧克彥著　揃三洋裝　拾　八　圓
○本朝神社考　林羅山著　揃六和七　圓
△神祇史の研究　宮地直一著　洋裝　參　圓
○神道名目類聚抄　小佐治半衛門板揃六元祿15和六圓五〇錢
○神事略　吉川躬行著　揃二明3和貳　圓
△皇道概說古神道大義を讀む　上杉愼吉　國家大2　七　拾　五　錢
△古神道の神神の性格及專制主義　筧克彥法協大1　八　拾　錢
△大嘗會に於ける天神壽詞評釋　池邊義象京法大2　七　拾　五　錢
△皇國の根柢たる古神道に就て　筧克彥法協二大3、4　壹圓參五錢
△神道綱要　山本信哉　法政　揃六大11　參　圓
△復古神道論(其文化史的價値)　河野省三　法集　大14　壹　拾　錢
△神宮寺の思想に就て　竹關勝也　河野省三法政大12　五　拾　錢
△王道に就きて　服部宇之吉　國家　揃三大9　壹圓五拾錢
△神宮綜覽　神宮司廳編　布　壹圓　八拾錢

警察志

◎法規分類大全　警察門　內閣記錄局編　明24　參圓五〇錢
△德川時代警察沿革誌　內務省警保局編　揃二大13布參拾五圓
△本邦警察の沿革　松井茂　法協　揃七明32ゟ33　九圓八五錢
△繪畫彫刻と風俗警察　草野豹一郎　新報　大13　五　拾　錢
△明治警察裁判史附刑事辯護制　尾佐竹猛著　大15　布壹圓五拾錢
△廳府縣警察沿革史　內務省警保局揃五昭2　貳　拾　圓
△日本警察彰功錄　吉原眞次郎編　明24　貳圓五〇錢

○警視廳統計書　警視廳編　年刊　散賣　貳圓五拾錢
最近二十年間揃　〇〇〇〇

犯罪志

△犯罪研究の推移　萩野萬之助　法研　揃二大12貳　圓
△犯罪統計　相原重政　統集　明30　壹圓貳四錢

△犯罪の統計に就て　横山雅男統集揃一二明43八圓六〇錢
△犯罪統計に就て　田中大郎　統集　明41　八　拾　錢
△累犯統計に就て　牧野英一　法協　明41　壹　圓
△犯罪統計論　高橋二郎　統集　明39　壹圓六八錢
△掏摸犯の統計に就て　加藤銀藏　統集　明23　壹圓五貳錢
△犯罪統計諸表　吳文聰　國家　明32　壹圓四五錢
△犯罪統計の話　高橋二郎　統雜　揃二明31　貳圓拾錢
△犯罪一層の話　高橋二郎　統集　揃二明23　參圓四錢
△季節犯罪と在監人の減少　羽柴瑪之助　統雜　大5　四拾貳錢
△死刑及殺人罪の統計　田中太郎　統集　揃四明44　貳圓七貳錢
△竊盜五犯以上一千人に對する統計　藤澤正啓　統集　揃二明43　壹圓四四錢
△統計上より見たる犯罪少年　黑田源太郎　統雜　大7　參拾五錢
△犯罪人の二度以上入監　羽柴瑪之助　統雜　大11　參拾五錢
△本邦の盜難統計　加藤銀藏　統集　大11　四拾錢
△內地臺灣犯罪比較統計一班　水科七三郎　統集　大7　四拾錢
△我國の犯罪の現狀　大場茂馬　新報　明41　壹　圓
△謀放殺及放火罪者犯罪の因由に就き教育の度　明28　壹圓拾六錢
△犯罪の起源　寺田精一　法政　大8　五　拾　錢
△犯罪の起原及其進化　佐々木英夫　法政揃二大9　壹　圓
△犯罪の原因と腦の缺陷　芥川信　法曹　大14　五　拾　錢
△犯罪原因に關する一考察　寺崎勝治　法政　大15　五　拾　錢
△刑事社會學上掏摸及竊盜の化生原因　中村法協明31　壹圓五拾錢
△近世の新犯罪　相生政次　刑評　明43　九　拾　錢
△最近犯罪の減少と犯罪との關係　高野岩三郎　刑評　法協　明39　壹　圓　拾　錢
△穀價と犯罪との關係　桑原騭次郎　法協　明42　貳　拾　錢
◎犯罪階級　ポイス　新聞　明41　貳　拾　錢
△人口の增加と犯罪　澤村晴夫　刑評　明42　九　拾　錢
◎犯罪と季節　小河滋次郎　新聞　明42　拾　九　錢
△新平民の改善と犯罪　有松英義　刑評　明42　九　拾　錢
△犯罪と教育の關係　武田慧宏　刑評　明43　九　拾　錢
△律令時代の賭博罪に就て　內山慶之進　法治大15　四　拾　錢
△犯罪と天候との關係　源長英　刑評　明43　九　拾　錢
△迷信と犯罪　泉二新熊　法協　大4　六　拾　五　錢
△「ひげ」と犯罪　寺田四郎　刑評　揃三明44、45　貳圓四五錢
△犯罪の地理的分布に就て　小野、白山　志林　大15　五　拾　錢
△臺灣に於ける犯罪狀態概觀　上內恒三郎　臺法大14　五　拾　錢
△東京府下に於ける犯罪者と佛教各宗との關係　窪田貞一　統集　明34　壹　圓　八　錢
△本邦古代に於ける犯罪奴隸　瀧川政次郎　志林大11　五　拾　錢
△歌舞伎劇に現はれたる惡人の研究　金富法政揃四大13貳　圓
△臺灣の犯罪傾向と對策　長尾景德　臺法　大9　五　拾　錢
△上代に於ける日本民族の罪に對する思想　石橋臥波　揃二明43　壹圓八拾錢

監獄志

△監獄制度略論　曲木如長　法記　揃二明25　參圓六〇錢
△監獄政論　石渡敏一　新報　明24　壹圓八拾錢
△監獄事業の大體　曲木如長　國家　揃二明27　參圓四〇錢
△監獄改良と刑法改正　長島鷲太郎　國家　揃二明26　參圓五〇錢
△監獄問題　小河滋次郎　新報　明25　壹圓八拾錢
△刑法草案に對し監獄學上より觀察したる管見　明31　壹圓五拾錢
小河滋次郎　國家

△獄制改正の前途　小河滋次郎　國家　明31　壹圓五拾錢
△獨房制の弊　石川三四郎　刑評　明44　八拾五錢
△忘られゐ獄中生活　福田英子　刑評　明44　八拾五錢
△獄中吟草　栗原亮一　刑評　明44　八拾五錢
△監獄改良私見　山口弧劍　刑評　明44　八拾五錢
△人種改良家の監獄觀　海野幸德　刑評　明45　八拾五錢
◎出獄者と監獄の下附金　原胤昭　新聞　大2　拾五錢
△獄中生活　宮本平八郎　辯協　大7　四拾五錢
◎假出獄制度の實況　山岡萬之助　新聞　大7　貳拾五錢
△在監人の疾病と死　二階堂保則　統集　大4　拾貳錢
△在監人の疾病と死　羽柴瑪之助　統雜　大10　參拾五錢
△日本に於ける監獄現時の實況和田千松郎　統雜　二明34　壹圓八九錢
△監獄觀察記　中野清　社政　大11　六拾錢
△監獄制度改良私議　緒方清繼　社政　大12　五拾錢
△第九回國際監獄會議の議題に對する事蹟の一斑　大塚鄉二　法學　大14　五拾錢
△監獄制に就て　小河滋次郎　法協　明41　壹圓
△監獄外に於ける囚人の獄衣に就て　橫山勝太郎　辯協　明41　八拾錢
△衛生上より觀察したる分房制　小秋元三　法政　明35　壹圓參拾錢

監獄統計

△奈良縣監獄統計表　奈良監獄課　第一回　明822　貳圓
△石川縣監獄年報　石川縣監獄署　三回　明28　貳圓
△松山監獄事務成績報告　監獄公報附錄　明40　和壹圓五拾錢
△高知縣監獄統計表　同縣監獄署　明十九年度　和貳圓
△熊本縣監獄統計書　同縣監獄署　明三一年度　貳圓
△監獄統計に現れたる少年受刑者　羽柴瑪之助　統集大10　四拾錢
△監獄統計に現れたる病者　羽柴瑪之助　統雜大9　參拾五錢
△監獄統計に就て　花房直三郎　統集　明42　七拾錢
△監獄統計調査法　高橋二郎　統集　揃二明40　壹圓六八錢

囚人記錄

×島根及大森町牢番より大森目代所へ差出したる牢屋諸入用割合書付　未八月　寫本　壹圓五〇錢
△囚人の樂書　寺田精一　刑評　明43　九拾錢
△囚人の最大危機　泉二新熊　評論　大4　壹圓五六錢
△拘禁者の自由研究　寺崎勝治　辯協　大13　五拾錢
◎囚人と粗食　夢村新聞　大13　貳拾錢
△江戸幕府の牢人政策　栗田元次史地　大14　壹圓
△囚人の刺文　黑田源太郎　統雜揃二明39　壹圓五四錢
△囚人の心理　寺田精一著　大2　革貳拾五圓

武士道

△日本武士道史　蜷川龍夫著　明40　壹圓三〇錢
序論8　武士道の淵源12　武士道發達百48　武士的精神の普及23　武士道の完成56　結論3
△武士道と國際法　蜷川新　國際　明43　九拾錢
△商業道德と武士道　松崎藏之助　日經　揃二明43　壹圓八錢
△武士成立の經濟的要素　三浦周行　經叢　大12　五拾錢
△江戸時代に於る武士の社會學的研究　圓谷弘　法政大9　五拾錢
△現代大家武士道叢論　秋山梧庵編　明38　布貳圓五〇錢
△日本の武士道　スターヂ著　英文一九〇三年版　貳圓
△武士道と人格觀念　綱島梁川　中公　明38　壹圓拾五錢
△武士道叢書　井上哲次郎　有馬祐政編　明38　散賣貳圓　揃三四　圓

第一册

日本實訓數種　武士道　山鹿素行
日本忠訓數種　武教小學　山鹿素行
文武問答　所感筆記　山鹿素行
集義和書外書抄錄　中江藤樹　熊澤蕃山　武士訓　大道寺友山

△武士訓　井澤蟠龍　明君家訓　第二册
△武士提要　井澤蟠龍　武備和訓　第三册
△武士雜話抄錄　宮崎鵬齋　津輕耕道　德川景山
△武士要論　齋藤拙堂　明一夜抄　志編

神皇正統記抄錄　北畠親房
竹馬抄　斯波義將
文明一統記　柳子新論抄錄
兵要錄抄錄　長沼澹齋　學則　海國兵談抄錄
和俗童子訓抄錄　貝原益軒
南部立庵　士道心得書
學論抄錄　井澤蟠龍　下學老談抄錄
松宮觀山　兵術要訓抄錄
武家須知　蟹養齋　劍徵
日本傳守行矩　實武一家言抄錄
日本傳治亂要決　高山健貞　肝要工夫錄
皆川淇園　及門遺範・退食閑話抄錄
本多忠籌　武士道便蒙錄
淇園答要抄錄　武氏齋　須賀井正秀
匡正論　及門閑話抄錄　安積良齋
武學啓蒙　力丸東山　安達正寬
尚武論　中村中保　平山兵原
武學拾粹抄錄　弘道館記述義　佐藤信淵
武學拾粹抄錄　回天詩史　鵜殿長快
練兵觀略抄　星野葛山　藤田東湖　會澤正志
武家小學　山寨素水　眞保臣　伴林光平
高林政明　お草・武敎訓錄　吉田松陰
武人訓抄　村井昌弘　啓發錄　橋本景岳
武藝訓抄錄　片島武短　現代武士道著書目錄

封建制度

△封建考　栗田寬　史協　明11　四圓
□封建論　津田眞道　學士　明29　壹圓貳八錢
△日本のフューダル制度に就きて　朝河貫一　歷地明44　七拾七錢
△日本に封建の制なし　重野安繹　學士　明24　壹圓四八錢
△日本の封建制度に就きて　朝河貫一　歷地　明45　七拾貳錢
△封建制度論　中村孝也　國國　揃二大5　九拾貳錢
△日本に封建の制なし　重野安繹　學士　明24　壹圓四八錢
△日本の封建制度に就きて　朝河貫一　歷地　明45　七拾貳錢
□封建論　津田眞道　學士　明29　壹圓貳八錢
△日本のフューダル制度に就きて　朝河貫一　歷地明44　七拾七錢

△柳營秘鑑　菊池彌門著　伊丹勝信寫　揃三寬延4　參圓五〇錢
德川幕府年中の禮式、殿中章程の格例、諸侯伯上下、諸士諸吏の勤法等の事實を記錄せるものなり
△江戸時代制度の研究　松平太郎著　上卷　大8　布六圓五〇錢
□武家の兵制　丸山正彥　逃皇典講究所　明26　壹圓貳拾錢
△藩士二對スル諸通達寫　松戸藩橫明和ヶ安永間寫　壹圓五拾錢
△武家の世は如何なる時ぞ　加藤弘之　史雜　明25　壹圓八拾錢
×幕府時代各役名　二尺一・三尺一　寫本　壹圓五拾錢

△官中秘策　西山元文著　寫本揃三寬政2序四拾五圓
國郡・人口・石高・領主及び其來歷・三家・越前家・譜代等のこと軍役軍令諸大名獻上物の事江戸城創の事城內外門番の事諸大名謁文・職官の事將軍宣下並座席の次第・年中行事・訴訟御定條目・禁裡並諸公家の事外國人來朝の事等凡そ德川幕府の制例格式を輯錄す。而して卷尾に天明六年三月終の記あり
○殿中及傷之例　寫本貳圓五〇錢
秘錄　殿中に於ける及傷事件の原因事情場所藩職身分年齡より當時の輿論之が畝づくし等に至る迄を明細に收錄したるもの
△武家時代の研究　大森金五郎著　洋裝　貳圓二〇錢
○本邦武家沿革圖考　木板彩色　和五　圓
△武家的用心約草　寫本四　八　圓
武家規式禮法・法度・道中基準・評定所掟・諸門番所御法令等
□幕府大老の廢置　內藤耻叟　逃皇典講究所　明23　八拾錢
△幕府故事談　田安府小吏撰　五六頁　八拾錢
□鎌倉室町兩幕府の官制に就て　中田薰　法協大1　八拾錢
△武家の成立法　笹川臨風　刑評　明43　九拾錢
△御家人の特質　三浦周行　經叢　揃四大14　貳圓

△京都守護職始末　山川浩著　明44　布貳圓五〇錢

△守護制度の研究　三浦周行　史雜　大8　五　拾錢
△文治守護職の補任　牧健二　法叢　大11　貳　拾圓
△牧學士の文治守護職の補任を讀みて　牧健二　法叢　大11　壹　圓
△日本國總守護及總地頭　中田薰　法叢　大11　五　拾錢
△再び牧學士の文治守護職補任論に就て　中田薰　法叢　大11　五拾錢
△中田博士の教に接して古代法研究と文治守護論　牧健二　法叢　大11　五　拾錢
△守護職小史　北原雅長著　前編揃二冊　明32　和貳圓五〇錢

莊園

⧖庄園制度之大要　吉田東伍著　新大14　布壹圓五拾錢
△日本庄園の系統　中田薰　國家　二明39　貳圓　貳拾錢

△王朝時代の庄園に關する研究　中田薰　國家　七明39　七圓七〇錢

△莊園考　栗田寬著　洋裝　八　圓
△土地法と莊園の起源　山崎宗直　川上多助　三學　大5　六　拾錢　歷地　明36　壹圓　拾參錢

△武家と莊園制度　芝葛盛　中央　大4　六　拾　五錢
△後三條帝莊園の御處分に關する文書　三上史雜　明32　壹圓　四五錢
△我國中古における莊園に關係せる地頭、出作、加納等の名稱起原及出典　歷地　明44　七拾七錢
△莊園制度崩壞の一例としての越前國河口坪莊の研究　牧野信之助　史林二大9　貳　圓

△平安朝の莊園政策　川上多助　史雜　四大12　貳　圓

△平安朝時代に於ける莊園の組織　川上多助　史林二大15　貳　圓
△建武一統の際における諸國莊園の課稅　大森金五郎　國院明32　壹圓　四五錢

△莊園鄉保の概略　清水正健　國院　二大14　壹　圓
△莊民の生活　中村直勝　史林　大12　壹　圓
△東寺文書に就て（莊園關係）　三成重敬　史雜　大15　五　拾錢
△庄園の影響を受けたる向神社の宮座　六人部　國院大14　五　拾錢
△高野山領莊園に就て　魚住總五郎　歷地　明43　八　拾　壹錢
△土地法と莊園　山崎宗直　三學　大5　六　拾　錢

知行及領土

□除邑錄　天保11寫參　圓
吉宗公の御代、命を被り林大學頭信篤の編に係る諸大名有罪國除左遷除封邑食地行石高等の記錄なり

□德川加除封錄　清田默著　明24　布四　圓

□諸大名關東改正高附　寫本貳　圓

△御扶持方之儀に付歎願書控　山口平助寫　文久3　壹　圓
△知行高村付帳　寫本天保14　貳圓　五拾錢

△地頭の得分に就いて　黑板勝美　史雜　明35　壹圓　參拾錢
△雜新前後に於ける大名領地　喜田貞吉　歷地　明1835　壹圓　九四錢
△下司と地頭に就いて　魚住總五郎　歷地　明38　壹圓　四錢
△大名領地の性質に關する思想　藤井　歷地　明38　壹圓　四錢
△細川幽齋の大名領地觀　歷地　明40　九　拾　五錢
△後院と後院領　中村直勝　史地　大6　五　拾　五錢
△梁田御厨の研究　中村太郎　國院　大4　五　拾　錢
△知行論　中田薰　法協　明40　壹圓　五　錢

△鎌倉地代地頭職は官職に非ず　中田薰國家　二明40　貳圓　拾錢
△足高の制を論ず　井野邊茂雄　國院　大3　七　拾　錢

參勤交代制

△參勤交代制度の經濟觀　本庄榮治郎　經叢二大5、6　壹圓　拾五錢
△元治元年參勤交代及妻子在府制の復舊事情　藤井甚太郎　歷地　明43　八　拾　壹錢

△武州埼玉郡伊草村未年五人組帳　農文政6寫　貳
△安房國朝夷郡上香見村五人組御改帳　天保15寫　壹圓　五拾錢

○下總國海上郡成田村五人組連判帳　弘化2寫　貳圓　五拾錢
△五人組制度の模倣と五戶の組合　明44　布貳　圓

△五人組制度　穗積陳重著　法理論叢　明35　貳圓五〇錢

△五人組制度　穗積陳重　國家　三明31　貳圓五〇錢

△五人組制度論　穗積陳重著　洋裝　六　圓

△五人組法規集　穗積陳重著　洋裝　六　圓

△農村の振興と五人組制度　板井申生　帝農　大14　壹圓　參五錢
△京都五人組編制の年代　中田薰　國家　大13　五　拾　錢

名主庄屋及村役

△江戶の名主について　幸田成友述　史學　大12　壹圓　貳拾錢
△庄屋役儀定書　大森取締淳吉郎控　安政4寫　壹圓　五拾錢

△日本古代の村落制に就きて　內田銀藏　歷地　四明12　八圓六二錢

□愛媛縣喜庄屋地御所分探偵聞書並伺寫　明11寫　貳
△鄉士制度の研究　小野武夫著　新大14　布貳圓　五拾錢

△町會所の始末の追加並兩替爲替の追加　江戶　明23　參圓八〇錢

○御觸寫し（市町村と農村自治に關する御觸）　安政5　貳　圓
△江戶町會所に關する一考察　倉持德久　經研大14　壹　圓

地方自治制度

△江戶時代交隣地行政と日本都市自治政治の發達に關する一考察　吉川同志大15　壹　圓

△勤方留帳　平井揖五郎寫　享和元年より文化五年に亘る板倉侯取次役勤役日記　貳圓五〇錢
□御供小姓頭勤役日誌　松戶藩　落丁あり寫本享和1　壹　圓
○御刀持御駕脇勤方覺　浪華散人寫　明和9　壹圓　五拾錢

⧖勤方江戶詰合　控　柳河藩義路寫　羽前鶴岡藩安尊寫　横嘉永3　横文政8　壹　圓　壹　圓

△殿樣江直書下書覺帳（寧峰公へ幾嬢奉仕書狀）　澁井孝德著　寫本　壹　圓
△建武一統の際における諸國莊園の課稅　大森金五郎　國院明32　壹圓　四五錢

△建官考　古來の官制職名の考證にして文武諸官に關する數十項あり　府監物御用場　白井凝寫　文久1　壹圓五〇錢

□雜錄　（見習の節の控）　尹

□二の丸御留守居役公文手扣　寫本　參　圓
安永五丙申より嘉永三庚戌に亘る留守居役公事全般に亘る詳細なる記錄にして老職よりの達等もあり資料として貴し

□武家秘册　忍廼屋藏版　折本二天保11　和貳圓　五拾錢
□武家必攜殿居囊　訂書堂藏版　折本二天保8　和貳圓　五拾錢

五人組制度

△五人組帳　武州國部村　蟲入寶曆1　寫貳圓五〇錢

△五人組御仕置帳　武州國部村　文化13　寫　壹圓　五拾錢
△五人組御仕置帳　武州三笠村　蟲入傷文化6　寫　壹圓　五拾錢

△五人組御條目書上帳　武州三笠村　天保10　寫　壹圓　五拾錢
△五人組帳　島下郡橘之內村　享和3　寫　壹　圓

△五人組帳　信濃國伊那郡火山村　文化5　寫貳圓五〇錢

△五人組書上帳　安房國朝夷郡上香見村　弘化2　寫　貳　圓

△上野組立田村五人組連判帳　寬政3　寫　橫二　寬政8　貳圓五〇錢

△王朝時代の地方行政に關する一考察　宮地直一　史雜大13五拾錢
△江戸時代に於ける辻番及自身番に就て　松本愛重　國院大12五拾錢
△近世に於ける地方自治に就て　中村直勝　史地二大6壹圓拾錢
△上古の地方政治　大塚政晨　法政大12五拾錢
△德川時代に於ける村の人格　中田薰　國家大9五拾錢
△日本の部落有地　小野武夫　國經揃三大6壹圓六五錢

△日本普西亞市制比較論　野村彌三郎　法協揃五明22九圓壹錢

△山田の自治機關　石卷良夫　歷地明34一九拾錢
□町村自治活用大資料　戸田承著　明43布貳圓

△地方自治制要義　末松偕一郎著　大12布參圓

△地方資料　地方局　自二至二編　一八明40貳圓五〇錢

□地方往來　市野蒙逃　明3和七拾錢
△自治輿新論　井上明府著　繪入大9布貳圓

氏族制度

△日本古代氏族制度　太田亮著　洋裝五圓五〇錢

△氏族制度雜考　本庄榮治郎　經叢大12五拾錢
△氏族制度論　河田嗣郎　國家二明41貳拾圓
△日本の氏族制度　河田嗣郎　京法明42九拾五錢
△日本の氏族制につきて　山上萬次郎　歷地明21壹圓八拾錢
△日本上古の氏族制度につきて　内田銀藏　史雜大3七拾錢
△中古初期に於ける族制　新見吉次　史雜明42九拾五錢
□氏族考　近藤泊城著　揃二和壹圓貳拾錢
□我が上代の母系氏族制　松岡靜雄　中史大15五拾錢
△姓氏雜考　宮崎道三郎　法協揃二一明38ゟ39五圓五〇錢

家族制度

△我國家族制度の前途に就て　奥田義人　新報明35壹圓參拾錢
△家族制度の將來を論ず　梅謙次郎　志林明35壹圓參拾錢
△家族制度ノ發達　河田嗣郎著　法經研究叢書明44貳圓
△家制の變遷　岡村司　内外明38壹圓參八錢

△鎌倉時代の家族制度　三浦周行　經叢七大9參圓五〇錢

△古代法に現れたる家族制　野村兼太郎　二學大9五拾錢
△我民法に於ける戸主制度　岡村司　志林二明44壹圓七拾錢
△朝鮮人の婚姻と族姓　都守泰一　社雜大15五拾錢
△晉國家族制度に對する法律的一考察　小室春富　辯協大12四拾錢
△日本に於ける家の制度發達の研究戸田貞三　社雜三大14壹圓五拾錢
△我國のトーテミズムの考察　中山太郎　社雜三大14壹圓五拾錢
△言語研究より見た日本古代の家族制度　金澤庄地明43九拾錢
△飛驒白川の大家族制　本庄榮治郎　京法明44八拾五錢
△白川村家族制度と大寶二年戸籍　岡村利平　飛史大6七拾七錢
△白川村に於ける大家族制度に就て　有森三評二大11六拾錢

△飛彈白川　江戸　一六明22ゟ23貳拾四圓

△飛彈の白川　大鶴利三郎　飛史大10七拾錢
△家族制度研究　河田嗣郎著　壹圓五拾錢
△母權と母系相續に就て　久野芳藏　歷地大10四拾五錢
◎血統上祖先觀　播磨龍城　新聞大10貳拾錢
△三父八母の研究　東川德治　志林大14五拾錢
△妾の研究　早田正雄　法政大14五拾錢

婚姻志

△本邦結婚統計一班　高野岩三郎　法協明40壹圓五錢
△我國の結婚歩合　河合利安　統集明39八拾八錢
△日本人の婚姻統計　二階堂保則　國國大14四拾八錢
△德川時代の婚姻法　中田薰　國家大14五拾錢
△我國に於ける婚姻法に就ての一問題　成田治三郎　法曹大13五拾錢
△我が太古の婚姻法　中田薰　法叢大13五拾錢
△兄の妻をめとる古俗　別所梅之助　社研大15壹圓貳拾錢
△我國に於ける逆緣婚に就て　中山太郎　社雜大13五拾錢
△結婚の數より觀たる内妻同化の實現　久保田法政　大9五拾錢
△本邦の結婚統計　加藤銀藏　統集二大12八拾錢
△近親結婚と統計　松本修　法協明36壹圓貳五錢
△婚禮かゞみ　武井碩三著　洋裝壹圓五拾錢

○類聚婚禮式　東陽堂編　洋裝四圓

離婚志

△離婚統計の一二　布川靜淵　統集明36壹圓
△離婚統計　布川靜淵　統集明36壹圓

△本邦離婚統計一班　高野岩三郎　法協明41壹圓

△本邦離婚統計の一班　岡松徑　統集揃七大2四圓二〇錢

△我國の離婚率に就て　岡崎文規　經叢大11五拾錢
△本邦の離婚統計　加藤銀藏　統集揃二大12八拾錢
△部鄙別による離婚率　岡崎文規　經叢大14五拾錢
△夫婦關係の强さの測定（離婚に關する一研究）　戸田貞三　社雜大14五拾錢

文藝史

□江戸時代文藝資料　國書刊行會叢書　散資四圓

内容六二一頁參照揃五拾圓

△近世文藝叢書　國書刊行會叢書　散資貳圓五拾錢

内容六一四頁參照　揃一二貳拾五圓

○明治文藝史　太陽增刊　明44壹圓五〇錢

附明治四十一季史

□文藝百科要義　相馬御風　中村星湖著　揃三洋裝八圓五〇錢

□近代文藝史論　高須梅溪著　洋裝貳圓

□近代文藝十二講　文壇四家合著　洋裝貳圓
□近世文藝思潮　長谷川誠也著　洋裝貳八拾錢

○文藝類纂　榊原芳野著　揃八和七圓

□日本短歌史　山内素行著　大2布七圓

□自己中心明治文壇史　江見水蔭著　新昭2布壹圓八拾錢
△歌垣の源流　内藤吉之助　社雜揃二大13壹圓

△歌日本新詩史　内藤吉之助　社雜大13五拾錢
□日本補考　福井久藏著　大13布貳圓

□新撰俳諧年表　平林鳳二著　大四一外大13布參圓二〇錢

文學史

△國文學發達史　永井一孝述　早大六四六頁　參圓

△日本文學史論　鈴木暢幸著　明37布貳圓

△日本文學史　三上參次　高津鍬三郎著　揃二明23布參圓

△刪訂國文學小史　和田萬吉　永井一孝著　明33革貳圓
△和文學史　大和田建樹著　明31貳圓

△日本文學史辭典　佐々政一　山内素行編　明39布四圓五〇錢

△日本大文學史　大和田建樹著　揃五明33　四　圓

△近世俗文學史　坂本健一述　早大　明35　參圓五〇錢

△西南文運史論　武藤長平著　新昭2　布五圓五〇錢
鎭西文學の故事を蒐計し餘力琉球に及び文運發達の跡を考究す

△日本文學史　武島又次郎述早大　五四頁　布貳圓五〇錢

△明治文學史　生田長江述　文章學院　二六頁　壹
△新撰日本文學史略　鈴木弘恭著　明25　壹圓五拾錢

△平安朝文法史　山田孝雄著　大2　布貳拾五圓

△奈良朝文法史　山田孝雄著　大2　布貳拾五圓

□日本文學新史　尾上八郎著　新大14　布貳
□明治文學變遷史講話　島村抱月述　大4　壹圓貳拾錢
附奈良朝平安朝文學講話(空穗)德川時代文學講話(秋聲)

□帝國文庫　博文館校訂　揃一〇〇　明26ゟ36　散賣壹圓五拾錢　革壹百五拾圓

正編

眞書太閤記　1—4　栗原柳庵
源平盛衰記　5　栗原柳庵
南總里見八犬傳　6—8　曲亭馬琴
東海岐蘇奥羽道中膝栗毛　9　十返舍一九
梅暦及春告鳥　10　爲永春水
通俗三國誌　11　高井蘭山
三馬傑作集　12　10　式亭三馬
柳亭種彦傑作集　15　京傳種彦
星月夜顯晦錄　17　倉賀野綠顯
北條九代記　17　朝倉治彥
通俗十二朝軍談　18　通俗明清軍談　18
通俗武王軍談　18　通俗明清軍談
甲越軍記　19　通俗吳越軍談
通俗漢楚軍談　20　20
楠廷尉祕鑑　21　風來山人傑作集　22
西鶴全集　23　24　井原西鶴
滑稽名作集　25　26
速水春曉齋
清地以立

正編

眞田三代記　附日本武士鑑　1
近世說美少年錄　2　曲亭馬琴
日本歌謠類聚　3　4　大和田建樹
諺苑出雲源氏　5　柳亭種彦
竹田淨瑠璃集　6
朝夷巡島記　7　曲亭馬琴
豪傑譚　自來也說話　8　美圖垣笑類等
江戸作者淨瑠璃集　9　水谷不倒
前々太平記　附太平記　10　水谷不倒
紀海音淨瑠璃集　11　水谷不倒
續近松淨瑠璃集　12　13　水谷不倒
後太平記　附北條五代記　15　水谷不倒
脚本傑作集　16　39　水谷不倒
京山全集　1817　京山
落語本朝笑話集　19　京山
並木宗輔淨瑠璃集　石橋思案
水谷不倒

續編

忠臣藏淨瑠璃　36　37
四大奇書全集　39　40　41
續近松時代淨瑠璃　42　近松門左衛門
高僧實傳小說集　45　44　49
仇討小說傳　48　47
馬琴傑作集　50
淨瑠璃名作集
俠容傳全
近松世話淨瑠璃集

續編

紀行文集全　2120
一九奇談全集
漂流甘鄙諸國物語
紀行文集　24　372322
十返舍一九　大櫓乙羽
柳亭種彦研堂　石井岸上
三木愛花軒　田中從吾
曲亭馬琴　26
續水滸傳　25
傾城水滸傳附風俗金魚傳
文耕堂淨瑠璃集　27
白縫譚　28　29
北雪美談時代鏡　30
附拾遺　30　31
常山記談　附武將感狀記　3231
萬物滑稽合戰記　3433
續黃表紙百種集　3635
俳優全集
續俗曲馬琴作集　38-44134240
續京傳馬琴作集
釋迦八相倭文庫　41
種彦短篇傑作集
神稻水滸傳　46
後傳　岳亭知足館
柳下亭種彦　萬亭應賀
京傳三馬　長井金升
內山幻堂　湯元熊澤興
石井研堂　十返舍一九
猪波春水　爲永春水
種彦　水谷不倒
曲亭馬琴　三木愛花軒
田中從吾　26
柳亭種賀　岸上質軒
大櫓乙羽　石井研堂
漂流奇談全集　2120
甘鄙諸國物語　24　372322
紀行文集全　一九
十返舍一九　大櫓乙羽
柳亭種彦　石井研堂
三木愛花軒　田中從吾
曲亭馬琴　26
岸上質軒

小說史

△新修日本小說年表　朝倉亀三著　新大15　布五圓五〇錢

△列傳體小說史　坪內逍遙著　洋裝　拾圓

△古代小說史　長谷川福平著　洋裝　四　圓

□小說史稿　關根正直著　洋裝　五　圓

△近世日本小說史　鈴木敏也著　揃二洋裝　七　圓

△明治小說史附傑作　高山樗牛述
△明治小說史　小島政二郎述　文學史講　太陽增刊　壹圓貳拾錢　壹圓五拾錢

□現代戲曲大觀　劇作家協會　洋裝　貳圓五〇錢

戲曲志

△日本戲曲史　伊原青々園述　文學史講座　七拾錢
△日本戲曲史講話　伊原青々園述早大　二三頁　壹　拾圓

△江戸時代戲曲小說通志　雙木園主人著　洋裝　六　圓

△日本戲曲名作大系　古典劇研究會編　揃三洋裝　拾貳圓

□現代戲曲大觀　劇作家協會　洋裝　貳圓五〇錢

儒學史

△日本儒學史　久保天隨著　帝百
△聖堂略志　孔子祭典會編　明41　貳　圓

△日本儒學年表　山本邦彥編　新文會版　大11　布貳拾五圓

△儒學大觀　服部宇之吉閱　明42　布參圓五〇錢
岩垂憲德著

故實

△故實叢書　今泉定介編　吉川弘文館　一ゟ三明32ゟ39　和壹百二〇圓
輯全揃文圖會　七　拾　圓

○故實叢書　今泉定介編　吉川弘文館
第一輯

△裝束集成　七　拾　圓
○奧車圖考　三　五　圓
○冠圖會　拾　貳拾五　圓
○安齋隨筆　一〇　拾　圓
△安齋雜考　五　圓
御代始抄—合本　參　圓
△有職袖中抄　二　圓
軍用記　共　五　圓
△裝束織文圖會　七　拾　圓
○服色圖解　二　拾　圓
○尙古鎧色一覽　二　拾　圓
○中古京師內外圖　參　圓
○中古京都地圖　參　圓

第二輯

○大內裡圖　六　拾　圓
○大內裡圖考證　一四　拾　圓
△貞丈雜記　六八　圓
△古事類苑　拾　圓
□古實　玄義　田中玄義著
平瓦弼著

第三輯

△武家名目抄　四〇　參　圓
△歷世服飾考　五〇　拾　圓
○脩單分脈索引　共一三五　拾　圓
○裝束着用圖　二　五　圓
○禮服着用圖　五　圓
○女官裝束着用次第　五　圓
○近世女房裝束抄　五　圓
○舞樂圖　解說共三　拾　圓
△禁祕抄考註　三三　參　圓五拾錢
△拾芥抄　參　圓五拾錢
洋裝　壹　圓
洋裝　五　拾　錢

風俗史

○風俗畫報　東陽堂　自初號　散賣五　拾　錢
至三六號　參　百五拾　圓

△日本風俗史　薩岡作太郎　大揃五一六　布拾貳　圓
平出鏗二郎著

△日本風俗志　加藤咄堂著　揃三明32　布拾貳　圓

△日本風俗史要　坂本健一著　大8　布拾貳　圓

△類聚近世風俗志　喜多川季莊著　新大15　布貳圓八〇錢
原名守貞漫稿　室松岩雄編　揃二明41　布八　圓

△增補訂正日本風俗史要　坂本健一著

△日本古俗誌　松岡靜雄著　新大15布參圓二〇錢

△日本風俗史　坂本健一編　帝百　明43　壹圓五〇錢

△日本風俗全史　江馬務著　和裝　四圓五〇錢

○國俗變更默識錄　箕浦專八著　寫本享和3　拾貳圓
序に曰く「我國俗の變替を廣く見聞に採り世態の推移を敎へ固有忠孝の道を悟し人心の戒に資す」と

△近世風俗見聞集　國書刊行會叢書　散賣　參圓
內容六六頁參照　揃四　拾貳圓

○日本風俗沿革圖說　江馬務著　和裝　七圓

○日本風俗圖繪　風俗圖繪刊行會　揃一二和　貳拾五圓

△近世女風俗考　生川春明著　和裝　五圓

△歷史女裝考　岩瀨百樹著　揃五和裝　五圓

□風俗史研究指針　森德太郎著
□かくれさと雜考　上林豐明著民俗叢書　洋裝　壹圓五拾錢　新昭2布壹圓七拾錢

△日本鹿子　石川流宣畫　橫一二元祿4和參拾五圓

○日本風俗圖說　ミレー著　英文一八九七年版揃一〇洋裝壹百二〇圓

○日本風俗誌　レガミー著　佛文　洋裝　拾五圓

○日本風俗史　ハルトシヨーン著　英文　揃二洋裝　拾圓

○日本風俗史　フレザー著　英文一八九九年版揃二洋裝拾六圓

○日本風俗誌　チヤーリー著　英文　洋裝　拾貳圓

△日本風俗誌　ノルマン著　英文一八九三年版洋裝六圓

△日本風俗誌　アーノルド著　英文一八九二年版洋裝　八圓

□吾妻みやげ　薰々房述　繪入折本四冊永5和參圓五〇錢
一ヶ所落丁內闕篇缺

○譚海　津村正恭著　寫本一二　拾圓
神道佛道・江戶京都等の事・其他諸國の雜事風俗奇談等を書き牧めたるものなり

△日本燈火史　內坂素夫著　大6布八　圓

△古今百風吾妻餘波　岡本昆石編　一編　明16和八　圓

△民間風俗年中行事　國書刊行會叢書　大5布參圓五〇錢
諸國年中行事第五期　芝居年中行事　はじゆう操　扈子
增補江戶年中行事四　おとしばなし年中行事二
石井士彭東都歲事記　林屋正藏　白眼居士
山城四季物語六　正月揃六　山崎美成
闔里歲時記六　民間時令四　王田永敎
案內者六　中川喜雲年中故事一〇
北里年中行事二　川野邊寬花樂散人

△諸國年中行事　古稚繪入　揃四享保版和拾　圓

□年中行事文章　泉花堂三蝶逃　文化1和壹　圓
□增補憲實年中行事　蓬萊堂板　和五　拾錢

×往古年中行事　篆隸美麗頗る長尺卷物一卷　寫本　六拾圓

○年中行事　正月ゟ三月に至る年中の故事儀例行事を詳述す　寫本參　圓

△西九年中行事　殿中に於ける一月二日より三月晦日に至る恒例行事寫本續五　圓

□柳營年中行事　松葉園英鷄仙識　和壹　圓
△官民一般年中行事　香取新之助編　明13布參　圓
△溫古年中行事　鮮齋永躍畫　繪本　明22和壹　圓
△朝野年中行事　荻野由之著　明25和壹　圓

□日本歲事史　江馬務著　大12　參圓二〇錢

葬祭志

□葬禮私考　栗田寬著　揃二和裝　六　圓

△葬禮　物茂卿著　寫本文政13　貳
△葬祭　考式　長谷川士谷編　二明14　壹圓　貳拾錢

生活志

△武士と都會生活　栗田元治　歷地　明38　壹圓四錢
△日本近世の奢侈に就て　西田直二郎　史雜　大15　五拾錢

△江戶時代に於ける富豪の生活　江馬務　風俗　六大13和四圓八〇錢

△我國經濟生活の特徵　佐野學　大11　五拾錢
△江戶時代に於ける市民の經濟生活と文學　我等　明39　壹圓拾錢
△吾國古代の經濟生活　大內武次　經濟新潮　大13　五拾錢
△本邦俸給生活者の生計調查報告　高須芳次郎　林平馬　社政大13　六拾錢

服飾史

△日本風俗史綱　容儀服飾篇　江馬務著　上卷　大10和貳圓五〇錢

△日本服飾史論　高橋健自著　新昭2布參　圓

△民家娛樂の發達に就て　櫪田保之助　統集　大9　四拾錢
△最近十五年間に於る各種興行物の趨勢　櫪田保之助　國家　大8　五拾錢
△寄席興行一斑　櫪田保之助　國家　大8　五拾錢
△寄席興業の統計的觀察　櫪田保之助　統雜　大8　四拾錢

日本演劇史

△演劇研究　同社　大14創刊・月一回　散賣　拾貳錢
一號ゟ三年間揃　〇〇〇〇

△歌舞伎研究　歌舞伎出版部　大15創刊・月一回　散賣　四拾錢
一號ゟ三年間揃　〇〇〇〇

△自文政元年至天保九年芝居番附　二島英勇註入　峽入和八拾五圓
附文政二年ゟ二十年來川上芝居座圖外二加賀金澤、犀川邊り川上芝居小屋にて興行された前後二十一年間の演劇芝居番附の合綴にして頭初に於き我邦芝居の濫觴其後の流行變遷事情、慶長頃芝居御制禁の由來等の考證を略記す。演劇史並に斯道研究家の好資料たるべし

□演劇通史　花房柳條著　明23　四　圓

△日本演劇史論　吳文炳著　上卷　大10　參　圓

△日本演劇史　伊原敏郎(青々園)著　大13布四　圓

△近世日本演劇史　伊原敏郎　大13布四　圓

△近世日本演劇史×三都惣役者大見立　伊原敏郎述早大三七頁　大坂喜平衛板　嘉永6和壹圓五拾錢

△歌舞伎年代記　談洲樓焉馬著　揃一〇和參拾圓

○續々歌舞伎年代記　田村成義編　乾卷大11革拾貳圓

△日本劇場史　後藤慶二著　附西洋劇場の話　新大14布四　圓

□歌舞伎座案内　川尻清潭編　大13　八拾錢

△帝劇十年史　杉浦善三著　大9　壹圓五拾錢

各地の踊り

△濱□郡　花　踊　奥西節三編美人寫眞滿載大12　七拾錢

上　踊　南洋著(松坂音頭ぶし)大12　八拾錢

○○都をどり(浪花)をどり　秋山編　京都祇園美妓寫眞帖明45　五拾錢

○○あしべ　生田編　浪華美妓寫眞滿載明36　五拾錢

音樂史

◎近世邦樂年表　東京音樂學校編　揃二洋裝拾五圓

△歌舞音樂略史　小中村清矩著　揃二洋裝六圓

日本歌謡史

△日本歌謡史　高野辰之著　附薪能圖及町入能圖　新大15布八圓五〇錢

□日本民謡史　藤澤衛彦著　新大14布貳圓二〇錢

□日本歌謡史講話　坂井衡平著　洋裝貳圓

□日本民謡全集(續篇)　前田林外選　洋裝貳圓

×常磐津祖二百五十年祭執行錦繪　周延筆　橫明40　貳圓

□小唄漫考　湯朝竹山人著　大15布貳圓四〇錢

□諺俚謡傑作集　湯朝竹山人著　大4　壹圓七拾錢

□俚謡　湯朝竹山人著　大2　壹圓五拾錢

地方の歌謡

□江差追分歌謡全集　江渡省三編　大12　六拾錢

▲生粋江差追分節　百津瀧澪著　大14　五拾錢

▲俚謡正調江差追分節唄本　清水きよ編　大14　五拾錢

□歌舞音曲考說　小中村清矩著　洋裝　七　圓

△平家音樂史　館山漸之進著　揃二洋裝拾　圓

△日本の音樂　F. T. Piggot-The Music of the japanese.1891　假綴　四　圓

△尺八史考　琴笛笙大鼓月琴及神樂等古代の音樂について記せるもの　栗原廣太著　大7布貳圓五拾錢

△通俗琵琶史談　筑牧守著　大7布貳　圓

□八重山民謡集　八重山新報社　上卷(沖繩縣)大12　六拾錢

△鄉土のしらべ　岐阜市　大15　五拾錢

流行歌

□流行唄變遷史　藤澤衛彦著　大3　貳圓五〇錢

▲小夜の中山よなき石からくりこうじやう和泉屋板繪本和武圓

□阿波鳴門じゆん禮くど幾子別の段　吉田屋板　和五　拾錢

□初春三河万ざい　泉榮板　繪入　八頁　和參圓五〇錢

□新板花づくし　堀岡幸四郎編　上　繪入　明23五　拾錢

□しん板群馬くどき　河上機藏編　第三編繪入明19和四　拾錢

△笑ひぐさ子もり歌　甚左衛門寫　譜譜雜詠　文久2壹　圓

△大新はん大津畫婦し正月の戀花くらべ其他當世新作こつけいくちからでまかせ山崎著繪本明25四　拾錢

淨瑠璃史

△淨瑠璃史　高野辰之著　明33革七　圓

■日本淨瑠璃史　小山龍之輔編　アカギ叢書　大3壹　圓

△淨瑠璃人名誌　淨瑠璃雜誌社　明24　壹圓五拾錢

△淨瑠璃史　寺山星川著　明26　貳圓五〇錢

角力志

□相撲史　三木愛花著　明35　壹圓五拾錢

□日本角力史　三木愛花著　增訂版明42布　壹圓五拾錢

△相撲沿革史　松田眞吉著　明28　壹圓五〇錢

□相撲勝負表　十日間宛合本　七天保6ゟ9　五圓五〇錢

花柳志

□江戸花街沿革志　關根金四郎著　揃二洋裝四　圓

△花街風俗志　大久保葩雪著　洋裝貳圓五拾錢

□日本花柳史　山根秋伴著　洋裝貳圓五拾錢

△花柳風俗志　文藝倶樂部增刊　五　拾錢

△區總代用書　島根縣第三大區　明5寫壹　圓

遊廓設置審議大區會開設議案各區町村浦總代心得要領其他

△廓重寶人選集　池永智勝著　非賣品　大13五　拾錢

○金澤美人選集　鳥巖編　寫眞帖　橫大15　五　拾錢

美術史

△美術春秋　同社　大14創刊・月一　散賣　貳拾五錢

一號ゟ三年間揃　〇〇〇〇〇

○大日本美術新報　自一號至三號　三五明16　參圓八〇錢

○稿本日本帝國美術略史　帝國博物館　大形洋裝　四拾參圓

中形　貳拾五圓縮　特製　四拾五圓

○日本帝國美術略史　帝國博物館佛文揃五洋裝六　拾　圓

◎日本帝國美術畧史　日本帝室博物館藏版　佛文革四拾五圓

HISTORIE de L'ART du JAPON. Par la Commition Impériale du Japon, Paris.1900

□日本美術史　姑射艮著　洋裝　參　圓

□大日本美術史　小杉椙村編　(書史)　貳圓八〇錢

□日本美術沿革誌　アーネストハート述邦譯　四　圓

流行歌　淨瑠璃史　角力志　花柳志　美術史